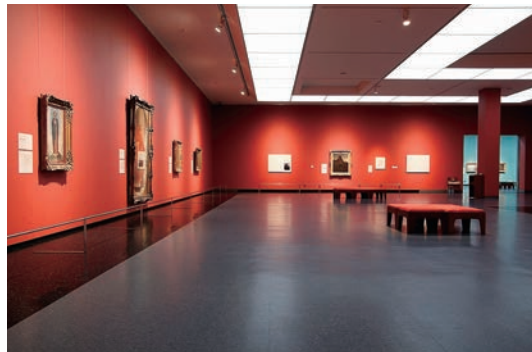


令和 5 年度

山梨県立美術館年報

ANNUAL REPORT OF
YAMANASHI PREFECTURAL MUSEUM OF ART
2023





萩原英雄《山又山》連作〈三十六富士〉より
1981-86年 山梨県立美術館蔵

望月春江《惜春》1978年 山梨県立美術館蔵



開館45周年記念
山梨県立美術館 コレクション

REMIX

「リミックス」

収蔵作品の見方、「再編集」

2023.4.22(sat)～6.11(sun)

開館45周年記念

ミレーと

4人の

現代作家たち

「種にはじまる世界のかたち」

Yusuke Asai

Nobuhiro Shimura

Junko Maruyama

Yoshikazu Yamagata

山縣良和

丸山純子

志村信裕

浅井裕介

ジャン＝フランソワ・ミレー《種をまく人》1850年、山梨県立美術館蔵

2023年7月1日(土) — 8月27日(日)

山梨県立美術館
開館45周年記念

THERMAE
ANCIENT
ROME, JAPAN,
AND THE JOY OF
BATHING

湯

テルマエ展

お風呂でつながる古代ローマと日本

2023.9.9(土) - 11.5(日)



《恥じらいのヴィーナス(ウェヌス・プディカ)》1世紀
ナポリ国立考古学博物館蔵
Photo© Luciano and Marco Pedicini



《アポロとニンフへの奉納浮彫》2世紀
ナポリ国立考古学博物館蔵
Photo© Luciano and Marco Pedicini



《銅製把手付ガラス壺》3-4世紀
MIHO MUSEUM蔵



三浦宏《湯屋模型》1980年代 個人蔵
撮影:石崎幸治



ウィリアム・モリス《いちご泥棒》



ウィリアム・モリス《格子垣》

Arts & Crafts and Design

山梨県立美術館開館45周年記念

Photo ©Brain Trust Inc.

ティファニー・スタジオ《三輪のリリーの金色ランプ》

From William Morris to Frank Lloyd Wright

アーツ・アンド・クラフツとデザイン

ウィリアム・モリスからフランク・ロイド・ライトまで

2023.11.18 sat. - 2024.1.21 sun.



ジョージ・ワシントン・ジャック《サーヴィル肘掛け椅子》

目 次

■沿革	2
■施設・設備の概要	12
芸術の森公園建物配置図・平面図・建物用途別面積	12
■特別展	17
山梨県立美術館コレクションREMIX	17
ミレーと4人の現代作家たち	22
テルマエ展 お風呂でつながる古代ローマと日本	28
アーツ・アンド・クラフツとデザイン	38
■コレクション展	48
■キュレーターズ・アイ	60
■教育普及活動	61
美術講演会	61
県民ギャラリー等施設の使用状況	62
美術体験・実技講座	67
創作教室(つくろう!あそぼう!造形広場含む)	69
博学連携・教育課程での利用状況	71
オリエンテーション実施状況	72
映画会	73
博物館実習	74
みんなでつくる美術館(みなび)	75
特別展関連ワークショップ	78
手でみるミレー	80
教師のための鑑賞研究会・教育団体の研修会	81
移動アート・ボックス	82
アートカード	84
広報活動、芸術の森公園ツアー	85
ニューイヤール・コンサート、ロビーコンサート	86
美術館システム・ホームページ	87
■文化観光推進事業	89
文化資源デジタル化・コンテンツ開発事業	89
作品鑑賞プログラム魅力増進事業	90
認知症ケア美術鑑賞ワークショップ	92
■LABONCHI 雨宮庸介「まだ溶けていないほうの山梨県美」	93
■所蔵作品・資料	95
新収蔵作品	95
項目別収蔵作品	99
新収蔵図書	113
定期購読雑誌	134
新収蔵映像資料	135
修復記録	136
刊行物記録	137
美術資料貸出記録	138
■新型コロナウイルス感染症対策	141
■関係法規	142
■組織図	160
■関係委員等名簿	161
■入館者状況	164
■利用案内	165
■交通案内	166

沿革

昭和47年 3月27日	●置県百年記念事業として総合博物館の建設を決定、調査費50万円可決
昭和48年 3月28日	●博物館構想を変更、美術館建設に決定。ガイドライン（企画書）予算230万円可決
昭和49年 3月26日	●2月議会において基本設計予算2,800万円可決
3月31日	●「山梨県立美術館（仮称）企画書」策定、基本構想について検討に入る
9月10日	●美術資料調査員制度発足、調査員委嘱、県内美術資料所在調査開始 （49年＝35名、50年＝14名、51年＝12名）
昭和50年 5月12日	●建設用地地盤調査実施（期間5月20日～5月27日）
9月22日	●「県立美術館建設委員会要綱」の策定
	●県立美術館建設委員会（委員19名）および同専門委員会委（委員20名）設置
	●「山梨県立美術館建設設計（基本構想）」の策定
9月30日	●基本設計を前川国男建設設計事務所に委託（期間10月1日～3月25日）
10月19日	●建設地を甲府市貢川一丁目4番27号（旧農業試験場跡地）に決定、全敷地59,010.84㎡ のうち一次計画として37,950㎡を決定
昭和51年 3月25日	●「山梨県美術館資料取得基金条例」制定（施行4月1日、基金1,000万円）
5月12日	●建設用地測量実施（期間6月20日～28日）
6月29日	●6月県議会において実施設計予算4,245万円可決
6月30日	●実施計画を前川国男建設設計事務所に委託（期間7月1日～10月28日）
昭和52年 3月23日	●建築本体工事関係業者決定 本体部工事＝大成建設 強電設備関係工事＝日本電設 空調換気関係工事＝高砂熱学
3月25日	●2月補正予算において、建設費として1,725,076千円 （継続費51年度＝61,076千円、52年度＝930,227千円、53年度＝733,773千円）を計上、可決
	●工期52年3月から53年7月まで
	●開館予定53年11月を決定
	●近代美術館としての性格を知事議会表明
	●整地事業着工
4月1日	●美術館建設準備室設置
4月13日	●建設地において起工式を挙行 工事全面着工
5月17日	●「美術資料取得基金」を5千万円に増額決定
7月2日	●造園工事開始＝富士緑化
9月28日	●9月県議会において、ミレー《種をまく人》、《夕暮れに羊を連れ帰る羊飼ひ》、ムーア《四つに分かれた横たわる人体》の企業局購入を決定
昭和53年 3月24日	●「美術資料取得基金」を1億5千万円に増額決定
4月1日	●「山梨県立美術館設置及び管理条例」、「山梨県立美術館協議会条例」及び両条例の「施行規則」、「処務規程」の制定施行
	●山梨県立美術館（事務局）発足
5月20日	●建築本体工事完成、最終検査
6月1日	●建築引渡し、事務局移転
7月10日	●ムーア彫刻設置
7月15日	●山梨県立美術館協議会（委員15名）発足
	●外構工事完了
	●コロドー《大農園》、クールベ《川辺の鹿》、ターナー《インヴェラレイ城の見えるファイン湾》を購入
8月3日	●山梨県立美術館初代館長に千澤楨治就任
8月26日	●美術館ボランティア開講式（講座開設8月26日～10月7日）
9月1日	●「山梨県立美術館専門委員会要綱」制定
	●山梨県立美術館専門委員会委嘱、委員会発足 （委員：富山秀男、高階秀爾、佐々木英也各氏）
9月28日	●「山梨県立美術館美術資料取扱要綱」制定
10月20日	●「山梨県立美術館施設使用取扱要綱」制定
11月2日	●開館記念式典挙行
11月3日	●開館 一般公開 企画展「ヨーロッパの風景画」（～1月15日）

常設展「ミレーとその周辺、県関係作家」
一般展「県芸術祭、美術、書道、写真」

- 昭和54年 1月12日 ●入館者数10万人に達す
2月4日 ●「近藤浩一路展」開催（～3月11日）
4月7日 ●「望月春江展」開催（～5月6日）
5月26日 ●「米倉壽仁展」開催（～6月24日）
7月26日 ●「ロダン展」開催（～8月19日）
10月4日 ●ミレー《ポーリーヌ・V・オノの肖像》、《ダフニスとクロエ》、《冬（凍えたキューピッド）》の3点を購入
10月13日 ●一周年記念展「ミレーとバルビゾン派」展開催（～11月23日）
昭和55年 1月8日 ●「小磯良平展」開催（～2月11日）
3月23日 ●観覧利用者数50万人に達す
4月4日 ●福沢一郎《失楽園》一般公開
4月19日 ●「川崎小虎展」開催（～5月21日）
6月1日 ●「ロートレックと歌麿展」開催（～6月29日）
8月1日 ●「ルドン展」開催（～8月31日）
10月17日 ●「生活にみる山梨の美 伝統の色の形」展開催（～11月24日）
昭和56年 1月8日 ●「浜田庄司展」開催（～2月11日）
1月25日 ●皇太子殿下、同妃殿下啓
2月19日 ●「昭和55年度新収蔵品展」（昭和55年以前の未陳列作品含む）開催
4月18日 ●「インドネシア古代美術展」開催（～5月17日）
5月18日 ●ミレー《ヴォージュ山中の牧場風景》を購入
5月23日 ●「クリムト」展開催（～6月28日）
5月27日 ●野口小蘋《溪山春霞》ほか5点を購入
6月14日 ●入館者数100万人に達す
7月17日 ●小磯良平《朝のひととき》ほか3点、小出檣重《静物》を購入
7月23日 ●近藤浩一路油彩画「五十三駅」の内10点、白瀧幾之助水彩画《伊国ナポリ》ほか25点を購入
7月25日 ●「岡本太郎展」開催（～9月15日）
8月4日 ●常陸宮殿下、同妃殿下お成り
9月25日 ●「名取春仙展」開催（～10月23日）
10月31日 ●「ピカソ陶芸展」開催（～12月31日）
昭和57年 1月8日 ●「昭和56年度新収蔵品展」開催（～2月28日）
4月17日 ●「鐵齋」展開催（～5月23日）
6月5日 ●「野口小蘋展」開催（～7月11日）
6月15日 ●加倉井和夫《春べ》、《冬》を購入
6月24日 ●近藤浩一路油彩画「五十三駅」の内11点、安井曾太郎素描《裸婦》ほか29点を購入
7月24日 ●「愛とユーモア・久里洋二の世界」展開催（～8月29日）
9月11日 ●「ブールデル展」開催（～10月24日）
11月3日 ●「近代日本絵画を築いた・天才達の20歳代作品展」開催（～12月12日）
昭和58年 1月8日 ●「昭和57年度新収蔵品展」開催（～2月13日）
1月10日 ●岡本太郎彫刻《樹人》を購入
4月6日 ●「シャガール展」開催（～5月8日）
5月15日 ●「シュールレアリスムの巨匠たち展」開催（～6月19日）
6月28日 ●ブールデル彫刻《ケンタウロス》を購入
7月2日 ●「良寛展」開催（～8月4日）
8月10日 ●「チェコガラスの美300年」展開催（～9月11日）
9月24日 ●開館5周年記念式典及び新収蔵品ブールデル彫刻《ケンタウロス》披露
9月25日 ●開館5周年記念特別展「時世粧の芸術・日本の女ごころ」開催（～11月23日）
10月22日 ●入館者数200万人に達す
12月27日 ●藤田嗣治『黙示録』より《天と地》を購入
昭和59年 1月8日 ●「昭和58年度新収蔵作品展」開催（～1月31日）
3月10日 ●「第1回山梨県新人選抜展」開催（～3月25日）
3月26日 ●池田龍雄《出口のない貌》ほか31点を購入
3月31日 ●ジュール・デュプレ《森外れの小川》、ヨンキント銅版画「オランダ風景」シリーズ7点を購入

- 4月7日 ●「マイヨール展」開催（～5月6日）
4月21日 ●千澤楨治館長逝去
5月12日 ●「ジャコモ・マンズー展」開催（～6月17日）
7月16日 ●西川新次館長就任
7月25日 ●藤田嗣治『黙示録』より《四人の騎士》を購入
8月4日 ●「シチリアの古代ギリシャ展」展開（～9月2日）
9月9日 ●「モローと象徴主義の画家たち」展開催（～10月4日）
10月21日 ●「宅間正一展」開催（～11月25日）
昭和60年1月8日 ●「昭和59年度新収蔵品展」開催（～1月31日）
3月30日 ●ミレー《落ち穂拾い》エッチング第一版を購入
4月23日 ●「ミレー展 ポストン美術館蔵」開催（～5月19日）
4月30日 ●「ミレー展シンポジウム」開催
5月25日 ●「ラファエル前派とその時代展」開催（～6月23日）
7月4日 ●「ピカソ展～長女マヤ・ピカソの秘蔵コレクション～」開催（～7月28日）
8月3日 ●「ミレーとバルビゾンの画家たち」展開催（～9月8日）
8月31日 ●藤田嗣治『黙示録』より《七つのトランペット》を購入
10月26日 ●「アルプ展」開催（～11月24日）
12月20日 ●原勝郎《街》、《校外の村》を購入
昭和61年1月8日 ●「昭和60年度新収蔵品展」開催（～1月3日）
1月31日 ●山崎隆夫《山下白雨》、近藤浩一路《甲斐駒ヶ岳》を購入
2月9日 ●入館者数300万人に達す
3月9日 ●「第2回山梨県新人選抜展」開催（～3月23日）
3月31日 ●トロワイヨン《近づく嵐》を購入
4月5日 ●「コンスタブル展」開催（～5月11日）
5月24日 ●「萩原英雄の世界」展開催（～6月29日）
7月18日 ●「エゴン・シーレとウィーン世紀末展」開催（～8月17日）
8月23日 ●「白簾史朗の世界」展開催（～9月15日）
9月6日 ●徳仁親王殿下お成り
9月27日 ●「山梨の文学と美術」展開催（～11月3日）
10月25日 ●田中繁吉《毛皮の女》を購入
10月30日 ●川崎小虎《行く秋》を購入
11月8日 ●「私のやまなし展」開催（～11月20日）
11月23日 ●「四ツ省現代美術展」開催（～12月21日）
12月6日 ●クールベ《嵐の海》を購入
昭和62年1月8日 ●「昭和61年度新収蔵品展」開催（～2月28日）
3月17日 ●萩原英雄「三十六富士」を購入
3月23日 ●梅原龍三郎《ばら》を小佐野賢治、小佐野政邦氏より寄贈受け入れ
4月8日 ●「石井鶴三展」開催（～5月10日）
5月16日 ●「バーン・ジョーンズと後期ラファエル前派展」開催（～6月21日）
7月4日 ●「中国・明清絵画展」開催（～8月16日）
8月17日 ●ミレー《鷺鳥を追う少女》、デューラー『黙示録』より《四人の騎士》、ドービニー《オワーズ河の夏の朝》を購入
8月27日 ●「ボン・タヴェン派とナビ派展」開催（～9月27日）
10月3日 ●「ポール・デービスの世界展」開催（～11月8日）
昭和63年1月5日 ●萩原英雄『ギリシャ神話』、川瀬巴水「旅みやげ第二集 甲州梁川」他25点、ジャスパー・ジョーンズ《腹話術師》を購入
1月8日 ●「昭和62年度新収蔵品展」開催（～1月31日）
3月6日 ●「第3回山梨県新人選抜展」開催（～3月21日）
3月31日 ●高芙蓉《静釣図》、《山水図》、近藤浩一路《双鶴図》を購入
4月2日 ●「魅惑の西洋絵画展」開催（～5月1日）
5月3日 ●「武田信玄の世界展」開催（～6月5日）
5月21日 ●入館者数400万人に達す
6月11日 ●「山梨の近代美術」展開催（～7月10日）
7月15日 ●ライスダール《ベントハイム城の見える風景》を購入
7月16日 ●「フランス近代風景画展」開催（～8月14日）
7月23日 ●クチュール《ゼリ・クールベの肖像》を購入

8月21日	●「李朝陶磁500年の美展、併設浅川伯教資料展」開催（～9月25日）
10月12日	●開館10周年記念特別展「中丸精十郎とその時代」展開催（～11月23日）
11月10日	●郷土作家シリーズ「野田修一郎展」開催（～11月27日）
平成元年 1月8日	●「昭和63年度新収蔵品展」開催（～1月31日）
3月4日	●郷土作家シリーズ「斎藤静輝展」開催（～3月21日）
3月20日	●加倉井和夫《春臈》を購入
4月8日	●「ヴィクトリア朝の絵画」展開催（～5月7日）
5月20日	●「吾妻兼治郎展」開催（～6月18日）
7月8日	●「山田申吾展」開催（～8月6日）
7月21日	●大河内夜江《たにまの春》、ブレイク『ヨブ記の挿絵』、藤川勇造《裸》ほか2点を購入
8月12日	●「宋滌」展開催（～9月24日）
10月7日	●「ザッキン展」開催（～11月23日）
11月3日	●芸術の森公園、県立文学館オープン
12月5日	●郷土作家シリーズ「手澤宗信展」開催（～12月5日）
12月15日	●野田修一郎《水呑み場》ほか1点、斎藤静輝《人と馬との景Ⅱ》ほか1点を購入
平成2年 1月3日	●「平成元年度新収蔵品展」開催（～1月21日）
2月11日	●郷土作家シリーズ「遠藤享展」開催（～2月28日）
3月8日	●「第4回山梨県新人選抜展」開催（～3月25日）
3月15日	●ルソー《櫛のある風景》を購入
4月6日	●「佐藤忠良のすべて」展開催（～5月6日）
5月12日	●「牛島憲之展」開催（～6月10日）
6月23日	●「川瀬巴水展」開催（～7月22日）
8月11日	●「佐藤正明展」開催（～9月16日）
9月8日	●入館者数500万人に達す
10月6日	●「クノップ展」開催（～11月11日）
平成3年 1月8日	●「平成2年度新収蔵品展」開催（～1月31日）
2月10日	●郷土作家シリーズ「進藤春木展」開催（～2月27日）
2月15日	●ボテロ彫刻《リトル・バード》、ザッキン彫刻《三美神》、グレコ彫刻《うずくまる女》、 佐藤忠良彫刻《カモシカと少年》、吾妻兼治郎彫刻《Y U-5》を購入
3月7日	●郷土作家シリーズ「早川重章展」開催（～3月24日）
4月1日	●濱田隆館長就任
4月6日	●「芸術が都市をひらく」展開催（～5月12日）
5月25日	●「現代の屏風絵」展開催（～6月30日）
7月13日	●「深沢幸雄展」開催（～8月25日）
8月31日	●ドラクロワ『ハムレット連作』を購入
9月7日	●「イギリスの水彩展」開催（～10月20日）
9月30日	●グレコエッチング《作品Ⅱ》ほか8点を購入
11月3日	●「ミレー展」開催（～12月8日）
12月15日	●「平成3年度新収蔵品展」開催（～1月15日）
平成4年 1月25日	●郷土作家シリーズ「森川勇展」開催（～2月11日）
1月31日	●近藤浩一路《下京の夜》、深沢幸雄《骨疾（B）》ほか59点、ディアズ《森の中で魚 釣りをする子供たち》、山本正文《花びらⅠ～Ⅲ》ほか2点、早川重章《伝承》ほ か1点、進藤春木《草むらの秋》ほか1点を購入
2月16日	●郷土作家シリーズ「飯田四郎展」開催（～3月4日）
3月8日	●「第5回山梨県新人選抜展」開催（～3月26日）
3月31日	●浅岡慶子《阿梨耶》、近藤浩一路《人物》を購入
4月4日	●「エゴン・シーレ展」開催（～5月21日）
5月23日	●「呉団良展」開催（～7月19日）
8月1日	●「伊東深水 全木版画展」開催（～8月30日）
9月5日	●「フィラデルフィア美術館展」開催（～10月4日）
10月10日	●「大木コレクション名品展」（～12月13日）
10月12日	●飯田四郎《天上の美神たち》を購入
10月20日	●森川勇《作品67-B（2つのスペース）》ほか1点を購入
平成5年 1月8日	●「平成4年度新収蔵品展」開催（～1月31日）
	●ディアズ《フォンテーヌブローの櫛の木》、望月春江《花（ダリア）》ほか8点を購入
2月6日	●郷土作家シリーズ「武田好文展」開催（～2月21日）

- 2月26日 ●入館者数600万人に達す
- 3月6日 ●郷土作家シリーズ「佐野智子展」開催（～3月21日）
- 3月31日 ●穴山勝堂《墨松図》、コルヴィッツ《蜂起》、《戦争》を購入
- 4月2日 ●「プチ・パレ美術館名品展」開催（～5月5日）
- 5月22日 ●「葡萄とワインの美術」展開催（～8月22日）
- 7月30日 ●トロワイヨン《市日》ほか5点を購入
- 7月31日 ●クロード・ロラン《木を伐り出す人々》ほか1点を購入
- 8月28日 ●「アフリカ彫刻展」開催（～9月26日）
- 10月16日 ●開館15周年記念特別展「バルビゾン派と日本」展開催（～12月5日）
- 11月4日 ●開館15周年記念式典《ミレーとルソーの記念碑》除幕
- 12月24日 ●ジュール・デュプレ《森の中ー夏の朝》を購入
- 平成6年1月8日 ●「平成5年度新収蔵品展」開催（～1月16日）
- 1月22日 ●郷土作家シリーズ「鈴木美江展」開催（～2月8日）
- 2月13日 ●「第6回山梨県新進作家選抜展」開催（～3月4日）
- 3月11日 ●郷土作家シリーズ「山田耕三の世界展」開催（～3月27日）
- 4月2日 ●「舟越保武の世界」展開催（～5月8日）
- 5月12日 ●「一九三〇年代上海・魯迅」展開催（～6月26日）
- 6月15日 ●ゴヤ銅版画集『闘牛技』を購入
- 7月2日 ●「三枝茂雄展」開催（～7月31日）
- 8月6日 ●「ヨーロッパ工芸新世紀展」開催（～9月25日）
- 10月1日 ●「トゥール美術館展」開催（～11月6日）
- 10月24日 ●コルヴィッツ《青い布を羽織った女性労働者の胸像》ほか15点を購入
- 11月24日 ●空調工事に伴う休館（～平成7年2月27日）
- 12月10日 ●「近代文学とミレー展」開催（～平成7年2月19日）会場：県立文学館
- 平成7年2月8日 ●ミレー《夏（ケレス）》のための習作を購入
- 2月28日 ●「平成6年度新収蔵品展」開催（～3月19日）
- 3月6日 ●シーレ《自画像》ほか13点を購入
- 3月25日 ●郷土作家シリーズ「石井精一展」開催（～4月16日）
- 4月22日 ●「香月泰男 シベリア・シリーズ展」開催（～6月4日）
- 6月17日 ●子供のための美術展'95「美術の光・光の美術」開催（～8月6日）
- 8月12日 ●「マックスフィールド・パリッシュ展」開催（～9月10日）
- 9月16日 ●「時間・空間・思索・彫刻家ーダニ・カラヴァン」展開催（～10月22日）
- 11月3日 ●「時衆の美術と文芸」展開催（～12月10日）
- 平成8年1月9日 ●「平成7年度新収蔵品展」開催（～1月28日）
- 1月31日 ●ミレー《グレヴィルの断崖》ほか17点を購入
- 2月4日 ●「第7回山梨県新進作家選抜展」開催（～2月23日）
- 3月2日 ●郷土作家シリーズ「山川輝夫展」開催（～3月24日）
- 3月25日 ●ミレー《落ち穂拾い、夏》を購入（山梨県公営企業40周年記念事業）
- 3月26日 ●《落ち穂拾い、夏》の購入を記念して常設展無料公開（～3月31日）
- 4月2日 ●「柳原義達展」開催（～5月5日）
- 5月12日 ●「笠松紫浪木版画展」開催（～6月16日）
- 6月16日 ●入館者数700万人に達す
- 6月22日 ●「暁斎の戯画・狂画展」開催（～7月21日）
- 7月31日 ●皇太子殿下・同妃殿下行啓
- 8月1日 ●「水の記憶展」開催（～9月23日）
- 10月5日 ●「ミロ版画1933ー1963」展開催（～12月1日）
- 12月18日 ●ジャック《森の中の羊の群れ》ほか31点を購入
- 平成9年1月15日 ●「平成8年度新収蔵品展」開催（～2月8日）
- 2月15日 ●「'97ぶどうの国の国際版画ビエンナーレ」展開催（～3月16日）
- 3月20日 ●郷土作家シリーズ「水出陽平展」開催（～4月20日）
- 4月26日 ●「懐かしい風景・伊藤孝之木版画展」開催（～6月1日）
- 6月14日 ●子どものための美術展'97「2D？3D！たて、よこ、たかさ。ひろがり…」開催（～8月10日）
- 7月1日 ●収蔵庫増築工事着工（～平成10年9月30日）
- 8月23日 ●「アルザスとフランス近代美術の歩み」展開催（～9月28日）
- 10月4日 ●「アイルランド美術の100年」展開催（～11月9日）

10月28日	●特別展示「向嶽寺の名宝」展開催（～11月9日）
11月22日	●「シャルル・デスピオ展」開催（～12月21日）
12月8日	●耐震補強他改修工事着工（～平成10年7月31日）
平成10年 1月11日	●郷土作家シリーズ「早川二三郎展」開催（～2月1日）
2月6日	●「第8回山梨県新進作家選抜展」開催（～2月27日）
3月1日	●耐震補強他改修工事のため休館（～6月1日）
3月7日	●「県立美術館所蔵名品展」を美術館休館にともない文学館で無料開催（～5月31日）
3月27日	●ジュリアン・デュプレ《牧草の取り入れ》、中西夏之《白、緑より白くーⅣ》、山本正文シリーズ「太陽」（4点組）ほか4点を購入
4月25日	●「画文交響」展を県立文学館で文学館と共催で開催（～6月28日）
6月13日	●「近代日本画に見る美人画名作展」開催（～7月12日）
7月22日	●「山梨の現代作家たち1984－1998」展開催（～9月15日）
7月28日	●ミレー《鶏に餌をやる女》を購入
9月26日	●開館20周年記念特別展「自然に帰れーミレーと農民画の伝統ー」展開催（～12月6日）
10月19日	●開館20周年記念式典及び新収蔵庫竣工披露（建物面積1,621㎡、延床面積8,505㎡）
10月20日	●特別展示「穴山氏の肖像画と応挙の秋草図」を常設展示室で開催（～12月17日）
11月7日	●「自然に帰れーミレーと農民画の伝統ー」展シンポジウム開催
平成11年 1月8日	●「平成9、10年度新収蔵品展」開催（～2月7日）
2月20日	●「'99ぶどうの国の国際版画ビエンナーレ」展開催（～3月28日）
4月17日	●「ダリの世界」展開催（～5月30日）
6月12日	●「ルーベンスとバロック絵画の巨匠たち」展開催（～7月18日）
7月31日	●「現代中国画五十年の鼓動」展開催（～9月26日）
10月9日	●「山梨県立美術館名品選」展開催（～12月12日）
平成12年 1月8日	●企画展示「甲府道祖神祭と広重の幕絵」開催（～2月13日）
2月26日	●郷土作家シリーズ「窪田知矩展」開催（～3月26日）
3月17日	●萩原英雄コレクション（本人の蒐集品及び本人作品）の寄贈受け入れ
4月1日	●島田紀夫館長就任
4月15日	●「のむら清六展」開催（～5月28日）
6月17日	●「現代美術百貨展」開催（～8月16日）
6月24日	●入館者数800万人に達す
7月25日	●ミレー《無原罪の聖母》を㈱相川プレス工業より寄贈受け入れ
8月25日	●大島文部大臣来館
8月26日	●「黄金王国モチェ発掘展」開催（～10月1日）
10月21日	●「グレー村の画家たち展」開催（～11月26日）
12月2日	●「平成11、12年度新収蔵品展」開催（～12月20日）
平成13年 1月20日	●「萩原英雄コレクション展」開催（～3月25日）
4月7日	●「萩原英雄全仕事」展開催（～5月27日）
6月9日	●「バルビゾンの画家たち」展開催（～7月22日）
8月4日	●「アートになった動物たち」展開催（～9月16日）
10月13日	●「大名細川家の至宝」展開催（～11月25日）
平成14年 2月19日	●「新版 日本の美術」展開催（～3月29日）
4月13日	●「所蔵名品展」開催（～6月2日）
6月15日	●「シニャック」展開催（～7月14日）
7月27日	●「桑原福保展」開催（～9月1日）
9月14日	●開館25周年記念特別展「ボストンと山梨のミレー」展開催（～11月4日）
9月20日	●清子内親王殿下お成り
11月2日	●高円宮殿下・同妃殿下お成り
11月6日	●展示施設増築工事着工
11月16日	●「戦後のおもちゃと遊び」展開催（～12月15日）
平成15年 1月11日	●「ボルティモア美術館所蔵 バルビゾン派～印象派展」開催（～2月16日）
2月25日	●「平成14年度新収蔵品展」開催（～3月16日）
4月5日	●「桃山陶に魅せられた七人の陶芸家」展開催（～5月25日）
6月7日	●「ブルガリア現代版画と日本ーそれぞれの版表現ー」展開催（～7月21日）
8月2日	●「白簀史朗 日本と世界の名峰を讃う」展開催（～9月15日）
8月9日	●入館者数900万人に達す
9月27日	●「ポール・ホリウチ展ーシアトルに渡った日本の感性ー」開催（～11月24日）

11月25日	●増築棟と接続工事のため休館（～平成16年4月2日）
12月9日	●ミレーとバルビゾン派の作品の一部を文学館で展示（～3月28日）
平成16年4月2日	●展示施設増築工事竣工披露
4月3日	●修復報告展「よみがえるミレーと所蔵名品」開催（～5月16日）
5月29日	●「神と人とファラオー古代エジプトの美」展開催（～7月11日）
7月15日	●ルソー《フォンテーヌブローの森のはずれ》を三枝守雄、三枝佐枝子氏より寄贈受け入れ
7月21日	●「親子で楽しむ美術展－絵ができるまで－」開催（～8月25日）
9月11日	●「京都の日本画－京都画壇の俊英たち－」展開催（～10月24日）
11月3日	●新展示室オープニング式典
11月3日	●「マン・レイ展『私は謎だ。』」開催（～12月15日）
平成17年2月19日	●「近代から現代へ－戦後木版画の革新」展開催（～3月27日）
4月23日	●「明治の宮廷画家 野口小蘗と近代南画」展開催（～6月5日）
6月18日	●「絵になった富士山」展開催（～7月24日）
8月6日	●「サヴァリン・ワンダーマン・コレクション ジャン・コクトー展」開催（～9月7日）
9月17日	●「南仏モンペリエ ファーブル美術館所蔵 魅惑の17-19世紀フランス絵画展」開催（～11月3日）
11月12日	●「平木コレクション 浮世絵名作展」開催（～3月12日）
平成18年1月28日	●「平成17年度新収蔵品展」開催（～3月12日）
4月1日	●白石和己館長就任
4月15日	●「－柳宗悦の心と眼－ 柳宗悦の民藝と巨匠たち展」開催（～5月21日）
6月3日	●「－ドイツ表現主義の彫刻家－エルンスト・バルラハ展」開催（～7月17日）
7月22日	●「夏休み企画 こんな顔 あんな顔 いろんな顔」展開催（～8月18日）
8月26日	●「巴里憧憬 エコール・ド・パリと日本の画家たち」展開催（～10月1日）
10月15日	●入館者数1000万人に達す
10月21日	●「光の水墨画 近藤浩一路の全貌」展開催（～11月26日）
平成19年1月20日	●「バルセロナ35年の軌跡 山本正文の世界」展開催（～2月25日）
4月21日	●「川崎小虎と東山魁夷展」開催（～5月27日）
6月2日	●「シュルレアリスム展 謎をめぐる不思議な旅」開催（～7月8日）
7月21日	●「親と子で見る絵本原画展 一宮城県美術館コレクションから」開催（～8月26日）
9月8日	●「プラハ国立美術館展 ルーベンスとブリューゲルの時代」開催（～10月14日）
10月27日	●「深沢幸雄展 ーいのちの根源を謳うー」開催（～12月9日）
平成20年1月26日	●「平成18・19年度新収蔵品展」開催（～3月2日）
2月27日	●「萩原英雄追悼展」開催（～5月25日）
4月3日	●「The Big Apple No.45」除幕式
4月19日	●開館30周年記念特別展「田園讃歌 近代絵画に見る自然と人間」開催（～6月1日）
6月7日	●開館30周年記念特別展「富士山－近代に展開した日本の象徴」開催（～7月21日）
7月26日	●開館30周年記念特別展「みんな大好きアンパンマン やなせたかしの世界」開催（～8月31日）
7月29日	●ジュール・デュプレ《海景》を購入契約
9月13日	●開館30周年記念特別展「県美30年の歴史 わたしが選ぶこの一点」開催（～12月21日）
10月9日	●ミレー《眠れるお針子》、ジュール・ブルトン《朝》、アンリ＝ジョゼフ・アルピニー《陽のあたる道》を購入契約
10月18日	●開館30周年記念 アート・アンド・クラフト市開催（～10月19日、25日、26日）
11月4日	●本館常設展示室閉室・改修工事（～12月21日）
平成21年1月5日	●「ミレー館」オープニング式典
1月6日	●「ミレー館」リニューアルオープン、新収蔵作品《眠れるお針子》他3点一般公開
1月6日	●南館展示室（新 特別展示室）閉室・現場工事（ガラスケース）（～2月5日）
2月7日	●開館30周年記念特別展「山梨に眠る秘蔵の日本美術」開催（～3月29日）
2月10日	●本館特別展示室（新 常設展示室Ⅱ）閉室・工事（ガラスケース・電気設備）（～3月1日）
4月1日	●美術館・文学館・芸術の森公園の管理運営業務に指定管理者制度を導入
4月18日	●「ベルギー近代絵画のあゆみ」展開催（～7月5日）
7月19日	●「ハンス・フィッシャーの世界」展開催（～8月23日）
9月1日	●「地域文化振興プランやまなし2009 山梨県芸術の森公園 文化の種まきプロジェクト」開催（～12月23日）
9月12日	●ミュージアム甲斐・ネットワーク事業「やまなしの美術館大全展」開催（～9月27日）

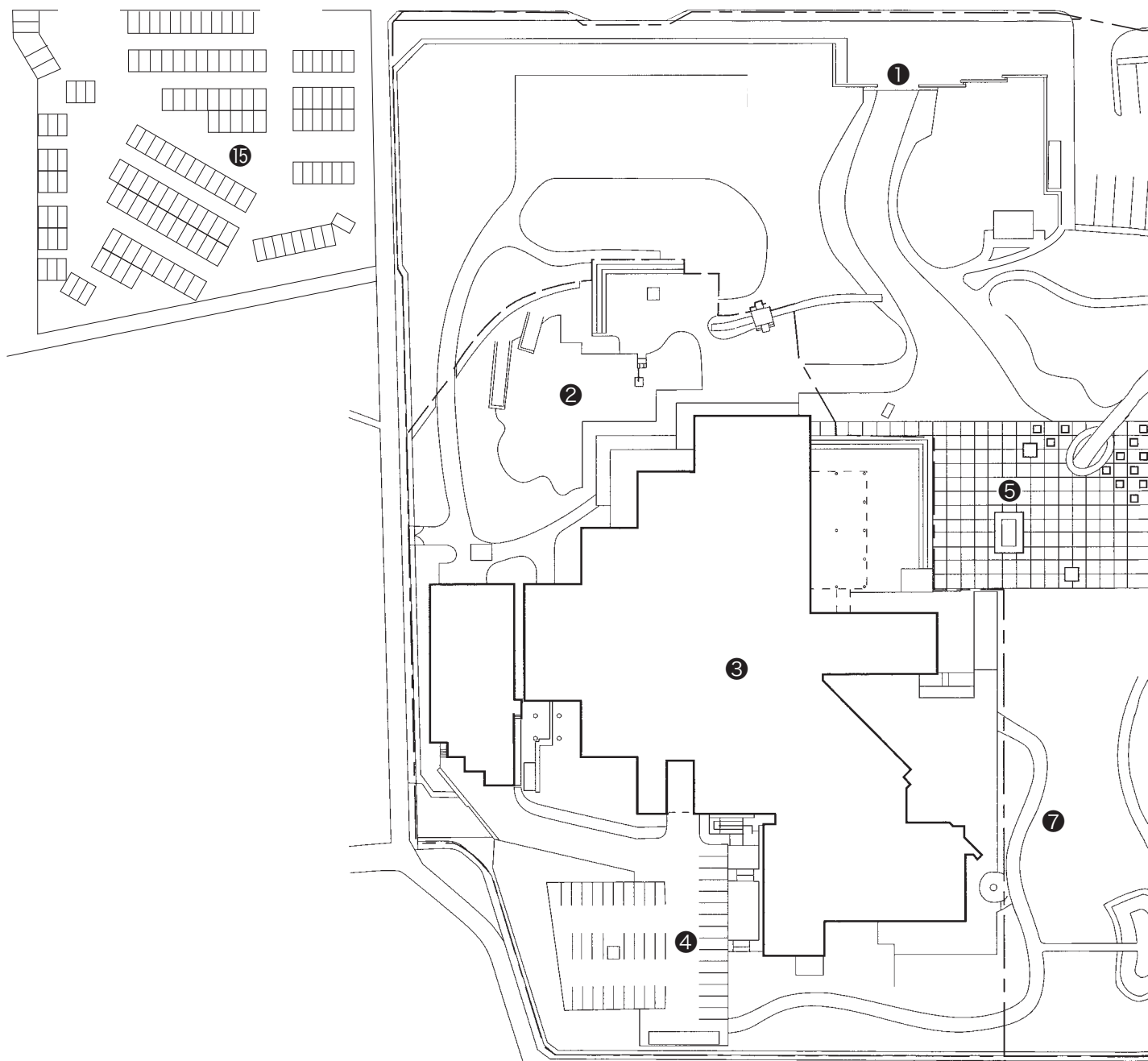
- 9月30日 ●美術館・文学館屋外通路他改修工事（～平成22年2月5日）
- 10月17日 ●「イメージをめぐる冒険」展開催（～11月23日）
- 12月23日 ●「美しきアジアの玉手箱」展開催（～平成22年2月28日）
- 平成22年 3月13日 ●「平成20・21年度 新収蔵品展」開催（～3月28日）
- 4月10日 ●「愛のヴィクトリアン・ジュエリー展」開催（～6月6日）
- 6月19日 ●「池田龍雄 アヴァンギャルドの軌跡」展開催（～7月19日）
- 7月25日 ●「くじらぐもからチックタックまで」展開催（～8月29日）
- 9月4日 ●「フェリックス・ティオリエ写真展」開催（～10月17日）
- 10月30日 ●「小林一三の世界展」開催（～11月30日）
- 11月13日 ●観覧者数1200万人に達す
- 12月3日 ●県民ギャラリー閉室・改修工事（～12月16日）
- 平成23年 1月15日 ●「ひびきあう作品たち 所蔵作品特集展」開催（～2月27日）
- 3月5日 ●「平成22年度 新収蔵品展」開催（～5月18日）
- 5月10日 ●「ゲージュツのウラ」展開催（～6月26日）
- 7月9日 ●「ムーミンと仲間たち」展開催（～8月28日）
- 9月17日 ●「川端康成コレクションと東山魁夷」展開催（～11月6日）
- 11月19日 ●「浅川伯教・巧 兄弟の心と眼」展開催（～12月25日）
- 12月14日 ●ミレー《古い堀》を購入契約
- 12月15日 ●レオン＝オーギュスタン・レルミット《洗濯をする女たち》を購入契約
- 平成24年 1月10日 ●「モーリス・ドニ」展開催（～3月4日）
- 3月24日 ●「平成23年度 新収蔵品展」開催（～4月15日）
- 4月18日 ●「マリー・ローランサンと東郷青児展」開催（～6月24日）
- 6月12日 ●2012夏のスペシャル展示「美術館に行こう！ ディック・ブルーナに学ぶモダン・アート」の楽しみ方」開催（～9月17日）
- 7月14日 ●「増田誠 パリー人生の哀歓」展開催（～9月23日）
- 10月13日 ●「大倉集古館名品展 豪快なる大倉財閥の美術コレクション」開催（～11月25日）
- 12月15日 ●「十一屋コレクションの名品～野口柿郎をめぐる文人たち～」展開催（～平成25年2月11日）
- 平成25年 1月2日 ●富士の国やまなし国文祭記念事業「山梨県立美術館ミレー・コレクションのすべて」展開催（～3月3日）
- 3月30日 ●「平成24年度新収蔵品展」開催（～4月14日）
- 4月27日 ●富士の国やまなし国文祭記念事業「望月春江とその時代」展開催（～6月9日）
- 6月15日 ●富士の国やまなし国文祭記念事業「やまなしの美術大全 水をめぐる旅」展開催（～6月30日）
- 7月13日 ●開館35周年記念
「近代自然主義絵画の成立 オランダ・ハーグ派展」開催（～8月25日）
- 9月7日 ●富士の国やまなし国文祭記念事業「日本のわざと美」展開催（～10月14日）
- 10月26日 ●富士の国やまなし国文祭記念事業「生誕100年 萩原英雄展」開催（～12月8日）
- 12月14日 ●「動物ものがたり」展開催（～平成26年1月19日）
- 平成26年 3月29日 ●「平成25年度新収蔵品展」開催（～4月13日）
- 4月1日 ●指定管理第2期
- 4月26日 ●「動く！光る？魔法の芸術 キネティック・アート」展開催（～6月15日）
- 7月19日 ●開館35周年記念「生誕200年 ミレー展」開催（～8月31日）
- 9月20日 ●「やまなしの戦後美術 四人の革新者たち」展開催（～11月3日）
- 11月15日 ●「大阪新美術館コレクション 佐伯祐三とパリ ポスターのある街角」展開催（～平成27年1月18日）
- 平成27年 1月3日 ●コレクション企画展「山梨の魅力～風景と人々の営み」開催（～3月1日）
- 3月21日 ●「平成26年度新収蔵品展」開催（～4月12日）
- 4月18日 ●「夜の画家たち 蝋燭の光とテネブリスム」展開催（～6月14日）
- 6月27日 ●「印象派の故郷 ノルマンディー ～近代風景画のはじまり～」展開催（～8月23日）
- 9月1日 ●「ルートヴィヒ・コレクション ピカソ」展開催（～10月25日）
- 11月3日 ●「花の画家 ルドウィーテのバラ展」開催（～平成28年1月17日）
- 平成28年 1月8日 ●観覧者数1300万人に達す
- 1月26日 ●コレクション企画展「命をめぐる物語ー画家たちはその時なにを思って描いたのかー」開催（～3月6日）
- 2月26日 ●テーマ展示室（旧常設展示室Ⅱ）壁面改修工事（塗装）完了

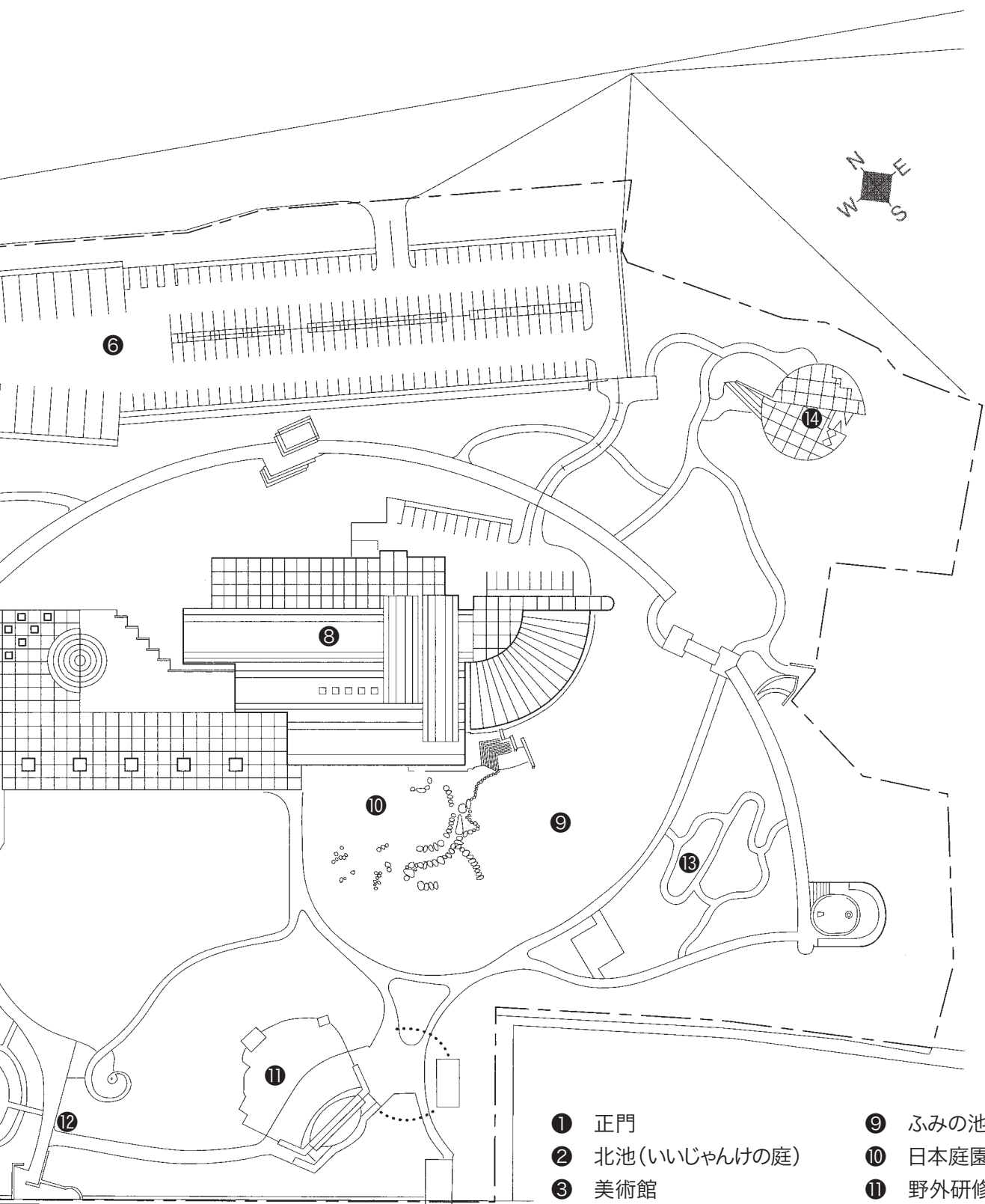
3月26日	●「平成27年度新収蔵品展」開催（～4月10日）
3月31日	●案内標識改修工事（外国人対応拡充事業）完了
4月23日	●「ルネサンスの巨匠 ミケランジェロ」展開催（～6月12日）
6月25日	●「美し、やまなし、パワー！ 山梨の女性アーティストたち」展開催（～8月21日）
9月3日	●「国立美術館巡回展 煌めく名作たち」展開催（～10月10日）
10月22日	●「フランスの風景 樹をめぐる物語—コローからモネ、ピサロ、マティスまで—」展開催（～12月11日）
平成29年 1月21日	●コレクション企画展「没後100年 野口小嶺」開催（～2月26日）
3月18日	●「平成28年度新収蔵品展」開催（～4月2日）
4月1日	●青柳正規館長就任
15日	●「バロックの巨匠たち ルーベンス、レンブラント、ベラスケスと栄光の時代」展開催（～6月11日）
7月1日	●「フジフィルム・フォトコレクション 私の1枚 日本の写真史を飾った101人」展開催（～8月20日）
9月2日	●「ヴラマンク展 絵画と言葉で紡ぐ人生」開催（～10月22日）
11月3日	●「狩野芳崖と四天王—近代日本画、もうひとつの水脈—」展開催（～12月17日）
平成30年 1月2日	●「コレクション企画展 山梨県立美術館物語—40年間のストーリー&ヒストリー—」開催（～3月4日）
3月27日	●ハロゲン消火設備取替修繕完了
4月13日	●キャッチコピー「種をまく 世界がひろく」及びアイコン「種をまく人」発表
4月21日	●開館40周年記念「『100万回生きたねこ』 佐野洋子の世界」展開催（～6月17日）
6月30日	●開館40周年記念「魔法の美術館 光と遊ぶ、真夏のワンダーランド」展開催（～8月26日）
7月4日	●《角笛を吹く牛飼い》を購入契約
9月1日	●開館40周年記念「銅版画の詩人 追悼 深沢幸雄展」開催（～10月8日）
10月16日	●開館40周年記念事業「文化の種まきプロジェクト」開催（～3月3日） （一部、地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業）
10月19日	●開館40周年記念式典
10月20日	●開館40周年記念「シャルル＝フランソワ・ドービニー バルビゾン派から印象派への架け橋」展開催（～12月16日）
12月18日	●野口コレクションの寄贈受け入れ
平成31年 2月2日	●「平成30年度 新収蔵品展」開催（～3月3日）
4月1日	●指定管理第3期（～令和5年3月31日）
4月13日	●「デザインあ展 in YAMANASHI」開催（～6月9日）
令和元年 6月22日	●「黄昏の絵画たち 近代絵画に描かれた夕日・夕景」展開催（～8月25日）
9月7日	●「萩尾望都SF原画展 宇宙にあそび、異世界にはばたく」開催（～11月4日）
11月16日	●「現代日本の工芸 —国際交流基金寄託作品と山梨の工芸—」展開催 （～令和2年1月13日）
令和2年 2月8日	●「コレクション企画展 野口コレクションの精華」展開催 （～3月8日 ※2月28日～臨時休室）
2月28日～	●新型コロナウイルス感染拡大防止のため展示室休室
4月1日	●組織改編のため美術館が教育庁から知事部局観光文化部に移管になる
4月7日	●新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館（～5月31日）
6月2日	●コレクション展、ミュージアムショップ、レストラン再開
8月12日	●山梨県文化観光推進地域計画認定（令和2年度～令和6年度）
9月11日	●「クールベと海 フランス近代 自然へのまなざし」展開催（～11月3日）
10月6日	●山梨県立美術館地域文化観光推進事業開始
11月14日	●「栗田宏一・須田悦弘展—Contentment in the details—」開催（～令和3年1月31日）
令和3年 2月6日	●山梨アートプロジェクト2020「開発好明《テーブルズ》」（～3月21日）
2月11日	●「キューガーデン 英国王室が愛した花々 シャーロット王妃とボタニカルアート」展開催（～3月28日）
3月18日	●ホームページリニューアル ●館内Wi-Fi整備完了
4月6日	●山梨県立美術館地域文化観光推進事業実施（～令和4年3月31日）
4月24日	●「テオ・ヤンセン展」開催（～6月22日）

- 7月10日 ●「蜷川実花展 ―虚構と現実の間に―」開催（～臨時休館のため8月7日終了）
- 8月8日 ●新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館（～9月12日）
- 9月14日 ●「新版画 ―笠松紫浪を中心に―」展開催（～10月24日）
- 11月3日 ●「シダネルとマルタン展 最後の印象派」開催（～令和4年1月10日）
- 11月16日 ●山梨アートプロジェクト2021
「深澤孝史《道祖神リプレゼンテーション》」「藤原隆洋《In the Wind》」
（～12月12日）
- 11月23日 ●山梨アートプロジェクト2021
「宇田奈緒《不在の中の在 ―Presence in the Absence―》」（～12月12日）
- 令和4年3月15日 ●コレクション企画展「クローン文化財 ミレーの《種をまく人》」開催（～3月27日）
- 4月1日 ●山梨県立美術館地域文化観光推進事業実施（～令和5年3月31日）
- 4月16日 ●「フランソワ・ポンボン展」開催（～6月12日）
- 7月16日 ●「宮城県美術館所蔵 絵本原画の世界2022」開催（～8月28日）
- 9月10日 ●「縄文-JOMON-展」開催（～11月6日）
- 10月8日 ●山梨アートプロジェクト2022「諏訪綾子展 TALISMAN in the woods 内臓であじわ
う循環のテイスト」（～10月30日）
- 11月19日 ●「米倉壽仁展 透明ナ歳月 詩情（ポエジイ）のシュルレアリスム画家」開催
（～令和5年1月22日）
- 12月16日 ●観覧者数1400万人に達す
- 令和5年2月28日 ●LABONCHI たかくらかずき「メカリアル」展開催（～3月26日）
- 4月1日 ●山梨県立美術館地域文化観光推進事業実施（～令和6年3月31日）
- 4月22日 ●「開館45周年記念 山梨県立美術館コレクションREMIX」開催（～6月11日）
- 6月1日 ●「新たな価値を生み出す山梨県立美術館ビジョン」策定
- 7月1日 ●「開館45周年記念 ミレーと4人の現代作家たち」開催（～8月27日）
- 9月9日 ●「開館45周年記念 テルマエ展 お風呂でつながる古代ローマと日本」開催
（～11月5日）
- 11月18日 ●「アーツ・アンド・クラフツとデザイン ウィリアム・モリスからフランク・ロイド・
ライトまで」開催（～令和6年1月21日）
- 令和6年2月27日 ●LABONCHI 雨宮庸介「まだ溶けてないほうの山梨県美」（～3月24日）

■ 施設・設備の概要

芸術の森公園建物配置図

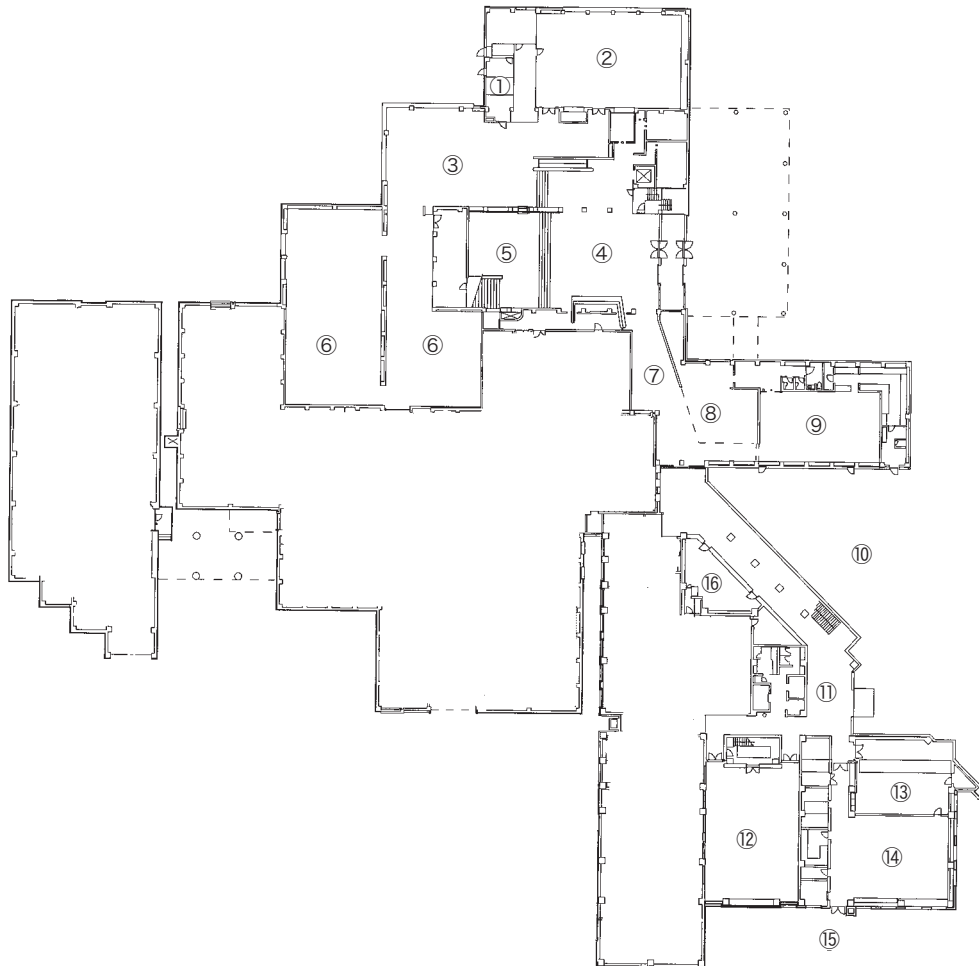




- | | |
|----------------|-----------|
| ① 正門 | ⑨ ふみの池 |
| ② 北池(いいじゃんけの庭) | ⑩ 日本庭園 |
| ③ 美術館 | ⑪ 野外研修施設 |
| ④ 第2駐車場 | ⑫ バラ園 |
| ⑤ さんさん広場 | ⑬ ボタン園 |
| ⑥ 第1駐車場 | ⑭ 茶室「素心菴」 |
| ⑦ プロムナード | ⑮ 第3駐車場 |
| ⑧ 文学館 | |

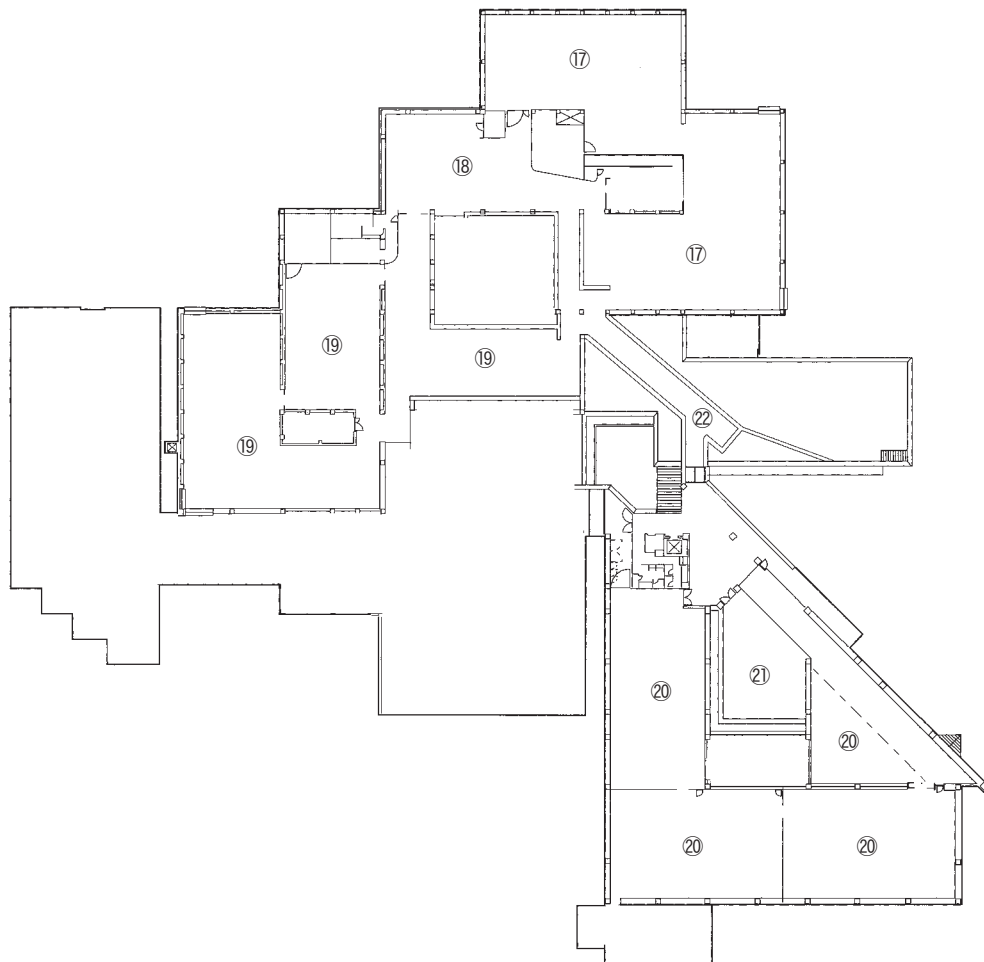
平面図

▶ 1 階



- | | |
|---------------|------------|
| ① 休憩室 | ⑪ 南館エントランス |
| ② 県民ギャラリー C | ⑫ 講堂 |
| ③ 1F ロビー | ⑬ ワークショップ室 |
| ④ エントランスホール | ⑭ 工房 |
| ⑤ ギャラリー・エコー | ⑮ 屋外テラス |
| ⑥ 県民ギャラリー AB | ⑯ 美術図書室 |
| ⑦ 情報コーナー | |
| ⑧ ミュージアム・ショップ | |
| ⑨ レストラン | |
| ⑩ ミュージアム・コート | |

▶ 2 階



- ①⑦ ミレー館
- ①⑧ 2Fロビー
- ①⑨ テーマ展示室
- ②⑩ 特別展示室
- ②⑪ 萩原英雄記念室
- ②⑫ 富士見の窓

(平成21年1月6日より部屋名一部変更)

建物用途別面積

(平成21年1月6日より部屋名一部変更)

	部 屋 名	床面積 (㎡)
展 示 部 門	ミ レ ー 館 A	429.32
	ミ レ ー 館 B	371.51
	テーマ展示室 C 1	358.93
	テーマ展示室 C 2	212.04
	テーマ展示室 C 3	405.60
	萩原英雄記念室	171.95
	特別展示室(A)	299.45
	特別展示室(B)	299.45
	特別展示室(C)	266.68
	特別展示室(D)	282.93
	ワークショップ室	110.36
	そ の 他	82.03
	小 計	3,290.25
教 育 活 動 部 門	県民ギャラリー A	288.24
	県民ギャラリー B	209.95
	県民ギャラリー C	221.95
	県民ギャラリー控室	25.40
	美術図書室	63.33
	工 房	184.59
	講 堂	194.60
	そ の 他	107.77
	小 計	1,295.83

	部 屋 名	床面積 (㎡)
収 蔵 部 門	収 蔵 庫 1	184.81
	収 蔵 庫 2	179.89
	収 蔵 庫 3	299.74
	収 蔵 庫 4	411.81
	収 蔵 庫 5	113.60
	収 蔵 庫 前 室 1	17.56
	収 蔵 庫 前 室 2	37.98
	収 蔵 庫 前 室 3	46.33
	一時保管庫兼検証室	177.83
	小 計	1,469.55
管 理 部 門	館 長 室	39.48
	応 接 室	39.48
	会 議 室	54.18
	事 務 室	119.16
	学芸員室・学芸諸室	142.65
	監 視 員 室	38.71
	電機・機械・中央監視室	1,306.76
	警 備 員 室・宿 直 室	15.61
	作 業 員 室	17.96
	そ の 他	1,424.91
そ の 他	小 計	3,198.90
	そ の 他	2,764.29
計		12,018.82

	平成16年度増築部分	既存部分	合 計	単 位
1 階 床 面 積	1,715.10	4,368.82	6,083.92	㎡
2 階 床 面 積	1,798.85	3,862.14	5,660.99	㎡
屋 階 / 3 階 床 面 積	—	273.91	273.91	㎡
延 床 面 積	3,513.95	8,504.87	12,018.82	㎡
建 築 面 積	1,773.00	4,423.14	6,196.14	㎡

■ 特 別 展

開館45周年記念 山梨県立美術館コレクションREMIX



ポスター



展示風景

会 期 令和5年4月22日(土)～6月11日(日)

主 催 山梨県立美術館

後 援 NHK甲府放送局 山梨日日新聞社・山梨放送
テレビ山梨 テレビ朝日甲府支局 朝日新聞甲府
総局 毎日新聞甲府支局 読売新聞甲府支局
産経新聞甲府支局 共同通信社甲府支局 時事通
信社甲府支局 山梨新報社 日本ネットワークサ
ービス エフエム富士 エフエム甲府

協 力 山梨交通

会 場 山梨県立美術館 特別展示室

山梨県立美術館は開館以来45年間、館の根幹となるコレクションの充実を図ってきた。本展ではコレクション内の優品をアーカイブ資料などとともに展示し、会期中は展示室内などで様々なイベントを開催した。当館の大黒柱である収蔵作品と、新たな鑑賞方法や活用方法を掛け合わせる、いわばコレクションの「リミックス」を通じて、美術館の今後の可能性を探った。

■国際交流員とめぐるギャラリーツアー

担当学芸員の案内で、山梨県に所属する国際交流員とギャラリーツアーを日本語で行った。

日時／講師

- ① 4月25日(火)：デエゴ・ラモス氏（ブラジル出身）
- ② 4月29日(土・祝)：駒井マケイ氏（アメリカ出身）
- ③ 6月10日(土)：ルチア・マジョ氏（カナダ出身）

全日午後1時30分～

場 所 講堂

■英語でギャラリーツアー！（Gallery Tour in English）

当館で初めて英語でギャラリーツアーを行った。

日 時 5月13日(土) 午後2時～

講 師 担当学芸員

対 象 不問

場 所 特別展示室

■講演会「白衣の中に、アートの心を。」

～美術が変える医療従事者のまなざし～

医療現場や医療従事者・学生の教育において、美術の視点や役割は急速に注目を集めているが、現場に落とし込むための具体的な手段や方法は大きな課題となっている。国内でいち早く医学生の教育に美術鑑賞を取り入れ、実践している森永康平氏による講演会を行った。

日 時 5月14日(日) 午後2時～3時

講 師 森永康平氏

(ミルキク代表、獨協医科大学非常勤講師)

場 所 講堂

■医療関係者を対象とした対話型鑑賞

日 時 5月14日(日) 午後3時10分～4時30分

講 師 森永康平氏

(ミルキク代表、獨協医科大学非常勤講師)

対 象 医療従事者（もしくは関連する分野の学生）

場 所 特別展示室

■ワークショップ「身近なうつわを描く」

出品作家の秋山泉氏をお迎えし、鉛筆で静物画を描いた。

日 時 5月20日(土) 午前10時～午後3時

講 師 秋山泉氏（出品作家）

対 象 中学生以上

場 所 ワークショップ室・講堂

■対話型鑑賞「アートでトーク」

日 時 5月24日(水) ①午前11時～11時30分

②午後1時30分～2時

講 師 担当職員

対 象 18才以上

場 所 特別展示室

■刊行物

『開館45周年記念 山梨県立美術館コレクションREMIX
記録集』

編集・執筆・翻訳 下東佳那（当館学芸員）

発 行 山梨県立美術館

制 作 (株)島田プロセス

■関連記事

下東佳那「リミックス 名品の魅力」

『山梨日日新聞』4回連載

5月 3日(水) 作品同士の「会話」

5月10日(水) 「常設展スタメン」

5月17日(水) 美術館建設の土地の歴史

5月24日(水) 21世紀に制作された収蔵作品

下東佳那「コレクションREMIX」『山梨新報』5月19日(金)

出品目録



記録集

※リストは展示順と一部異なります。
※作品は全て山梨県立美術館所蔵

作家名	作品名	制作年	技法、材質等	寸法 (縦×横×高) cm
第1章 常設展スタメン				
桑原福保	画室の朝	1949	油彩・麻布	116.7×90.9
進藤章	蓮池	1940-45	油彩・麻布	97.0×130.5
土屋義郎	皿にもったざくろ	1967	油彩・麻布	60.6×72.7
土屋義郎	あざみ	1975	油彩・麻布	90.9×60.6
深沢幸雄	掌の中の影	1976	アクアチント、 エッチング、メゾチント	75.0×49.0
深沢幸雄	星の門	1972	アクアチント、 エッチング、メゾチント	75.0×49.5
萩原英雄	石の花(赤)	1960	木版	87.0×58.0
萩原英雄	仮面 No.7	1964	木版	90.0×59.0
穴山勝堂	白壁に描く	1941	絹本着色	191.5×112.0
望月春江	寒月梅花	1976	紙本着色	160.0×200.0
ポール・ホリウチ	静寂	1978	コラージュ、 アクリル絵の具・麻布	131.0×123.0
川崎小虎	牡丹灯籠	1960	紙本着色	116.0×165.0
近藤浩一路	覚円山雨	1928	紙本墨画淡彩	45.7×54.5
近藤浩一路	皿の葡萄	1950	紙本墨画	48.0×62.5
米倉壽仁	モニュメント	1937	油彩・麻布	116.7×90.9
山田申吾	シェルパの歌	1969	紙本着色	172.0×142.0
増田誠	脱出	1976	油彩・麻布	112.1×436.5
コーナー 土地と庭				
ヘンリー・ムーア	横たわる人体と立つ人体と家族達	1973	リトグラフ	47.0×33.0
ヘンリー・ムーア	空を背景にして横たわる人体	1973	リトグラフ	46.0×39.0
ヘンリー・ムーア	多勢の横たわる人体	1973	リトグラフ	48.0×40.0
ヘンリー・ムーア	縞模様の上に横たわる人体	1973	リトグラフ	48.5×38.5
ヘンリー・ムーア	二つの横たわる人体	1973	リトグラフ	45.0×33.5
ヘンリー・ムーア	海を背景にして横たわる人体	1973	リトグラフ	48.0×40.0
エミール＝アントワヌ・ブールデル	ケンタウロス	1926	ペン、水彩・紙	15.5×20.0
エミール＝アントワヌ・ブールデル	ケンタウロスと女	1926	ペン、水彩・紙	15.5×20.0
岡本太郎	赤 版画集『SUREMENT ET SANS BUT (絶対的に、そして無目的に)』より	1974	スクリーンプリント	50.0×40.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質等	寸法 (縦×横×高) cm
岡本太郎	生成 版画集『SUREMENT ET SANS BUT (絶対的に、そして無目的に)』より	1974	スクリーンプリント	50.0×40.0
岡本太郎	ポジション 版画集『SUREMENT ET SANS BUT (絶対的に、そして無目的に)』より	1974	スクリーンプリント	50.0×40.0
岡本太郎	具現 版画集『SUREMENT ET SANS BUT (絶対的に、そして無目的に)』より	1974	スクリーンプリント	50.0×40.0
第2章 コレクション親睦会				
マルク・シャガール	花束	1911	油彩・麻布	81.5×64.8
河内成幸	思考の扉を開けよ (1)	1997	木版	98.3×66.5
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	インヴェラレイ城の見えるファイン湾	1802-05	水彩・紙	56.0×83.0
東山魁夷	濤声	1994	リトグラフ	63.5×260.0
野口小嶺	美人招涼図	1887	絹本着色	126.0×43.0
櫻井孝美	テーブルのある風景―暑い夏	1984	油彩、 アクリル絵の具・麻布	227.3×181.8
浜田知明	ぐにゃぐにゃとした太陽が昇る 〈初年兵哀歌〉より	1951	エッチング	8.9×17.6
久里洋二	夜の太陽	1978	アクリル絵の具・麻布	162.1×130.3
佐藤正明	ニューススタンド No.49	1988-89	油彩・綿布	183.0×401.0
三枝茂雄	対鏡図	1976	紙本着色	26.0×35.8
のむら清六	ハハコ像	1966	紙本着色	162.1×130.3
武田成功	花蛸 (葦崎は蛸の里)	2005	岩絵の具、ガラス	23.5×22.5×26.5
石井精一	暁の記憶 (A)	1975	油彩・麻布	130.3×162.1
小野洋	縞 B	1968	油彩・麻布	130.3×162.2
里見勝蔵	ペール・リュノアの家	1958	油彩・麻布	72.7×100.0
松田富彌	未視感物体	1989	陶	11.0×41.0×42.0
小磯良平	朝のひととき	1976	油彩・麻布	100.0×100.0
秋山泉	静物 V	2008	鉛筆・紙	131.5×131.5
古屋正壽	暮秋	1929	紙本着色	266.0×191.0
遠藤享	SPACE & SPACE /N-1512	2015	オフセット・リトグラフ	46.5×31.0
遠藤享	SPACE & SPACE /N-1506	2015	オフセット・リトグラフ	46.5×31.0
望月春江	惜春	1978	紙本着色	180.0×252.0
萩原英雄	山又山 〈三十六富士〉より	1981-86	木版	35.0×47.0
第3章 21世紀生まれの作品たち				
福田美蘭	ミレー「種をまく人」	2002	複合技法	128.5×108.8
石田泰道	カガミ再生	2006	和紙、麻、柿渋	160.0×125.0
阪本トクロウ	ドリフター	2008	アクリル絵の具・ 雪肌麻紙	182.0×227.3
浅川洋	MONAD'09 COUNT- 有象無象	2009	アクリル絵の具・ オイルバー、水性 塗料・綿布	230.0×450.0
テオ・ヤンセン	アニマリス・オルディス	2018	プラスチックチューブ、 結束バンド等	体長430.0
須田悦弘	雑草	2020	木に彩色	
栗田宏一	SOIL LIBRARY/YAMANASHI	2020	土、瓶	

開館45周年記念 ミレーと4人の現代作家たち —種にはじまる世界のかたち—



ポスター



会場風景

会 期 令和5年7月1日(土)～8月27日(日)
主 催 山梨県立美術館 山梨日日新聞社・山梨放送
後 援 NHK甲府放送局 テレビ山梨 テレビ朝日甲府支局
朝日新聞甲府総局 毎日新聞甲府支局 読売新聞
甲府支局 日本経済新聞社甲府支局 産経新聞
甲府支局 共同通信社甲府支局 時事通信社甲府
支局 山梨新報社 日本ネットワークサービス
エフエム富士 エフエム甲府
協 力 山梨交通
会 場 山梨県立美術館 特別展示室

自然とともにある人の営みをテーマに描き続けた画家ジャン＝フランソワ・ミレー。本展は、当館コレクションと国内所蔵のミレー作品と、私たちと同じ時間を生きる現代美術作家の作品を展示することで、現在という視座から、ミレー作品を見つめ直す機会として開催した。

プロローグとして和田英作《落穂拾い》を展示した他、ファッションデザイナーで、山梨県富士吉田市でも活動を行う山縣良和、制作地で土や水を採取して描く「泥絵シリーズ」で知られる浅井裕介、生活から生まれた廃材に命を吹き込み、風景を作り直す丸山純子、各地でのフィールドワークをもとに、ドキュメンタリー的手法を取り入れた映像作品を近年制作している志村信裕の4人の作家が出品。なお、浅井裕介氏の制作には87名のボランティアが携わった。各展示室ごとに、1人の現代作家と、関連するテーマのミレー作品を併せて展示することで、作品世界の共鳴を提示した。

なお、展示室内では一部作品を除き、撮影可とした。

■作家によるギャラリートーク

各作家が自身の作品の前で作品解説を行った。

日時／講師

- ① 7月8日(土) 午後2時～：丸山純子氏
- ② 7月22日(土) 午後2時～：志村信裕氏
- ③ 8月6日(日) 午前11時～：浅井裕介氏
- ④ 8月20日(日) 午前11時～：山縣良和氏

場 所 特別展示室

■刊行物

『ミレーと4人の現代作家たち

—種にはじまる世界のかたち—』(図録)

執 筆 浅井裕介、志村信裕、丸山純子、山縣良和、
小坂井玲

写真撮影 高野ユリカ(右記以外)、川尻優(pp.40-41)、
中川達彦(pp.90-91)

編 集 柴原聡子

編集補助 橋場麻衣

デザイン 須山悠里+小河原美波

印刷・製本 アベイズム株式会社

発 行 山梨県立美術館

■関連記事

小坂井玲「ミレー作品 新たに出会う：県立美術館特別
展から」『山梨日日新聞』6回連載

7月14日 1／和田英作《落ち穂拾い》

7月21日 2／浅井裕介と《種をまく人》

7月28日 3／丸山純子 共鳴する空間

8月 4日 4／志村信裕の映像作品

8月11日 5／山縣良和 移動で得る着想

8月18日 6／ミレー《古い塀》

出品目録



図録

※リストは展示順と一部異なります。

番号	作家名	作品名	制作年	技法、材質等	寸法 (縦×横) cm	所蔵者
プロローグ：落ち穂拾い／和田英作						
1	和田英作	落穂拾い	1903	油彩／カンヴァス	84.8×113.0	東京藝術大学
第1章 移動、創造／山縣良和						
2	ジャン＝フランソワ・ミレー	ポーリーヌ・V・オノの肖像	1841-42頃	油彩／カンヴァス	73.0×63.0	山梨県立美術館
3	ジャン＝フランソワ・ミレー	ダフニスとクロエ	1845頃	油彩／カンヴァス	82.5×65.0	山梨県立美術館
4	ジャン＝フランソワ・ミレー	古い堀	1862頃	油彩／カンヴァス	50.8×61.6	山梨県立美術館
5	ジャン＝フランソワ・ミレー	グレヴィルの断崖	1870	油彩／カンヴァス	24.0×33.0	山梨県立美術館
6	ジャン＝フランソワ・ミレー	眠れるお針子	1844-45	油彩／カンヴァス	45.7×38.1	山梨県立美術館
7	ジャン＝フランソワ・ミレー	ダニエル・ブーンとキャラウェイの娘たちの掠奪	1851	リトグラフ	36.0×53.5	山梨県立美術館
8	ジャン＝フランソワ・ミレー	ダニエル・ブーンとキャラウェイの娘たちの救出	1851	リトグラフ	36.0×53.5	山梨県立美術館
9	ジャン＝フランソワ・ミレー	あの人はいったいどこにいるの？	1848	リトグラフ	17.0×14.5	山梨県立美術館
10	ジャン＝フランソワ・ミレー	「農婦（パンを焼く女）」の習作	1853	木炭／紙	25.2×17.2	山梨県立美術館
11	ジャン＝フランソワ・ミレー	「箕をふるう人」の習作	1847頃	黒鉛筆／紙	31.0×22.0	山梨県立美術館
12	ジャン＝フランソワ・ミレー	習作6（水瓶を運ぶ人）	1855-60頃	鉛筆、黒インク／紙	12.4×8.1	山梨県立美術館
13	ジャン＝フランソワ・ミレー	「モンマルトルの土木工事人」の習作	1848-50	木炭／紙	36.0×27.0	山梨県立美術館
14	ジャン＝フランソワ・ミレー	習作8（農村の家族のデッサン）	1855頃	鉛筆／紙	11.5×16.4	山梨県立美術館
15	ジャン＝フランソワ・ミレー	「二人の農婦」の習作	1853頃	インク／紙	19.6×15.0	山梨県立美術館
16	ジャン＝フランソワ・ミレー	仕事に出かける人	1863	エッチング	38.5×31.0	山梨県立美術館

番号	作家名	作品名	制作年	技法、材質等	寸法 (縦×横) cm	所蔵者
17	ジャン＝フランソワ・ミレー	無原罪の聖母	1858	油彩／カンヴァス	77.7×44.8	山梨県立美術館
18	山縣良和	Field Patch Work つくりはかたり、かたりはつくり	2023			
第2章 大地／浅井裕介						
19	ジャン＝フランソワ・ミレー	鋤で土を起こして働く男	1863	木版画	14.0×10.6	山梨県立美術館
20	ジャン＝フランソワ・ミレー	落ち穂拾い	1855-56	エッチング	19.0×25.2	山梨県立美術館
21	ジャン＝フランソワ・ミレー	ジャガイモの収穫	1860頃	リトグラフ	24.0×32.0	山梨県立美術館
22	ジャン＝フランソワ・ミレー	耕す人	1855-56	エッチング	23.7×33.7	山梨県立美術館
23	ジャン＝フランソワ・ミレー	肥料を取り込む農夫	1855-56	エッチング	16.3×13.3	山梨県立美術館
24	ジャン＝フランソワ・ミレー	鋤に寄りかかる男	1855頃	エッチング	8.5×6.7	山梨県立美術館
25	ジャン＝フランソワ・ミレー	種をまく人	1851	リトグラフ	19.1×15.6	山梨県立美術館
26	ジャン＝フランソワ・ミレー	種をまく人	1850	油彩／カンヴァス	99.7×80.0	山梨県立美術館
27	ジャン＝フランソワ・ミレー	シャイイの粉挽小屋を背景にした女羊飼いと羊の群れ	1873	油彩／カンヴァス	94.0×119.0	個人蔵
28	ジャン＝フランソワ・ミレー	ヴォージュ山中の牧場風景	1868	パステル／紙	70.0×95.0	山梨県立美術館
29	ジャン＝フランソワ・ミレー	習作1 (オーヴェルニュの風景Ⅰ)	1866-67頃	鉛筆、黒インク、 パステル／紙	11.0×15.9	山梨県立美術館
30	ジャン＝フランソワ・ミレー	習作3 (オーヴェルニュの風景Ⅲ)	1866-67頃	鉛筆、黒インク／ 紙	11.7×17.2	山梨県立美術館
31	ジャン＝フランソワ・ミレー	習作4 (オーヴェルニュの風景Ⅳ)	1866-67頃	鉛筆、黒インク、 パステル／紙	12.1×17.0	山梨県立美術館
32	ジャン＝フランソワ・ミレー	習作5 (オーヴェルニュの風景Ⅴ)	1866-67頃	鉛筆、黒インク／ 紙	11.4×16.4	山梨県立美術館
33	浅井裕介	移動と輸送	2023	木パネルに山梨の土、アクリルレジン、釉薬、木炭、井戸水	912.0×1240.0	作家蔵
34	浅井裕介	命の足音	2023	木パネルに山梨の土、アクリルレジン、釉薬、木炭、井戸水	160.0×147.0	作家蔵
35	浅井裕介	命の寝床	2023	アルミボードに山梨の土、アクリルレジン、釉薬、木炭、井戸水	500.0×1000.0	作家蔵
36	浅井裕介	大地と獣	2023	木パネルに山梨の土、アクリルレジン、釉薬、木炭、井戸水	131.5×111.5	作家蔵

番号	作家名	作品名	制作年	技法、材質等	寸法 (縦×横) cm	所蔵者
37	浅井裕介	大地と人	2023	木パネルに山梨の土、アクリルレジン、釉薬、木炭、井戸水	131.5×111.5	作家蔵
		大地の色見本（山梨）				
		「ミレーと4人の現代作家たち」 浅井裕介 制作風景 2023 6/17-28				
第3章 再生、循環／丸山純子						
38	ジャン＝フランソワ・ミレー	鶏に餌をやる女	1853-56頃	油彩／パネル	73.0×53.5	山梨県立美術館
39	ジャン＝フランソワ・ミレー	落ち穂拾い、夏	1853	油彩／カンヴァス	38.3×29.3	山梨県立美術館
40	ジャン＝フランソワ・ミレー	雁を見上げる羊飼いの少女	1865	黒クレヨン、パステル／紙	58.0×41.6	寄託
41	ジャン＝フランソワ・ミレー	高い樹林	1851頃	リトグラフ	63.0×50.0	山梨県立美術館
42	ジャン＝フランソワ・ミレー	「夏（ケレス）」の習作	1864	黒鉛筆、赤鉛筆／紙	34.0×22.5	山梨県立美術館
43	ジャン＝フランソワ・ミレー	冬、凍えたキューピッド	1865	油彩／カンヴァス	205.0×112.0	山梨県立美術館
44	ジャン＝フランソワ・ミレー	桶の水を空ける婦人	1862	ガラス版画	28.5×22.3	山梨県立美術館
45	ジャン＝フランソワ・ミレー	牛乳をかき回す女	1855-56	エッチング	17.9×11.9	山梨県立美術館
46	ジャン＝フランソワ・ミレー	ミルク粥	1861	エッチング	15.8×13.0	山梨県立美術館
47	ジャン＝フランソワ・ミレー	母親の心遣い	1862	ガラス版画	28.5×22.5	山梨県立美術館
48	丸山純子	無音花と記憶	2023	インスタレーション、木、ビニル、ワイヤー、石鹼、ロープ／素材協力：プレアデス株式会社		作家蔵
49	丸山純子	焼き芋を売っていた	2023	ウォッシュ & スクラッチ、木製パネル、食用廃油石鹼	21.0×30.0	作家蔵
50	丸山純子	食べているよ	2023	ウォッシュ & スクラッチ、木製パネル、食用廃油石鹼	42.0×30.0	作家蔵
51	丸山純子	Take This Medicine	2023	ウォッシュ & スクラッチ、木製パネル、食用廃油石鹼	23.0×31.0	作家蔵
52	丸山純子	The Taste of Salt Always Changes	2023	ウォッシュ & スクラッチ、木製パネル、食用廃油石鹼	21.0×30.0	作家蔵
53	丸山純子	蜂の子食うか	2023	ウォッシュ & スクラッチ、木製パネル、食用廃油石鹼	19.0×27.0	作家蔵

番号	作家名	作品名	制作年	技法、材質等	寸法 (縦×横) cm	所蔵者
54	丸山純子	造花を握らせた	2023	ウォッシュ & スクラッチ、木製パネル、食用廃油石鹸	16.0×23.0	作家蔵
55	丸山純子	それは犯罪として認められませんね	2023	ウォッシュ & スクラッチ、木製パネル、食用廃油石鹸	30.5×22.0	作家蔵
56	丸山純子	べべちゃんに会いたい	2023	ウォッシュ & スクラッチ、木製パネル、食用廃油石鹸	33.0×24.0	作家蔵
57	丸山純子	猿が捕まった	2023	ウォッシュ & スクラッチ、木製パネル、食用廃油石鹸	16.0×22.5	作家蔵
58	丸山純子	灯りが一つ一つ消えていく	2023	ウォッシュ & スクラッチ、木製パネル、食用廃油石鹸	18.5×27.0	作家蔵
第4章 人、家畜、生活／志村信裕						
59	ジャン＝フランソワ・ミレー	夕暮れに羊を連れ帰る羊飼い	1857-60	油彩／パネル	53.5×71.0	山梨県立美術館
60	ジャン＝フランソワ・ミレー	羊の毛を刈る女	1860	油彩／カンヴァス	163.8×113.0	美術館ギャ러리・ミレー(富山)
61	ジャン＝フランソワ・ミレー	角笛を吹く牛飼い	不詳	油彩／パネル	38.1×27.9	山梨県立美術館
62	ジャン＝フランソワ・ミレー	二頭の牝牛	1855頃	エッチング	9.1×15.1	山梨県立美術館
63	ジャン＝フランソワ・ミレー	習作7(馬のいる風景)	1855頃	鉛筆、黒インク／紙	10.0×14.4	山梨県立美術館
64	ジャン＝フランソワ・ミレー	鷺鳥を追う少女	1865頃	水彩／紙	24.5×37.8	山梨県立美術館
65	ジャン＝フランソワ・ミレー	羊飼いの女(大)	1862	エッチング	31.7×23.6	山梨県立美術館
66	ジャン＝フランソワ・ミレー	羊毛を梳く女	1855-56	エッチング	25.6×17.7	山梨県立美術館
67	ジャン＝フランソワ・ミレー	鷺鳥番の少女	1855-56	ドライポイント	14.3×12.2	山梨県立美術館
68	ジャン＝フランソワ・ミレー	オーヴェルニュ地方の糸紡ぎ女	1868	エッチング	19.9×12.9	山梨県立美術館
69	志村信裕	Nostalgia, Amnesia	2019	ビデオ	45分	作家蔵

テルマエ展 お風呂でつながる古代ローマと日本



ポスター



展示風景

会 期 令和5年9月9日(土)～11月5日(日)

主 催 山梨県立美術館 テレビ山梨 朝日新聞社

後 援 イタリア大使館 NHK甲府放送局 山梨日日新聞社・山梨放送 テレビ朝日甲府支局 朝日新聞甲府総局 毎日新聞甲府支局 読売新聞甲府支局 産経新聞甲府支局 共同通信社甲府支局 時事通信社甲府支局 山梨新報社 日本ネットワークサービス エフエム富士 エフエム甲府

協 力 ヤマザキマリ 山梨交通 甲府青年会議所

会 場 山梨県立美術館 特別展示室

人類史上に輝く繁栄を誇った古代ローマの文化のなかでも日本人が特に深い関心を寄せるものの一つであるテルマエ（公共浴場）を取り上げ、古代ローマの絵画・彫刻・考古資料と、日本の浴場に関する作品・資料を集めた。イタリアのナポリ国立考古学博物館からの出品作をはじめ、国内所蔵の古代ローマ作品、映像や模型などから、テルマエを愛した古代ローマの人々の生活を身近に感じることができる内容となった。また、漫画『テルマエ・ロマエ』の作者ヤマザキマリ氏の協力のもと、『テルマエ・ロマエ』の主人公ルシウスが浴場をとおして現代日本と古代ローマを往復したように、ルシウスが案内人となり、古代ローマに加えて日本の入浴文化も紹介した。入浴という生活習慣を文化の域にまで高め愛する古代ローマと日本を、時空を超えて比較し楽しむ機会となった。

■ヤマザキマリ氏×青柳正規トークショー

日 時 9月9日(土) 午後2時～3時30分

講 師 ヤマザキマリ氏（漫画家・文筆家・画家）、
青柳正規（山梨県立美術館館長）

場 所 山梨県立文学館講堂

■講演会①

日 時 9月23日(土・祝) 午後2時～3時30分

講 師 芳賀京子氏（東京大学大学院教授）

場 所 講堂

■講演会②

日 時 10月28日(土) 午後2時～3時30分

講 師 青柳正規（山梨県立美術館館長）

場 所 講堂

■古代ローマのディナー体験会

日 時 10月8日(日) 午後5時30分～7時30分
講 師 遠藤雅司氏(音食紀行)
対 象 中学生以上
場 所 美術館レストラン「アート・アーカイブス」

■キッズ・プログラム「親と子のアートレクチャー」

日 時 10月14日(土) ①午前10時～11時
②午後2時～3時
対 象 小学生とその保護者
場 所 ワークショップ室、特別展示室

■アウトドアサウナ@芸術の森公園

日 時 10月15日(日) ①午前10時～12時
②午後1時～3時
提 供 株式会社GATES
対 象 中学生以上
場 所 芸術の森公園

■スペシャル映画会「テルマエ・ロマエ」

日 時 10月21日(土) 午後1時30分～
場 所 講堂

■イタリアのメルカート

日 時 10月21日(土) 午前10時～午後4時
提 供 テレビ山梨
場 所 ミュージアム・コート(レストラン前広場)

■出版物／刊行物

『テルマエ お風呂でつながる古代ローマと日本』

監修・執筆 青柳正規
(東京大学名誉教授・山梨県立美術館館長)
芳賀京子(東京大学教授)

構成・執筆 太田智子(山梨県立美術館学芸員)
吉田浩太郎(大分県立美術館主幹学芸員)
萩原敦子(パナソニック汐留美術館主任学芸員)
萱原朋奈、鈴木更紗、三好俊、山田麻里亜
(神戸市立博物館学芸員)

発行所 株式会社青幻舎

印刷・製本 株式会社山田写真製版所

『山梨県の温泉』

執 筆 小畑茂雄(山梨県立博物館学芸員)
太田智子

発 行 山梨県立美術館

印 刷 (株)島田プロセス

■関連記事

太田智子「テルマエ展 お風呂でつながる古代ローマと日本」『山梨新報』9月22日

出品目録



目錄

*リストの順番は展示順とは異なる。

*No.2、15、16は、レプリカが展示される。

*ローマの作者名は判明しているものを記載している。

*ローマの作品の出土地は、判明しているもの、特定できる場合は住居を記載、コインの場合は発行地を指す。

*山梨会場のみに展示される作品、石膏像、模型の一部には作品番号が振られていない。

	作品名	作者	出土地	時代 および年代	材質	所蔵先
■序章 テルマエ／古代都市ローマと公共浴場						
1	カラカラ帝胸像			212～217年	大理石	ナポリ国立 考古学博物館
	アグリッパ胸像 (デッサン用石膏像)			現代	石膏	個人蔵
■第1章 古代ローマ都市のくらし						
1-1 庶民の日常						
2	炭化したパン		ポンペイ	79年		ナポリ国立 考古学博物館
3	秤			1世紀	青銅、銀象嵌	多摩美術大学 美術館
4	共和政期のデナリウス銀貨 (アポロ神／4頭立戦車)		ローマ	前90年頃	銀	岡山市立 オリेंट美術館
5	共和政期のデナリウス銀貨 (ディアナ女神／獵犬)		ローマ	前74年	銀	岡山市立 オリेंट美術館
6	トラヤヌス帝の属州銅貨 (トラヤヌス帝／ウィクトリア)		リュコス河畔の ニコポリス (ポントゥス属州)	112/3年	銅	岡山市立 オリेंट美術館
7	属州銅貨 (コンモドゥス帝か?／アルテミス・ エフェシアの像とテュケ女神)		アクラソス (リュディア)	177～192年頃	銅	岡山市立 オリेंट美術館
8	フィリップス・アラブス帝の属州 銅貨 (フィリップス・アラブス／ テュケ女神)		ニシビス (メソポタミア)	247～249年	銅	岡山市立 オリेंट美術館
9	アウグストゥス帝の1/2アウレウス 金貨 (クイナリウス・アウレウス) (アウグストゥス帝／トガ姿のガ イウスとルキウス・カエサル)		ルグドヌム (リヨン)	前2～後4年	金	平山郁夫 シルクロード美術館
10	ハドリアヌス帝のアウレウス金貨 (ハドリアヌス帝／ユピテル)		ローマ	119～120年	金	平山郁夫 シルクロード美術館
11	カラカラ帝のテトラドラクマ銀貨 (カラカラ帝／鷲)		アラドス (フェニキア)	215～217年	銀	平山郁夫 シルクロード美術館

	作品名	作者	出土地	時代 および年代	材質	所蔵先
1-2 娯楽						
12	悲劇の仮面を表した軒瓦 (アンテフィクス)		ポンペイ	1世紀	白大理石	ナポリ国立 考古学博物館
13	2つの仮面を表した浮彫		カプア	1世紀	テラコッタ	ナポリ国立 考古学博物館
14	劇場の舞台建築ファサード (スカエナエ・フロンス)の模型			前3～ 前2世紀	テラコッタ	ナポリ国立 考古学博物館
15	兜		ポンペイ、 大劇場の回廊 (VII 7,16~17)	75～79年		ナポリ国立 考古学博物館
16	兜		ポンペイ、 大劇場の回廊 (VII 7,16~17)	1～50年		ナポリ国立 考古学博物館
17	剣闘士小像		ポンペイ、 「マルクス・ル クレティウス・ フロントの家」		テラコッタ	ナポリ国立 考古学博物館
1-3 饗宴						
18	ヘタイラ(遊女)のいる饗宴		エルコラーノ	1世紀	フレスコ	ナポリ国立 考古学博物館
19	魚のある静物		ヴェスヴィオ山 周辺地域 (エルコラーノ あるいはスタビア)	1世紀	フレスコ	ナポリ国立 考古学博物館
20	イチジクのある静物		ポンペイ	1世紀	フレスコ	ナポリ国立 考古学博物館
21	葡萄を収穫するキューピッドたち		ポンペイ、 「マルクス・ル クレティウスの家」 (IX 3,5)	1世紀	フレスコ	ナポリ国立 考古学博物館
22	魚と人物			1～2世紀	フレスコ	個人蔵
23	ランプ		ヨルダン	前2～ 後1世紀	粘土	岡山市立 オリエント美術館
24	「犬と戯れるキューピッド」ランプ			1～2世紀	粘土	平山郁夫 シルクロード美術館
25	「レダと白鳥」ランプ			1～2世紀	粘土	平山郁夫 シルクロード美術館
26	「豹」ランプ			1～2世紀	粘土	平山郁夫 シルクロード美術館
27	「剣闘士試合」ランプ			1～2世紀	粘土	平山郁夫 シルクロード美術館
28	「休息する剣闘士」ランプ			1～2世紀	粘土	平山郁夫 シルクロード美術館
29	アブリア赤像式鐘形クラテル	ハイファの画家	イタリア南部	前4世紀	土器	岡山市立 オリエント美術館
30	鑄造杯		東地中海地域	前1～ 後1世紀	ガラス	岡山市立 オリエント美術館
31	台付杯		東地中海地域	1世紀後半	ガラス	岡山市立 オリエント美術館

	作品名	作者	出土地	時代 および年代	材質	所蔵先
32	鑄造浅鉢		東地中海地域	1世紀	ガラス	岡山市立 オリエント美術館
33	リブ装飾碗		東地中海地域	前1～ 後1世紀	ガラス	平山郁夫 シルクロード美術館
34	ガラス杯		東地中海地域	前1～ 後1世紀	ガラス	平山郁夫 シルクロード美術館
35	千華文の杯と皿		東地中海地域	前1～ 後1世紀	ガラス	平山郁夫 シルクロード美術館
36	緑釉把手付碗			前1～ 後1世紀	陶器	平山郁夫 シルクロード美術館
37	緑釉木蔦文把手付碗		東地中海地域	前1～ 後1世紀		平山郁夫 シルクロード美術館
38	動物形リュトン			1～2世紀	ガラス	平山郁夫 シルクロード美術館
39	ワイン輸送用アンフォラ		地中海地域	前1世紀後半 ～後2世紀	陶器	平山郁夫 シルクロード美術館
40	ワインテイ스팅用管		ポンペイ、「メナ ンドロスの家」 (I 10,4)	1世紀	銀	ナポリ国立 考古学博物館
41	モルタリウム				土器	個人蔵
42	ヒョウに乗る幼児			1～2世紀	テラコッタ	平山郁夫 シルクロード美術館
■第2章 古代ローマの浴場						
2-1 アスリートと水浴						
43	ストリギリス(肌かき器)			前3～ 前1世紀	銅	ポーラ文化研究所
44	アッティカ赤像式キュリクス (酒杯)			前5世紀	土器	個人蔵
45	カミソリ			前8世紀	青銅	ポーラ文化研究所
46	カミソリ		ポンペイ	1世紀	鉄、骨	ナポリ国立 考古学博物館
47	入浴道具		ポンペイ	1世紀	青銅	ナポリ国立 考古学博物館
48	栓つき香油壺		ポンペイか	1世紀	青銅	ナポリ国立 考古学博物館
49	蓋つき香油壺		ポンペイ	1世紀	ガラス、青銅	ナポリ国立 考古学博物館
50	銅製把手付ガラス壺		東地中海地域	3～4世紀	ガラス	MIHO MUSEUM
51	マーブル装飾瓶		東地中海地域	1世紀	ガラス	岡山市立 オリエント美術館
52	突起装飾瓶		東地中海地域	2～3世紀	ガラス	岡山市立 オリエント美術館
53	型吹双面瓶		東地中海地域	1世紀後半～ 2世紀	ガラス	岡山市立 オリエント美術館
54	型吹果実文瓶		東地中海地域	1世紀	ガラス	岡山市立 オリエント美術館

	作品名	作者	出土地	時代 および年代	材質	所蔵先
55	人面装飾瓶		東地中海地域 もしくはイタリア	3～4世紀	ガラス	平山郁夫 シルクロード美術館
56	葡萄形瓶		東地中海地域	1～2世紀	ガラス	平山郁夫 シルクロード美術館
57	宙吹瓶		イタリア北部	1世紀中葉～ 2世紀中葉	ガラス	岡山市立 オリエント美術館
58	ガラス香油瓶		東地中海地域	1～2世紀	ガラス	平山郁夫 シルクロード美術館
59	浮出文瓶		東地中海地域	1世紀	ガラス	平山郁夫 シルクロード美術館
60	長頸瓶		地中海地域	2～3世紀	ガラス	岡山市立 オリエント美術館
61	長頸瓶		東地中海地域	1～3世紀	ガラス	岡山市立 オリエント美術館
62	二連瓶		東地中海地域	4～5世紀	ガラス	岡山市立 オリエント美術館
63	條文瓶		地中海地域	2～4世紀	ガラス	岡山市立 オリエント美術館
64	ゴールドバンド装飾瓶		イタリア	1世紀	ガラス	平山郁夫 シルクロード美術館
2-2 医療と健康						
65	アポロ・ピュティウス坐像		バイア、ストリン ゴリ地区の浴場	1～2世紀	大理石	ナポリ国立 考古学博物館
66	アポロとニンフへの奉納浮彫		イスキア島、ニト ローディの温泉	2世紀	大理石	ナポリ国立 考古学博物館
67	薬箱			1世紀	青銅	ナポリ国立 考古学博物館
68	吸引具		ポンペイ	1世紀	青銅	ナポリ国立 考古学博物館
69	外科器具入れ		ポンペイ	1世紀	青銅	ナポリ国立 考古学博物館
70	人体をかたどった奉納模型 手		カレス (ポンテ・デッレ・ モナケ地区)	前3～ 前2世紀	テラコッタ	ナポリ国立 考古学博物館
71	人体をかたどった奉納模型 足		カレス (ポンテ・デッレ・ モナケ地区)	前3～ 前2世紀	テラコッタ	ナポリ国立 考古学博物館
72	人体をかたどった奉納模型 子宮		カレス (ポンテ・デッレ・ モナケ地区)	前3～ 前2世紀	テラコッタ	ナポリ国立 考古学博物館
2-3 女性たちの装い						
73	着衣女性像			前2～ 前1世紀	青銅	MIHO MUSEUM
74	着衣女性像			前1～ 後2世紀	大理石	個人蔵
75	女性裸体像断片		地中海地域	前3～ 前1世紀	テラコッタ	岡山市立 オリエント美術館

	作品名	作者	出土地	時代 および年代	材質	所蔵先
76	女性頭部		地中海地域	前3～ 前1世紀	テラコッタ	岡山市立 オリエント美術館
77	女性頭部		地中海地域	前3～ 前1世紀	テラコッタ	岡山市立 オリエント美術館
78	化粧用スパチュラ（ヘラ）		ポンペイ	1世紀	骨	ナポリ国立 考古学博物館
79	エトルリア製の鏡		イタリア中部	前5～ 前4世紀	青銅	岡山市立 オリエント美術館
80	エトルリア製の鏡			前4世紀頃	青銅	ポーラ文化研究所
81	「腰掛けるエロス」 アプリア赤像式皿	メンジース・ グループ	イタリア南部	前330～ 前310年	土器	岡山市立 オリエント美術館
82	「鏡を持つ女性」 アッティカ赤像式レキュトス		アテネ	前480～ 前460年頃	陶器	平山郁夫 シルクロード美術館
83	裸体女性浮彫（ピュクシス断片）		エジプト	ローマ時代	象牙	岡山市立 オリエント美術館
84	山猫の耳飾り			前2～ 後1世紀	金、ガーネット、 エメラルド、 天然真珠	平山郁夫 シルクロード美術館
85	カメオガラス			前1～ 後3世紀	ガラス、金	平山郁夫 シルクロード美術館
86	金製指輪			1～2世紀	ガーネット （柘榴石）、金	国立西洋美術館 橋本コレクション
87	鉢巻きをしたアスリート			前1世紀	カーネリアン （紅玉髓）、金	国立西洋美術館 橋本コレクション
88	犠牲式を表すカメオ			前1世紀 （指輪は近代）	サードニクス （赤縞瑪瑙）、金	国立西洋美術館 橋本コレクション
89	瑪瑙を模したエロスのガラスカメオ			前1世紀後期	ガラス、金	国立西洋美術館 橋本コレクション
90	アグリッピーナ			1世紀 （指輪は近代）	オニキス （縞瑪瑙）、金	国立西洋美術館 橋本コレクション
91	ライオンのカメオ			1～2世紀 （指輪は近代）	サードニクス、金	国立西洋美術館 橋本コレクション
92	男根が浮彫りされた指輪			1世紀	金	国立西洋美術館 橋本コレクション
93	金製指輪			1世紀	ベリル（緑柱石）、 金	国立西洋美術館 橋本コレクション
94	金製指輪			2～3世紀	ガーネット、 ガラス、金	国立西洋美術館 橋本コレクション
95	サテュロスが表された兜をかぶる 女神アテナ			前1世紀	カーネリアン	国立西洋美術館 橋本コレクション
96	山羊のインタリオの指輪			2世紀	アメジスト （紫水晶）、金	国立西洋美術館 橋本コレクション
97	イルカのインタリオの指輪			2世紀後半	サードニクス、金	国立西洋美術館 橋本コレクション
98	ヘルメスの杖			2世紀	サードニクス、金	国立西洋美術館 橋本コレクション
99	鳥のインタリオの指輪			2～3世紀	ジャスパー （碧玉）、銀	国立西洋美術館 橋本コレクション

	作品名	作者	出土地	時代 および年代	材質	所蔵先
100	騎手のインタリオの指輪			前1～ 後1世紀	カーネリアン、 青銅	国立西洋美術館 橋本コレクション
101	銘のあるインタリオの指輪			3世紀	サードニクス、金	国立西洋美術館 橋本コレクション
102	銘のある金製指輪			3～5世紀	オニキス、金	国立西洋美術館 橋本コレクション
2-4 テルマエ建築と水道技術						
103	ライオン頭部形の吐水口		エルコラーノか	1世紀	青銅、テラコッタ	ナポリ国立 考古学博物館
104	水道のバルブ		ポンペイ	1世紀	青銅、鉛	ナポリ国立 考古学博物館
105	水道のバルブ		ポンペイ	1世紀	青銅	ナポリ国立 考古学博物館
	カラカラ浴場 復元縮小模型	模型制作：東京造形大学デザイン学科・室内建築専攻上田ゼミの学生 制作指導：上田知正（同大学教授）				縮尺 1:250
■第3章 テルマエと美術						
106	ヴィーナス		エルコラーノ、 「モザイクのア トリウムの家」 (IV 2,1)	50～79年	フレスコ	ナポリ国立 考古学博物館
107	恥じらいのヴィーナス		ポンペイ、 アポロ神域	1世紀	大理石	ナポリ国立 考古学博物館
108	ヘラクレス小像			前1～ 後2世紀	青銅	MIHO MUSEUM
109	海から上がるヴィーナス		ポンペイ、「メ ンミウス・アウ クトゥスの家」 (VI 14,27)、 アトリウム (b) のララリウム	1世紀	大理石	ナポリ国立 考古学博物館
110	ヘラクレスのトルソ			1～2世紀	大理石	個人蔵
111	牧神頭部			1世紀	多色モザイク	石橋財団 アーティゾン美術館
■ 4 章 日本の入浴文化						
4-1 入浴と信仰						
112	有馬温泉寺縁起絵巻	内藤喜昌		江戸時代	紙本著色	兵庫県立 歴史博物館
113	上醍醐西谷湯屋 復元模型			平成14年 (2002)	木材ほか	国立 歴史民俗博物館
114	洗湯手引草	向晦亭等琳		嘉永元年 (1851) 刊	木版墨摺	慶應義塾大学信 濃町メディアセ ンター（北里記 念医学図書館）
115	都名所図会	秋里籬島著 竹原春朝斎画		安永9年 (1780) 初版	木版墨摺	神戸市立博物館
4-2 戦国武将と温泉						
116	武田信玄像 (展示期間：9月9日～10月9日)	土佐光起		貞享5年(元禄 元年・1688)	紙本著色	山梨県立博物館

	作品名	作者	出土地	時代 および年代	材質	所蔵先
118	有馬茶会記 (展示期間:10月11日～11月5日)	友阿弥筆 阿弥陀堂宛		天正18年 (1590)	紙本墨書	五島美術館
120	豊臣秀吉像 (展示期間:10月11日～11月5日)			桃山時代	紙本著色	神戸市立博物館
4-3 江戸時代の入浴文化						
122	江戸名所百人美女 御殿山 (展示期間:9月9日～10月1日)	歌川国貞 (三代歌川豊国)		安政5年 (1858)	木版色摺	ポーラ文化研究所
123	湯屋模型	三浦宏		1980年代		個人蔵
124	時世粧年中行事之内 競細腰 雪柳風呂 (展示期間:10月11日～11月5日)	落合芳幾		明治元年 (1868)	木版色摺	神戸市立博物館
127	浮世風呂	式亭三馬		文政3年 (1820)	木版墨摺	京都府立京都学・ 歴彩館
128	賢愚漆銭湯新話 (展示期間:9月9日～10月9日)	山東京伝作 歌川豊国画		享和2年 (1802)	木版墨摺	慶應義塾図書館
131	明治大見立改正新版大日本温泉 一覧 (展示期間:9月9日～10月9日)			明治時代	木版墨摺	神戸市立博物館
134	熱海温泉図彙	山東京山		天保3年 (1832)	木版墨摺	慶應義塾大学信 濃町メディアセ ンター(北里記 念医学図書館)
135	七湯の枝折	文窓・弄花		文化8年 (1811)	紙本著色	箱根町立 郷土資料館
4-4 近代以降の入浴						
138	伊香保鉱泉浴客諸病全快祝宴 (展示期間:9月9日～10月9日)	楊州周延		明治16年 (1883)	木版色摺	神戸市立博物館
	信州白骨温泉 (展示期間:10月11日～11月5日)	笠松紫浪		昭和10年 (1935)	木版色摺	山梨県立美術館
	春宵 信州湯田中の大湯 (展示期間:10月11日～11月5日)	笠松紫浪		昭和25年 (1950)	木版色摺	山梨県立美術館
142	明神湯	ジオラマ制作: 山本高樹・ 町田忍		平成20年 (2008)	木、プラスチック、 レジン、粘土など	町田忍蔵
143	「中将湯温泉」看板			大正時代末期	木、漆、金箔	町田忍蔵
144	ケロリンの桶			昭和38年 (1963)～ 平成時代頃	木(特別限定桶 のみ)、その他 樹脂	町田忍蔵
146	「永生湯」銭湯の暖簾			昭和29年 (1954)	布	町田忍蔵
151	花王石鹸			明治23年 (1890)発売	石鹸、木箱	花王ミュージアム
152	花王シャンプー			昭和7年 (1932)発売	シャンプー、紙	花王ミュージアム
153	花王フェザーシャンプー			昭和30年 (1955)発売	シャンプー、アルミ	花王ミュージアム
154	チューブ入り 花王フェザーシャンプー			昭和34年 (1959)発売	シャンプー、紙、 チューブ	花王ミュージアム

	作品名	作者	出土地	時代 および年代	材質	所蔵先
■山梨県の温泉						
	河浦湯屋造営下知状 (展示期間：9月9日～10月9日)			永禄4年 (1561)	紙本墨書	恵林寺（信玄公 宝物館保管・展示）
	甲陽軍鑑 九之下 (展示期間：9月9日～10月9日)			万治2年 (1659)	木版墨摺	山梨県立博物館 (甲州文庫)
	謙信武田之旗本へ乱入之図 (展示期間：10月11日～11月5日)	三代歌川豊国		弘化元～4年 (1844～47)	木版色摺	山梨県立博物館 (甲州文庫)
	甲斐名所すこ六 (展示期間：9月9日～10月9日)	歌川国芳ほか		弘化5年 (嘉永元年・ 1848)	木版色摺	山梨県立博物館 (甲州文庫)
	甲斐名所すこ六（下絵） (展示期間：10月11日～11月5日)	歌川国芳ほか		江戸時代	紙本墨書画淡彩	山梨県立博物館 (甲州文庫)
	官遊紀勝	渋江長伯		文化年間	紙本墨画	個人蔵
	甲州道中図屏風			江戸時代後期	紙本著色	山梨県立博物館
	裏見寒話 巻三	野田成方		宝暦2年 (1752)	紙本墨書	山梨県立博物館 (甲州文庫)
	甲斐四郡村名尽			文久2年 (1862)	木版墨摺	山梨県立博物館 (甲州文庫)
	懷宝甲斐国絵図			天保13年 (1842)	木版色摺	山梨県立博物館 (甲州文庫)
	御嶽神領黒平温泉			江戸時代	木版墨摺	山梨県立博物館 (廣瀬家文書)
	海州滝温泉絵図と開業広告			明治17年 (1884)	紙本著色、活版	山梨県立博物館 (甲州文庫)
	甲府市を中心とする甲斐大観	金子常光		昭和4年 (1929)	石版	山梨県立博物館 (甲州文庫)
	並山日記 巻三	黒川春村		昭和6年 (1931) 〈原本 嘉永 3年(1850)〉	紙本著色	山梨県立博物館 (甲州文庫)
	泉都甲府 絵はがき	吉田初三郎		昭和初期	絵はがき	個人蔵
	写真絵はがき類 温泉			明治時代以降	絵はがき	山梨県立博物館 (甲州文庫)
	スケッチブック「増富温泉紀行」 (展示期間：10月11日～11月5日)	米倉壽仁		昭和10年 (1935)		山梨県立美術館

アーツ・アンド・クラフツとデザイン ウィリアム・モリスからフランク・ロイド・ライトまで



ポスター



会場風景

会 期 令和5年11月18日(土)～令和6年1月21日(日)
主 催 山梨県立美術館 テレビ山梨
後 援 ブリティッシュ・カウンシル NHK甲府放送局
山梨日日新聞社・山梨放送 テレビ朝日甲府支局
朝日新聞甲府総局 毎日新聞甲府支局 読売新聞
甲府支局 産経新聞甲府支局 共同通信社甲府支局
時事通信社甲府支局 山梨新報社 日本ネットワ
ークサービス エフエム富士 エフエム甲府
協 力 山梨交通
企画協力 ブレイントラスト
会 場 山梨県立美術館 特別展示室

アーツ・アンド・クラフツは、19世紀にイギリスで活躍したデザイナー、詩人、社会運動家であるウィリアム・モリス（1834～96）が提唱したデザイン運動である。産業革命によって生まれた機械化による粗悪な量産品や、職人の手仕事を軽視する商業主義を批判し、上質なもののづくりや天然素材の価値を見直すことで、日常に根ざした多彩な美術工芸品を生み出した。

モリスが提唱したアーツ・アンド・クラフツの精神は同時代の若いデザイナーや建築家たちの共感を呼び、イギリス以外のヨーロッパの国々やアメリカ、さらには日本にまで広がった。アメリカのフランク・ロイド・ライト（1867～1959）は機械生産ならではの精巧さにも共通の理念を見だし、建築において新たな展開を見せた。日常生活と芸術を結びつけたアーツ・アンド・クラフツの実践は、現代のデザイン思想にまで引き継がれている。

本展では、モリスの代表作として名高い《いちご泥棒》をはじめ、イギリスとアメリカで制作された家具、金属製品、ガラス製品、宝飾品、書物といった160点に及ぶ作品を通じて、モダン・デザインの源流となったアーツ・アンド・クラフツ運動の魅力と広がりを紹介した。

■記念講演会

「アーツ・アンド・クラフツとデザイン

ウィリアム・モリスからフランク・ロイド・ライトまで」

日 時 11月26日(日) 午後2時～3時30分

講 師 藤田治彦氏(本展図録監修者、大阪大学名誉教授)

場 所 講堂

■ワークショップ

「モリスのデザインで遊ぼう!～自分で作る暮らしの小物～」

日 時 1月8日(月・祝) ①午前10時～12時
②午後1時30分～3時30分

講 師 笠井英氏(西島和紙工房)

場 所 ワークショップ室、工房

■アートでトーク

日 時 12月6日(水) ①午前11時～11時40分
②午後1時30分～2時10分

講 師 加藤祥子(教育普及担当)

森川もなみ(本展担当学芸員)

場 所 特別展示室

■担当学芸員によるギャラリー・トーク

日 時 12月9日(土) 午後2時～3時

場 所 特別展示室

■Musée Marché 2023 [ミュゼ・マルシェ2023]

日 時 11月18日(土)・19日(日) 午前10時～午後3時30分

場 所 芸術の森公園 さんさん広場

■刊行物

『アーツ・アンド・クラフツとデザイン ウィリアム・モリスからフランク・ロイド・ライトまで』(図録)

執 筆 藤田治彦

鈴木一生(ふくやま美術館学芸員)

吉川咲子(ふくやま美術館学芸員)

遠藤友紀(米沢市上杉博物館学芸員)

音ゆみ子(府中市美術館学芸員)

大槻倫子(愛知県陶磁美術館学芸課長)

植田直子(愛知県陶磁美術館学芸員)

発 行 「アーツ・アンド・クラフツとデザイン ウィリアム・モリスからフランク・ロイド・ライトまで」カタログ制作委員会©2022

制 作 印象社

■関連記事

森川もなみ「アーツ・アンド・クラフツとデザイン ウィリアム・モリスからフランク・ロイド・ライトまで」
『山梨新報』1月12日

出品目録



図録

※リストは展示順と一部異なります。

No.	作品名	作者名	制作年	技法・素材	製造業者	寸法 (縦×横cm/高さ×幅×奥行cm)
第1章 モリス・マーシャル・フォークナー商会とモリス商会						
1	格子垣	ウィリアム・モリス	1864	木版、色刷り、紙	モリス・マーシャル・フォークナー商会	106×56
2	果実あるいは柘榴	ウィリアム・モリス	1866頃	木版、色刷り、紙	モリス・マーシャル・フォークナー商会	70.6×53.4
3	インディアン	おそらくジョージ・ギルバート・スコット	1868-70	木版、色刷り、紙	モリス・マーシャル・フォークナー商会	91.3×55.7
4	マリーゴールド	ウィリアム・モリス	1875	木版、色刷り、紙	モリス商会	66×54.5
5	るりはこべ	ウィリアム・モリス	1876	木版、色刷り、紙	モリス商会	88.8×55.4
6	ひまわり	ウィリアム・モリス	1879	木版、色刷り、紙	モリス商会	66.6×55.4
7	マロウ	ケイト・フォークナー	1879	木版、色刷り、紙	モリス商会	39.5×39
8	すいかずら	メイ・モリス	1883	木版、色刷り、紙	モリス商会	87.5×53.5
9	ガーデン・チューリップ	ウィリアム・モリス	1885	木版、色刷り、紙	モリス商会	66.2×55.8
10	フリトレイリ(ばいも)	ウィリアム・モリス	1885	木版、色刷り、紙	モリス商会	128.5×52
11	柳の枝	ウィリアム・モリス	1887	木版、色刷り、紙	モリス商会	33.5×42
12	やぐるまぎく	ウィリアム・モリス	1892	木版、色刷り、紙	モリス商会	63.7×56.2
13	ゴールデン・リリー	ジョン・ヘンリー・ダール	1899	木版、色刷り、紙	モリス商会	78×46
14	孔雀と竜	ウィリアム・モリス	1878	ジャカード手織り、ウール	モリス商会	226×138
15	兄弟うさぎ(白)	ウィリアム・モリス	1882	木版、色刷り、インディゴ抜染、木綿	モリス商会	69×119
16	いちご泥棒	ウィリアム・モリス	1883	木版、色刷り、インディゴ抜染、木綿	モリス商会	86×98
17	イーヴンロード	ウィリアム・モリス	1883	木版、色刷り、インディゴ抜染、木綿	モリス商会	50.8×94.2
18	ロウデン	ウィリアム・モリス	1884	木版、色刷り、インディゴ抜染、木綿	モリス商会	218×220
19	メドウェイ	ウィリアム・モリス	1885	木版、色刷り、インディゴ抜染、木綿	モリス商会	233×79
20	2頭のライオン	トマス・ウォードル	1885頃	木版、色刷り、リネン	ウォードル商会	80.8×57.8
21	チャーウェル	ジョン・ヘンリー・ダール	1887	プリント、別珍	モリス商会	261×123
22	斜文トレイル	ジョン・ヘンリー・ダール	1893頃	ジャカード手織り、ウール	モリス商会	141×110

No.	作品名	作者名	制作年	技法・素材	製造業者	寸法 (縦×横cm/高さ×幅×奥行cm)
23	〈栗鼠〉または〈狐〉と 葡萄	ジョン・ヘンリー・ダール	1898頃	ジャカード手織り、 ウール	モリス商会	231×130
24	エルムコウト	ジョン・ヘンリー・ダール	1900頃	ジャカード手織り、 ウール・モヘア	モリス商会	244×114.5
25	花づくし	ジョン・ヘンリー・ダール	1912-14	ジャカード手織り、 ウール	モリス商会	138×71
26	リスとナイチンゲール	ジョン・ヘンリー・ダール	1895頃	シルク・ダマスク 織りにシルクとサ テンの刺繍	モリス商会	263×218
27	暖炉の衝立《花の鉢》	ウィリアム・モリス	1890頃	刺繍パネル、 マホガニー枠	モリス商会	111.5×59.8× 32.5
28	刺繍パネル	メイ・モリス	1890頃	シルク、 マホガニー枠	モリス商会	56×56
29	刺繍パネル	メイ・モリス	1890頃	シルク	モリス商会	50×42
30	キャビネット		1900頃	マホガニー、 刺繍パネル	モリス商会	108×50.5×31.8
31	サーヴィル肘掛け椅子	ジョージ・ワシントン・ジャック	1890頃	マホガニー、布： ジャカード手織り、 ウール（斜文トレ イル）	モリス商会	93.5×67×72
32	サセックス・シリーズ の肘掛け椅子	おそらくフィリップ・ウェップ	1860頃	黒檀色仕上げのブ ナ材、蘭草座	モリス・マーシャル・ フォークナー商会	85×50×44
33	サセックス・シリーズ の丸椅子	おそらくフォード・マドックス・ ブラウン	1865頃	黒檀色仕上げの木 材、蘭草座	モリス・マーシャル・ フォークナー商会	83.5×44.5×42
34	ライティングデスク		1890頃	オーク	モリス商会（刻印）	96×120×58
35	ユートピア便り	ウィリアム・モリス	1892		ケルムスコット・ プレス	20.8×15
36	ソネットと抒情詩	ダンテ・ゲイブリエル・ロセッ ティ (デザイン:ウィリアム・モリス)	1893		ケルムスコット・ プレス	21×15
37	アミとアミールの友情	ウィリアム・モリス	1894		ケルムスコット・ プレス	14.8×11
38	クースタンス王と異国の 物語	ウィリアム・モリス	1894		ケルムスコット・ プレス	14.7×11
39	サミュエル・テイラー・ コウルリッジ詩選	ウィリアム・モリス	1896		ケルムスコット・ プレス	20.8×14.5
第2章 アーツ・アンド・クラフツ展覧会協会						
40	夏	ウォルター・クレイン	1870	素描、ペンとインク、 紙		55×30.5
41	ミュージック(2枚組)	ウォルター・クレイン	1870	色刷り、紙		各辺93.5×26
42	孔雀	ウォルター・クレイン	1860-70代	木版、色刷り、紙		71.5×104
43	オレンジの樹	ウォルター・クレイン	1886	木版、色刷り、紙	ジェフリー社	114×53.2
44	ふくろう	チャールズ・フランシス・アン ズリー・ヴォイジー (以下C・F・A・ヴォイジー)	1899	木版、色刷り、紙	エセックス社	63×44
45	小鳥と花 「エセックス・No. A. 14」	C・F・A・ヴォイジー	1907頃	木版、色刷り、紙	エセックス社	76×53
46	花と葉	ルイス・フォーマン・デイ		プリント、木綿	ターンブル& ストックデル	81×83.5

No.	作品名	作者名	制作年	技法・素材	製造業者	寸法 (縦×横cm/高さ×幅×奥行cm)
47	ニュー・ドット	ルイス・フォーマン・デイ	1898	プリント、木綿	ターンブル&ストックデール	53.3×53.3
48	ポピー	C・F・A・ヴォイジー	1895頃	プリント、木綿	G・P & J・ペーカー社	73×138
49	花	C・F・A・ヴォイジー	1900頃	モヘアプラシ天にプリント		115×64.5
50	小鳥	C・F・A・ヴォイジー	1918頃	プリント、木綿	モートン・サンダー・ファブリック社	162.5×79
51	シルク・ダマスクの ドイリー	ウォルター・クレイン	1893	シルク・ダマスク	ジョン・ウィルソン &サンズ	各辺17.5
52	卓上ランプ	ウィリアム・アーサー・スミス・ ベンソン	1890頃	真鍮、 ワセリンガラス	W・A・S・ベンソン社	36(高さ)、13.5 (ランプシェード径)
53	卓上ランプ	ウィリアム・アーサー・スミス・ ベンソン		真鍮、 ワセリンガラス	W・A・S・ベンソン社	30(高さ)、14.5 (ランプシェード径)
54	卓上ランプ	ウィリアム・アーサー・スミス・ ベンソン		真鍮、 ワセリンガラス	W・A・S・ベンソン社	24.5(高さ)、14 (ランプシェード径)
55	ペンダントライト	ウィリアム・アーサー・スミス・ ベンソン(ガラス:ジェイムズ・ パウエル・アンド・サンズ)	1898頃	真鍮、すりガラス	W・A・S・ベンソン社	63(高さ)×21 (ランプシェード径)
56	卓上ランプ	ウィリアム・アーサー・スミス・ ベンソン	1900頃	銅、真鍮、絹	W・A・S・ベンソン社	86(高さ)、48 (ランプシェード径)
57	ケトルとスタンド	ウィリアム・アーサー・スミス・ ベンソン	1900頃	真鍮、銅、鋼	W・A・S・ベンソン社	ケトル： 17×27×21、 スタンド： 69×35×35
58	ポピー	ウィリアム・モリス	1870代	タイル・パネル	モリス商会	13角(1枚)
59	ロングデン	おそらくフィリップ・ウェップ	1870頃	タイル・パネル	モリス・マーシャル・ フォークナー商会	15.5角(1枚)
60	牡丹	ケイト・フォークナー	1880頃	タイル	モリス商会	15.5角
61	バラと格子	ウィリアム・ド・モーガン	1872頃	タイル・パネル	ド・モーガン工房	15角(1枚)
62	花と葉飾り	ウィリアム・ド・モーガン		タイル・パネル		62.2×21
63	ペルシアン・タイル	ウィリアム・ド・モーガン	1882-88	タイル		15.5角
64	ベッドフォード・パーク・ アネモネ	ウィリアム・ド・モーガン	1882-88	タイル		15.7角
65	BBB・イエロー	ウィリアム・ド・モーガン	1898	タイル	サンズ・エンド・ ボトリー	15.5角
66	フラム	ウィリアム・ド・モーガン	1892-1907	タイル	サンズ・エンド・ ボトリー	15.6角
67	孔雀の羽根	ルイス・フォーマン・デイ		タイル・パネル	ビルキントン・ タイル・アンド・ ボトリー社	15角 (5枚組×2)
68	魚と樹葉	C・F・A・ヴォイジー	1902頃	タイル・パネル	ビルキントン・ タイル・アンド・ ボトリー社	41×14.5
69	樹葉	C・F・A・ヴォイジー	1902頃	タイル	ビルキントン・タ イル・アンド・ポ トリー社	15角
70	葉と花	C・F・A・ヴォイジー	1902頃	タイル	ビルキントン・タ イル・アンド・ポ トリー社	14.5角

No.	作品名	作者名	制作年	技法・素材	製造業者	寸法 (縦×横cm/高さ×幅×奥行cm)
71	花と葉	おそらくC・F・A・ヴォイジー	1903以後	2枚組タイル・パネル	J・C・エドワーズ社 (ルアボン)	29.5×14.5
72	『社会主義のための原画集：社会主義・労働運動のための絵と詩 1886-1896』	ウォルター・クレイン	1896			31×60、 49×31、 49×31
73	『幼子のオペラ』	ウォルター・クレイン	1877	カラー挿絵本	フレデリック・ウォーン社	18.3×19.4
74	『夏の女王、あるいは百合と薔薇の騎馬試合』	ウォルター・クレイン	1891	カラー挿絵本	カッセル社	28.6×20.9
75	『1898年 イースターアート』	ウォルター・クレイン	1898	カラー挿絵本	J・S・ヴァーチャー社	34×26
76	『花のファンタジー 古きイングランドの庭にて』	ウォルター・クレイン	1899	カラー挿絵本	ハーパー・アンド・ブラザーズ	27×22
77	『フローラの饗宴』	ウォルター・クレイン	1899	カラー挿絵本	カッセル社	25.5×19.2
78	『ステューディオ誌』 創刊号	表紙デザイン： C・F・A・ヴォイジー	1893			29×22
第3章 英国におけるアーツ・アンド・クラフツの展開						
79	チューリップとリリー	リンジー・フィリップ・バターフィールド	1896頃	絹とウールの二重織り	アレクサンダー・モートン商会	193×120
80	ポピー		1885頃	プリント、ベルベット	シルヴァー・スタジオ	177.2×111.8
81	カーテン布地	おそらくハリー・ナッパー	1890代	プリント、木綿	シルヴァー・スタジオ	250×132
82	絹織物		1900頃	絹	おそらくシルヴァー・スタジオ	59×125.5
83	ジャカード織り絹布地		1900頃	ジャカード・絹、手織り	おそらくシルヴァー・スタジオ	115×184
84	ジャカード織り綿布地		1900頃	木綿	おそらくシルヴァー・スタジオ	172×130
85	シルケット加工布地	ジョージ・フォークナー・アーミテージ	1900頃	木綿	アーサー・H・リー商会	131×127.5
86	リバティ・テキスタイル			別珍	リバティ商会	193.5×68
87	リバティ・テキスタイル			ウール	リバティ商会	303×115
88	リバティ・テキスタイル			木綿	リバティ商会	232×116
89	肘掛け椅子	フィリップ・クリセット	1890-1913頃	トネリコ材、蘭草座		115×58.5×41
90	ビーデイル・チェア	アーネスト・ギムソン	1910代	オーク材、蘭草座		99.1×48.9× 41.9
91	肘掛け椅子	ゴードン・ラッセル	1920代頃	イチイ材		104.5×74×42
92	テーブル		19世紀後半頃			67.5×48.5× 37.5
93	ミュージック・キャビネット		1890頃	ブナ材		101×61×40
94	蓋付きマフィン銀皿	チャールズ・ロバート・アシュビー	1900頃	銀メッキ、ラピスラズリ	ギルド・オブ・ハンディクラフト	14(高さ)×23(径)
95	銀製ポーリンガー	チャールズ・ロバート・アシュビー	1907	銀、緑玉髓	ギルド・オブ・ハンディクラフト	器径：10.6、 取手：8.5

No.	作品名	作者名	制作年	技法・素材	製造業者	寸法 (縦×横cm/高さ×幅×奥行cm)
96	緑のガラスと銀製の塩入れ	チャールズ・ロバート・アシュビー		銀、ガラス、緑玉髄	ギルド・オブ・ハンディクラフト	4(高さ)×6.7(径)
97	シール・トップ・スプーン	チャールズ・ロバート・アシュビー	1927	銀	ギルド・オブ・ハンディクラフト	15(長さ)
98	コーヒーポットとミルク、砂糖入れ	チャールズ・ロバート・アシュビー 関連作品	1944-45	銀	ギルド・オブ・ハンディクラフト	コーヒーポット： 21(高さ)、 ミルク入れ： 8.3(高さ)、 砂糖壺： 11(直径)
99	銀製宝石箱	アルバート・エドワード・ジョーンズ	1900頃	銀、エナメル		6.5×19.5×14
100	ピューターとエナメルの置時計 (マントルピース用の)	アーチボールド・ノックス		ピューター、エナメル	リバティ商会	20.3×14.5×5
101	ウェールズのミルク用水差し	アーチボールド・ノックス	1904頃	銀	リバティ商会	8.5×13×11
102	ピューターとエナメルの3点組ティーセット	アーチボールド・ノックス	1900頃	ピューター、エナメル	リバティ商会	ティーポット： 11×25×18、 砂糖壺： 7×14×13、 ミルク入れ： 7.5×15×11
103	ピューターのティーとコーヒーセット	アーチボールド・ノックス	1903頃	ピューター	リバティ商会	コーヒーポット： 22×19×9、 湯水ポット： 23×15×9.5、 砂糖壺： 7×14×11、 ミルクピッチャー： 7.5×14×11、 トレイ： 4×50×36
104	銀ボウル	エドワード・スペンサー	1915頃	銀メッキ		14(高さ)×21(径)
105	銀スプーン	オマー・ラムステン	1922	銀	ジェームズ・ディクソン・アンド・サンズ	16(長さ)
106	銀バターナイフ		1910頃	銀メッキ	ジェームズ・ディクソン・アンド・サンズ	14(長さ)
107	銀、エナメルのコーヒースプーンセット	バーナード・インストーン	1924、1957	銀、エナメル		10.5(長さ)
108	銅小箱	ジョン・ピアソン	1904	銅		23.5(幅)
109	銅縁の鏡	おそらくジョン・ピアソン	1890頃	銅		81×65
110	ゴブレット花器	おそらくハリー・パウエル		ガラス	ジェームズ・パウエル・アンド・サンズ、ホワイトフライアーズ	22.5(高さ)
111	ゴブレット花器	おそらくハリー・パウエル		ガラス	ジェームズ・パウエル・アンド・サンズ、ホワイトフライアーズ	23(高さ)

No.	作品名	作者名	制作年	技法・素材	製造業者	寸法 (縦×横cm/高さ×幅×奥行cm)
112	タツア(脚付きカップ)	おそらくハリー・パウエル		ガラス	ジェームズ・パウエル・アンド・サンズ、ホワイトフライアーズ	16(高さ)
113	ストローオパール・ガラス花器			ガラス	ジェームズ・パウエル・アンド・サンズ、ホワイトフライアーズ	23(高さ)
114	デカンタ (ペア)	T.G.ジャクソン		ガラス	ジェームズ・パウエル・アンド・サンズ、ホワイトフライアーズ	各31(高さ)
115	織条模様のボウル	ウィリアム・バトラー		ガラス	ジェームズ・パウエル・アンド・サンズ	7.2(高さ)×27(径)
116	織条模様のボウル	ウィリアム・バトラー		ガラス	ジェームズ・パウエル・アンド・サンズ	14(高さ)
117	カットガラスの扇型花器			ガラス	ジョン・ウォルシュ・ウォルシュ	26.5(高さ)
118	ワセリンガラス花器			ガラス	ジョン・ウォルシュ・ウォルシュ	26(高さ)
119	扇型グリーン花器			ガラス	ジョン・ウォルシュ・ウォルシュ	
120	ボウル			ガラス	モンクリーフのモンアート、スコットランド	11(高さ)
121	銀とエナメル の プレスレット			銀、エナメル	マール・ベネット商会	17.2(長さ)
122	ペンダント		1900頃	銀、アメジストとパールドロップ ネックレス	マール・ベネット商会	ペンダントトップ: 2.5×4.5、 チェーン: 40
123	銀とエナメル の ブローチ	アーチボールド・ノックス	1903頃	銀、手彩エナメル	リバティ商会	5×2
124	銀とエナメル の ブローチ	アーチボールド・ノックス	1903頃	銀、手彩エナメル	リバティ商会	4×2.8
125	銀とエナメル の バックル		1908	銀、エナメル	リバティ商会	12.2×5
126	ホワイトメタル の エナメル・ペンダント	ジェームズ・クロマー・ワット	1920頃	ホワイトメタル、 エナメル	リバティ商会	ペンダントトップ: 4.5×6、 チェーン: 40
127	銀とムーンストーン の ネックレス	おそらくエドワード・スペンサー		銀、ムーンストーン	アーティフィサーズ・ギルド	ペンダントトップ: 3×7、 チェーン: 40
128	銀とエナメル の ペンダント・ネックレス	チャールズ・ホーナー		銀、エナメル		ペンダントトップ: 3×3.5、 チェーン: 46
129	銀とエナメル の ペンダント・ネックレス		1909	銀、エナメル	ペンドルトン・アンド・サンズ	ペンダントトップ: 3.7×2.9、 チェーン: 52
130	セルティック・リバイバル・ペナニュラ・ブローチ		20世紀初期	ワイヤーワーク・カボションカットの石		7×3.2

No.	作品名	作者名	制作年	技法・素材	製造業者	寸法 (縦×横cm/高さ×幅×奥行cm)
131	セルティック・リバイバル・ペナニユラ・ブローチ		20世紀初期	ワイヤーワーク・ガーネット		5.8×5
132	銀とエナメルブローチ		1905頃	銀、エナメル		3.2×3.2
133	銀とエナメルブローチ	ジェームズ・フェントン	1907	銀、エナメル		2.7×3
134	銀とアメジストとペリドットのプレスレット	シビル・ダンロップ		銀、アメジストとペリドット		1.6×7(径)
135	グラスゴー派・銀の手彩ブローチ	マリイ・ソウ様式	1910頃	磁器、銀		4.5×3.5
136	『エレーン：国王牧歌』	挿絵： ジェシー・マリオン・キング	1903		ジョージ・ラウトリッジ・アンド・サンズ出版社	14×10.5
137	『ディネヴィア・国王牧歌』	挿絵： ジェシー・マリオン・キング	1903		ジョージ・ラウトリッジ・アンド・サンズ出版社	13.5×10.7
138	『ロビンフッドの人生の冒険』	表紙： ジェシー・マリオン・キング	1904			20×15
139	『若者のための教訓的な物語』	表紙： ジェシー・マリオン・キング	1904			20×15
140	『ステューディオ誌』クリスマス増刊号	ジェシー・マリオン・キング	1913			21×14
第4章 アメリカでのアーツ・アンド・クラフツ						
141	スピンドル・サイド・チェア	グスタフ・スティックリー	1907-10頃		ザ・クラフツマン・ワークショップ	96×42×42
142	ロッキング・チェア	レオポルド・アンド・ジョン・ジョージ・スティックリー		オーク、皮革	L & J・G・スティックリー	94×72.5×96
143	スピンドル・テーブル	スティックリー・ブラザーズ				76×76×42.5
144	机と椅子		1912-24	オーク、銅	L & J・G・スティックリー	机： 75×122×62、 椅子： 96×47×42
145	8枚パネルのマイカランプ		1910頃	雲母、銅	ザ・ハンデル・カンパニー	65(高さ)×54(径)
146	三輪のリリーのテーブル・ランプ		1910頃	ブロンズ、ファブリル・ガラス	ティファニー・スタジオ	32(高さ)
147	三輪のリリーの金色ランプ		1901-25	金メッキ・ブロンズ、ファブリル・ガラス	ティファニー・スタジオ	33(高さ)
148	脚のあるグラス		1905頃	ファブリル・ガラス	ティファニー・スタジオ	16.5(高さ)
149	卓上用ピクチャーフレーム			金メッキ・ブロンズ、スラグガラス	ティファニー・スタジオ	24.5×20.5×14
150	ブドウのつるに覆われたインク壺			ブロンズ、ガラス	ティファニー・スタジオ	10×10.7×11
151	パインニードル模様のペン置き			ブロンズ、ガラス	ティファニー・スタジオ	10.5×13×6.5
152	くもの巣模様のペン皿			ブロンズ、ガラス	ティファニー・スタジオ	2×24.8×7.3
153	デスク・カレンダー			ブロンズ、ガラス	ティファニー・スタジオ	3.3×11.8×9

No.	作品名	作者名	制作年	技法・素材	製造業者	寸法 (縦×横cm/高さ×幅×奥行cm)
154	パインニードル模様の スタンプボックス			金メッキ・ブロンズ、 ガラス	ティファニー・ スタジオ	3.8×10.5×6.2
155	フクロウのブックエンド と吸取紙の台			銅	ザ・ロイクロフターズ	ブックエンド： 12.5×14×11、 台： 4.5×12.5×6.5
156	パーペチュアル・ カレンダー（万年暦）			銅	ザ・ロイクロフターズ	9×11×3
157	マーティン邸のステンド グラス・ドア	フランク・ロイド・ライト	1904頃	鉛、ガラス	リンデングラス社	173×73
158	オスカー・ステファンズ 邸のステンドグラス・窓	フランク・ロイド・ライト	1909	鉛、ガラス		75×40
159	『ザ・クラフツマン誌』 vol.3 1902年10月号	グスタフ・スティックリー	1902			26.5×20
160	『ザ・クラフツマン誌』 vol.5 1904年3月号	グスタフ・スティックリー	1904			26×19.5
161	『ザ・クラフツマン誌』 vol.6 1904年6月号	グスタフ・スティックリー	1904			26×20
162	『ザ・クラフツマン誌』 vol.6 1904年7月号	グスタフ・スティックリー	1904			25.5×19.5
163	『ザ・クラフツマン誌』 vol.23 1913年3月号	グスタフ・スティックリー	1913			27.5×21
164	『ザ・クラフツマン誌』 vol.24 1913年7月号	グスタフ・スティックリー	1913			27×21
165	『リトルジャーニーズ ズ・英国の著作者の もとへ：ジョン・ミ ルトン』	エルバルト・ハバード	1899		ロイクロフト・プレス	22×16
166	『リトルジャーニーズ・ 偉大な音楽家のもとへ： ジュゼッペ・ヴェル ディ』	エルバルト・ハバード	1901		ロイクロフト・プレス	21×15.5
167	『リトルジャーニーズ・ 偉大な教育者のもとへ： アルフレッド大王』	エルバルト・ハバード	1908		ロイクロフト・プレス	20.5×15.5
168	『リトルジャーニーズ・ 偉大な実業家のもとへ： A.T.ステュワート』	エルバルト・ハバード	1909		ロイクロフト・プレス	20×15.5

■ 令和5年度コレクション展示

各展示室の展示期間と特集

太字は表中の記号を示す

春 コレクション展A(ミレー館) 令和5年3月14日～6月25日…①

コレクション展B(テーマ展示室) 令和5年3月14日～6月4日

「共に、在る。ー自然の営み・人の暮らしー」「新収蔵品・修復作品」…(1)

コレクション展C(萩原英雄記念室) 令和5年3月14日～6月25日…H-1

〈古い記録〉と〈回想〉シリーズ／国際展に出品された作品

夏 コレクション展A(ミレー館) 令和5年6月27日～8月27日…②

西洋版画コレクション(15ー19世紀)

※特別展「ミレーと4人の現代作家たち」に伴い、7月1日～8月27日は特別展示室にミレー作品を展示しました。

コレクション展B(テーマ展示室) 令和5年6月6日～9月10日…(2)

「おかげさまで45周年 みなさまのご支援の賜(たまもの) です～寄託作品を一堂に!」

6月6日～7月23日…(2)-前、7月25日～9月10日…(2)-後

コレクション展C(萩原英雄記念室) 令和5年6月27日～8月27日…H-2

「萩原英雄の描いた山」

秋 コレクション展A(ミレー館) 令和5年8月29日～11月26日…③

コレクション展B(テーマ展示室) 令和5年9月12日～12月3日

「開館45周年記念購入作品」9月12日～11月26日…(3)-1

「野口コレクションにみる人、神、仏、仙人たち」9月12日～10月22日…(3)-1前、

10月24日～11月26日…(3)-1後

「人間とはー2023「コロナ後」ー」9月12日～12月3日…(3)-2

コレクション展C(萩原英雄記念室) 令和5年8月29日～11月26日…H-3

「萩原英雄の描いた人間像」

冬 コレクション展A(ミレー館) 令和5年11月28日～令和6年3月3日…④

コレクション展B(テーマ展示室) 令和5年12月5日～令和6年3月3日

「「富士山の日」にちなんで「冬から早春へ」11月28日～3月3日…(4)-1

11月28日～2月18日…(4)-1前 2月20日～3月3日…(4)-1後

「コレクションに見る「集まる」」12月5日～3月3日…(4)-2

コレクション展C(萩原英雄記念室) 令和5年11月28日～令和6年3月3日…H-4

「くお伽の国」シリーズ」「萩原英雄の年賀状 辰年」「萩原英雄、アメリカを訪れる」

出品目録

No	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	展示期間			
西洋美術作品 油彩									
1	J.F.ミレー	種をまく人	1850	油彩・麻布	99.7×80.0	①		③	④
2	J.F.ミレー	眠れるお針子	1844-45	油彩・麻布	45.7×38.1	①		③	④
3	J.F.ミレー	無原罪の聖母	1858	油彩・麻布	77.7×44.8	①		③	④
4	J.F.ミレー	ポーリーヌ・V・オノの肖像	1841-42頃	油彩・麻布	73.0×63.0	①		③	④
5	J.F.ミレー	落ち穂拾い、夏	1853	油彩・麻布	38.3×29.3	①		③	④
6	J.F.ミレー	ダフニスとクロエ	1845頃	油彩・麻布	82.5×65.0	①		③	④
7	J.F.ミレー	鶏に餌をやる女	1853-56頃	油彩・板	73.0×53.5	①		③	④
8	J.F.ミレー	夕暮れに羊を連れ帰る羊飼	1857-60頃	油彩・板	53.5×71.0	①		③	④
9	J.F.ミレー	冬(凍えたキューピッド)	1864-65	油彩・麻布	205.0×112.0	①		③	④
10	J.F.ミレー	古い堀	1862頃	油彩・麻布	50.8×61.6	①		③	④
11	J.F.ミレー	グレヴィルの断崖	1870	油彩・麻布	24.0×33.0	①		③	④

No	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	展示期間			
12	J.F.ミレー	角笛を吹く牛飼	不詳	油彩・板	38.1×27.9	①		③	④
13	C.ロラン	木を伐り出す人々(川のある風景)	1637頃	油彩・麻布	79.0×115.6	①	②	③	④
14	ジョルジュ・ミシュル	風車のある風景	1820-40頃	油彩・麻布	60.4×86.3	①	②	③	④
15	J.V.ライスダール	ベントハイム城の見える風景	1655頃	油彩・麻布	63.5×68.0	①	②	③	④
16	ジュール・デュプレ	森の中ー夏の朝	1840頃	油彩・麻布	95.5×76.0	①	②	③	④
17	ジュール・デュプレ	海景	1870頃	油彩・麻布	51.0×63.5	①	②	③	④
18	ディアズ・ド・ラ・ペーニャ	フォンテーヌブローの森	1862	油彩・麻布	51.0×71.0	①	②	③	④
19	ディアズ・ド・ラ・ペーニャ	森の中の薪拾い	1873	油彩・麻布	43.0×55.0		(2)		
20	ディアズ・ド・ラ・ペーニャ	フォンテーヌブローの森	不詳	油彩・麻布	32.0×41.0		(2)		
21	C.E.ジャック	森の中の羊の群れ	1860頃	油彩・板	49.0×118.0	①	②	③	④
22	C.E.ジャック	森はずれの羊飼いの女	1870-80頃	油彩・麻布	81.2×66.3	①	②	③	④
23	C.E.ジャック	羊群	不詳	油彩・麻布	71.0×100.0		(2)		
24	C.E.ジャック	鶏	不詳	油彩・麻布	49.0×60.0		(2)		
25	C.トロワイヨン	市日	1859頃	油彩・麻布	115.4×175.5	①			(4)-2
26	C.トロワイヨン	近づく嵐	1859	油彩・麻布	113.0×145.0		②	③	④
27	C.トロワイヨン	サン・クルー公園の入り口	不詳	油彩・麻布	41.5×65.5		(2)		
28	Th.ルソー	フォンテーヌブローの森のはずれ	1866	油彩・麻布	76.0×95.0	①	②	③	④
29	C.コロー	大農園	1860-65頃	油彩・麻布	55.2×80.8	①	②	③	④
30	G.クールベ	嵐の海	1865	油彩・麻布	54.0×73.0	①	②	③	④
31	G.クールベ	川辺の鹿	1864頃	油彩・麻布	73.0×92.0	①	②	③	④
32	C.F.ドービニー	オワーズ河の夏の朝	1869	油彩・麻布	68.6×100.3	①	②	③	④
33	シャルル＝フェルディナン・セラマン	林間の空き地	1853	油彩・麻布	72.0×100.0				
34	ヨハン・バルトールト・ヨンキント	ドルトレヒトの月明かり	1872頃	油彩・麻布	59.5×102.0	①	②	③	④
35	ジュリアン・デュプレ	牧草の取り入れ	1890-95頃	油彩・麻布	65.1×81.0	①	②	③	④
36	ジュール・ブルトン	朝	1888	油彩・麻布	101.6×76.2	①			
37	レオン＝オーギュスタン・レルミット	洗濯をする女たち	1910	油彩・麻布	54.6×70.8		②	③	④
38	ジュール＝ジャック・ヴェラサ	収穫	不詳	油彩・板	31.0×63.3		(2)		
39	アントワーヌ・シャントルイユ	洗濯女の家、夕暮れの効果	不詳	油彩・麻布	35.0×72.0		(2)		
40	アレクサンドル・ルネ・ヴェロン	池畔風景	1872	油彩・麻布	59.0×90.0		(2)		
41	ピエール＝オーギュスト・ルノワール	ジャンヌ・ボドーの肖像	1896	油彩・麻布	24.0×19.0		(2)		

西洋美術作品 版画

1	アルブレヒト・デューラー	黙示録の四騎士	1498	木版	39.4×28.1		②		
2	ハンス・ゼーバルト・ペーハム	アダムとイヴ	1543	エングレーヴィング	5.5×7.8		②		
3	ウィリアム・ホガス	回教寺院の内部	1723	エングレーヴィング	17.7×24.5		②		
4	ウィリアム・ホガス	ターバンを巻いた人々	1723	エングレーヴィング	24.4×17.2		②		
5	ウィリアム・ホガス	回教寺院の平面図	1723	エングレーヴィング	25.0×35.0		②		
6	ウィリアム・ブレイク	パオロとフランチエスカ	1827	エングレーヴィング	24.3×33.8		②		
7	ウィリアム・ブレイク	悪魔達に苦しめられるチャンポーロ	1827	エングレーヴィング	23.0×33.7		②		
8	ウィリアム・ブレイク	裏をかかれて争う悪魔達	1827	エングレーヴィング	24.2×33.3		②		

No	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	展示期間		
9	ウィリアム・ブレイク	六本足の蛇に襲われるアニョロ・ブルネレスキ	1827	エングレーヴィング	24.4×33.9	②		
10	ウィリアム・ブレイク	蛇に襲われるブオーゾ・ドナーティ	1827	エングレーヴィング	24.4×33.9	②		
11	ウィリアム・ブレイク	悪疾の偽造者たちを悪臭のために鼻をおさえて見おろすダンテとヴィルジール	1827	エングレーヴィング	24.1×33.3	②		
12	ウィリアム・ブレイク	罵りをやめないボッカを足蹴にするダンテ	1827	エングレーヴィング	23.5×33.8	②		
13	オノレ・ドームエ	ナポリにてー最良の王たる者は国家を秩序によって統治するー	1851	リトグラフ	21.5×28.0	②		
14	オノレ・ドームエ	恐るべき遺産	1870-71	リトグラフ	23.0×18.0	②		
15	オノレ・ドームエ	新型銃発明者の夢	1866	リトグラフ	23.3×19.9	②		
16	オノレ・ドームエ	ヨーロッパの均衡	1867	リトグラフ	25.4×21.0	②		
17	オノレ・ドームエ	人間のピラミッド	1867	リトグラフ	26.4×21.4	②		
18	シャム	砲撃を警戒するパリジェンヌのモード	1870-71	リトグラフ	22.0×18.0	②		
19	シャム	民衆のための贈り物の準備	1870-71	リトグラフ	22.0×18.0	②		
20	シャム	哀れなアンリ4世は自分の馬が肉屋に連れていかれるのを見ている	1870-71	リトグラフ	22.5×18.0	②		
21	シャム	ねずみの肉のための行列	1870-71	リトグラフ	22.5×16.5	②		
22	ロドルフ・ブレダン	村の入口	1861	エッチング	14.9×9.9	②		
23	フランシスコ・デ・ゴヤ	昔のスペイン人が原野で馬に乗って牡牛を狩る方法	1815-16	エッチング、 アクアチント、 ドライポイント	21.2×30.9	②		
24	フランシスコ・デ・ゴヤ	馬に乗らずに牡牛を狩る方法	1815-16	エッチング、 アクアチント、 ドライポイント、 エングレーヴィング	19.8×30.8	②		
25	フランシスコ・デ・ゴヤ	勇壮なモーロ人ガスールは、規則に従って牡牛を槍で突いた最初の男である	1815-16	エッチング、 アクアチント、 ドライポイント	20.6×31.0	②		
26	フランシスコ・デ・ゴヤ	銛槍もしくはバンデリーリャの起源	1815-16	エッチング、 アクアチント、 エングレーヴィング	20.0×31.7	②		
27	フランシスコ・デ・ゴヤ	英雄エル・シッド、別の牡牛を槍で突く	1815-16	エッチング、 アクアチント、 エングレーヴィング	21.4×31.3	②		
28	フランシスコ・デ・ゴヤ	槍や半月槍、バンデリーリャ、その他の武器で牡牛の膝を切ろうとする群衆	1815-16	エッチング、 アクアチント、 ドライポイント	21.0×31.3	②		
29	フランシスコ・デ・ゴヤ	サラゴーサ闘牛場でのマルティンチョの無謀な技	1815-16	エッチング、 アクアチント、 ドライポイント	20.4×31.0	②		
30	フランシスコ・デ・ゴヤ	同じ闘牛場でマルティンチョが見せたもう一つの狂気	1815-16	エッチング、 アクアチント、 ドライポイント、 エングレーヴィング	20.4×31.7	②		
31	フランシスコ・デ・ゴヤ	マドリッド闘牛場でファニート・アピニャーニが見せた敏捷さと大胆さ	1815-16	エッチング、 アクアチント	20.2×30.8	②		(4)-2
32	フランシスコ・デ・ゴヤ	炎のバンデリーリャ	1815-16	エッチング、 アクアチント、 ドライポイント、 エングレーヴィング	21.0×32.0	②		
33	ウジェーヌ・ドラクロワ	ハムレットを慰めようと試みる王妃	1834-43	リトグラフ	25.4×19.7	②		
34	ウジェーヌ・ドラクロワ	父の亡霊について行こうとするハムレット	1834-43	リトグラフ	26.0×20.3	②		

No	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	展示期間		
35	ウジェーヌ・ドラクロワ	テラスの亡霊	1834-43	リトグラフ	25.6×18.8	②		
36	ウジェーヌ・ドラクロワ	ポロニウスとハムレット	1834-43	リトグラフ	24.6×18.0	②		
37	ウジェーヌ・ドラクロワ	ハムレットとギルデンスターン	1834-43	リトグラフ	25.0×20.0	②		
38	ウジェーヌ・ドラクロワ	父の毒殺の場面を喜劇役者たちに演じさせるハムレット	1834-43	リトグラフ	24.8×32.3	②		
39	ウジェーヌ・ドラクロワ	国王を殺そうとするハムレット	1834-43	リトグラフ	26.1×17.5	②		
40	ウジェーヌ・ドラクロワ	ポロニウスの殺害	1834-43	リトグラフ	24.0×19.2	②		
41	ウジェーヌ・ドラクロワ	ハムレットと王妃	1834-43	リトグラフ	26.0×18.0	②		
42	ウジェーヌ・ドラクロワ	ハムレットとポロニウスの死体	1834-43	リトグラフ	25.6×17.7	②		
43	ウジェーヌ・ドラクロワ	オフィーリアの死	1834-43	リトグラフ	18.5×25.6	②		
44	ウジェーヌ・ドラクロワ	墓掘人の前のハムレットとホレーショ	1834-43	リトグラフ	28.2×20.9	②		
45	ウジェーヌ・ドラクロワ	ハムレットの死	1834-43	リトグラフ	29.0×20.0	②		
46	C.コロー	森の入口の母子	1856	ガラス版画	35.5×26.4		(3)-2	
47	ケーテ・コルヴィッツ	囚われた人々	1908	エッチング	32.7×42.3			(4)-2
48	ケーテ・コルヴィッツ	子供を抱いて眠る母	1929	木版	30.0×35.9		(3)-2	
49	エルンスト・バルラッハ	子供の死	1919	木版	23.8×36.0		(3)-2	
50	モーリス・ドニ	母親に花冠を戴く子ども	1920頃	リトグラフ	45.5×34.0		(3)-2	
51	ホセ・クレメンテ・オロスコ	シリーズ真実	1945	スクリーンプリント	65.5×40.0			(4)-2
52	レオポルド・メンデス	メキシコ現代版画の父 ホセ・グアダルーペ・ボサダ (版画集『闘争の450年－メキシコ民衆へのオマージュ』より)	1960	リノリウム版	15.5×34.4			(4)-2
53	アルトオーロ・ガルシア・ブストス	マヤ人ハシント・カネック (版画集『闘争の450年－メキシコ民衆へのオマージュ』より)	1960	リノリウム版	23.3×30.6			(4)-2
54	ジャスパー・ジョーンズ	うすゆき (USUYUKI)	1980	スクリーンプリント	131.5×50.5	(1)		
55	セシリオ・サンチェス	追いつめられて	1990	エッチング、 アクアチント	30.0×27.5			(4)-2
56	ホアン・アルカサル	天使	1996	エッチング	49.5×40.0			(4)-2
57	フェルナンド・オリベラ	喜びの時	1997	エッチング、 アクアチント	24.5×20.0			(4)-2
58	フランシスコ・トレド	ショロ犬	1998	エッチング	12.0×17.0			(4)-2
59	センテシア・マルティネス・ベナヴィデス	瞬間	1996	リトグラフ	35.0×50.0			(4)-2
60	サウル・カストロ	コシホの捧げもの 1 (詩画集『オアハカの3つの伝説』より)	1998	エッチング、 アクアチント	24.4×19.7			(4)-2
61	ルイス・ヴァレンシア	コシホの捧げもの 2 (詩画集『オアハカの3つの伝説』より)	1998	エッチング、 アクアチント	24.5×19.2			(4)-2
62	マリアノ・ピネダ・マトウス	コシホの捧げもの 3 (詩画集『オアハカの3つの伝説』より)	1998	エッチング、 アクアチント	24.1×19.4			(4)-2
63	フルヘンシオ・ラソ	無題	1999	エッチング	45.0×30.0			(4)-2
64	フルヘンシオ・ラソ	日傘の遊び	1999	リトグラフ	54.0×44.0			(4)-2

No	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（縦×横cm）	展示期間			
国外美術作品 彫刻						☆展示室外（館内）			
1	O.ザッキン	三美神	1953	ブロンズ	高さ151.0	☆	☆	☆	☆
2	M・マリニー	ヘンリー・ムアの肖像	1962	ブロンズ	高さ30.7	①	②	③	④
3	E・グレコ	うずくまる女	1974	ブロンズ	高さ70.0	☆	☆	☆	☆

日本美術作品 日本画

1	穴山勝堂	秋の訪れ	1920	絹本着色	84.2×113.3		(2)		
2	穴山勝堂	清湾青春	1922	絹本着色	151.3×327.0		(2)		
3	大河内夜江	たにまの春	1927	紙本着色	251.0×183.5	(1)			
4	大河内夜江	大菩薩峠絵巻【前後期場面替え】	1957	紙本墨画淡彩	(各)34.5×183.0		(2)		
5	加倉井和夫	冬	1981	紙本着色	73.0×146.0				(4)-1
6	加藤和夫	高原	1968	紙本着色	203.0×148.0		(2)		
7	加藤良造	山水行	2006	墨・彩色・紙本	162.0×130.3		(2)		
8	川崎小虎	囲碁	1921	絹本着色	166.5×372.0		(2)		
9	川崎小虎	木の実拾い	1946	紙本着色	154.0×342.0		(2)		
10	川崎小虎	麦秋（落合村）	1948	紙本着色	87.0×108.0	(1)			
11	川崎小虎	収穫A	1945-50	紙本着色	49.0×37.0	(1)			
12	川崎小虎	収穫B	1945-50	紙本着色	49.0×29.0	(1)			
13	川崎鈴彦	雪の市	1960	紙本着色	169.0×234.0			(3)-2	
14	川崎鈴彦	浜	1978	絹本着色	174.0×219.0			(3)-2	
15	河内雅溪	昇仙峡之図	不詳	紙本着色	157.0×164.0		(2)-前		
16	川手青郷	ドック	1961	紙本着色	137.0×183.0		(2)		
17	小室翠雲	十六羅漢図	1904	絹本着色	141.2×70.7			(3)-1 後	
18	近藤乾年	麦摺り	1934	紙本着色	191.0×206.0	(1)		(3)-2	
19	近藤乾年	浜働き	1934頃	紙本着色	176.0×194.0			(3)-2	
20	近藤浩一路	鶏冠井青嵐（『京洛十題』のうち）	1924	紙本墨画	53.5×66.5		(2)		
21	近藤浩一路	鐘釣温泉	1928	紙本墨画淡彩	45.6×54.0			(3)-2	
22	近藤浩一路	採果	1951	紙本墨画	50.3×57.2	(1)			
23	近藤浩一路	雨期	1951	紙本墨画	54.3×61.0	(1)			
24	近藤浩一路	麦踏	1957	紙本墨画	68.0×123.0			(3)-2	
25	斎藤倭文緒	三人	1977	紙本着色	188.0×174.0			(3)-2	
26	三枝茂雄	南華夢	1978	紙本着色	24.1×34.6	(1)			
27	三枝茂雄	毘沙門	不詳	紙本着色	34.0×24.7	(1)			
28	鈴木鳶湖	寿老人図	不詳	絹本着色	131.5×56.5			(3)-1 前	
29	鈴木美江	三人	1956	紙本着色	225.0×175.0			(3)-2	
30	竹邨三陽	春暉眺艶図（右隻）	1843	紙本着色	141.5×319.0		(2)-前		
31	谷文晁	鶏図	不詳	紙本墨画	(各)118.5×30.8	(1)			
32	谷文晁	寒山拾得図	不詳	絹本着色	138.5×56.5			(3)-1 前	
33	鶴田機水	密画金溪図	1910	紙本墨画	173.0×357.0		(2)-後		
34	富岡鉄斎	売酒翁図	1892	絹本着色	137.6×62.1			(3)-1 後	
35	富岡鉄斎	十六羅漢図	1896	絹本着色	149.5×70.8			(3)-1 前	
36	富岡鉄斎	観音図	1905	絹本着色	127.8×56.2			(3)-1 後	
37	中澤一僑	梅	1936頃	紙本着色	168.0×172.4				(4)-1
38	中村岳陵	虎図	1943	紙本墨画	96.0×136.0		(2)		

No	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	展示期間		
39	中林竹溪	菊兒童	不詳	絹本着色	105.8×38.2			(3)-1 後
40	野口小蘋	美人図	1869	絹本着色	102.2×31.3			(3)-1 前
41	野口小蘋	西王母図	1890	絹本着色	161.5×72.5		(2)-前	
42	野口小蘋	甲州御嶽図	1893	絹本着色	138.8×57.0			(3)-1
43	野口小蘋	野口柿邨肖像	1908	絹本着色/ 絹本墨摺	145.2×41.6			(3)-1 前
44	野口小蘋	江山春霽図	1909	絹本着色	128.3×41.4	(1)		
45	野口小蘋	溪山僊隠図	1914	絹本着色	174.5×72.5		(2)-後	
46	野口小蘋	梅竹狗児図	不詳	絹本着色	123.0×41.5	(1)		
47	野口小蘋	秋園錦繡図	不詳	絹本着色	150.0×69.0			(3)-1
48	野田修一郎	雪原	1982	紙本着色	89.4×145.5			(4)-1
49	野田修一郎	競馬場	1960	紙本着色	181.8×227.3			(4)-2
50	のむら清六	たそがれに種子をまく	1955	紙本着色	159.0×125.0	(1)		(3)-2
51	のむら清六	世相マンダラ図の中 (券を買う行列)	1955	紙本着色	175.0×145.5			(3)-2
52	のむら清六	ゆうめし図	1957	紙本着色	178.0×183.3			(3)-2
53	のむら清六	母子像	1959	紙本着色	107.2×71.7			(3)-2
54	のむら清六	騒春図	1977	紙本墨画	(各)189.6×367.1		(2)	
55	萩原英雄	「甲斐は山の国である。父も 母もここに故郷をもつ。私の 生れた国。山は何時も美しい」	1975頃	紙本墨画淡彩	33.5×48.5		H-2	
56	萩原英雄	礼賛赤富士之図	1981	紙本墨画着色	64.0×93.5		H-2	
57	萩原英雄	富士山瑞雲図	1983	紙本墨画淡彩	65.5×92.0		H-2	
58	萩原英雄	芒富士之図	1987	紙本墨画淡彩	33.0×49.0		H-2	
59	萩原英雄	富士暮れる	1989	紙本墨画着色	89.0×94.0		H-2	
60	萩原英雄	雷雲不二	1990	紙本墨画着色	32.6×47.8		H-2	
61	萩原英雄	富嶽図	1994	紙本墨画着色	48.5×69.5		H-2	
62	萩原英雄	富士の図	1996	紙本墨画着色	32.0×47.2		H-2	
63	白隠	関羽図	1753	紙本着色	136.4×59.0		(2)-後	
64	白隠	達磨図	不詳	紙本墨画	130.2×56.2		(2)-前	
65	白隠	七福神図	不詳	絹本着色	53.2×72.5			(3)-1 後
66	日根対山	十八羅漢図	1857	絹本着色	134.3×46.0			(3)-1 前
67	福井江太郎	阿 I	2003	墨、蜜蝋、彩色・ 紙本	(各)247.0×90.0		(2)	
68	古屋正壽	樹下遊牧	1928	紙本着色	200.0×225.5	(1)		
69	古屋正壽	移牧	1938	紙本着色	242.0×181.0	(1)		
70	古屋正壽	南海採藻	1941	紙本着色	247.0×182.0			(3)-2
71	望月定夫	椿	1966	紙本着色	189.8×151.7		(2)	
72	望月春江	春に生きんとす	1921	絹本着色	140.0×150.5		(2)	
73	望月春江	美ヶ原	1938	紙本着彩	189.0×200.0	(1)		
74	望月春江	富士山	1943-44	紙本墨画	42.0×58.0			(4)-1
75	森寛斎	寿老人図	1892	絹本着色	132.0×50.4			(3)-3 後
76	山田敬中	夕暮れの山の温泉	1928	絹本着色	163.3×86.0	(1)		(3)-2
77	山田敬中	月夜山水図	不詳	絹本墨画淡彩	142.8×71.8	(1)		
78	山田敬中	達磨	不詳	絹本着色	159.0×85.4	(1)		
79	山田申吾	朝和	1942	紙本着色	217.0×172.7			(3)-2

No	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	展示期間		
80	山田申吾	地底敢闘	1943	紙本着色	190.0×99.0		(3)-2	
81	山田申吾	水郷風景	1931	絹本着色	142.5×176.0	(1)		
82	横山大観	春之霊峰	1941-42	紙本着色	53.5×65.8			(4)-1 前
83	横山大観	夏之霊峰	1941-42	紙本着色	53.5×65.8			(4)-1 前
84	横山大観	秋之霊峰	1941-42	紙本着色	53.5×65.8			(4)-1 前
85	横山大観	冬之霊峰	1941-42	紙本着色	53.5×65.8			(4)-1 前
86	和田三造	七面鳥	1917	紙本金地着色	147.5×156.6	(2)-後		

日本美術作品 油彩

1	飯田四郎	天上の美神たち	1976	油彩・麻布	205.0×225.5		(3)-2	
2	伊藤禎朗	雪の公園	1984	フレスコ・板	65.5×91.0			(4)-1
3	今澤正	休息	2002	油彩・麻布	130.3×162.0	(2)		
4	菊島明	ローマの広場	1993	油彩・麻布	111.0×146.0			(4)-2
5	桑原福保	或る日の家族	1943	油彩・麻布	116.7×90.9		(3)-2	
6	桑原福保	緑陰	1947	油彩・麻布	116.7×90.9		(3)-2	
7	桑原福保	魚市場にて	1954	油彩・麻布	162.0×130.5	(2)		(4)-2
8	桑原福保	土工	1955	油彩・麻布	162.1×130.3		(3)-2	
9	桑原福保	葡萄みのある	1957	油彩・麻布	116.7×90.9	(1)		
10	小磯良平	朝のひととき	1976	油彩・麻布	100.0×100.0		(3)-2	
11	小林萬吾	富士	1941	油彩・麻布	42.0×58.0			(4)-1 前
12	五味祥子	黒い華ー羽化する人ー	2015	油彩・麻布	194.0×270.0		(3)-2	
13	齊藤静輝	画室の母子	1970	油彩・麻布	227.3×181.8		(3)-2	
14	齊藤静輝	寂陽	1976	油彩・麻布	130.3×194.2		(3)-2	
15	櫻井孝美	浴室ー私の入浴を拒む	1983-84	油彩・麻布	218.0×180.0		(3)-2	
16	佐藤正明	Subway No.16	1976	アクリル絵の具・麻布	122.0×136.8	(2)		
17	佐藤正明	The Big Apples No.3	1978	油彩・麻布	168.0×244.0	(2)		
18	佐藤正明	Newsstand No.81 (ニューヨークの精神)	2001-02	油彩・麻布	152.0×203.0	(2)		
19	佐野智子	野G	1961	油彩・麻布	112.0×145.3	(1)		
20	佐野智子	原	1962	油彩・麻布	130.2×162.0	(1)		
21	鈴木千久馬	薔薇を持つ少女	1973	油彩・麻布	64.0×89.4	(2)		
22	高山良策	樹木の魂	1982	油彩・麻布	40.9×60.6	(1)		
23	高山良策	逃げろ	1982	油彩・麻布	40.9×60.6	(1)		
24	竹田稔	街	1963	油彩・麻布	130.3×162.1			(4)-2
25	土屋義郎	きいろい花	1977	油彩・麻布	90.9×60.6	(1)		
26	手澤宗信	丘の街(グラナダ)	1985	油彩・麻布	145.5×89.4			(4)-2
27	萩原英雄	立科遠望	1958	油彩・板	23.5×40.0		H-2	
28	萩原英雄	サーカスの馬	1971	油彩・麻布	31.8×41.0			H-3
29	萩原英雄	大サーカス	1972	油彩・麻布	130.3×162.0			H-3
30	萩原英雄	山荘の眺め	1973	油彩・麻布	45.5×22.0		H-2	
31	萩原英雄	サーカスの女	1974	油彩・麻布	60.6×50.0			H-3
32	萩原英雄	ピエロ	1978	油彩・麻布	53.0×45.5			H-3
33	萩原英雄	すました顔	1979	油彩・麻布	41.0×31.8			H-3
34	萩原英雄	自画像	1980	油彩・麻布	53.0×41.0			H-3
35	萩原英雄	夏草の山	1984	油彩・麻布	31.8×41.0		H-2	

No	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	展示期間		
36	萩原英雄	母子像	1987	油彩・麻布	53.0×45.5		(3)-2	
37	萩原英雄	河口湖の山	1987	油彩・麻布	52.0×45.0	H-2		
38	萩原英雄	青いピエロ	1993	油彩・麻布	60.6×50.0		H-3	
39	萩原英雄	赤松林	1997	油彩・麻布	51.5×40.0	H-2		
40	萩原英雄	自画像	1998	油彩・麻布	41.0×31.5		H-3	
41	萩原英雄	不詳(サーカス)	不詳	油彩・麻布	91.0×117.0		H-3	
42	埴原久和代	不詳(臨海風景)	1917	油彩・麻布	52.5×65.0	(1)		(4)-1 前
43	埴原久和代	名取善十郎像	不詳	油彩・麻布	54.6×39.6	(1)		
44	濱田稔	悪日	1957	油彩・麻布	90.0×60.0	(1)		
45	深沢軍治	蓋一地上にて	1985	アクリル絵の具、 パステル、木炭・板	182.0×274.0		(3)-2	
46	深沢軍治	光のかたち	1998	アクリル絵の具、 寒冷紗、綿布	227.0×364.0	(1)		
47	増田誠	リュー・ムフタール	1974	油彩・麻布	112.0×162.0			(4)-2
48	水出陽平	オークション	1989	油彩・麻布	181.8×227.3	(1)		(4)-2
49	南薫造	びわ	1949頃	油彩・麻布	45.5×53.0	(1)		
50	宮田晨哉	高い町低い町	1966	油彩・麻布	193.5×130.5			(4)-2
51	山本日子士良	食後	1949	油彩・麻布	130.3×194.0		(3)-2	
52	吉野純	旅路・巡礼	1999	油彩・麻布	162.0×194.0		(3)-2	
53	米倉壽仁	閉ざされた悲歌ー石神ー	1978	アクリル絵の具・ 麻布	53.0×72.7	(1)		
54	米倉壽仁	遙かな呼声	1981	油彩・麻布	74.6×93.0	(1)		
55	わたなべゆう	風土 34	1999	油彩・板	194.0×162.0	(2)		
56	わたなべゆう	No. 125	2005	複合技法	83.0×91.0	(1)		

日本美術作品 版画

1	伊東深水	「現代美人集第一輯の内」 浴後	1930	木版	43.2×27.5		(3)-2	
2	伊東深水	「現代美人集第一輯の内」 湯の香	1930	木版	43.3×27.8		(3)-2	
3	伊東深水	髪	1952	木版	51.5×37.5		(3)-2	
4	伊藤孝之	八ヶ嶽より望む富士	1952	木版	24.1×36.4			(4)-1
5	遠藤竜太	Physica/sensus II	2006	リトグラフ・ デジタルプリント	101.0×74.5	(2)		
6	笠松紫浪	桜 上野東照宮	1935	木版	41.3×25.8	(1)		
7	笠松紫浪	修善寺温泉	1937	木版	37.5×25.0		(3)-2	
8	笠松紫浪	生花	1938	木版	41.3×25.8	(1)		
9	笠松紫浪	たそがれ 信州穂波温泉	1948	木版	36.5×24.3		(3)-2	
10	笠松紫浪	信州渋温泉	1948	木版	36.5×24.3		(3)-2	
11	笠松紫浪	田うえ	1953	木版	41.3×25.8	(1)		
12	笠松紫浪	とりいれ	1953	木版	41.3×25.8	(1)		
13	笠松紫浪	作並の湯	1954	木版	36.6×24.4		(3)-2	
14	笠松紫浪	桜田門のさくら	1954	木版	36.6×24.4	(1)		
15	笠松紫浪	どんど	1955	木版	25.0×37.0	(1)		(4)-2
16	笠松紫浪	花の波	1956	木版	25.0×37.0	(1)		
17	笠松紫浪	祭	不詳	木版	27.6×39.0			(4)-2
18	葛飾北斎	〈富嶽三十六景〉神奈川沖浪裏	1831-33頃	木版多色摺	24.6×36.5			(4)-1 後※
19	葛飾北斎	〈富嶽三十六景〉凱風快晴	1831-33頃	木版多色摺	24.1×37.2			(4)-1 後※
20	葛飾北斎	〈富嶽三十六景〉山下白雨	1831-33頃	木版多色摺	25.5×37.7			(4)-1 後※

※山梨県立博物館蔵

No	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	展示期間			
21	川瀬巴水	山中湖の晩秋	1947	木版	24.3×36.4	(1)			
22	川瀬巴水	忍野よりの富士(水車小舎)	1952	木版	24.0×36.4	(1)			
23	川瀬巴水	山中湖平野の朝	1936	木版	28.0×39.8				(4)-1
24	川瀬巴水	吉田の雪晴	1944	木版	33.7×47.0				(4)-1
25	河内美榮子	雫	1993	木版、きりかね技法	60.5×30.0	(1)			
26	木村利三郎	TOKYO	1975頃	リトグラフ	71.0×51.0				(4)-2
27	木村利三郎	city 427 CITY PLAN	1999	スクリーンプリント	49.0×62.4				(4)-2
28	木村利三郎	city 446 -A INFORMATION -	1990	スクリーンプリント	40.0×50.8				(4)-2
29	清原啓子	雨期	1980	エッチング	52.6×43.0	(1)			
30	清原啓子	雨期の後	1980	エッチング	53.1×41.5	(1)			
31	竹田鎮三郎	イグアナ・ルナ	1991	リトグラフ	64.5×50.0				(4)-2
32	竹田鎮三郎	イツモへの憧れ	1994	リトグラフ	58.0×44.0				(4)-2
33	竹田鎮三郎	ビニゲンダ(魔物)	1998	リトグラフ	61.0×45.5				(4)-2
34	萩原英雄	ヴィナスとアドニス (「ギリシャ神話より」)	1957	木版	39.0×54.0	(1)			
35	萩原英雄	コンポジション(R)	1958	木版	54.0×38.0	H-1			
36	萩原英雄	コンポジション(L)	1958	木版	39.0×52.5	H-1			
37	萩原英雄	石の花(黒)	1960	木版	88.0×59.0	H-1			
38	萩原英雄	石の花(灰)	1960	木版	87.0×58.0	H-1			
39	萩原英雄	〈土壌〉不毛地	1960	木版	56.5×42.0	H-1			
40	萩原英雄	白の幻想 No.1	1962	木版	86.0×60.0	H-1			
41	萩原英雄	年賀状 1964年	1963	木版	12.0×17.0				H-4
42	萩原英雄	回想No.1	1964	木版	90.5×60.0	H-1			
43	萩原英雄	回想No.2	1964	木版	90.5×60.0	H-1			
44	萩原英雄	ナルシッソス (「ギリシャ神話より」)	1965	木版	54.0×39.0	(1)			
45	萩原英雄	古代の唄 No.7	1965	木版	91.0×60.0	H-1			
46	萩原英雄	お伽の国 No.1	1966	木版	60.0×91.0	H-1			
47	萩原英雄	お伽の国 No.12	1967	木版	63.0×91.0	H-1			H-4
48	萩原英雄	お伽の国 No.13	1967	木版	90.5×59.5				H-4
49	萩原英雄	お伽の国 No.15	1967	木版	59.0×80.0	H-1			H-4
50	萩原英雄	お伽の国 No.17	1967	木版	59.0×90.5				H-4
51	萩原英雄	劇場にて	1967	リトグラフ	70.0×102.7				H-4
52	萩原英雄	花束	1967	リトグラフ	40.0×54.0				H-4
53	萩原英雄	人間の樹	1967	リトグラフ	52.0×39.0				H-4
54	萩原英雄	ニューヨークの天使	1967	リトグラフ	42.0×58.0				H-4
55	萩原英雄	遊戯場	1967	リトグラフ	37.5×52.5				H-4
56	萩原英雄	田園の祭り No.2	1968	木版	60.0×91.0	H-1			
57	萩原英雄	サーカス No.1	1968	木版	67.0×41.0			H-3	
58	萩原英雄	サーカス No.2	1968	木版	41.0×70.0			H-3	
59	萩原英雄	サーカス No.6	1968	木版	41.0×68.0			H-3	
60	萩原英雄	道化師 No.1	1969	木版	46.0×61.0			H-3	
61	萩原英雄	道化師 No.7	1969	木版	67.0×41.0			H-3	
62	萩原英雄	道化師 No.8	1969	木版	67.0×42.0	H-1		H-3	
63	萩原英雄	天使昇天 No.3	1970	木版	67.0×41.0	H-1			
64	萩原英雄	影法師 No.7	1972	木版	60.0×90.0	H-1			
65	萩原英雄	年賀状 1976年	1975	木版	12.0×17.0				H-4
66	萩原英雄	ピクニック No.3	1976	木版	56.0×75.0	H-1			
67	萩原英雄	星月夜 No.5	1980	木版	90.0×60.0	H-1			

No	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	展示期間			
68	萩原英雄	〈三十六富士〉 春日遅々	1981-86	木版	35.0×47.0	(1)			
69	萩原英雄	〈三十六富士〉 高速終点近し	1981-86	木版	35.0×47.0		H-2		
70	萩原英雄	〈三十六富士〉 夏草夏雲	1981-86	木版	35.0×47.0		H-2		
71	萩原英雄	〈三十六富士〉 雨後幻想	1981-86	木版	35.0×47.0		H-2		
72	萩原英雄	〈三十六富士〉 八王子初秋	1981-86	木版	35.0×47.0		H-2		
73	萩原英雄	〈三十六富士〉 空燃える	1981-86	木版	35.0×47.0		H-2		
74	萩原英雄	〈三十六富士〉 山又山	1981-86	木版	35.0×47.0		H-2		
75	萩原英雄	年賀状 1988年	1987	木版	12.0×17.0				H-4
76	萩原英雄	〈大富士〉 月夜富士	1990	木版	48.5×64.0		H-2		
77	萩原英雄	〈拾遺富士〉 淡雪降る	1990-91	木版	34.5×47.0				(4)-1
78	萩原英雄	〈拾遺富士〉 黒雲沸く	1990-91	木版	34.5×47.0		H-2		
79	萩原英雄	〈大富士〉 雪化粧富士	1991	木版	48.5×64.0				(4)-1
80	萩原英雄	追憶 No.11	1992	木版	86.0×57.0	H-1			
81	萩原英雄	古い記録 No.4	1997	木版	91.0×60.2	H-1			
82	萩原英雄	古い記録 No.6	1998	木版	90.0×60.0	H-1			
83	萩原英雄	年賀状 2000年	1999	木版	12.0×17.0				H-4
84	萩原英雄	古い記録 No.7	2000	木版	90.0×60.0	H-1			
85	萩原英雄	古い記録 No.8	2000	木版	90.0×60.0	H-1			
86	橋口五葉	浴後の女	1920	木版	43.7×28.9			(3)-2	
87	深沢幸雄	アステカ幻想(メキシコ市にて)	1963	エッチング、 アクアチント、 ドライポイント	33.6×30.4				(4)-2
88	深沢幸雄	記録(赤)	1964	エッチング、 アクアチント、 ドライポイント	60.5×36.0				(4)-2
89	深沢幸雄	古い楽譜(青)	1965	アクアチント、 エッチング、 ドライポイント他	59.7×36.4				(4)-2
90	深沢幸雄	影(メヒコ) A	1974	アクアチント、 メゾチント、 エッチング	79.0×49.5				(4)-2
91	深沢幸雄	コバルト山地 「宮沢賢治〈春と修羅〉より」	1986	メゾチント、 アクアチント、 エッチング	35.8×24.0	(1)			
92	深沢幸雄	夜の湿気と風がさびしくいり まじり 「宮沢賢治〈春と修羅〉より」	1986	メゾチント、 アクアチント、 エッチング	35.8×24.0	(1)			
93	藤田修	Tree	1990	フォトエッチング、 エッチング、 アクアチント	108.5×80.0	(1)			
94	堀井英男	閉ざされた部屋 No.4	1974	エッチング、 アクアチント	42.0×58.0			(3)-2	
95	堀井英男	閉ざされた部屋 No.5	1974	エッチング、 アクアチント	53.0×58.5			(3)-2	
96	堀井英男	虚構の部屋 No.9	1975	エッチング、 アクアチント	47.0×36.5			(3)-2	
97	堀井英男	ブルーボックス	1976	エッチング、 アクアチント、 ステンシル	42.5×32.0			(3)-2	
98	堀井英男	magic room 82-5	1982	エッチング、 アクアチント	42.5×58.0			(3)-2	
99	増田誠	レ・ミュージシャン 〈紳士 淑女よ こんにちは〉より	1976	エッチング、 アクアチント	18.3×23.2				(4)-2
100	増田誠	パビロン虜囚 (連作「旧約聖書」より)	1976	リトグラフ	24.0×33.0				(4)-2

No	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	展示期間			
日本美術作品 水彩、素描、パステル									
1	大場芳男	輪島の朝市	1976	水彩・紙	97.0×130.3				(4)-2
2	小山周次	甲州ぶどう	1942	水彩・紙	33.0×52.5	(1)			
3	澤田哲郎	新宿・郡衆	1978	水彩、墨、インク・紙	31.3×40.6				(4)-2
4	澤田哲郎	神輿	1981	水彩、墨、インク・紙	23.5×33.1				(4)-2
5	澤田哲郎	新宿・ガード下の群集	1981	水彩、墨、インク・紙	31.3×40.6				(4)-2
6	澤田哲郎	闘鶏	1982	水彩、墨、インク・紙	23.7×33.1				(4)-2
7	白瀧幾之助	三保の富士	1911	鉛筆、水彩・紙	31.5×47.5				(4)-1 前
8	白瀧幾之助	精進湖パノラマ台の富士	1934	鉛筆、水彩・紙	27.5×37.0				(4)-1 前
9	神中糸子	武田御湯場	不詳	水彩・紙	23.3×15.0			(3)-2	
10	萩原英雄	花束	1967	コンテ・紙	45.7×61.0				H-4
11	萩原英雄	ニューヨークの休日	1967	コンテ・紙	45.7×61.0				H-4
12	萩原英雄	ニューヨーク時代	1967	リトグラフ	38.3×53.0				H-4
13	萩原英雄	ニューヨークの時代	1967	クレヨン、水彩・紙	46.0×61.0				H-4
14	萩原英雄	遊戯場の下絵	1967	コンテ、クレヨン・紙	46.0×61.0				H-4
15	萩原英雄	原始の思い	1967	フェルトペン、水彩・紙	40.0×52.0				H-4
16	萩原英雄	アメリカシンシナティにて	1967	コラージュ、水彩、パステル・紙	61.0×45.5				H-4
17	萩原英雄	Cincinnatiにて	1967	フェルトペン、水彩、コンテ・紙	45.5×61.0				H-4
18	萩原英雄	大人の遊び	1967	鉛筆、コンテ、フェルトペン・紙	45.6×61.0				H-4
19	萩原英雄	異国風景	1967	水彩、鉛筆・紙	18.5×26.5				H-4
20	萩原英雄	コバーリス体育館(スケッチブック)	1967	クレヨン・紙	61.0×46.0				H-4
21	萩原英雄	オレゴン州立大学寮の窓から(スケッチブック)	1967	クレヨン・紙	61.0×46.0				H-4
22	萩原英雄	シアトル市をのぞむ(スケッチブック)	1967	クレヨン・紙	61.0×46.0				H-4
23	萩原英雄	リバーサイド(スケッチブック)	1967	クレヨン・紙	61.0×46.0				H-4
24	萩原英雄	ニューヨーク ハドソン河(スケッチブック)	1967	クレヨン・紙	61.0×46.0				H-4
25	萩原英雄	リバーサイドパーク(スケッチブック)	1967	クレヨン・紙	61.0×46.0				H-4
26	萩原英雄	フィラデルフィアにて(スケッチブック)	1967	クレヨン・紙	61.0×46.0				H-4
27	萩原英雄	OLIVET 午後九時半(スケッチブック)	1967	クレヨン・紙	61.0×46.0				H-4
28	萩原英雄	(シアトル)(スケッチブック)	1967	クレヨン・紙	61.0×46.0				H-4
29	萩原英雄	雲沸く山	1987	グワッシュ・紙	39.5×48.3		H-2		
30	萩原英雄	自画像	1968	木炭・紙	54.0×38.0				H-3
31	萩原英雄	サーカス万才	1970	グワッシュ・紙	58.0×37.0				H-3
32	萩原英雄	大サーカス	1970	グワッシュ、コラージュ・紙	61.0×90.0				H-3
33	萩原英雄	ライトを浴びた道化	1978	水彩・紙	75.3×45.3				H-3

No	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	展示期間			
34	萩原英雄	三角帽のクラウン	1980	水彩・紙	55.5×40.0			H-3	
35	萩原英雄	下を向くピエロ	1981	水彩・紙	60.2×49.0			H-3	
36	萩原英雄	不詳(自画像)	1981	木炭・紙	33.0×24.8			H-3	
37	不破章	勝沼	1973	水彩・紙	38.2×56.6	(1)			
38	増田実	KODAMA(木魂)	1991	パステル・紙	100.0×180.0	(1)			
39	安井曾太郎	会員	1950	鉛筆・紙	20.0×14.0				(4)-2
40	安井曾太郎	歌舞伎座	1950	鉛筆・紙	14.0×14.5				(4)-2

日本美術作品 彫刻

☆展示室外(館内)

1	藤川勇造	海鳥を射る	1934	ブロンズ	高さ 35.3	☆	☆	☆	☆
2	藤川勇造	黒き像	1934	ブロンズ	高さ 35.0	☆	☆	☆	☆
3	佐藤忠良	KIKO(首)	1976	ブロンズ	高さ 31.0	☆	☆	☆	☆
4	三木俊治	ミレー"晩鐘" 150周年記念へのオマージュ	2009	アルミニウム・ ステンレスス ティール	128×600×50	①	②	③	④
5	舟越保武	EVE	1986	ブロンズ	高さ 197.0	①	②	③	④

日本の工芸

1	雨宮弥太郎	硯石花器「時の果」	1995	石	22.7×30.2×22.0		(2)		
2	伊藤東彦	布目泰山木文大鉢	1996	陶器	14.0×35.5		(2)		
3	江里佐代子	截金彩色盒子「春風」	1993	木、金箔	10.0×10.0		(2)		
4	小泉竹雄	早春	不詳	日本刺繍	63.0×52.0	(1)			
5	河野道一	瑠璃茶碗「雪山」	1992	瑠璃	径9.7 高8.3				(4)-1
6	小林英夫	被硝子菊籠目切子鉢	1990	ガラス	12.5×27.2		(2)		
7	宅間正一	硯屏一龍	1937	赤瑠璃	16.3×30.0				(4)-1
8	宅間正一	硯屏一獅子	1937	赤瑠璃	20.8×31.5				(4)-1
9	辻賢三	乾漆蒔絵飾箱「額紫陽花」	1995	漆、銀、卵殻	8.5×24.0		(2)		
10	三代 徳田八十吉	耀彩花器	1995	磁器	40.0×80.0×50.0		(2)		
11	徳丸鏡子	百花誰為咲 I	2008	磁器	47.0×64.0×11.0		(2)		
12	畠山耕治	Doing Little	1994	青銅、金箔	35.0×22.5×17.0		(2)		
13	妣田圭子	紅白梅図屏風	1980	草絵貼	各149.0×535.8				(4)-1
14	藤塚松星	網代編菓子器「夕波」	1996	竹	3.0×23.0×33.5		(2)		
15	前田昭博	白瓷面取壺	1994	磁器	30.0×28.5		(2)		
16	増村紀一郎	乾漆輪花朱漆鉢	1993	漆	10.0×36.0		(2)		
17	松田富彌	ビーム	1977	陶	62.6×26.8			(3)-2	
18	松田富彌	ビーム	1977	陶	57.8×46.5			(3)-2	
19	松田富彌	雲とともに	2003	陶	28.5×46.5×9.5	(1)			
20	松田富彌	昼下がり	2003	陶	18.0×40.0×12.0	(1)			
21	松田百合子	La prière	1988	陶、その他	32.0×50.0			(3)-2	
22	室瀬和美	蒔絵色紙箱「杜」	1984	漆、貝、金、銀	7.0×27.0×30.0		(2)		
23	吉田美統	釉裏金彩鉄仙文飾皿	1992	磁器	8.5×40.5		(2)		

日本の複合造形

1	秋山令一	象徴とイメージ ー近づけない時の流れにー I	1998	複合技法	187.0×719.0 (5点連作)	(1)			
---	------	---------------------------	------	------	-----------------------	-----	--	--	--

資料

1	萩原英雄	お伽の国 No.15の版	1967	板	59.0×80.0	H-1			
2	深沢幸雄	スケッチブック	1974	ペン他	17.8×25.2				(4)-2
3		手でみるミレー レリーフ版	2015-21	樹脂	高50.5 幅40.6 行き3.5~12.0	(1)			

■ キュレーターズ・アイ

岡本直浩展

山梨市出身の彫刻家。東京藝術大学で彫刻を学んだ岡本は、人物と植物を組み合わせたような繊細な造形の木彫作品を発表してきた。近年では、木喰上人の焼失してしまった仏像を再現するプロジェクトに参加し、2018年から2年をかけて5体の仏像を彫り上げた。木のもつ素材感を活かし、独自のかたちによって新たな命を吹き込むように彫刻を続ける。本展は、自然の中で生まれ、いずれ消えていく存在としての人間を見つめる岡本の世界観に触れることのできる機会となった。

会 期 令和5年4月25日(火)～6月25日(日)

会 場 山梨県立美術館 ギャラリー・エコー（美術館エントランス）

出品目録

作品名		制作年	素材
① 希求	ききゅう	2022 年	素材は⑧のみ榎（えのき） その他は、樟（くすのき）
② 流溪	りゅうけい	2014 年	
③ 揺煙	ようえん	2023 年	
④ 雲流	うんりゅう	2016 年	
⑤ 風聞	ふうもん	2020 年	
⑥ 流透	りゅうとう	2015 年	
⑦ 朧気	おぼろげ	2023 年	
⑧ 推想	すいそう	2019 年	
⑨ 溶暗	ようあん	2023 年	



会場風景

■ 教育普及活動

美 術 講 演 会

No.	開催日時	演題	講師	内容	関連展覧会 等
1	5月14日(日) 午後2時～3時	白衣の中に、アート的心を。 ～美術が変える医療従事者のまなざし～	森永康平氏 (ミルク代表、 獨協医科大学非常勤講師)	講演、 スライド	REMIX展
2	9月23日(土・祝) 午後2時～3時30分		芳賀京子氏 (東京大学大学院教授)	講演、 スライド	テルマエ展
3	10月28日(土) 午後2時～3時30分		青柳正規 (当館館長)	講演、 スライド	テルマエ展
4	11月26日(日) 午後2時～3時30分	アーツ・アンド・クラフツと デザイン ウィリアム・モリスからフランク・ロイド・ライトまで	藤田治彦氏 (大阪大学名誉教授)	講演、 スライド	アーツ・アンド・ クラフツとデザ イン展

県民ギャラリー等施設の使用状況

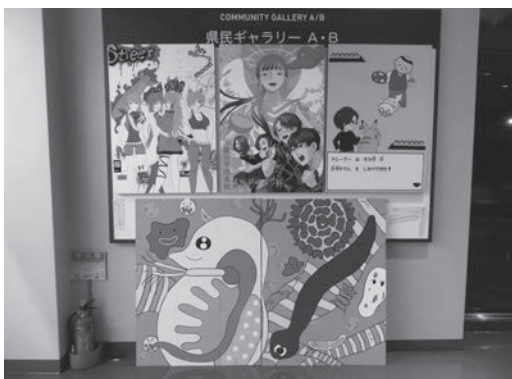
山梨県立美術館のワークショップ室・工房は作品の制作、展示や実技研修会等の場として、講堂は研究会や表彰式等の場として、県内の各団体に有効に利用された。県民ギャラリーも、県民文化祭、高校芸術文化祭、各団体の公募展、グループ展、個展など、作品発表の場として多くの県民に利用されている。県民の文化・芸術の発信拠点として期待され、その役割を果たしていると言える。県民ギャラリー等の施設は、今後も多くの団体・個人に利用されていくことと思われる。

令和5年度に県民ギャラリー A・B・Cを使用した団体等は総数92団体であった。

使用会場の「A」「B」「C」の表示は、県民ギャラリー A・B・Cの略。

※領域表示 絵：絵画 彫：彫刻 工：工芸 篆：篆刻
デ：デザイン 書：書道 写：写真 油：油彩
版：版画 水：水彩 陶：陶芸 日：日本画
立：立体 染：染色 墨：墨画

詳細に表記するようにしたが、わかりにくいものは絵、工というような大きな括りで表記した。



※令和5年度の利用団体数 団体

展覧会名	使用期間	会場	領域	作品 点数	内 容
青群美術展	4月 4日(火)～ 4月 9日(日)	A	絵・工・陶	39	会員15名の油絵、アクリル画などの 展示発表会
第41回 蒼の会書展	4月 4日(火)～ 4月 9日(日)	B	書	75	書を志す蒼の会会員が1年間の成果 を発表
親子3人展と絵手紙の仲間 たち	4月 4日(火)～ 4月 9日(日)	C	絵・陶・写	158	親子3人と絵手紙の生徒40名の作品展
第52回 太平洋山梨支部展	4月11日(火)～ 4月16日(日)	A・B	絵	49	日頃の成果発表の場としての展示
和紙絵「コスモス会展」	4月11日(火)～ 4月16日(日)	C	絵	67	和紙を絵の具がわりに使い制作した 絵の作品の展示
玖人展	4月18日(火)～ 4月23日(日)	A	絵・工・陶・ 写	42	県内在住の女性作家によるグループ 展
陶幸会 作陶展	4月18日(火)～ 4月23日(日)	B	陶	120	会員5名の作品約120点を展示
第16回 甲斐水彩画会 小品展	4月18日(火)～ 4月23日(日)	C	絵	79	会員28名の製作した水彩画展
第12回〈美術のプラクシス (実践)〉展	4月25日(火)～ 4月30日(日)	A・B	絵・彫・写	70	H23年改組して再出発した現代美術 のグループ発表
第33回 千羽会書展	4月25日(火)～ 4月30日(日)	C	書	60	一年間の会員の作品研究成果の発表
第76回 峡北美術協会展	5月 1日(月)～ 5月 7日(日)	A・B	絵	71	峡北地域に関係のある、美術の愛好 者が日頃の成果を発表、展示
遊彩会展	5月 1日(月)～ 5月 7日(日)	C	絵	59	1年間の成果を観ていただくための展 示
NOWHERE 2023	5月 9日(火)～ 5月14日(日)	A・B	絵・工	140	山梨ゆかりの作家によるグループ展
横森秀彦 自選展	5月 9日(火)～ 5月14日(日)	C	絵	40	油彩を中心にオブジェ等を展示
第27回 版画の会 リトルバード展	5月16日(火)～ 5月21日(日)	A・B	絵	120	版画を発表する団体展
第12回 正野会展 (水墨・墨彩画)	5月16日(火)～ 5月21日(日)	C	墨	68	水墨・墨彩画の愛好者が、日頃の学 習の成果を発表する展示
第51回 白濤会美術展	5月23日(火)～ 5月28日(日)	A・B	絵・工・陶	103	会員60名と一般公募(入賞・入選) 作品による日頃1年間の制作活動の集 大成を展示
第18回 竹中むつ絵「梨里」 絵画作品展	5月23日(火)～ 5月28日(日)	C	絵	67	竹中むつ絵絵画教室の生徒作品展、 30名による日頃の制作活動の集大成 の発表
第12回 二科山梨支部展	5月30日(火)～ 6月 4日(日)	A	絵	33	二科山梨支部同人を中心に、二科展 出品作品及び県内一般出品者の支部 展入選作品の展示
第38回 山梨能彫展	5月30日(火)～ 6月 4日(日)	B	工	51	会員が一年間に作った課題作を含め た能面、狂言面を展示
フォトアート・フリークス& フォトクラブ東悠 合同写真展	5月30日(火)～ 6月 4日(日)	C	写	74	会員が1年間撮影した作品の展示
第21回 山梨県写真団体 連絡協議会合同展	6月 6日(火)～ 6月11日(日)	A	写	80	加盟23クラブから選出された代表者 による写真展
第34回 一般社団法人 二科会 写真部 山梨支部展	6月 6日(火)～ 6月11日(日)	B	写	42	創作活動の集大成を発表するとともに、 二科会写真部展の出品作品を展示

展覧会名	使用期間	会場	領域	作品 点数	内 容
第3回 大千富士日中青少年 書画展	6月 6日(火)～ 6月11日(日)	C	書	163	友好県省の山梨県と四川省の書画作 品を相互に展示
第72回 玄遠書道会 全国展	6月13日(火)～ 6月18日(日)	A・B・ C	書	420	71回の歴史と伝統を繋げる玄遠書道会 主催の書道展
第60回 西美会展	6月20日(火)～ 6月25日(日)	A	絵・工・彫・ 陶	62	甲府西高校同窓の美術愛好者、 在校生の参加展
第32回 スクエア展	6月20日(火)～ 6月25日(日)	B	絵	24	平面作品を中心にした展示、発表
高田写楽会 写真展	6月20日(火)～ 6月25日(日)	C	写	56	会の活動成果の発表
第13回 山梨書作家連盟展	6月27日(火)～ 7月 2日(日)	A・B	書	125	会員相互が高め合い、県内の書活動 を活気づけ観客を元気づける書道展
第85回 山梨美術協会展 (公募)	7月 6日(木)～ 7月14日(金)	A・B・ C	絵・工・彫	197	一般公募入選作品及び山梨美術協会 会員、準会員の作品展示発表
第35回 アトリエ・ポシェット 作品展 特別参加 ひかりの家学園	7月15日(土)～ 7月21日(金)	A・B	絵・工	206	幼児から一般までの日本画、油彩、 水彩作品を展示
グループWOW	7月22日(土)～ 7月28日(金)	A	絵・工・写	437	それぞれジャンルの違う造形作家に よる作品展
第45回 PHOTO CLUB RETURN 写真展	7月22日(土)～ 7月28日(金)	B	写	63	会員11名による写真展
夢・色・形展	7月29日(土)～ 8月 4日(金)	A	絵・工	30	女子美術大学卒業生を中心とした、 山梨にゆかりのある女性作家の作品 を展示
日本画 友画会	7月29日(土)～ 8月 4日(金)	B	絵	42	会の5年分の作品を発表
第49回 UTY教育美術展	8月 5日(土)～ 8月11日(金)	A・B・ C	絵	952	県内の小中高生の美術への関心を高 め、美術教育の振興と文化の向上に 資することを目的とした美術展
第65回 青樹会展	8月12日(土)～ 8月17日(木)	A・B	絵	50	県内美術団体の具象絵画を追求する 油彩グループ12名の展覧会
グループ8展	8月18日(金)～ 8月23日(木)	A・B	絵・工	83	出品者5名が新作を中心に各自個展 形式で展示する
石和絵の会 作品展	8月24日(木)～ 8月30日(水)	A	絵	77	50名近い全会員による油彩・水彩、 日本画を展示
水墨・墨彩画 「墨游会 第35回展」	8月24日(木)～ 8月30日(水)	B	墨	42	日頃の制作活動の集大成を発表
従心中込蘇書展	8月25日(金)～ 8月30日(水)	C	書・写・工	78	来歴50年を記念しての個展
CWY企画展	8月31日(木)～ 9月 6日(水)	A	絵・工・彫・ 陶	50	毎年共通のテーマを決め、各作家が 思い思いの作品づくりにチャレンジする 企画展
山梨フォトクラブ 創立40周年記念写真展	8月31日(木)～ 9月 6日(水)	B	写	58	出展会員12名による県内外の風景写 真の新作を展示
第10回 是空美術展	8月31日(木)～ 9月 6日(水)	C	絵・書・工・ 彫・陶・写	65	絵画・書・彫刻・篆刻・工芸 40点 展示
第58回 創元会 山梨支部展	9月 7日(木)～ 9月13日(水)	A	絵	29	創元会の会員・準会員・会友及び一般 を合わせた14名による平面作品の展示
セーラーズバレンタイン 生徒作品展	9月 7日(木)～ 9月13日(水)	B	工	88	アメリカ西海岸発祥の伝統貝がら工 芸「セーラーズ・バレンタイン」の展示

展覧会名	使用期間	会場	領域	作品 点数	内 容
第33回 全日本写真連盟 甲府支部写真展	9月 7日(木)～ 9月13日(水)	C	写	52	甲府支部会員21名の作品を展示
第50回記念・柳蛙書道展	9月14日(木)～ 9月20日(水)	A・B	書	209	書道芸術の普及と会員相互の技量向上を図るための書道作品展
太平洋美術会 山梨支部 小品展	9月14日(木)～ 9月20日(水)	C	絵	64	日頃の研修成果の発表の場
第8回 日本画院と山梨の 日本画展	9月21日(木)～ 9月27日(水)	A・B	絵	85	望月春江と日本画院に関わる日本画の展示
はい★チーズ 写真展	9月21日(木)～ 9月27日(水)	C	写	120	テーマに沿った作品や県内外の自然風景・名所・旧跡等の作品を発表
第67回公募 山梨造形美術展	9月28日(木)～ 10月 4日(水)	A・B	絵・工	110	彫刻、工芸、絵画、デザイン画等の総合美術会の展示
コメント展	9月28日(木)～ 10月 4日(水)	C	絵・工	52	絵画教室の6名の仲間による展覧会
お・び・の会展	10月 5日(木)～ 10月11日(水)	A	絵・書・工・ 写・彫	101	山梨大学美術部に在籍していた団塊世代が中心の、親しみやすく楽しめる展覧会
第26回 日本画山梨会展	10月 5日(木)～ 10月11日(水)	B	絵	40	会員の創作活動の成果を発表する作品展
吉田マイケル 〔御伽の大地の物語展〕	10月 5日(木)～ 10月11日(水)	C	絵	30	20歳の現代アーティストの作品展示
第46回 日本水彩画会山梨 支部展	10月12日(木)～ 10月18日(水)	A	絵	32	14名の会員による、日頃の研鑽結果を発表
第7回 輪の会展	10月12日(木)～ 10月18日(水)	B	絵・陶	22	油彩・水彩・ミクストメディア等を展示
水墨・墨彩画展(松風会)	10月12日(木)～ 10月18日(水)	C	墨	35	会員18名による日頃の制作活動の集大成を発表
第76回 甲斐水彩画会	10月19日(木)～ 10月25日(水)	A・B	絵	104	会員22名の制作による水彩画を鑑賞して頂き、批評を受ける事を目的とした展示
ニケの会美術展	10月19日(木)～ 10月25日(水)	C	絵	62	広瀬正樹他会員20名が夫々 3点程の油彩画を出品
第22回 やまなし県民文化祭 美術展	10月28日(土)～ 11月 3日(金)	A・B・ C	絵・工・彫	178	一般県民より作品を公募し、審査の上、入賞、入選作品を展示
第22回 やまなし県民文化祭 書道展	11月 5日(日)～ 11月10日(金)	A・B・ C	書	338	一般県民より作品を公募し、審査の上、入賞、入選作品を展示
第22回 やまなし県民文化祭 写真展	11月12日(日)～ 11月19日(日)	A・B	写	164	一般県民より作品を公募し、審査の上、入賞、入選作品を展示
第22回 やまなし県民文化祭 ハンドクラフト展	11月14日(火)～ 11月19日(日)	C	工	65	一般県民より作品を公募し、審査の上、入賞、入選作品を展示
第44回 山梨県高等学校芸 術文化祭(美術工芸・書道)	11月20日(月)～ 11月26日(日)	A・B	絵・書・工	96	県高校芸術文化祭展示部門の美術・工芸・書道・写真専門部による合同作品展
甲斐明日香 カレンダー原画展	11月23日(木)～ 11月26日(日)	C	絵	50	カレンダーの原画を中心とした水彩画の展示
第64回 山梨県高等学校 美術部連盟展	11月28日(火)～ 12月 3日(日)	A・B	絵・工	300	県内高等学校の美術部に所属する生徒による作品展
第28回 山梨読売写真クラブ 会員作品展	11月28日(火)～ 12月 3日(日)	C	写	65	会員が1年間撮りまとめた作品を展示

展覧会名	使用期間	会場	領域	作品 点数	内 容
第75回記念 山梨書道協會展 併催 教育書道展	12月 6日(水)～ 12月10日(日)	A・B	書	885	書を通じての文化向上発表、一年間の 成果発表
第51回 山梨県書道会展	12月12日(火)～ 12月17日(日)	A・B・ C	書	300	県書道会員の一年間の研鑽の発表を する展覧会
第39回 駿台甲府高等学校 美術デザイン科展	12月24日(日)～ 1月 7日(日)	A・B	絵・立	800	美術デザイン科の生徒127名による 作品展
社会福祉法人 ぶどうの里 創立30周年企画展	1月 2日(火)～ 1月 7日(日)	C	絵・書・工	264	社会福祉法人ぶどうの里創立30周年 を記念した利用者の作品展
第73回 教育祭県下小中学校 図工・美術作品展	1月11日(木)～ 1月14日(日)	A・B・ C	絵・工	2,053	県内の小中学校の図工・美術に対す る意識高揚のための作品展
第67回 徽墨会展	1月16日(火)～ 1月21日(日)	A・B・ C	書	289	漢字、調和体、大字書、仮名、篆刻、 硬筆などの書作品展
春陽会 山梨研究会展	1月23日(火)～ 1月28日(日)	A・B	絵	72	春陽会山梨研究会会員による絵画展
みなび展「やまなしをつくろう」	1月23日(火)～ 2月 4日(日)	C	絵・立	200	「やまなしをつくろう」をテーマに、 山梨の自然や生き物に目を向け、ワ ークショップで制作した作品を展示
第73回 教育祭県下 小中学校書きぞめ大会展覧会	1月30日(火)～ 2月 4日(日)	A	書	2,030	県内の小中学生の書写に対する意識 高揚のための作品展
第5回 ミモザ 日本画展	1月30日(火)～ 2月 4日(日)	B	絵	33	2年に一度の成果発表としての展覧会
第50回 山梨美術協会会員展	2月 6日(火)～ 2月11日(日)	A・B・ C	絵・工・彫	95	山梨美術協会会員約110名による作 品展示発表
サンテクノカレッジ デザイン展	2月12日(月)～ 2月18日(日)	A・B	絵・立	536	専門学校サンテクノカレッジ、マルチ メディア科グラフィックデザインコー スの卒業制作展
第73回 卒業制作・在学生 作品展(山梨大学)	2月12日(月)～ 2月18日(日)	C	絵・工・彫	434	山梨大学 教育学部 学校教育課程 芸 術身体教育コース 美術教育系の卒業 制作展
第42回 山梨墨画院展	2月20日(火)～ 2月25日(日)	A・B	墨	45	墨を基調とした風景、花鳥などの水 墨、墨彩画の自由作品展
第16回 山彩会展	2月20日(火)～ 2月25日(日)	C	絵	42	会員が日頃描いた油絵作品の発表・ 展示
第50回 玄遠書道師範会 会員展	2月27日(火)～ 3月 3日(日)	A・B・ C	書	400	玄遠書道師範会主催による同会員の 書展
第46回 ニッコールクラブ山 梨支部写真展	3月12日(火)～ 3月17日(日)	A	写	68	支部会員16名の作品展示
東土会 絵画展	3月12日(火)～ 3月17日(日)	B	絵	36	東土会の会員による油彩、水彩、日 本画の作品展示
道(TAO) 展	3月12日(火)～ 3月17日(日)	C	絵	35	メンバー 9名による、日頃の制作活 動の成果発表
2024 山梨・人ねっこアート展	3月19日(火)～ 3月24日(日)	A・B	絵・陶・書	340	障がいのある人達の、創作品を公募 し、広く社会に展示します
鎌倉彫・木彫り・作品展	3月19日(火)～ 3月24日(日)	C	彫	222	山梨文化学園3教室の受講生及び講 師の作品展示
リシプロカル展	3月26日(火)～ 3月31日(日)	A・B	絵・工・陶	154	誰でも参加できるビギナーズ展、また メインアーティストを決定し、アーテ ィストとして自律を支えるグループ展
哲学アート展	3月27日(水)～ 4月 1日(月)	C	絵	220	哲学の思想や定義と神話をモチーフ としたコンテンポラリーアート作品 の展示

美術体験・実技講座

当館では、生涯学習の拠点として広く一般の県民を対象に制作の機会を提供するため、初心者向けの体験講座と経験者向けの実技講座を設け、合わせて「美術体験・実技講座」として実施している。

初心者向けの講座は、表現方法の理解と基本的な制作技法の体験を目的としている。この体験は参加者にとって当館の展示作品を鑑賞するときの手助けにもなっている。

国内外で活躍中の作家を講師とする実技講座は、ある程度経験を積んだ参加者が、作家の制作に対する姿勢や芸術観に接しながら、自身の創作活動を深める場として開設されている。

「オープンアトリエ」では、油彩画、日本画、版画、彫刻などの制作の場として、当館の施設を提供している。その他、障がいのある方や幼児、特別支援学校・学級の生徒を対象に「わかば講座」を開設している。

実施状況

	講座名	講 師	実施日時	参加者
①	はじめての銅版画	齊藤武士 氏（作家）	5月7日(日) 午前10時～午後3時30分	13名
②	銅版画	齊藤武士 氏（作家）	5月28日(日)・6月4日(日)・11日(日) 各日午前10時～午後4時 5月30日(火)～6月10日(土) 自主制作可	18名
③	フレスコ画講座（全3回）	富永泰雄 氏（作家）	9月16日(土)・17日(日)・18日(月・祝) 各日午前10時～午後4時	14名
④	わかば講座 「アップサイクルアート」	上野玄起 氏（作家）	10月19日(木) ①午前10時～11時30分 ②午後1時30分～3時 みんなでつくる美術館ワークショップ と兼ねる。	①10名 ②6名
⑤	油彩画講座（全3回）	上條暁隆 氏（作家）	11月12日(日)・19日(日)・26日(日) 各日午前10時～午後4時 11月14日(火)～25日(土) 自主制作可	15名
⑥	日本画講座（全4回）	目黒祥元 氏（作家）	12月3日(日)・9日(土)・10日(日)・17日(日) 各日午前10時～午後4時 12月5日(月・祝)～16日(土) 自主制作可	15名
⑦	はじめての木版画	河内成幸 氏（作家）	2月25日(日) 午前10時～午後4時	14名
⑧	木版画講座（全3回）	河内成幸 氏（作家）	3月3日(日)・16日(土)・17日(日) 各日午前10時～午後4時 3月12日(火)～15日(金) 自主制作可	18名



①はじめての銅版画



②銅版画



③フレスコ画講座



④わかば講座「アップサイクルアート」



⑤油彩画講座



⑥日本画講座



⑦はじめての木版画



⑧木版画講座

◆オープンアトリエ①

(延べ参加者117名)

銅版画講座から引き続き制作が可能、版画制作中心のオープンアトリエ

期 間：6月13日(火)～25日(日) 午前9時～午後4時30分

講師指導日：6月18日(日) 講師：齊藤武士氏

◆オープンアトリエ②

(延べ参加者42名)

日本画、油彩画、彫刻など制作中心のオープンアトリエ 講師なし

期 間：2月6日(火)～18日(日) 午前9時～午後4時30分

◆オープンアトリエ③

(延べ参加者97名)

木版画講座から引き続き制作が可能、版画制作中心のオープンアトリエ

期 間：3月19日(火)～30日(土)

講師指導日：3月23日(土) 講師：河内成幸氏

創作教室（つくろう！あそぼう！造形広場を含む）

■創作教室

小学生以上を対象に、つくる楽しさを体験できる企画を実施している。

「ミレーを描く会」

今年度は、ミレー作品を鑑賞し、色鉛筆などの画材で模写をする活動を楽しんだ。描いた絵の写真を本館2Fロビーに掲示した。

日 時：1月3日(水) 午前10時～12時、
午後 1時～ 3時
(各時間帯 随時参加可能)

場 所：本館2Fミレー館前ロビー

対 象：どなたでも（幼児から大人まで。参加者114名）



ミレーを描く会



■つくろう！あそぼう！造形広場

「つくろう！あそぼう！造形広場」は週5日制実施による土曜日活用の一環として平成15年から行われている。造形活動を楽しみながら、美術の素晴らしさを味わう機会になっている。近年は参加する子どもの低年齢化とともに、子育て支援の性格も帯びており、山梨県の指針と合致する方向に向かっている。

運営にあたっては、元・山梨学院短期大学保育科教授であり造形教育研究者の伊藤美輝氏を講師に迎え、ご指導いただく形で進めた。また、造形活動の材料にはできるだけ空き箱や容器など日常生活で出てくる廃材を利用した。

講 師：伊藤美輝氏（造形教育研究者）

対 象：幼児から小学生とその保護者

時 間：午後1時30分～3時

※9月までは感染拡大防止対策として、定員を定め事前申し込み制とした。

No.	開催日	内容/テーマ	参加人数
1	5月 6日	ガチャガチャを作ろう	31名
2	6月10日	動く絵を作ろう	26名
3	7月 8日	ステンシルで描こう	38名
4	8月 5日	組込み構造で動物を作ろう	49名
5	9月 2日	筆を作って絵を描こう	33名
6	10月 7日	ハロウィンの変身遊び	53名
7	11月 4日	コラージュ遊び	72名
8	12月 2日	ポップアップXマスツリー	61名
9	1月 6日	凧を作って飛ばして遊ぶ	66名
10	2月 3日	光る絵を描こう	109名
11	3月 2日	ふくらむ絵を作ろう	131名



5月「ガチャガチャを作ろう」



6月「動く絵を作ろう」



7月「ステンシルで描こう」



8月「組み込み構造で動物を作ろう」



9月「筆を使って絵を描こう」



10月「ハロウィンの変身遊び」



11月「コラージュ遊び」



12月「ポップアップXマスツリー」



1月「凧を作って飛ばして遊ぶ」



2月「光る絵を描こう」



3月「ふくらむ絵を作ろう」

博学連携・教育課程での利用状況

学校等教育機関との連携の中で美術館が利用された。児童生徒の美術館訪問（遠足、校外学習等）に際しては、オリエンテーション、DVDによるミレーの生涯の紹介などを実施した。また、移動アートボックスの貸出、出前授業、教職員の研修会などでの利用もあった。

利用内容		件数	延べ人数	備考
見学・実技体験	小学校	48	859	
	中学校	41	681	
	高等学校	32	1375	
	その他	2	33	こども園、私立学校
職場体験		4	18	山梨高、城南中、北東中、 笛南中、上条中、富竹中、 韮崎東中、韮崎西中
教材貸出		7	5868	南アルプス市立美術館等
出前授業		8	451	富士河口湖高（リモート）、 塩山高、甲斐清和高通信制、 新田小、長坂小
教員研修		11	256	教師のための鑑賞研究会、 峡北教育教育研究会、 県幼児教育研修、 山梨県総合教育センター研修、 北都留教育研究会
合計		153	9541	

特に、甲府市立新田小学校とは6年間を通じて、学期に1度来館し、作品鑑賞する取り組みを続けてきた。この活動をとおして新田小学校の子どもたちは美術館に親しみ、美術館を特別な存在としてではなく、生活の一部として、美術館とともに成長する。6年生の最後には、一般の来館者を対象とし、本物の作品を前にしてギャラリートークを行うことを目標としている。昨年度は感染症対策のため休館日の開催となったが、今年度は4年ぶりに開館日にギャラリートークを行った。

新田小学校6年生によるギャラリートークの様子



オリエンテーション実施状況

山梨県立美術館 協力が会が解説を担当した団体等

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

種 別	団 体 数	延 べ 人 数	種 別	団 体 数	延 べ 人 数
小 学 校	0	0	職 員 研 修	1	1
中 学 校	0	0	婦 人 団 体	1	12
高 等 学 校	0	0	文 化 団 体	2	27
大学・短大・専門学校	1	41	そ の 他	23	536
P T A	0	0	計	28	617

映 画 会

月に1回、BD / DVD / レザーディスク / フィルム等による映画会（ミュージアム・シアター）を、情報ボランティアの協力を得て開催している。芸術全般、また特別展やコレクション展に関連する内容の映画を上映している。

4月22日(出)

「マダム・イン・ニューヨーク」(ガウリ・シンデー監督、2012年、134分)

5月27日(出)

「ホックニー」(リチャード・ライト監督、2014年、112分)

6月24日(出)

「永遠の門 ゴッホの見た未来」(ジュリアン・シュナーベル監督、2018年、112分)

7月29日(出)

「私は、マリア・カラス」(トム・ボルフ監督、2017年、118分)

8月26日(出)

「キューブリックに魅せられた男」(トニー・ジエラ監督、2017年、94分)

9月30日(出)

「プラド美術館 驚異のコレクション」(バレリア・パリシ監督、2019年、92分)

10月21日(出)

「テルマエ・ロマエ」(武内英樹監督、2012年、108分)

※特別展「テルマエ展 お風呂でつながる古代ローマと日本」関連上映

11月25日(出)

「アイリス・アプフェル! 94歳のニューヨーカー」(アルバート・メイズルス監督、2014年、83分)

12月23日(出)

「ダンシング・ベートーヴェン」(アランチャ・アギーレ監督、2016年、83分)

1月13日(出)

「華麗なるギャツビー」(バズ・ラーマン監督、2013年、142分)

※特別展「アーツ・アンド・クラフツとデザイン」関連上映

2月24日(出)

「フリーダ・カーロの遺品ー石内都、織るように」(小谷忠典監督、2015年、89分)

※テーマ展示「メキシコにまつわる版画」(コレクションB第3室展示) 関連上映

3月30日(出)

「クリムト エゴン・シーレとウィーン黄金時代」(ミシェル・マリー監督、2018年、94分)

時間 午後1時30分～

定員 4月～6月は各回50名

7月以降は各回70名

会場 講堂

博物館実習

実施日時

8月1日(火)～8月5日(土)

午前9時～午後4時30分

実習生所属大学及び人数

東京農業大学	1名	中央大学	1名
日本女子大学	1名	信州大学	1名
相模女子大学	2名	女子美術大学	3名
立命館大学	1名	都留文科大学	3名
実践女子大学	1名		
山梨大学	2名		
		計16名	



教育普及事業についての講義の聴講風景

令和5年度学芸員実習内容、およびスケジュール

日 時			内 容	場 所	主担当	担当者
8月1日(火)	午前	9:00～10:20	オリエンテーション～コロナ対策心得、館内諸施設見学	講堂	高野	
		10:30～12:00	コレクション展の概要と見学	講堂、コレクション展A,B	平林、太田、森川	
	午後	1:00～ 2:50	コレクション展の企画①	講堂	太田、森川、下東	
		3:00～ 4:30	美術館組織と運営に関して	講堂	井澤	
8月2日(水)	午前	9:00～10:45	美術作品の取り扱いと点検〔掛軸〕／コレクション展の企画②	収蔵庫／講堂	平林／森川、下東	
		10:45～12:20	美術作品の取り扱いと点検〔額装〕／コレクション展の企画②	収蔵庫／講堂	高野／森川、下東	
	午後	1:20～ 2:10	コレクション展の企画③	講堂	森川、下東	
		2:20～ 3:20	広報について	講堂	森川	
		3:30～ 4:30	広報について	講堂	五味 (SPS)	
8月3日(木)	午前	9:00～12:00	教育普及について (理論、アートカード実践、アートボックス等)	講堂	加藤、田所、雨宮	
	午後	1:00～ 2:30	対話型鑑賞 (座学・実技)	講堂	加藤、田所、雨宮	
		2:40～ 4:30	対話型鑑賞 (実技)	講堂	加藤、田所、雨宮	
8月4日(金)	午前	9:00～10:40	コレクション展の企画④	講堂	森川、下東	
		10:40～12:00	コレクション展の企画⑤	講堂	森川、下東	
	午後	1:00～ 2:00	総務課の仕事／指定管理の仕事	講堂	今村／五味	
		2:00～ 3:00	作品の保存と管理	講堂／機械室	高野	
		3:00～ 4:30	美術館施設の管理と防災 (機械室見学含む)	講堂／機械室	熊王、平賀 (KBS)	高野
8月5日(土)	午前	9:00～10:30	コレクション展の企画⑥～発表、講評	講堂	森川、下東	学芸課全員
		10:40～12:30	コレクション展の企画⑦～発表、講評	講堂	森川、下東	学芸課全員
	午後	1:30～ 3:00	美術館の活動と課題	講堂	井澤	
		3:10～ 4:00	特別展ができるまで (絵本展を例に自主巡回展について)	講堂	高野	
		4:10～ 4:30	まとめ、実習ノート記入、片付け	講堂	高野	

プログラムと実施状況

ワークショップ

①「やまなしの葉」

日 時：7月16日(日) ①午前10時～11時30分
②午後1時30分～3時

講 師：柏原恵美氏（作家）

協 力：サンテクノカレッジの学生

場 所：ワークショップ室

参加者：午前19名 午後13名

ボランティア（学生含む）：29名



「やまなしの葉」

②「ゆらゆらゆららゆらゆらら」

日 時：7月29日(土) ①午前10時～11時30分
②午後1時30分～3時

講 師：長谷川創氏（作家）

場 所：ワークショップ室、ミュージアム・コート

参加者：午前午後計62名

ボランティア：25名



「ゆらゆらゆららゆらゆらら」

③「つちのじかん『空から大地が降ってくるよ（獣一蝶一鳥一山）』」

日 時：8月9日(木)

①午前10時～午後12時 子どもの部（小学3～中学3年）

②午後1時～3時30分 大人の部

講 師：浅井裕介氏（作家）

場 所：ワークショップ室

参加者：午前15名 午後15名

ボランティア：12名



「つちのじかん」

④「みんなのふじさん」

日 時：9月3日(日) 午前10時～午後12時30分

講 師：上條暁隆氏（作家）

場 所：河口湖美術館 芝生広場

参加者：26名

ボランティア：10名



「みんなのふじさん」

⑤「アップサイクルアート」

日 時：10月19日(木) ①午前10時～11時30分
②午後1時30分～3時

講 師：上野玄起氏（作家）

場 所：ワークショップ室

参加者：午前10名 午後6名

ボランティア：午前9名 午後4名



「アップサイクルアート」

⑥「それぞれのそら」

日 時：11月3日(金・祝) ①午前10時～11時30分
②午後1時30分～3時

講 師：齊藤翔氏(作家)

場 所：ワークショップ室

参加者：午前24名 午後33名

ボランティア：午前5名 午後6名



「それぞれのそら」

⑦「集まれ！山梨の生き物たち」

日 時：11月11日(土)・18日(土) 午前10時～午後4時

講 師：村岡由梨氏(作家)・村岡由季子氏(作家)

場 所：ワークショップ室

参加者：13名

ボランティア：12名



「集まれ！山梨の生き物たち」

展覧会

「みなび展」

日 時：1月24日(水)～2月4日(日)

場 所：県民ギャラリーC、他



みなび展 会場風景

みなび展会場でのミニワークショップ

・「ジベする人」

日 時：1月27日(土)、28日(日) 午前10時～午後3時

講 師：古屋崇久氏(作家)

場 所：県民ギャラリーC

参加者：約200名(展示鑑賞者が随時参加)



「ジベする人」

・「富士山をかこう！」

日 時：みなび展会期中(1月24日～2月4日)

場 所：県民ギャラリーC、ロビー

参加者：812名(展示鑑賞者が随時参加)



「富士山をかこう！」



記録集

特別展関連ワークショップ

①「身近なうつわを描く」 （参加者14名）

講 師：秋山 泉 氏（特別展出品作家）

対 象：中学生以上

日 時：5月20日(土) 午前10時～午後3時

内 容：特別展「REMIX 展」関連プログラム。出品作家の秋山泉氏が、展示室にて自身の展示作品について解説し、繊細な鉛筆デッサン(静物画)技法の指導にもあたった。



「身近なうつわを描く」

②「つちのじかん」 （参加者30名。みなびワークショップと兼ねる）

講 師：浅井裕介 氏（特別展出品作家）

対 象：どなたでも

日 時：8月9日(水) ①午前10時～12時(子どもの部 15名)

②午後1時～3時30分(大人の部 15名)

内 容：特別展展示作品にも使用された「山梨県内の土を原料とした絵の具」を使用。午前・子どもの部では畑を耕すように土で絵を描き、午後・大人の部では収穫するように切り取って貼り、午前に描かれた絵と午後に完成した絵は全く違う絵となった。



「つちのじかん」

③「テルマエ展 キッズ・プログラム 親と子のアートレクチャー」

（参加者5名）

講 師：太田智子（本展担当館学芸員）、平林彰（学芸課長）

対 象：小学生とその保護者

日 時：10月14日(土) ①午前10時～11時（参加者5名）

②午後2時～3時

（参加者0名のため不実施）

内 容：特別展「テルマエ展」を扱ったキッズプログラム。親子で参加。前半は親子別々でアートレクチャーを受けた。大人が江戸時代以降日本の温泉・公共浴場の文化等、子どもは古代ローマにおける公共浴場の役割等についてそれぞれ知ることができた。後半は親子で再会し、それぞれが学んだことを親子で報告し合い、親子で互い学んだことに対して認め合い、コミュニケーションも深めることができた。



「テルマエ展 キッズ・プログラム
親と子のアートレクチャー」

④「モリスのデザインで遊ぼう！～自分で作る暮らしの小物～」 （参加者36名）

講師・協力

：笠井 英氏（作家）

対 象：どなたでも

日 時：1月8日(月・祝) ①午前10時～12時（参加者17名）

②午後1時30分～3時30分（参加者19名）

内 容：特別展「アーツ・アンド・クラフツとデザイン」で扱ったウィリアム・モリスが意匠を手がけた柄やフォントのスタンプをデザインして、はがきサイズの和紙に押す。笠井氏より、和紙を扱う理由について説明がなされ、その後、感光樹脂板を使った自分だけのモリス柄・モリス文字のスタンプを作り、ポストカードに押印した。当時の印刷に近い作り方を楽しむことができ、子どもから大人まで大変好評を得た。



「モリスのデザインで遊ぼう！
～自分で作る暮らしの小物～」

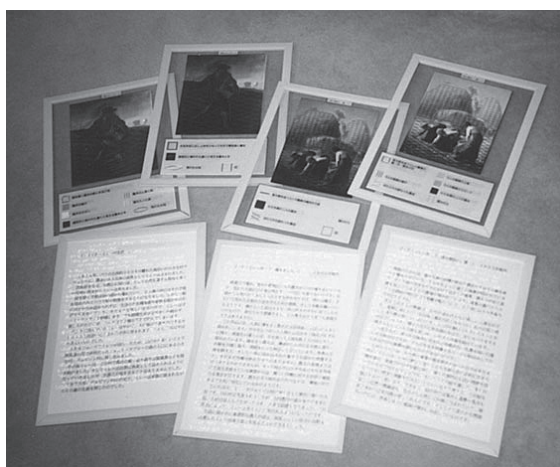
手でみるミレー

当館では開かれた美術館として、一人でも多くの人たちにミレーの作品を紹介することを目的として昭和58年に視覚障がい者のための「手でみるミレー」を制作した。最近では視覚障がいのない、一般の方で触察を希望する人も多く、障がい者理解の一助ともなっている。

通常は、オリエンテーションも含めて、触察が可能なシステムをとっており、特別支援学校への貸し出しなども行っている。

平成21年のミレー館開館にともない、ミレー館の入口に設置して、来館者が常に利用できるようにした。

また、かねてより山梨大学が中心となって研究が進められてきた「手でみるプロジェクト」が昨年度完結し、《種をまく人》レリーフ版が当館に寄贈された。多様な鑑賞のかたちを提案する教材としてこれからも活用されることが期待される。



手でみるミレー



設置状況



《種をまく人》レリーフ版



《種をまく人》レリーフ版近影

教師のための鑑賞研究会・教育団体の研修会

「教師のための鑑賞研究会」は、県内の小・中・高等・支援学校等の教職員を対象として、特別展を中心に、学芸員によるギャラリートークなどを行い、児童生徒への鑑賞教育のヒントを得る機会となっている。

また、学校教育と美術館教育との連携をはかるため、県内の各教育研究サークルの研究会の場として、移動アートボックスの授業での利用方法の研究、鑑賞研究、実技研修などを行っている。

今年度は、感染症対策の緩和にともない、学芸員のギャラリートークなどの動画をオンラインで公開を春季のみ行い、夏季以降は従来どおり当館展示室にて実施した。

■教師のための鑑賞研究会

①第1回（オンライン web動画視聴者102名 視聴後当館にて観覧2名）

展覧会：山梨県立美術館コレクションREMIX

内 容：特別展担当学芸員による解説動画の配信

開催日：5月24日(水)～6月11日(日)



教師のための鑑賞研究会

②第2回（参加者合計8名）

展覧会：ミレーと4人の現代作家たち 一種にはじまる世界のかたちー

内 容：出品展示作家4名それぞれが自ら講師となり解説

日 時：7月8日(土) 午後2時～ 講師 丸山純子氏

7月22日(土) 午後2時～ 講師 志村信裕氏

8月6日(日) 午前11時～ 講師 浅井裕介氏

8月20日(日) 午前11時～ 講師 山縣良和氏



総合教育センターとの共催
教員研修

③第3回（参加者10名）

展覧会：テルマエ展 ーお風呂でつながる古代ローマと日本ー

内 容：特別展担当学芸員によるギャラリートークと普及担当による対話型鑑賞

日 時：9月26日(火) 午後4時～5時

④第4回（参加者10名）

展覧会：アーツ・アンド・クラフツとデザイン ーウィリアム・モリスからフランク・ロイド・ライトまでー

内 容：特別展担当学芸員によるギャラリートークと普及担当による対話型鑑賞

日 時：1月11日(火) 午後4時～5時

■教育団体の研修会

No.	開催日	団体名	会 場	参加人数（名）
1	5月25日	山梨県造形教育研究会	講堂	37
2	7月4日	峡北地区図工・美術作品指導法研究会（講師）	オンライン	18
3	8月9日	北都留教育研究会図工美術教育部会	ワークショップ室	4
4	1月30日	山梨県造形教育研究会	講堂	41

■インターネット配信

教職員に当館展示作品の魅力や鑑賞教育のヒントを伝える機会である「教師のための鑑賞研究会」のオンライン版は、感染症対策として春季（REMIX展）に実施した。配信を視聴した後に実際に作品を観覧するため別途来館することも可能とした。102名の視聴された先生のうち2名が来館した。



教師のための鑑賞研究会配信動画

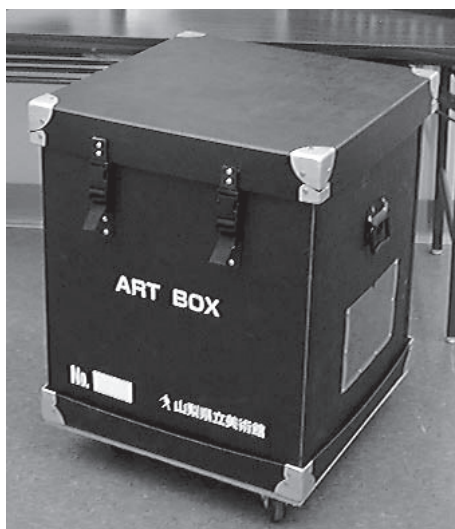
移動アート・ボックス

「移動アート・ボックス」は、一人でも多くの子どもたちに本物の美術に接して欲しいという願いを実現するために考案された移動型教材の貸出システムである。近年、鑑賞・実技演習ガイドとして「ティーチャーズ・ガイド」を加え、現場でアート・ボックスをより活用しやすくした。また当館のワークショップにおいても、鑑賞の一助としての役割を果たしている。

移動アート・ボックス内容

木版画	・ティーチャーズ・ガイド ・笠松紫浪（遺作版木、順序摺り、作品） 《放牧》《ねぎの花》《阿修羅》《落暉》《秋の大原》《潮どき》《川ぞい》《白い猫》 ・河内成幸（版木、作品）《今を翔べ（Ⅴ）》《翔べ北斎（Ⅲ）》《赤い花束》 ・佐藤正明《Newsstand No.66-W》（順序摺り、作品） ・用具 創作ばれん 創作ブラシ 創作ハケ
銅版画	・ティーチャーズ・ガイド ・齊藤武士（銅版原版、順序刷り、作品）《MEMORY-86 I（KOFU）》3版 ・深沢幸雄（銅版原版、作品） 銅版画集 宮沢賢治『春と修羅』より ・アルブレヒト・デューラー作 《フィリップ・メランヒトン》模刻エッチング（銅版原版） 下記1作品の版が新たに寄贈された ・山本正文（銅版原版、作品）
石版画	・ティーチャーズ・ガイド ・遠藤竜太（リトグラフ原版、順序刷り、作品）《The Vessel/body-Ⅶ》5版 ・用具
グラフィック・アート	・ティーチャーズ・ガイド ・遠藤享（ネオンサイン模型、ネオン点滅工程図式図） ・ネオンサインのビデオテープ
フレスコ画	・ティーチャーズ・ガイド ・富永泰雄オリジナル作品 ・フレスコ画制作工程作品（富永氏によるポンペイ壁画模写） ・フレスコ画に用いる顔料
テンペラ画	・ティーチャーズ・ガイド ・沓間宏オリジナル作品 《レインフォーレスト・ドリームⅡ》 ・テンペラ画制作工程作品（沓間氏によるボッティチェリ《ヴィーナスの誕生》部分模写） ・テンペラ画に用いる用具
シルクスクリーン	・秋山令一オリジナル作品 ・シルクスクリーン制作工程及び工具
パステル画	・増田実オリジナル作品 ・パステル画制作工程作品 ・パステル画に用いる用具
油彩画	・齊藤静輝オリジナル作品 ・油彩画制作工程作品 ・油彩画に用いる用具

日本画	・鈴木美江オリジナル作品 ・望月春江オリジナル作品 ・望月春江《惜春》部分制作工程作品 ・日本画に用いる用具 ・屏風・掛け軸2・絵巻物 11 ミニチュア
小学生用 アート・ボックス	ミレーの絵画を楽しむ ☐ミレー編（種をまく人） ・《種をまく人》鑑賞資料用ポスター ・ワークシート（小学校1年生～中学校3年生対象） ・《種をまく人》衣装（教師用・身長160cm 生徒用・150cm） ☐ミレー編（落ち穂拾い、夏） ・《落ち穂拾い、夏》農民衣装（大人・M、中人・身長150cm、小人・身長126cm） ・ミレー作品と同寸大の枠ぶち 6枚 ・稲の穂と麦の穂 ☐混色あそび編 ・混色あそび用アクリル板 10枚×3色 ・教師用アクリル板混色セット - ライト、木箱、影絵（木、雲、風景）シート



移動アート・ボックス外観



油彩画（齊藤静輝）



小学生用アート・ボックス
ミレーの絵画を楽しむ、《種をまく人》衣装

アートカード「みるえ」



アートカード



アートカードを活用した出前授業（R5）

小・中学生に美術館の所蔵作品に親しんでもらうことを目的として、平成25年度に開発したもの。ミレーとバルビゾンの作品を中心にした主要作品のカードとガイドブックから成る。平成27年度に県内すべての小・中・高校に配布した。

例年、山梨県教員研修センターとの共催事業として夏季研究・研修会を開催し、図工・美術科以外の教職員へも利用の働きかけを行っている。



鑑賞活動での活用の様子（R5出前授業）



夏季教員研修会（R4）

広報活動

<広報活動>

コレクション展、特別展など展覧会の広報について、企画内容に合わせてターゲットを設定し、チラシやポスターの作成、配送先の検討や、CM制作などを行った。そのほか展覧会関連イベントを企画し、会期にあわせて実施することにより集客に繋げる取組みを行った。

【実施内容】

- ・美術館の概要や現況の紹介、鑑賞や教育の資料として活用するため、美術館案内、図録、年報、美術館ニュース等を発行。全国関係諸機関及び来館者等に提供した。
- ・特別展ごとにポスターおよびチラシを作成し、全国関係諸機関、県下各市町村および小学校、大学、教育機関その他に配布した。さらに、各展覧会の客層やターゲットに合わせ、書店や他美術館などへも送付した。
- ・各特別展・コレクション展の展示替えなどに合わせて、報道機関や出版社へニュースリリースを配信した。
- ・特別展に合わせてイベント・観光情報サイトへの登録を行った。
- ・公式X(旧Twitter)、Instagram、Facebookを活用し、来館のきっかけ作りを行った。
- ・近県(東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県)の旅行会社へ向けた観光商談会に参加し、ツアー誘致を行った。
- ・美術館のPRとファミリー層の集客のため、県内の商業施設に出向き、展覧会の告知とワークショップを実施した。

開催日 7月22日(土)・3月29日(金)

参加者 計522名

- ・ウィリアム・モリスの作品をモチーフとした布製オーナメント作成のワークショップを実施し、特別展「アーツ・アンド・クラフツとデザイン」との一体感を演出した。

開催日 12月16日(土)・17日(日)・23日(土)・24日(日)

参加者 計65名

芸術の森公園ガイドツアー

昨年度から継続して公園内の彫刻作品とその時々公園の見どころを紹介する「芸術の森公園ガイドツアー」を実施した。

5月には子どもたちが芸術に触れるきっかけ作りとして子どもツアーを実施し、公園を巡りながら鑑賞ポイントをクイズ形式で紹介した。参加者からは「今まで何回も来たことがあったが、知らなかったことの説明が聞けて良かった」との声があがった。

他にも見ごろを迎えたバラ園などを紹介するバラツアーも実施し、すべてのツアーにおいて参加者満足度は90%以上と高く、高評価をいただいた。

日 時：5月5日(金・祝)・5月6日(土)・11月20日(月・県民の日)

開催回数：計6回(内、子どもツアー2回)

参加者：計71名(内、子どもツアー20名)

ニューイヤー・コンサート

山梨交響楽団と連携して行う「ニューイヤー・コンサート」は、毎年恒例のイベントとなっている。令和5年度は、新型コロナウイルスの5類移行を受け、昨年度よりも定員を増やして開催した。客席の間隔を十分に確保する等の感染症対策を施して支障なく実施することができた。

クラシックの名曲に加えて、アニメ映画曲のメドレー等馴染みのある楽曲を用意することで、幅広い客層に楽しんでいただける内容とした。

日 時 : 1月14日(日) 開演: 午後2時
出演者 : 山梨交響楽団 (小編成によるアンサンブル)
会 場 : 山梨県立美術館 講堂
参加数 : 59名 (定員: 70名/申込: 75名)



ニューイヤー・コンサート 会場風景

<曲目>

◎金管五重奏

ファーナビー作曲 「空想・おもちゃ・夢」
タッフィー・ナイバート、ジョン・デンバー作曲 「カントリーロード」
映画「魔女の宅急便」メドレー

◎弦楽四重奏

ボロディン作曲 「弦楽四重奏第2番より1・3楽章」

◎木管五重奏

ヒンデミット作曲 「5つの管楽器のための小室内楽」
エルガー作曲、蓬田 梓編曲 「愛の挨拶」

ロビーコンサート

各月第3日曜日の午後に、山梨県ゆかりの演奏家によるロビーコンサートを開催。来館されたお客様に気軽に音楽をお楽しみいただいた。出演者にとっても貴重な発表の場として機能している。新型コロナウイルスの5類移行を受け、座席数をコロナ前に戻し、立ち見も一部解禁して実施したが、各回ほぼ満席となった。

開 催 日 : 各月第3日曜日
開演時間 : 午後2時～ 約30分
会 場 : 山梨県立美術館 1階ロビー

実施回数/観客数

- ・ロビーコンサート 計6回/計425名
- ・クリスマスコンサート 計1回/計72名



美術館システム・美術館ホームページ

■美術館システム

平成12年4月1日、運用開始

山梨県立美術館の全収蔵作品の文字データと約1,000点の画像データから構成される収蔵作品データベースを核とした情報システムである。館内はネットワーク化され、職員の業務支援システムとしての役割を果たすと同時に、一般の方への情報公開・情報提供も行っている。(ただし、画像に関しては著作権のないもの、画像使用の承諾を得られたもののみを公開)。

平成17年10月1日、新システムへの移行

平成22年10月1日、サーバーを更新、収蔵品データベースは職員のみ利用に変更

一般の方へは、美術館ホームページの「主な収蔵作品」において、「ミレー・バルビゾン派」「その他の美術館」「日本の近代美術」として紹介することとなった。

平成28年3月28日、収蔵品データベース（収蔵品検索システム）を一新。美術館ホームページで公開。

平成29年12月13日、セキュリティクラウド移行。県総務部情報政策課の指示のもと移行作業を完了した。ホームページのみ指定管理者委託先の保守業者のシステム（WAF）を使用。

■美術館ホームページ

平成12年4月1日、ホームページ開設

平成17年10月1日、新システムへの移行

平成22年10月1日、ホームページの運営及び情報更新を指定管理者が行うこととなり、デザインなどを一新

平成26年6月28日、ホームページに公式Facebookを開設。ホームページにバナーを設置

平成28年3月28日、インバウンドに対応するため、英語、中国語（簡体・繁体）、韓国語、フランス語のページを作成しデザインも一新

平成29年8月22日、「特別展」ページ内に県掲載のYouTube動画を埋め込み、同ページ内で特別展のCM動画掲出

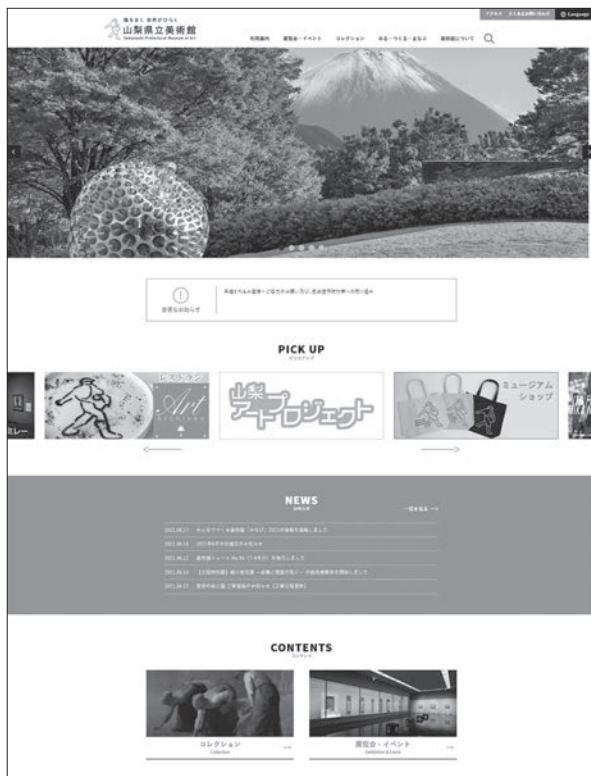
平成30年4月、キャッチコピーとアイコンを作成、ホームページにキャッチコピーとアイコンを掲載

平成30年9月、開館40周年記念事業紹介ページを作成

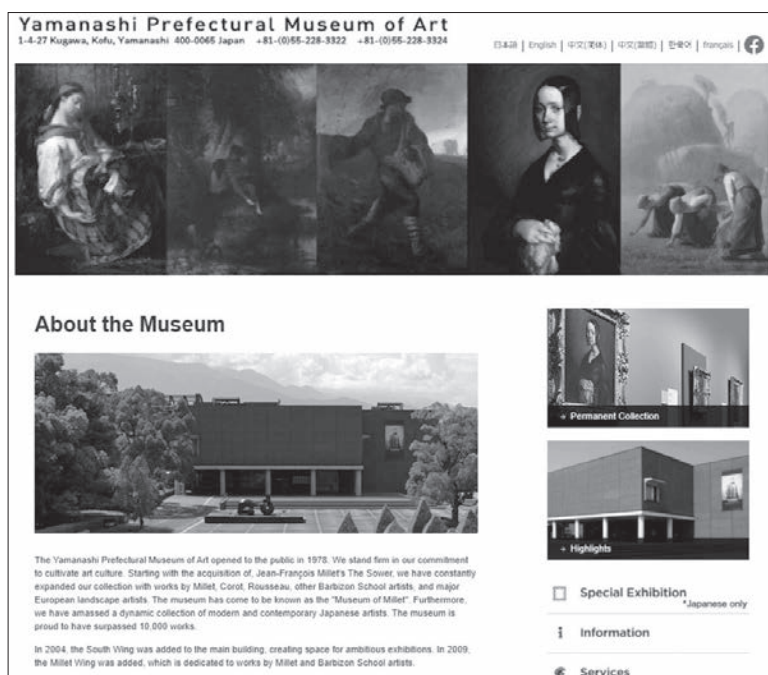
令和元年10月、6館連携事業の一環として、県立図書館、県立文学館、県立博物館、県立考古博物館、県立富士山世界遺産センター、各ホームページへのリンクバナーを追加

令和3年3月18日、文化庁の文化観光推進事業によりホームページデザインを一新、スマートフォンやタブレットに対応したフレキシブルページを採用、ホームページ内のコンテンツを「利用案内」「展覧会・イベント」「コレクション」「みる・つくる・まなぶ」「美術館について」にまとめた。Instagram、YouTube、Twitterへのリンクを新たに設置したり、《種をまく人》《落ち穂拾い、夏》《夕暮れに羊を連れ帰る羊飼いの》の高精細画像を掲載

美術館ホームページURL <https://www.art-museum.pref.yamanashi.jp/>



トップページ



外国語ページ

山梨県立美術館 収蔵品データベース

条件を入力して探す

→ 作者一覧から探す

作品名

作者名

キーワード

☒ 全ての語を含む
☐ いずれかの語を含む

Q 検索する

リセット

Powered By I.B.MUSEUM SaaS

収蔵品データベース（収蔵品検索システム）

■ 文化観光推進事業

令和2年8月、「文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光の推進に関する法律」に基づく計画として、「山梨県文化観光推進地域計画」（計画期間：令和2年度～令和6年度）が国に認定された。

本計画では、文化施設を拠点とした観光振興を図るため、県立美術館をはじめとした県内美術館等4施設*を中核となる文化観光拠点施設と位置づけ、山梨の強みである文化・自然・食を生かし、中核施設の魅力増進等に取り組む。

令和5年度は文化庁の補助金を活用し、文化資源のデジタル化や作品鑑賞プログラムといった文化観光推進事業を実施した。

*山梨県立美術館、平山郁夫シルクロード美術館、中村キース・ヘリング美術館、清春芸術村の4施設

文化資源デジタル化・コンテンツ開発事業

◆高精細画像撮影、配信

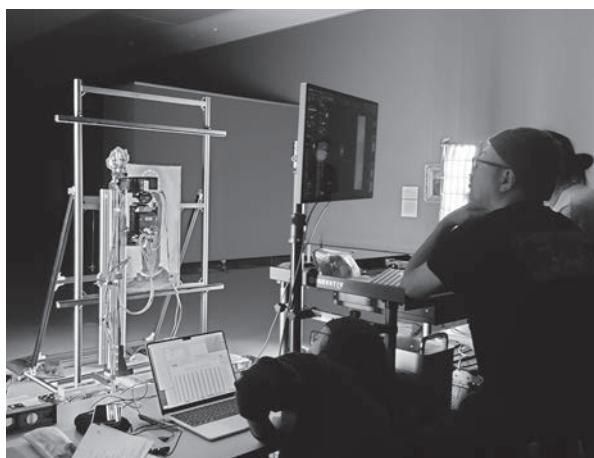
所蔵するミレー作《無原罪の聖母》《古い塀》《グレヴィルの断崖》の3点について、テレビ山梨とNHKの合同チームにより高精細画像を撮影した。一つの作品を数百のカットに分けて撮影し、その精緻なデジタル画像データのステッチ（つなぎ合わせ）を行い、7,000dpiのマスターデータを作成した。さらにそのデータを元にした汎用性の高いデータもつくりホームページで公開した。

実施日時：

撮影／12月25日(月)

マスターデータ納品／1月24日(水)

ホームページ公開／2月4日(日)



高精細画像撮影の様子

作品鑑賞プログラム魅力増進事業

◆鑑賞プログラムの基本となる対話的鑑賞の本質とその方法論を当館独自の鑑賞プログラム開発に繋げるプログラム

■対話型鑑賞プログラム「アートでトーク」

◇日 時：毎月水曜日午前・午後、土曜日午後を基本として実施。

午前は11時～11時40分、午後の部は1時30分～2時10分。

月	実施日、時間	のべ参加者数
4月	19日(水)AM、19日(水)PM	11
5月	14日(日)PM、24日(水)AM、24日(水)PM	13
6月	21日(水)AM、21日(水)PM、24日(土)PM	4
7月	5日(水)AM、5日(水)PM、22日(土)PM	8
8月	19日(土)PM、30日(水)AM、30日(水)PM	8
9月	20日(水)AM、20日(水)PM、30日(土)PM	7
10月	1日(日)PM、18日(水)AM、18日(水)PM	7
11月	15日(水)AM、15日(水)PM、25日(土)PM	8
12月	2日(土)PM、6日(水)AM、6日(水)PM、20日(水)AM、20日(水)PM	17
1月	17日(水)AM、17日(水)PM、27日(土)PM	8
2月	21日(水)AM、21日(水)PM、24日(土)PM	11
3月	13日(水)AM、13日(水)PM、23日(土)PM	11

※5月は14日(日) 医療関係者を対象とした対話型鑑賞1回、12月は6日(水) 特別展「アーツ・アンド・クラフツ」作品を扱ったアートでトーク2回を含む。

※2月10日(土)には「アートでトーク」英語版("Dialogues with Art" English version)を初めて開催した。

◇場 所：コレクション展示室（「特別展版アートでトーク」は特別展示室）

◇ファシリテーター：対話型鑑賞推進部（美術館協力会員）

◇プログラムについて

このプログラムでは、本年度より対話型鑑賞推進部として美術館協力会員がファシリテーターとなり、VTS、VTCを元にした独自の方法で鑑賞ワークショップを行った。募集する参加者は毎回5名程度とした。参加者からは「作品について対話しながら鑑賞することで、新たな気づき生まれることを体験できた」と好評を得ている。



アートでトークの様子

■インターネット配信

対話型鑑賞プログラム「アートでトーク」の内容をよりわかりやすく伝えるために、実施の様子をテロップ付きの動画として配信している。当館ホームページからも視聴可能。



アートでトーク配信動画

■第1回 対話型鑑賞ファシリテーション研修中級・上級

◇講 師：中尾陽一氏（株式会社ウーゴス代表・展覧会プロデューサー）

◇日 時：1月13日(土) 午後1時～5時

◇場 所：工房、展示室

◇参加者：教育普及担当職員6名、ボランティア13名

◇講演会の概要

昨年に引き続き、対話型鑑賞の基本となるVTS、VTC、ACOPなどについて講義をしていただき、その後モニタに提示された作品を対象に対話型鑑賞を行った。今回も一人ひとりのファシリテーションに対して講評をいただき、実践へ向けての改善点やより伸ばすべき点がより明らかになった。



中尾氏講演会の様子



中尾氏講演会 展示室での実践

■第2回 対話型鑑賞ファシリテーション研修中級・上級

◇講 師：三澤一実氏（武蔵野美術大学教授）

◇日 時：2月19日(月) 午前10時～午後3時

◇場 所：工房、展示室

◇参加者：教育普及担当職員6名、ボランティア17名、美術館関係者（他館職員）4名

◇講演会の概要

対話型鑑賞のファシリテーター養成を目的とし、対話型鑑賞を実践している三澤一実氏を講師に迎え、昨年に引き続き講演の機会を設けた。当館職員や対話型鑑賞推進部として活動している美術館協力会員らが参加した。

ファシリテーションの役割、実際の進め方、ポイント等を座学で学んだ後、常設展示室にて実際に対話型鑑賞を行った。ファシリテーションの実践についてより具体的に学ぶことができた。



三澤氏講演会の様子



三澤氏講演会 展示室での実践

認知症ケア美術鑑賞ワークショップ

◆認知症ケア鑑賞プログラムの実施

文化観光推進事業における取組として、認知症ケア美術鑑賞ワークショップを当館で行った。当館の所蔵作品を見ながら、一般社団法人アーツアライヴのアートコンダクター・藤田綾子氏と興石美和子氏が質問するスタイルで対話型鑑賞を進めた。じっくりと絵を見ながら会話をすすめ、自分が住んでいる環境や懐かしい記憶と作品を結びつける参加者も出るなど、和やかで楽しいひとときを全体で共有することができた。

◆認知症ケア美術鑑賞ワークショップ

- ・アートコンダクター：藤田綾子氏、興石美和子氏（アーツアライヴ）
- ・各回10名定員（2月は20名）

No	開催日	内容	参加人数
1	4月28日(金) 午後1時30分～3時	櫻井孝美《天と地と》 トロワイヨン《市日》 ジャン・フランソワ＝ミレー《冬・凍えたキューピッド》	8名
2	9月30日(土) 午後1時30分～3時	桑原福保《緑陰》 山田敬忠《夕暮れの山の温泉》 ジャン・フランソワ＝ミレー《冬・凍えたキューピッド》	9名
3	2月28日(水) 午後1時30分～3時15分	増田誠《リュウ・ムフタル》 水出陽平《オークション》 ジャン・フランソワ＝ミレー《冬・凍えたキューピッド》	11名

認知症ワークショップの様子



雨宮庸介「まだ溶けていないほうの山梨県美」

会 期：令和6年2月27日(火)～3月24日(日)

主 催：山梨県立美術館

企画協力：COMPOUND inc.

展覧会ディレクション+VIデザイン：小田雄太（COMPOUND inc.）

VR撮影編集：飯田将茂

ドラマトウルク：石神夏希

振付・出演：浅井信好

出 演：皆川まゆむ

振付アドバイザー：木田真理子

コントラバス：千葉広樹

会場デザイン：GROUP

編 集：吉田山

ブレインストーミング：鹿野震一郎

VR映像英語翻訳：桐山明日香

照明作品制作：藤村祥馬、望月電気

出 演：赤木真理、青柳一美、Chiaki、金亮子、Mimi、小野志津香、坂本泉、
辻佑介、四宮スズカ、内田裕士、雨宮宮雨、雨宮と以

ワークショップ参加：赤木真理、青柳一美、林空杏、柄澤容輔、Mimi、
中西星羅、小野志津香、坂本泉

協 力：SNOW Contemporary

会 場：ギャラリー・エコー（美術館エントランス）、本館1Fロビー、オンライン



本展は、美術館の可能性を模索する企画シリーズLABONCHI（ラボ+盆地）の第二弾として開催された。雨宮庸介（市川三郷町在住）は、代表作として知られる「溶けた林檎の彫刻」のように、普段現実では起こり得ない現象や状況を生み出し、鑑賞者の認識に変化を起こすことを核とする作品を制作している。本展では、一般参加者を含む出演者と共に、360度カメラを用いて館内ロビーで映像を撮影。その映像を、撮影現場でVRヘッドセットで上映。ギャラリー・エコーでの彫刻作品の展示と併せて、仮想と現実を架橋する体験を提供した。

チラシ

出品目録

作品名	制作年	技法・材質	所蔵	展示場所
まだ落ちていないほうの吊り下げ照明	2024	真鍮、鉄、電球、コード等	作家	ギャラリー・エコー
Apple（11個）	2006～2024	林檎の木材に油彩	個人、小林真比古氏、作家	ギャラリー・エコー
タイトル：VR まだ溶けていないほうの山梨県美	2024	VR	作家	本館1Fロビー、オンライン

■ワークショップ「展覧会『まだ溶けていないほうの山梨県美』をみんなで考えてみるワークショップ」

日 時：1月28日(日) 午前10時30分～12時

講 師：雨宮庸介（出品作家）

講師と共に、歩く、話す、物を動かすといったアクティビティを行うことを通して、日常的な行為に新たな気づきを得るワークショップを行うと共に、2月12日(月・祝)、18日(日)に館内で実施されたVR作品の撮影への参加者を募った。

場 所：ワークショップ室

■座談会「なにが溶けていてなにが溶けていなかったのか？」

メタバースの可能性や発見についてのトークセッションを行った。

①日 時：3月23日(土) 午後2時～3時30分

登壇者：雨宮庸介、石神夏希（劇作家）、浅井信好（振付家、ダンサー）、
小田雄太（COMPOUND inc.、クリエイティブディレクター）

②日 時：3月24日(日) 午後2時～3時30分

登壇者：雨宮庸介、GROUP（建築コレクティブ）、吉田山（アート・アンプリファイヤ）、
小田雄太（COMPOUND inc.、クリエイティブディレクター）

場 所：講堂



会場風景

■ 所蔵作品・資料

新 収 蔵 作 品

購 入

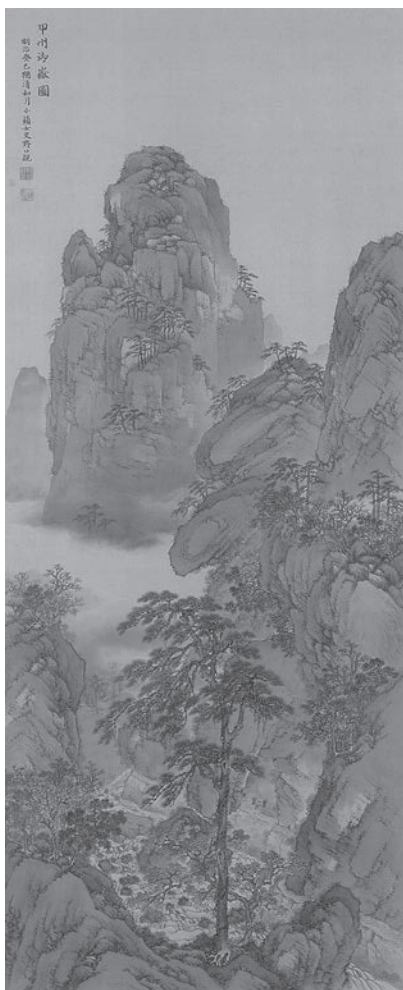
作家	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横)cm
野口小蘋	甲州御嶽図	1893	絹本着色	138.8×57.0
野口小蘋	秋園錦繍図	1901～1912頃	絹本着色	150.0×69.0

寄 贈

作家	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横)cm	寄贈者
山田敬中	唐美人図	1914	絹本着色	238.0×120.0	山田敬伸
たかくらかずき	仮現和合図	2023	UVプリント、 焼箔・キャンバス	162.0×130.0	高倉一樹
たかくらかずき	善悪和合図	2023	UVプリント・ キャンバス	162.0×65.5	高倉一樹
たかくらかずき	生死和合図	2023	UVプリント・ キャンバス	162.0×65.5	高倉一樹
たかくらかずき	十道祖神図	2023	UVプリント・ キャンバス	23.0×230.0	高倉一樹
中澤年章	仮名手本忠臣蔵	不詳	木版多色	(各)21.0×33.0	知和晴美

寄 託

作者	資料名	制作年	技法・材質
	クローン文化財 ジャン＝フランソワ・ミレー 《種をまく人》	2022	
棟方志功	妙華嚴の柵	1959～1960	リトグラフ
篠田桃紅	UNTITLED		リトグラフ
巻白	WORK-S		リトグラフ
ベラ・カルマン	棟方志功		写真
棟方志功	扇面画		紙本墨画



野口小蘋
甲州御嶽図
1893 絹本着色
138.8×57.0



野口小蘋
秋園錦繍図
1901～1912頃 絹本着色
150.0×69.0



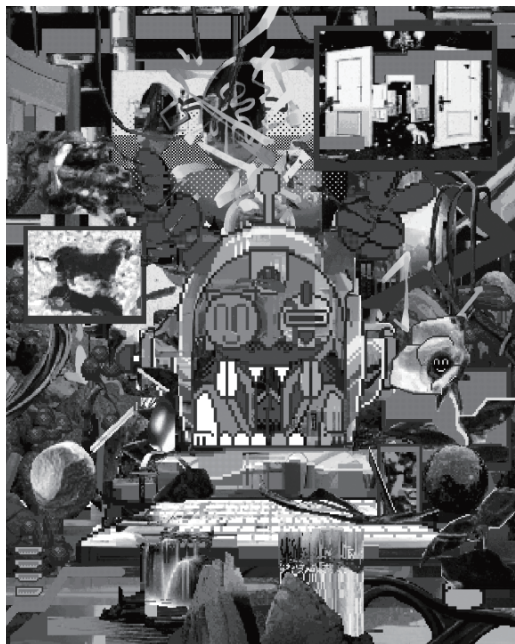
山田敬中
唐美人図
1914 絹本着色
238.0×120.0
山田敬伸氏寄贈



中澤年章
仮名手本忠臣蔵
不詳 木版多色
(各) 21.0×33.0
知和晴美氏寄贈



たかくらかずき
善悪和合図
2023
UVプリント・キャンバス
162.0×65.5
高倉一樹氏寄贈



たかくらかずき
仮現和合図
2023
UVプリント、焼箔・キャンバス
162.0×130.0
高倉一樹氏寄贈



たかくらかずき
生死和合図
2023
UVプリント・キャンバス
162.0×65.5
高倉一樹氏寄贈



たかくらかずき
十道祖神図
2023 UVプリント・キャンバス
23.0×230.0
高倉一樹氏寄贈

項目別収蔵作品

令和6年3月31日現在

区分	作家名	寄贈点数	購入点数	寄託(管理換えを含む)	計
日本画・東洋画	東 韶光			1	1
	渥美 芙峰	1			1
	穴山 勝堂	29	6	5	40
	池 大雅			1	1
	猪瀬 東寧	1			1
	歌川 国貞 他			2	2
	宇野 さおり	1			1
	呉 団良	2			2
	大河内 夜江	5	4	1	10
	小野 竹喬	1			1
	加倉井 和夫		3		3
	堅山 南風	1			1
	加藤 和夫	3		1	4
	加藤 良造			1	1
	川崎 麻児	3			3
	川崎 小虎	137	1	2	140
	川崎 鈴彦	6			6
	川崎 春彦	4			4
	河内 雅溪	2	1	1	4
	川手 青郷			1	1
	河野 双岑	1			1
	呉春			2	2
	小室 翠雲	1		1	2
	近藤 乾年	5			5
	近藤 浩一路	78	7	3	88
	三枝 雲岱	12		1	13
	三枝 茂雄	9	11		20
	斎藤 倭文緒	2	1		3
	阪本 トクロウ	4			4
	佐久間 鉄園	1			1
	白瀧 幾之助	1			1
	諸家			1	1
	鈴木 美江	8			8
	須藤 貌	5			5
	関 主税			1	1
	高野 史静	1			1
	竹邨 三陽			1	1
	谷 文晁	2			2

区分	作家名	寄贈点数	購入点数	寄託(管理換えを含む)	計
日本画・東洋画	田能村 直入	1			1
	津田 青楓	1	1		2
	鶴田 機水			1	1
	東嶺			1	1
	富岡 鉄斎	3		6	9
	中澤 一僑		1		1
	中澤 年章	12			12
	中丸 精十郎	3			3
	中村 岳陵			1	1
	中村 蘭林	1			1
	名取 春仙	5	2		7
	野口 小蕙	5	5	2	12
	野口 小蘋	17	9	11	37
	野田 修一郎	10	2		12
	のむら 清六	30	2	1	33
	白隠			12	12
	日根 対山			2	2
	平福 百穂			1	1
	福井 江太郎			1	1
	古屋 正壽	6		1	7
	前田 青邨	2			2
	松林 桂月	1			1
	円山 応挙			1	1
	三輪 晁勢	1			1
	棟方 志功			1	1
	村松 乙彦	2			2
	望月 定夫	2	1	5	8
	望月 春江	29	1	2	32
	森 寛斎	1			1
	山口 晃			1	1
	山田 敬中	6			6
	山田 申吾	30	7		37
	横山 大観	5			5
	和田 三造			1	1
	作者不詳			1	1
	計	499	65	78	642
洋画	赤松 麟作	1			1
	秋山 泉	3			3
	飯田 四郎	7	1		8
	飯室 哲也	1			1
	池田 龍雄	9	2		11
	石井 精一	2			2

区分	作家名	寄贈点数	購入点数	寄託(管理換えを含む)	計
洋画	石原 長光	8			8
	石原 美登利		1		1
	石村 実	1			1
	伊藤 純子	1			1
	今澤 正			1	1
	今関 一馬	1			1
	鷗澤 明民	1			1
	内田 一郎	3			3
	梅原 龍三郎	1			1
	榎並 和春	1			1
	小川 マリ	6			6
	萩 太郎	2			2
	小野 洋	5			5
	數野 繁夫	2			2
	加藤 富也	1			1
	菊島 明	2			2
	杳間 宏	3			3
	工藤 和男		1		1
	窪田 知矩	6	1		7
	窪田 守義	3			3
	久里 洋二	7			7
	桑原 福保	13		1	14
	小磯 良平		1		1
	小出 檣重		1		1
	河野 通勢	1			1
	小林 一枝	3			3
	小林 正治	3			3
	小林 萬吾		1		1
	五味 祥子	1			1
	近藤 浩一路	1	24	1	26
	三枝 茂雄	2			2
	齊藤 静輝	3	2		5
	櫻井 孝美	3			3
	佐藤 正明	2		13	15
	里見 勝蔵	1			1
	佐野 智子	4	2		6
	佐分 眞	1			1
	島田 利一	1			1
	清水 誠一	2			2
	進藤 章	2			2
	神中 糸子	1			1
	鈴木 千久馬	5		3	8

区分	作家名	寄贈点数	購入点数	寄託(管理換えを含む)	計
洋画	鈴木 誠		1		1
	須田 寿	2			2
	砂田 正巳	2			2
	高野 真美	3			3
	高山 良策	10			10
	滝沢 忠三	2			2
	武田 好文	2	1		3
	竹田 稔	3			3
	田中 繁吉	5	1		6
	田中 常太郎	3			3
	辻 葦夫	7			7
	土屋 義郎	18	1		19
	手澤 宗信	5	2		7
	寺田 竹雄	1			1
	鳥居 雅隆	10			10
	中川 一政	1			1
	中込 靖成	1			1
	中西 夏之		1		1
	中丸 精十郎	4	2	1	7
	中村 修二	1			1
	中村 宗久	4			4
	西村 陽平	5			5
	根津 莊一	3			3
	濱田 稔	1			1
	早川 重章	9	2		11
	早川 二三郎	10	1		11
	服部 賢司	1			1
	埴原 久和代	7			7
	原 勝郎	15	3		18
	原田 勝	3			3
	半田 強	1			1
	福沢 一郎		1		1
	藤田 嗣治	1			1
	藤間 清	3			3
	船窪 敏夫	2			2
	古沢 岩美	1			1
	降矢 組人	3			3
	古屋 浩蔵	2			2
	ホリウチ、ポール	2			2
	堀内 孝恵	2			2
	堀内 洋子	1			1
	増井 和弘	3			3

区分	作家名	寄贈点数	購入点数	寄託(管理換えを含む)	計
洋画	増田 誠	5			5
	松本 鋭次	2			2
	水出 陽平	7	1		8
	南 薫造		1		1
	宮下 圭介	1			1
	宮田 重雄	9			9
	宮田 晨哉	2			2
	森川 勇	5	2		7
	八代 美紀	1			1
	山川 輝夫	6	1		7
	山崎 隆夫	1	1		2
	山下 新太郎		1		1
	山田 耕三	8	1		9
	山本 日子士良	5	1		6
	吉野 純	7			7
	米倉 壽仁	59	1		60
	若菜 寿夫	4			4
	和田 三造			2	2
	わたなべ ゆう	4	1	2	7
	アルピニー、アンリ=ジョセフ		1		1
	ヴェラッサ、ジュール・ジャック			1	1
	ヴェロン、アレクサンドル・ルネ			1	1
	クチュール、トマ		1		1
	グリムー、アレクシス	1			1
	クールベ、ギュスターヴ		2		2
	ケデス、ルイ=ウジェーヌ	1			1
	コラン、ラファエル	1			1
	コロー、カミーユ		1		1
	シャガール、マルク	1			1
	ジャック、シャルル		2	3	5
	シャントルイユ、アントワヌ			1	1
	セラマノ、シャルル=フェルディナン	1			1
	ディアズ・ド・ラ・ペーニャ		3	2	5
	デュプレ、ジュール		3		3
	デュプレ、ジュリアン		1		1
	ドービニー、シャルル=フランソワ		1		1
	ドフォー、アレクサンドル		1		1
	トロワイヨン、コンスタン		2	1	3
	ブルトン、ジュール		1		1
	ヘリック、ウィリアム・ソルター	1			1
	ベルナール、エミール	1			1
	マハト、ヴェラ		3		3

区分	作家名	寄贈点数	購入点数	寄託(管理換えを含む)	計
洋画	ミシェル、ジョルジュ		1		1
	ミレー、ジャン=フランソワ	1	8	3	12
	ヨンキント、ヨハン・バルトールト		1		1
	ライスダール、ヤーコプ・ファン		1		1
	ルソー、テオドール	1	1		2
	ルドン、オディロン	1			1
	ルノワール、ピエール=オーギュスト			1	1
	レルミット、レオン=オーギュスタン		1		1
	ロラン、クロード		1		1
	計	421	100	37	558
版画	池田 満寿夫	2			2
	池田 良二	2			2
	石塚 翰	1			1
	一原 有徳	10			10
	伊東 深水	10	8		18
	伊藤 孝之	42			42
	遠藤 享	165	91		256
	遠藤 竜太	2		1	3
	大久保 婦久子	1			1
	岡本 太郎	9			9
	小川 兵衛	1			1
	郭 徳俊	1			1
	笠松 紫浪	254			254
	片岡 球子	1			1
	鏑木 清方	3			3
	川瀬 巴水	3	24		27
	河内 成幸	103	6		109
	河内 美榮子	12			12
	北川 民次	1			1
	木村 利三郎	20			20
	清原 啓子	25			25
	栗山 茂	14			14
	小磯 良平		7		7
	小枝 繁昭	3			3
	近藤 浩一路	1			1
	郷倉 和子	1			1
	齊藤 武士	7	9		16
	佐藤 正明	13	3		16
	佐野 ぬい	1			1
	篠田 桃紅			1	1
	荘司 福	1			1
	竹田 鎮三郎	1			1

区分	作家名	寄贈点数	購入点数	寄託(管理換えを含む)	計
版画	多田 美波	1			1
	月岡(大蘇) 芳年	6			6
	月館 れい	1			1
	長岡 国人		5		5
	中澤 年章	27			27
	中西 夏之	5			5
	名取 春仙	10	72		82
	野田 正明	7			7
	梅堂 国政	1			1
	萩原 英雄	11	79		90
	橋口 五葉	12			12
	蜂須賀 国明	1			1
	浜田 知明	2	4		6
	秀島 由己男	6			6
	深沢 幸雄	215	85		300
	福沢 一郎	6			6
	福田 美蘭	1			1
	藤田 修	6			6
	古沢 岩美	1			1
	堀 文子	1			1
	堀井 英男	21			21
	前田 守一	2			2
	巻 白			1	1
	増田 誠	47			47
	松田 青風	1			1
	丸木 俊	1			1
	三岸 節子	1			1
	水野 年方	4			4
	棟方 志功			1	1
	森 義利	8			8
	山本 正文	34	10		44
	楊洲 周延	1			1
	渡辺 庄三郎	1			1
	アルナイス、ドレテオ	3			3
	オリベラ、フェルナンド	1			1
	オロスコ、ホセ・クレメンテ	1			1
	クラーベ、アントニ	3	3		6
	グレコ、エミリオ	4	17		21
	ゴヤ、フランシスコ・デ		33		33
	コルヴィッツ、ケーテ		12		12
	コルメンザーナ、エンリク		3		3
	コロー、カミーユ	19			19

区分	作家名	寄贈点数	購入点数	寄託(管理換えを含む)	計
版画	サリーナス、バルジュ	2			2
	サント、クロード	1			1
	シーレ、エゴン		2		2
	シャガール、マルク		2		2
	シャム、A. C. H.	30			30
	ジョーンズ、ジャスパー	1	1		2
	タピエス、アントニ		2		2
	チリーダ、エドゥワルド		9		9
	デューラー、アルブレヒト		1		1
	デュシャン、マルセル		1		1
	ドニ、モーリス	1			1
	ドービニー、シャルル=フランソワ	16	16		32
	ドーミエ、オノレ	23	11		34
	ドラクロワ、ウジェーヌ	19	13		32
	トレド、フランシスコ	1			1
	パスターナク、モーリス	2			2
	パチェコ、フェルナンド・カストロ	1			1
	バルラッハ、エルンスト		2		2
	ピサロ、カミーユ	2			2
	ピジュアン、エルナンデス	12			12
	フリードランデル、ヨニー		12		12
	ブレイク、ウィリアム	12	29		41
	ブレダン、ロドルフ		1		1
	ベーハム、ハンス・ゼバルト	1			1
	ホガース、ウィリアム	10			10
	ホックニー、デイヴィット		1		1
	ミレー、ジャン=フランソワ	35	1		36
	ミロ、ジョアン		1		1
	ムーア、ヘンリ	6			6
	メリヨン、シャルル	3			3
	ヨンキント、ヨハン・バルトールト		7		7
	ラソ、フルヘンシオ	2			2
	ルオー、ジョルジュ		14		14
	ルソー、テオドール	2			2
	『腐食銅版画家協会：近代の腐食銅版画』全5巻		329		329
	詩画集『ソネットとエッチング』全1巻		42		42
	「オリジナル・ワインラベル」のための原画	17			17
	詩画集『オアハカの3つの伝説』	1			1
	『闘争の450年ーメキシコ民衆へのオマージュ』	1			1
	作者不詳	1			1
	計	1384	968	4	2356

区分	作家名	寄贈点数	購入点数	寄託(管理換えを含む)	計
素描・水彩 パステル	秋山 泉	1			1
	浅岡 慶子	2			2
	浅川 伯教	1			1
	池田 龍雄		30		30
	石原 簡	2			2
	伊藤 孝之	1			1
	伊藤 禎朗	2			2
	大場 芳男	2			2
	尾澤 真蔵	2			2
	小山 周次	12			12
	鎗木 昌弥	7			7
	川崎 小虎	24			24
	橘田 正光	1			1
	小磯 良平		1		1
	小林 正治	18			18
	三枝 茂雄	1			1
	佐藤 正明			6	6
	澤田 哲郎		20		20
	白瀧 幾之助		38		38
	進藤 春木	5	2		7
	神中 糸子	12			12
	須田 国太郎		26		26
	宋 滌	1			1
	高山 良策	11			11
	武田 好文	2	1		3
	田邊 喜規			2	2
	土屋 義郎	3			3
	中山 正樹	1			1
	野田 修一郎	4			4
	のむら 清六	7			7
	萩原 英雄	30			30
	早川 重章	6			6
	藤田 嗣治		3		3
	不破 章	15			15
	増田 実	2			2
	三井 桂	2			2
	南 薫造		1		1
	安井 曾太郎		30		30
	山田 耕三	100			100
	山田 申吾	2	13		15
	コクトー、ジャン		1		1
	ターナー、ウィリアム		1		1

区分	作家名	寄贈点数	購入点数	寄託(管理換えを含む)	計
素描・水彩 パステル	ドニ、モーリス	1			1
	ピカソ、パブロ			4	4
	ブールデル、エミール=アントワヌ	2			2
	ミレー、ジャン=フランソワ	6	15	1	22
	ロワゾー、エミール	1			1
	計	289	182	13	484
彫刻	吾妻 兼次郎		1		1
	雨宮 治郎		1		1
	井上 公雄	1			1
	圓鍔 勝三		1		1
	岡本 太郎		1		1
	金田 豊	1			1
	小池 藤雄	1			1
	古賀 忠雄		1		1
	小林 泰彦	1			1
	佐藤 忠良	1	1		2
	佐藤 正明		1	1	2
	樋川 治之	3			3
	晝間 弘		1		1
	深沢 雄二			1	1
	藤川 勇造		3		3
	舟越 保武			2	2
	古川 順三		1		1
	柳原 義達	1			1
	カレラ、マヌエル	1			1
	グレコ、エミリオ		1		1
	クロチェッティ、ヴェナンツォ			1	1
	ザッキン、オシップ			2	2
	ブールデル、エミール=アントワヌ		1	1	2
	ボテロ、フェルナンド		1		1
	マイヨール、アリスティード			1	1
	マリーニ、マリノ		1		1
	ムーア、ヘンリ			1	1
	ロダン、オーギュスト		1		1
	計	10	17	10	37
工芸	浅川 伯教	6			6
	秋山 逸生	1			1
	雨宮 静軒	4	1		5
	雨宮 弥太郎	1		1	2
	市島 桜魚			1	1
	伊藤 北斗			1	1
	伊藤 東彦			1	1

区分	作家名	寄贈点数	購入点数	寄託(管理換えを含む)	計
工芸	井伏 圭介	5			5
	今泉 善雄			1	1
	内野 薫			1	1
	白井 和成			1	1
	江里 佐代子			1	1
	大井 正則			1	1
	岡村 康子			1	1
	萩野 令子			1	1
	小野寺 玄			1	1
	角 偉三郎			1	1
	角 好司			1	1
	加藤 伸也			1	1
	勝又 智志			1	1
	勝間田 千恵子			1	1
	川北 良造	1			1
	川瀬 忍			1	1
	木村 芳郎			1	1
	久保田 厚子			1	1
	黒澤 千春			1	1
	鯉江 良二			1	1
	小泉 竹雄	5			5
	河野 三秋			1	1
	河野 すゝむ	1			1
	河野 道一	1			1
	小林 英夫			2	2
	古伏脇 司			1	1
	坂 高麗左衛門			1	1
	佐藤 和彦			1	1
	末岡 信彦			1	1
	鈴木 三成			1	1
	高野 誠	2			2
	高橋 誠			1	1
	滝口 和男			1	1
	宅間 正一	9			9
	宅間 裕	3			3
	武田 成功	5			5
	田中 信行			1	1
	茅野 恒雄	4			4
	辻 賢三			1	1
	徳田 八十吉			1	1
	徳丸 鏡子			2	2
	富岡 鉄斎			4	4

区分	作家名	寄贈点数	購入点数	寄託(管理換えを含む)	計
工芸	内藤 香石	2			2
	中島 晴美			1	1
	長野 烈			1	1
	夏目 有彦			1	1
	西端 正			1	1
	根本 曠子			1	1
	野口 小蘋			2	2
	橋本 真之			1	1
	蓮田 修吾郎	1			1
	畠山 耕治			1	1
	花川 七郎	1			1
	林 敏夫			1	1
	妣田 圭子	2			2
	福島 武山			1	1
	藤田 潤			1	1
	藤田 敏彰			1	1
	藤塚 松星			1	1
	古屋 真知子	3			3
	深見 陶冶			1	1
	堀口 光彦	1			1
	堀田 一昌	3			3
	前田 昭博			1	1
	前田 正博			1	1
	益田 芳徳			1	1
	増村 紀一郎			1	1
	松井 康陽			1	1
	松田 富彌	11			11
	松田 百合子	2		1	3
	三上 亮			1	1
	水上 隆志			1	1
	三田村 有純			1	1
	三好 かがり			1	1
	三輪 和彦	1			1
	三輪 休雪(11代)	1			1
	室瀬 和美			1	1
	山田 和			1	1
	山本 陶秀	1			1
	山本 雄一			1	1
	山脇 洋二	1			1
	吉田 美統	1		1	2
	計	79	1	70	150

区分	作家名	寄贈点数	購入点数	寄託(管理換えを含む)	計
複合造形	秋山 令一	3			3
	浅岡 慶子		2		2
	浅川 洋	1			1
	石田 泰道	2			2
	伊東 茂広	2			2
	井上 麦	1			1
	河内 成幸	2			2
	橘田 尚之	2			2
	窪 譲二	2			2
	栗田 宏一	1			1
	小林 正治	18			18
	佐藤 時啓	1			1
	佐藤 聖美	1			1
	白井 嘉尚	2			2
	須田 悦弘	8		2	10
	たかくら かずき	4			4
	富永 泰雄	1			1
	中山 正樹	1			1
	早川 重章	1			1
	深沢 修	1			1
	深沢 軍治	2			2
	福田 美蘭	1			1
	福村 龍哉	2			2
	三木 俊治	1			1
	柳 幸典	5			5
	山崎 宏	1			1
	山本 正文	1			1
	クリスト	36			36
	ボイス、ヨーゼフ		1		1
	ヤンセン、テオ	1			1
	グループ 汎	13			13
	計	117	3	2	122
古美術	高 芙蓉		3		3
	計	0	3	0	3
資料	河内 成幸	7			7
	近藤 浩一路			7	7
	神中 糸子	4			4
	名取 春仙	1			1
	野口 小蕙	1			1
	野口 小蘋	1		4	5
	のむら 清六	1			1

区分	作家名	寄贈点数	購入点数	寄託(管理換えを含む)	計
資料	埴原 久和代	4			4
	深沢 幸雄	7			7
	増田 誠	2			2
	松下 一身	1			1
	山田 申吾	1			1
	米倉 壽仁	1			1
	ヴェルナー、カール	1			1
	クリスト	1			1
	クーロン文化財			1	1
	ミレー、ジャン=フランソワ	1	1		2
	伊勢型紙	6			6
	触覚鑑賞教材	1			1
	計	41	1	12	54
書道	富岡 鉄斎			4	4
	野口 小蘋			4	4
	計	0	0	8	8
写真	カルマン、ベラ			1	1
	ナダール		1		1
	ティオリエ、フェリックス		2		2
	計	0	3	1	4
計		2840	1343	235	4418

萩原英雄作品	版画（含むエッチング、リトグラフ）	1086			4050 ※1
	版画以外の作品	2964			
萩原コレクション		892			892 ※1
深沢幸雄作品	版画	689			1416 ※2
	版画以外の作品	727			
深沢コレクション		393			393 ※2
野口コレクション		437			437 ※3
計		7188			7188

総計		10,028	1343	235	11,606
----	--	--------	------	-----	--------

※1. 平成11年、12年、16年、17年、26年度に寄贈された。

※2. 平成19年度に一括寄贈された。

※3. 平成30年度に一括寄贈された。

新 収 蔵 図 書 (受入順)

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

<寄贈図書>

タ イ ト ル	発 行 元 名 称
公益財団法人 石橋財団 アニュアル・レポート2022	公益財団法人 石橋財団
東京藝術大学大学美術館 年報 令和3年度	東京藝術大学大学美術館
絵画のありようを求めて、1975-2022	GAF出版局
砂澤ビッキ作品集 終わりのない迷宮	北海道新聞社
生誕200年 三輪田米山展 一天真自在の書一	三輪田米山顕彰会
弘法大師空海誕生一二五〇年記念 あいテレビ開局三〇周年記念 国宝 高野山金剛峯寺展 空海ゆかりの名宝と運慶・快慶	「国宝 高野山金剛峯寺展」 実行委員会
北海道立美術館・芸術館紀要 第32号 2023	北海道立近代美術館、北海道立 旭川美術館、北海道立函館美術 館、北海道立帯広美術館、北海 道立釧路芸術館、北海道立三岸 好太郎美術館
滋賀県立琵琶湖文化館 研究紀要 第三十九号	滋賀県立琵琶湖文化館
大阪市立美術館紀要 第二十三号	大阪市立美術館
「柚木沙弥郎」と「女子美工芸の教育」に関する調査研究報告書	女子美術大学
2022 高松宮殿下記念世界文化賞	財団法人日本美術協会
山梨県の図書館 2022 ー山梨県図書館白書ー	山梨県立図書館、 山梨県公共図書館協会
生誕100年 特撮美術監督 井上泰幸展	キネマ旬報社
稗田一穂展	和歌山県立近代美術館、 田辺市立美術館
横尾龍彦 瞑想の彼方	北九州市立美術館、 神奈川県立近代美術館、 埼玉県立近代美術館
ウェンデルリン・ファン・オルデンボルフ 柔らかな舞台	torch press
ホログラフィ・アートの先駆者 石井勢津子	北九州市立美術館
美術館はおもちゃ箱・道具箱	目黒区美術館
サロン! 雅と俗 一京の大家と知られざる大坂画壇	京都国立近代美術館
クリスチャン・マークレー トランスレーティング[翻訳する]	左右社
広告 Vol.417	博報堂
吉阪隆正 パノラミル	Echelle-1
ジャン・ブルーヴェ 椅子から建築まで	millegragh Galerie Patrick Seguin
2021(令和3)年度版 愛知県美術館年報 2021.4-2022.3	愛知県美術館
北九州市立美術館年報 No.47	北九州市立美術館
令和3年度 長崎県美術館年報 No.16	長崎県美術館
2021(令和3)年度 和歌山県立近代美術館年報	和歌山県立近代美術館
2020(令和2)年度 和歌山県立近代美術館年報	和歌山県立近代美術館
甲斐荘楠音の全貌 絵画、演劇、映画を越境する個性	日本経済新聞社
リュイユー フィンランドのテキスタイル: トウオマス・ソパネン・コレクション	京都国立近代美術館
生誕100年 清水九兵衛／六兵衛	京都国立近代美術館
2022年度 愛知県美術館紀要 第29号 木村定三コレクション編	愛知芸術文化センター 愛知県美術館

タ イ ト ル	発 行 元 名 称
2022年度 愛知県美術館紀要 第29号	愛知芸術文化センター 愛知県美術館
長崎県美術館研究紀要 No.9	長崎県美術館
光みつる庭―途切れないささやき	東京都現代美術館
和泉市久保惣記念美術館 40周年記念誌 1982-2022	和泉市久保惣記念美術館
TkKt TAKEUCHI Kota	東京都現代美術館 トーキョーアーツアンドスペース事業課
SHIGA Rieko	東京都現代美術館 トーキョーアーツアンドスペース事業課
コレクションを巻き戻す 2nd	東京都現代美術館
L'oro invisibile Leonardo da Vinci 12+1 opere preziose	Veneranda Biblioteca Ambrosiana
山水画と風景画のあいだ―真景図の近代 図録	下関市立美術館
ノートからアートに ―野村昭嘉・26歳の脳内地図―	佐賀県立美術館
市制施行一〇〇周年・開館二〇周年記念特別展<小江戸文化シリーズ>5 小茂田青樹展	川越市立美術館
山下麻衣+小林直人 もし太陽に名前がなかったら 解説冊子	千葉県立美術館
山下麻衣+小林直人 もし太陽に名前がなかったら 記録冊子	千葉県立美術館
横浜美術館 収蔵品目録2021(令和3年度)	横浜美術館
北海道立北方民族博物館資料目録18 岡田文庫目録	北海道立北方民族博物館
富士山学 第3号	雄山閣
川越市立美術館 令和3年度 年報・研究紀要	川越市立美術館
開館40周年記念展 扉は開いているか―美術館とコレクション 1982-2022<Book A>	埼玉県立近代美術館
開館40周年記念展 扉は開いているか―美術館とコレクション 1982-2022<Book B>	埼玉県立近代美術館
シアトル→パリ 田中保とのその時代	埼玉県立近代美術館
宮崎県立美術館研究紀要 Vol.10 2022年	宮崎県立美術館
福岡市美術館研究紀要 第11号	福岡市美術館
東京都写真美術館 紀要 No.22	東京都写真美術館
超域文化科学紀要 第27号-2022	東京大学大学院総合文化研究科 超域文化科学
横浜美術館研究紀要 第24号	横浜美術館
島根県立石見美術館研究紀要 第16号	島根県立石見美術館
東京国立近代美術館 研究紀要 第27号	東京国立近代美術館
武蔵野美術大学 研究紀要 2022-no.53	武蔵野美術大学
企画展 平川紀道・野村康生 既知の宇宙 未知なる日常	島根県立石見美術館
令和4年度文化芸術振興費補助金 Innovate MUSEUM事業 学校のミュージアムの共創―平和教育と鑑賞プログラム開発	学校と共創する美術で学ぶ平和 教育実行委員会
令和3年度 全国美術館会議 第36回学芸員研修会 報告書 なぜいま、地域 美術を研究するのか―「地方」への視点と地域美術研究の実践例	全国美術館会議
蜷川実花「瞬く光の庭」記録集	東京都庭園美術館
名古屋市博物館研究紀要 第46巻 2023	名古屋市博物館
京都精華大学紀要 第56号 2022	京都精華大学
京都府地域文化創造促進事業 2022年度実施報告	京都：Re-Search実行委員会 (京都府、他)

タ イ ト ル	発 行 元 名 称
保存科学 第62号	独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所
内藤定壽 絵画作品と技法論 ―筑波大学退職記念―	内藤定壽
永田生慈 北斎コレクション総目録〈1〉―「春朗期」「宗理期」編	島根県立美術館
郡山市立美術館年報 令和3年度	郡山市立美術館
藝叢 筑波大学芸術学研究誌 第38号(2022)	筑波大学芸術系美術史研究室
川崎市市民ミュージアム 紀要 第35集	川崎市市民ミュージアム
多摩美術大学研究紀要 第37号 2022年	多摩美術大学
MUSEUM STUDY 34 明治大学学芸員養成課程紀要	明治大学学芸員養成課程
MUSEOLOGIST 38 明治大学学芸員養成課程年報	明治大学学芸員養成課程
京都府埋蔵文化財情報 第144号	京都府埋蔵文化財調査研究センター
福井県立美術館 年報 令和3年度	福井県立美術館
川村学園女子大学研究紀要 第三十四巻	川村学園女子大学
第73回 モダンアート展 作品集	モダンアート協会
たましん美術館年報 2020-2021年度	公益財団法人たましん地域文化財団
中長小西 2023	中長小西
コレクションの異境 小貫政之助展 ～"永遠の不安"を描く～	たましん美術館、公益財団法人 たましん地域文化財団
博物館学年報 第54号	同志社大学博物館学芸員課程
美史研ジャーナル 第18号	武蔵野美術大学美術史研究室
令和4年度 文化庁 大学における文化芸術推進事業 ミュージアムにおける 異分野との「対話」と「寄り添い」を通じた人材育成事業 プラス・ミュージ アム・プログラム 令和4年度事業報告書『ミュージアムを足してみる―北 海道大学プラス・ミュージアム・プログラム Report1』	北海道大学大学院文学研究院
地域のライブがおもしろい	公益社団法人日本芸能実演家団 体協議会「JAPAN LIVE YELL Project」事務局
令和3年度 兵庫県立美術館 年報	兵庫県立美術館
兵庫県立美術館研究紀要 第17号	兵庫県立美術館
開館20周年記念 ロマンティック・プログレス	岐阜県現代陶芸美術館
特別展「恐竜図鑑―失われた世界の想像／創造」	産経新聞社
ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵―武者たちの物語	日本経済新聞社
実践女子大学香雪記念資料館館報 第20号 (令和4年度)	実践女子大学香雪記念資料館
岐阜県現代陶芸美術館 研究紀要 第7号	岐阜県現代陶芸美術館
兵庫県立美術館開館20周年 関西の80年代	兵庫県立美術館
第2回 全国美術館会議社員総会報告書	全国美術館会議
甲府の動物園物語	ミツイクリエイティブ
山本作兵衛コレクション ユネスコ「世界の記憶」登録10周年記念 山本作兵衛展	東京富士美術館
東京富士美術館研究誌 ミューズ 第7号	東京富士美術館
美術史学 第44号	東北大学大学院文学研究科美術 史学講座
出光美術館研究紀要 第二十八号(二〇二二年度)	出光美術館
愛媛県美術館 令和3年度年報・研究紀要第21号	愛媛県美術館
鳥取県立博物館研究報告 第60号	鳥取県立博物館
美術京都／第54号	財団法人 中信美術奨励基金
しゃべるヒト ―ことばの不思議を科学する―	文理閣

タ イ ト ル	発 行 元 名 称
鳥取県立博物館記念誌 鳥取県立博物館 50年のあゆみ	鳥取県立博物館
山梨県立博物館企画展 印章 刻まれてきた歴史と文化	山梨県立博物館
富士吉田市歴史民俗博物館資料叢書 第5集 菊田日記④ 第十九番～第二十四番	富士吉田市教育委員会
美術研究 第四百三十八号	独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所
美術研究 第四百三十九号	独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所
復帰50年コレクション展 FUKKI QUALIA -「復帰」と沖縄美術	沖縄県立博物館・美術館
武蔵野美術大学 美術館・図書館所蔵 大辻清司アーカイブフィルムコレクション7 太陽の知らなかった時	武蔵野美術大学 美術館・図書館
黒川古文化研究所・研究図録シリーズ9 近世刀装具の美術史	黒川古文化研究所
第109回光風会展作品集	光風会
東京工芸大学写大ギャラリー年報 Annual Report 2022	東京工芸大学芸術学部
沖縄県立博物館・美術館 美術館紀要 第11号	沖縄県立博物館・美術館
島根県立美術館研究紀要 第4号	島根県立美術館
飯田市美術博物館 研究紀要 第33号 2023年	飯田市美術博物館
芸術資源センター紀要 COMPOST vol.04	京都市立芸術大学芸術資源研究 センター
山梨県立博物館企画展 山梨日日新聞創刊・山日YBSグループ創業150周年 記念 山梨と新聞 智識ヲ廣ムルハ新聞ヲ求ムルニ在リ	山梨県立博物館
令和3年度 山梨県立博物館年報	山梨県立博物館
女子美術大学研究紀要 第53号	女子美術大学、 女子美術大学短期大学部
山梨県立博物館研究紀要 第17集 2023	山梨県立博物館
山梨県立博物館 調査・研究報告16 富士川水運に関する基礎的研究	山梨県立博物館
山梨県立博物館夏期企画展 山梨日日新聞創刊・山日YBSグループ創業 150周年記念 たんけん！はっけん！南極展 壮大な自然と人々の物語	山梨県立博物館
いにしえが、好きっ！ー近世好古図録の文化誌ー	大学共同利用機関法人人間文化 研究機構 国立歴史民俗博物館
ポーラ美術館開館20周年記念展 モネからリヒターへ ー新収蔵作品を中心に	公益財団法人ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館
宇都宮美術館年報 No.25 令和3年度(2021.4～2022.3)	宇都宮美術館、公益財団法人うつの みや文化創造財団
三菱一号館美術館 研究紀要 第5号	三菱一号館美術館
ヴァロトton 黒と白	筑摩書房
ピカソ 青の時代を超えて	青幻舎
開館25周年記念出版 宇都宮美術館所蔵作品選『doors: the collection 1997-2022』	宇都宮美術館
正倉院紀要 第45号	宮内庁正倉院事務所
東京芸術大学西洋美術史研究室紀要	東京芸術大学 美術学部芸術学科 西洋美術史研究室
宇佐美圭司 よみがえる画家 記録集	東京大学駒場博物館
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館年報 2019-2021	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、 ミモカ美術振興財団
第1回 MIMOCA EYE /ミモカアイ	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、 ミモカ美術振興財団
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 アート・コミュニケーショングループ 「こどもMIMOCA」「プラスMIMOCA」2022記録集	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、 ミモカ美術振興財団

タ イ ト ル	発 行 元 名 称
第52回 日本彫刻会展覧会 図録	日本彫刻会
豊橋市美術博物館研究紀要 第二十二号	豊橋市美術博物館
第100回記念 春陽展画集	春陽会
TOKYO MIDTOWN AWARD 2022	東京ミッドタウンマネジメント
近代日本の視覚開化 明治 呼応し合う西洋と日本のイメージ	風媒社
慶應義塾大学アート・センター／Booklet 30 没後40年 西脇順三郎 ー無限の過去、無限の未来	慶應義塾大学 アート・センター
名古屋造形大学 紀要 第29号ー2023	学校法人同朋学園 名古屋造形大学
東京藝術大学美術学部論叢 第19号	東京藝術大学美術学部
合田佐和子 帰る途もつもりもない	青幻舎
美をつなぐー田淵俊夫と日本画の世界 メナード美術館所蔵作品による	富山県水墨美術館
南画×近代 大正～昭和初期を中心として	富山県水墨美術館
令和3年度 富山県水墨美術館 年報	富山県水墨美術館
横須賀美術館年報 令和3年度版[2021.4.1-2022.3.31]	横須賀美術館
見えない人、見えにくい人、見える人、すべての人の ー感じる彫刻展ー	一般社団法人メノキ
横森秀彦画集	横森秀彦
フランソワ・ポンポンを知る ー群馬県立館林美術館 作品・資料コレクションよりー	群馬県立館林美術館
MIHO MUSEUM 開館15周年記念特別展 MIHO GRANDAMA II 母なる方へ	MIHO MUSEUM
静岡県立美術館紀要 No.38	静岡県立美術館
京都市美術館 年報 平成25年度	京都市美術館
京都市美術館 年報 平成26年度	京都市美術館
京都市美術館 年報 平成27年度	京都市美術館
京都市美術館 年報 平成30・31年度	京都市美術館
京都市美術館(京都市京セラ美術館) 年報 令和2年度	京都市美術館(京都市京セラ美術館)
京都市美術館(京都市京セラ美術館) 年報 令和3年度	京都市美術館(京都市京セラ美術館)
金沢美術工芸大学紀要 第67号	金沢美術工芸大学
東京造形大学研究報24	東京造形大学
2023 第97回 国画会版画部画集 第40巻	国画会版画部
第97回 国画会絵画部図録	国画会絵画部
2023 第97回国展工芸部作品集	国画会工芸部
第97回 国展彫刻部図録	国画会彫刻部
第97回 国展写真部作品図録	国画会写真部
佐賀県立博物館・美術館 調査研究書 第47集	佐賀県立博物館・佐賀県立美術館
笠間焼250年記念 欲しいがみつかるうつわ展Ⅱ ー笠間と益子ー	茨城県陶芸美術館
笠間陶芸大賞展2021図録	笠間陶芸大賞展実行委員会、 茨城県陶芸美術館
北澤美術館名品展 エミール・ガレとドーム	茨城県陶芸美術館
第118回 太平洋展作品集	太平洋美術会
フィロカリア 第40号	大阪大学大学院人文学研究科 芸術学・芸術史講座
第72回 令和5年(2023) 新興展	新興美術院
CAMKコレクション展 Vol.7 未来のための記憶庫	熊本市現代美術館
変な絵の描き方 内藤圭介 画論集	内藤圭介
坂本善三美術館コレクション・リーディングvol.6 Over50で楽しむ善三展の記録	坂本善三美術館

タ イ ト ル	発 行 元 名 称
三井美術文化史論集 第16号	公益財団法人三井文庫 三井記念美術館
八戸マジックランタン 佐藤時啓	八戸市美術館
「國華清話会」会報 第四十一号 令和五年春刊	國華清話会
甲斐 第160号	山梨郷土研究会
壺屋焼物博物館紀要 第24号	那覇市立壺屋焼物博物館
鶴見大学博物館学芸員課程年報 第4号	鶴見大学博物館学芸員課程
令和4年度 那覇市立壺屋焼物博物館年報	那覇市立壺屋焼物博物館
東京国立近代美術館70周年記念展 重要文化財の秘密	毎日新聞社、日本経済新聞社、 東京国立近代美術館
大竹伸郎展	日本テレビ放送網、 東京国立近代美術館
ちくごアートリレーション2022 ちくごアート企画室	ちくごアートファーム計画実行 委員会
地域文化施設におけるアウトリーチ・ワークショップの成果や効果に関する 調査研究報告書	財団法人地域創造
お身代わり仏像製作記録集2022	和歌山県立博物館
大月短大論集 第54号	大月短期大学
黒川古文化研究所紀要 古文化研究	黒川古文化研究所
東京ステーションギャラリー 2022-23 活動報告／研究紀要第9号	東京ステーションギャラリー
足立区立郷土博物館紀要 第43号 ー令和3年度 調査研究報告・年報ー	足立区
新潟市美術館・新潟市新津美術館研究紀要 第9号(令和4年度)	新潟市美術館
伝統工芸・伝統産業などに関わるミュージアムでの障害者等のアクセシビリ ティと教育普及プログラムに関する調査報告書	一般財団法人たんぽぽの家
式年造替記念特別展 春日大社 若宮国宝展 ー祈りの王朝文化ー	奈良国立博物館
わくわくびじゅつギャラリー はっけん！ほとけさまのかたち	奈良国立博物館
第74回 正倉院展	奈良国立博物館
The 74th Annual Exhibition of Shoso-in Treasures	奈良国立博物館
貞享本當麻曼荼羅 修理完成記念 特別展 中将姫と當麻曼荼羅 ー祈りが紡ぐ物語ー	奈良国立博物館、読売新聞社、 NHK奈良放送局
なら仏像館 名品図録2022(2021改訂版)	奈良国立博物館
奈良国立博物館研究紀要 鹿園雑集 第二十五号	奈良国立博物館
MUSEOLOGY No.42	実践女子大学博物館学課程
第49回 近代日本美術協会展	近代日本美術協会
東京都写真美術館 年報 2022-23	東京都写真美術館
星野画廊50年史 明治・大正・昭和 発掘された画家と作品	青幻舎プロモーション
トーキョーアーツアンドスペースアニュアル 2022	東京都現代美術館 トーキョー アーツアンドスペース事業課
令和三年度 奈良国立博物館 文化財保存修理所 修理報告書 第五号	奈良国立博物館
千葉市美術館研究紀要 採蓮 第二四号	財団法人千葉市教育振興財団 千葉市美術館
ユニバーサル・ミュージアム ーさわる！”触”の大博覧会	合同会社 小さ子社
藤原和通 I 1970～1974[音響標定]	藤村克裕
ねこのほそ道	torch press
ゲルハルト・リヒター	青幻舎
豊田市美術館 年報 No.26(令和3年度)	豊田市美術館

タ イ ト ル	発 行 元 名 称
豊田市美術館紀要 No.15	豊田市美術館
宮内庁京都事務所年報 4	宮内庁京都事務所
哲学会誌 第四十七号	学習院大学哲学会
2021-2022年度 鹿児島県霧島アートの森 アートラボ 美術作家 平川渚「手編みの物語をあつめる」プロジェクト	鹿児島県霧島アートの森
2022年度(令和4年度) 霧島アートの森年報	鹿児島県霧島アートの森
New Eyes 視線のはなし	財団法人札幌市芸術文化財団
昨日の名残 明日の気配	中西出版
京都市京セラ美術館(京都市美術館) 研究紀要 第0号 資料報告 京都市美術館開館前史	京都市京セラ美術館 (京都市美術館)
京都市京セラ美術館(京都市美術館) 研究紀要 第1号	京都市京セラ美術館 (京都市美術館)
GO FOR KOGEI 2021-2022	趣都金澤
奈良県立美術館年報 令和3年度	奈良県立美術館
2021年度 京都工芸繊維大学美術工芸資料館年報30	京都工芸繊維大学 美術工芸資料館
奈良県立美術館紀要 第37号	奈良県立美術館
SOMPO美術館 研究紀要 第1号	公益財団法人 SOMPO美術財団/ SOMPO美術館
第82回 日本画院展	日本画院
おぶせミュージアム・中島千波館収蔵 中島千波作品集	求龍堂
YCAME BOOK 2023-2024	山口情報芸術センター [YCAME]
第二回全国美術館会議定時社員総会 特別講演会 小さいまちの小さな美術館～志は高く～	葦崎大村美術館
万物資生 中村裕太は、資生堂と を調合する	資生堂
ONE HUNDRED AND EIGHT BELLS	HOUGHTON MIFFLIN COMPANY BOSTON
THE COW IN THE KITCHEN	LOTHROP, LEE & SHEPARD・ NEW YORK
びじゅつって、すげえ！ 2022-2023 Vol.1 美術で遊ぶ、美術館。	公益財団法人 大分県芸術文化スポーツ振興財団
びじゅつって、すげえ！ 2022-2023 Vol.2 いろんなところに、美術がいっぱい。	公益財団法人 大分県芸術文化スポーツ振興財団
第65回 日本表現派展 2022	日本表現派
現代美術展 小田原ビエンナーレ2023「指標」	小田原ビエンナーレ実行委員会
美術史論叢 39	東京大学大学院人文社会系研究科 文学部美術史研究室
山本高之とアーツ前橋のビヨンド20XX 未来を考えるための教室	アーツ前橋
三の丸尚蔵館年報・紀要 第29号 令和4年度	宮内庁
星降る中部高地の縄文世界 黒曜石ネットワークのよる物流と人流	山梨県立考古学博物館
公益財団法人 札幌市芸術文化財団 2022 事業年報	財団法人札幌市芸術文化財団
画家5,500名の略歴 ～物故洋画家・彫刻家中心に作家の200文字略歴～	あーと・わの会
「あーと・わの会」20年のあゆみ コレクター・わたくし美術館・美術普及活動・趣味の会の運営のために	あーと・わの会
五島美術館 研究紀要 第11号 2022年度	財団法人 五島美術館
2022年度版 たばこと塩の博物館 年報(38号)	たばこと塩の博物館
甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 研究紀要15 金山史研究	甲斐黄金村・湯之奥金山博物館
第21回 NAU21世紀美術連立展	NAU21世紀美術連立協会

タ イ ト ル	発 行 元 名 称
わたしが描く ―コレクションでたどる女性画家たち	早稲田大学 曾津八一記念博物館
真田宝物館収蔵品目録 真田家旧蔵資料目録 ―調度2―	長野市教育委員会文化財課、 松代文化施設等管理事務所
松代 36号	長野市教育委員会文化財課、 松代文化施設等管理事務所
ジャンルレス工芸展	東京国立近代美術館
ポケモン×工芸 美とわざの大発見	東京美術
川島理一郎展	栃木県立美術館、足利市立美術館
碌山美術館館報 第43号	財団法人 碌山美術館
鹿島美術研究(年報第39号別冊)	鹿島美術財団
三井高利と越後屋―三井家創業期の事業と文化	公益財団法人三井文庫 三井記念美術館
皇室の美と広島 ―宮内庁三の丸尚蔵館の名品から―	皇室の美と広島実行委員会
美術作家と批評家による第5回自主企画展 引込線 2015	引込線実行委員会
100人先生 横浜の東アジア	BankART1929
山日YBSグループ創業150年記念事業 山梨を拓く 新聞人が挑んだ150年<下>	山梨文化会館
出光美術館 館報196	出光美術館
妻木良三 侵食する風景	田辺市立美術館
令和4年度 静岡県立美術館年報	静岡県立美術館
ダムタイプ 2022	カルチュア・コンビニエンス・クラブ
町立久万美術館2023年度自主企画展 生命(いのち)きらめく―川島猛の宇宙	町立久万美術館
学術シンポジウム「岡本太郎におけるミルチャ・エリアーデの影響」報告書	川崎市岡本太郎美術館
藝術学研究 第三十三号	明治学院大学藝術学会
現代陶芸論	阿部出版
多摩美術研究 第12号 2023年	多摩美術大学
絵の旅人 安野光雅	ブックグローブ社
路上にて	i Gallery DC
TRAVELING CANVAS	
Landscape Stories	中込靖成
岐阜県現代陶芸美術館 収蔵作品選 日本の陶芸	岐阜県現代陶芸美術館
セミナーと研究報告「庭園／植物／公園」報告書	山梨大学 平野研究室
どっちがどっち？いわいとしお×岩井俊雄 ―100かいだてのいえとメディアアートの世界	茨城県近代美術館
速水御舟展	茨城県近代美術館
日本の美・鑑賞入門 しりとり日本美術	出光美術館
調査研究報告書 第5号	公益財団法人吉野石膏美術振興 財団
ANNUAL REPORT OF IBARAKI NATURE MUSEUM ―年報第29号 令和4年度―	ミュージアムパーク茨城県自然 博物館
IAMAS 2023 第21期生修了研究発表会	情報科学芸術大学院
山梨美術協会創立85周年記念画集	山梨美術協会
第65回青樹会展記念画集	青樹会
令和五年 真田宝物館企画展図録「昌幸の選択」	長野市教育委員会文化財課、 松代文化施設等管理事務所
線をつなぐ	POLOM
水木しげる 魂の漫画展	NHKプロモーション

タ イ ト ル	発 行 元 名 称
YAMAMOTO MASAYA WORKS 1973-2023 山本雅也 50年の軌跡	山本雅也
企画展「平山郁夫が描いた「奥の細道」―松尾芭蕉がみた石巻―	石巻市博物館
石巻市博物館活動報告 第1集 開館記念企画展「文化財レスキュー 救出された美術作品の現在」	石巻市博物館
石巻市博物館 東日本大震災から開館2年目までの歩み	石巻市博物館
大原美術館+作品151と建築	大原美術館
傳抱石・傳益瑤 父娘展 文化のかけ橋― 墨絵の美の饗演	長野県立美術館
尾道市立大学芸術文化学部 紀要 第22号	尾道市立大学
兵馬俑と古代中国 ～秦漢文明の遺産～	東京新聞、フジテレビジョン
第41回 明日をひらく絵画 上野の森美術館大賞展	公益財団法人日本美術協会 上野の森美術館
VOCA 30 YEARS STORY VOCA30周年記録1994-2023	公益財団法人日本美術協会 上野の森美術館
VOCA展2023 現代美術の展望―新しい平面の作家たち	「VOCA展」実行委員会 上野の森美術館
公開制作vo.2 佐藤朋子 狐・鶴・馬	長野県立美術館
ひらくツール ふれる はなす あるく 齋藤名穂×長野県立美術館	長野県立美術館
長野県立美術館所蔵 信濃デッサン館コレクション目録	長野県立美術館
伊能忠敬記念館年報 第24号 令和3年度	伊能忠敬記念館
令和5(2023)年度 国立歴史民俗博物館 要覧	大学共同利用機関法人 人間文化 研究機構 国立歴史民俗博物館
NAMアーカイブ&リサーチ2022 信州の生活と版画―上野誠が見つめた戦後	長野県立美術館
スペインのイメージ：版画を通じて写し伝わるすがた	国立西洋美術館
長野県立美術館 館報 No.25 令和4年度	長野県立美術館
生誕110年 傑作誕生・佐藤忠良	SDアート
特別展 友 ―歌会始御題によせて―	式年遷宮記念神宮美術館
ミュージアム調査研究報告 第14号	香川県立ミュージアム
収蔵資料目録13	香川県立ミュージアム
せとうちの大地 美術の視点	香川県立ミュージアム
Reckoning with Millet's Man with a Hoe 1863-1900	Getty Publications
堀万里作品集	星雲社
THE TEXTURE OF DREAMS	中込靖成
土とともに、美術にみる〈農〉の世界 ―ミレー、ゴッホ、浅井忠から現代のアーティストまで―	茨城県近代美術館
埼玉県立近代美術館 コレクション名品選カタログ 2021	埼玉県立近代美術館
戸谷成雄 彫刻	T&M Projects
桃源郷通行許可証 Book 1	埼玉県立近代美術館
桃源郷通行許可証 Book 2	埼玉県立近代美術館
デザイン き 木下勝弘	デザイン倶楽部
安曇野市豊科近代美術館報 第30号 令和3年度	安曇野市豊科近代美術館
多摩美術大学ポスターコレクション第2回展 公益財団法人DNP文化振興 財団寄贈ポスター公開展[田中一光 The POSTER]記録集/第2回 タマグラ・ ポスター展 2021 [POSTER NIPPON] 記録集	多摩美術大学
多摩美術大学ポスターコレクション第1回展 公益財団法人DNP文化振興 財団寄贈ポスター公開展 生誕90年記念[永井一正 POSTER LIFE]記録集/ 第1回 タマグラ・ポスター展 2019 [POSTER NIPPON] 記録集	多摩美術大学

タ イ ト ル	発 行 元 名 称
栄利秋 作品集	海風社
交歓するモダン 機能と装飾のポリフォニー	「機能と装飾」展実行委員会、赤々舎
恵林寺歴代住職頂相集	乾徳山恵林寺
美術館一年のあゆみ 令和4年度(令和4年4月～令和5年3月)	安曇野高橋節郎記念美術館
長野県立美術館紀要 第17号	長野県立美術館
仙台市博物館調査研究報告 第43号 令和4年度	仙台市博物館
東京タワーをつくった男・内藤多仲	南アルプス市教育委員会、 南アルプス市立中央図書館
第1回 絵と言葉のチカラ展 あなたも、つなげてみませんか?	「絵と言葉のチカラ展」実行委員会
令和4年度 東北芸術工科大学 文化財保存修復研究センター紀要	東北芸術工科大学 文化財保存修復研究センター
令和4年度 山梨県富士山科学研究所年報 第26号	山梨県富士山科学研究所
陶芸部会の歩み ー伝統工芸陶芸部会展50周年記念誌ー	公益社団法人 日本工芸会 陶芸部会
特別展「交感する神と人ーヒンドゥー神像の世界」	国立民族学博物館
第58回 主体展作品集	主体美術協会
第59回 近代美術協会展	近代美術協会
交感する神と人 ヒンドゥー神像の世界	国立民族学博物館
三鷹市美術ギャラリー収蔵品目録Ⅳ	三鷹市美術ギャラリー
光の記憶 森山大道	求龍堂
犬塚 勉 風景が芸術になる	川崎市市民ミュージアム
鹿児島市立美術館年報2022 令和4年度	鹿児島市立美術館
鹿児島市立美術館年報2020 令和2年度	鹿児島市立美術館
鹿児島市立美術館年報2021 令和3年度	鹿児島市立美術館
パンプキンズ2023 長谷川瑞吉 油絵作品図録	ケイズアソシエイツ
第86回新制作展2023	新制作協会
没後20年 若林奮	横須賀美術館
浅田政志展 YOKOHAMA PHOTOGRAPH ーわたし/わたしたちのいまー	KAAT神奈川芸術劇場
森美術館開館20周年記念展 ワールド・クラスルーム 現代アートの国語・算数・理科・社会	カルチュア・コンビニエンス・クラブ、 美術出版社書籍編集部
新進作家支援事業 山田雅哉「エチカ」	かすがい市民文化財団
「森とあそぶアート展」記録集	浜田市世界こども美術館
AERA Art Collection ローマ帝国 ココがすごい! 永遠の都ローマ	朝日新聞出版
特別展 有馬の名宝ー蘇生と遊興の文化ー	神戸市立博物館
日仏美術学会会報 2022年 第42号	日仏美術学会
富田幸衛アートワークス1952-2021	富田幸衛 作品集を作る会
山梨県立博物館企画展 小林一三 生誕150年 宝塚歌劇の世界 清く、正しく、美しく	山梨県立博物館
第69回展 一陽展画集	一陽会
京都府埋蔵文化財情報 第145号	京都府埋蔵文化財調査研究センター
秋季特別展 戦国武士と馬	馬事文化財団
春季特別展 浮世絵美人と馬	馬事文化財団
第76回 二紀展	二紀会
宮崎県立美術館 年報 令和4年度 2022 No.27	宮崎県立美術館
岡山芸術創造劇場 ハレノワ「晴れ」の時間を演出するアート作品	公益財団法人岡山文化芸術創造
甲斐 第161号	山梨郷土研究会

タ イ ト ル	発 行 元 名 称
出光美術館 館報197	出光美術館
世界遺産 大シルクロード展	東京富士美術館
開館35周年記念 特別展「福田美蘭ー美術って、なに？」	中日新聞社
ポンペイの輝き 古代ローマ都市 最後の日	朝日新聞社
第4回 国際作家交流展 日本・伊太利亜 2016	中込靖成
多摩美術大学美術館コレクション展 みつめる×かんがえる【そうぞうのマテリアル】	多摩美術大学美術館
関亮彦 作品集	関弘子
The room with a Landscape II 2021-2023	中込靖成
2022年度 東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館 年報14	東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館
特別展「ポンペイ」	朝日新聞社、NHK、 NHKプロモーション
古代ガラス ー色彩の饗宴ー	MIHO MUSEUM
詩画集 渚	風卵舎
映画監督 山崎貴の世界	松本市美術館
とぼとぼと	赤々舎
神戸市立博物館 研究紀要 第38号	神戸市立博物館
大成建設所蔵 ル・コルビジェ作品集	大成建設
あそび、たたかうアーティスト 池田龍雄	佐賀県立美術館
今日の彫刻 富井大裕	水声社
鹿島美術財団年報 第40号	鹿島美術財団
鹿島美術研究(年報第40号別冊)	鹿島美術財団
日本美術年鑑 令和3年版	独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所
榊田達雄画集	榊田達雄画集刊行会
天理参考館報 第36号	天理大学出版部
鳥取県立博物館年報 令和4年度 No.51	鳥取県立博物館
筑波大学芸術年報2023	筑波大学芸術系
阪急文化研究年報 第十二号	阪急文化財団
アートラボはしもと 2022年度 年次報告書	アートラボはしもと
富田溪山 ～越前の紙漉きを描く～	福井新聞社
彫刻家ねがみくみこ ホルモンと情熱のあいだ	日南町美術館
ジョセフ・アルバースの授業ー色と素材の実験室	水声社
芸術家たちの南仏	キュレイターズ
第50回 美術講演会講演録	鹿島美術財団
前田正博 色絵磁器展一時を彩るー	日本橋三越本店
ゴッホと静物画ー伝統から革新へ	公益財団法人 SOMPO美術財団 ／ SOMPO美術館
古伊賀 破格のやきもの	淡交社
大大名の名宝ー永青文庫×静岡県美の狩野派	静岡県立美術館
巨匠に教わる絵画の見かた	視覚デザイン研究所
令和4年度 茨城県つくば美術館 ギャラリー展の記録	茨城県近代美術館 つくば分館
発掘された日本列島2023 調査研究最前線	共同通信社
安齋重男による日本の70年代美術	国立国際美術館
ARTBRUT JAPONAIS ii	HALLE SAINT PIERRE

タ イ ト ル	発 行 元 名 称
ル・コルビュジエの芸術空間—国立西洋美術館の図面からたどる思考の軌跡	国立西洋美術館 公益財団法人西洋美術振興財団
アンチンボルド展	国立西洋美術館、NHK、 NHKプロモーション、朝日新聞社
独立行政法人 国立文化財機構 東京文化財研究所 概要 2023	独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所
令和4年度年報 北海道立北方民族博物館	北海道立北方民族博物館
令和4年度 茨城県近代美術館年報	茨城県近代美術館
平成30—令和4年度 呉市立美術館年報	呉市立美術館
第7回宮本三郎記念デッサン大賞展「明日の表現を拓く」作品集	第1回宮本三郎記念デッサン大賞展 実行委員会
石内都 初めての東京は銀座だった	資生堂
第16回 shiseido art egg	資生堂
DNP文化振興財団 学術研究助成紀要 Vol.5	公益財団法人DNP文化振興財団
陰陽師とは何者か ーうらない、まじない、こよみをつくるー	小さ子社
メセナアワード2023	公益社団法人企業メセナ協議会
公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館 研究紀要 第4号	公益財団法人石橋財団アーティゾン 美術館
没後100年記念 内海吉堂	敦賀市立博物館
石橋財団コレクション 特集コーナー展示 読書する女性たち	公益財団法人石橋財団アーティゾン 美術館
ABSTRACTION 抽象絵画の覚醒と展開 セザンヌ、フォーヴィズム、キュビズムから現代へ	公益財団法人石橋財団アーティゾン 美術館
創造の現場 ー映画と写真による芸術家の記録	公益財団法人石橋財団アーティゾン 美術館
新収蔵作品特別展示：パウル・クレー	公益財団法人石橋財団アーティゾン 美術館
ジャム・セッション 石橋財団コレクション×山口晃 ここへきて やむに止まれぬ サンサシオン	公益財団法人石橋財団アーティゾン 美術館
東京国立博物館140周年 古事記1300年 出雲大社大遷宮 特別展「出雲—聖地の至宝」	島根県立古代出雲歴史博物館
平成20年度[第12回]文化庁メディア芸術祭受賞作品集	文化庁メディア芸術祭事務局
第3回 全国美術館会議社員総会報告書	全国美術館会議
令和4年度 大分県立美術館年報	公益財団法人大分県芸術文化ス ポーツ振興財団 大分県立美術館
大分県立美術館 研究紀要 第7号	公益財団法人大分県芸術文化ス ポーツ振興財団 大分県立美術館
朝倉文夫 生誕一四〇周年記念 猫と巡る140年、そして現在	平凡社
新海修 樹文	関市立篠田桃紅美術空間
想 見上げる先に 耳を澄ます	関市立篠田桃紅美術空間
裏腹のいとは よすが 宮田彩加	財団法人岐阜現代美術財団
令和5年 真田宝物館特別展 真田家と宇和島藩伊達家	長野市教育委員会文化財課、 松代文化施設等管理事務所
令和五年度 秋の特別展「武者小路実篤の本をめぐる物語」	調布市武者小路実篤記念館
令和五年度 春の特別展「武者小路実篤の一九三三年」	調布市武者小路実篤記念館
田辺市立美術館 令和4年度 <第15号>	田辺市立美術館
清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2023	清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 実行委員会

タ イ ト ル	発 行 元 名 称
画家達の仕事とギャラリー2	清水工房
京都文化博物館研究紀要 朱雀 第35集	京都文化博物館
パリ・オペラ座ー響き合う芸術の殿堂	公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館
歴史の彼方から原風景に想いを馳せてー滝口和男ー	高島屋
慶應義塾大学アート・センター 年報／研究紀要30	慶應義塾大学 アート・センター
Domain of Art 30 曾谷朝絵展 にじのにわ	さいたま市 プラザノース
三方領知替200年 行田市・桑名市・白河市友好都市締結二五周年記念 合同企画展 武門の遺産ー徳川家を支えた忍・桑名・白河ー	桑名市博物館
αMプロジェクト2022 判断の尺度	武蔵野美術大学出版局
環境芸術 ㊿ 2023	高須賀昌志
戦争語彙集	岩波書店
美学論究 第三十九編	関西学院大学美学芸術学会
2024年版 美術大鑑	ビジョン企画出版社
神奈川県立博物館研究報告ー人文科学ー 第50号	神奈川県立歴史博物館
陶芸の進行形	公益財団法人菊池美術財団
鈴木喜家 画集	鈴木喜家
令和4年度 独立行政法人国立美術館 年報 2022	独立行政法人国立美術館
「國華清話会」会報 第四十二号 令和五年秋刊	國華清話会
令和4年度 福岡市美術館活動の記録	福岡市美術館
見ることから考える絵画表現 リアリズムの誕生と終焉	風人社
山口県立美術館年報 令和3～4年度	山口県立美術館
青銅であること	中長小西
αMプロジェクト2019 αM+vol.1 国立奥多摩美術館”国立奥多摩湖” ～もちつもたれつ奥多摩コイン～	武蔵野美術大学 大学企画グループ 社会連携チーム
αM+vol.2 わたしの穴 美術の穴 地底人とミラーレス・ミラー	武蔵野美術大学 大学企画グループ 社会連携チーム
「千葉県誕生150周年記念事業」美術企画展 人類への愛 鳩川誠一展 ～初公開の遺作と千葉県の風景～	茂原市立美術館・郷土資料館
森嶋其進展ー郷土のために尽力した学者	都留市博物館 ミュージアム都留
将棋駒の美ー掌中にある匠の技と心ー	都留市博物館 ミュージアム都留
今井コレクション寄贈記念ー増田誠 新収蔵品展	都留市博物館 ミュージアム都留
山梨の偉人 田村四將軍 日露戦争の立役者と山梨の刀工	都留市博物館 ミュージアム都留
美の競演 根付×日本刀 世界を魅了する美術工芸の世界	都留市博物館 ミュージアム都留
令和4年度 東京都美術館年報	東京都美術館
映画のレシピ	香川県立ミュージアム
人間国宝 十四代 今泉今右衛門展	岡島
令和3・4年度 米子市美術館年報 第2号	米子市美術館
美術館堆肥化計画2022	青森県立美術館
奈良美智：The Beginning Place ここから	一般社団法人奈良美智財団
アーティスト@TAD 袴田京太郎 複製する(陰の彫刻)	富山県美術館、袴田京太郎
「前衛」写真の精神：なんでもないものの変容 瀧口修造・阿部展也・大辻清司・牛腸茂雄	赤々舎
富山県美術館 令和4年度 年報	富山県美術館
富山県美術館紀要(令和3年度)	富山県美術館
抜萃のつづり その八十三	クマヒラ・ホールディングス

タ イ ト ル	発 行 元 名 称
根津美術館紀要 此君 第十四号	根津美術館
北陸工芸の祭典GO FOR KOGEI2023 物質的想像力と物語の縁起 ーマテリアル、データ、ファンタジー	趣都金澤
受贈記念 海をこえて、今ここに ー西田コレクションのうつわー	根津美術館
根津美術館 新蔵品選 書蹟	根津美術館
根津美術館 新蔵品選 漆工	根津美術館
障碍の茶室Ⅷ ー河童の庭- 記録集	佐賀大学芸術地域デザイン学部
耳で聴くアート SMAART 2023年度 記録集	佐賀モバイル・アカデミー・オブ・ アート事務局、佐賀大学芸術地 域デザイン学部
横須賀美術館年報 令和4年度版[2022.4.1-2023.3.31]	横須賀美術館
美術研究 第四百四十号	独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所
美術研究 第四百四十一号	独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所
勝又豊子展 不在の向こうー白い余白	横須賀美術館
近代の工芸家と数寄者 ー交流が育んだ美の凄みー	中長小西
美術史研究 第61冊	早稲田大学美術史学会
見て楽し 遊んで楽し 江戸のおもちゃ絵 Part2	たばこと塩の博物館
【令和5年度】東京藝術大学卒業・修了制作作品集 美術学部／大学院美術研究科修士課程	東京藝術大学美術学部
徳島県立近代美術館年報 令和4年度	徳島県立近代美術館
徳島県立近代美術館 研究紀要 第23号	徳島県立近代美術館
令和4年度 独立行政法人国立美術館 東京国立近代美術館活動報告	東京国立近代美術館
甲斐 第162号	山梨郷土研究会
境界をこえる	徳島県立近代美術館
青木繁 「海の幸」と布良	青木繁「海の幸」会
スケッチで訪ねる『智恵子抄』の旅	牧歌舎 東京本部
テキストとイメージを編む 出版文化の日仏交流	勉誠出版
信仰の目で読み解く絵画	いのちのこば社
Yoh Asakawa Works	風卵舎
artisti nello spazio da Lucio Fontana a oggi: gli ambienti nell'arte italiana	SilvanaEditoriale
UM AROUND 1979	Museum Ludwig
2016 山梨人ねっこアート展	山梨・人ねっこアートワーク
2018 山梨人ねっこアート展	山梨・人ねっこアートワーク
2021 山梨人ねっこアート展	山梨・人ねっこアートワーク
第28回 安井賞展	財団法人 安井曾太郎記念会、 毎日新聞社、西武美術館
第32回 安井賞展	財団法人 安井曾太郎記念会、 毎日新聞社、西武美術館
第33回 安井賞展	財団法人 安井曾太郎記念会、 毎日新聞社、西武美術館
第34回 安井賞展	財団法人 安井曾太郎記念会、 毎日新聞社、西武美術館
第35回 安井賞展	財団法人 安井曾太郎記念会、 毎日新聞社、セゾン美術館

タ イ ト ル	発 行 元 名 称
第36回 安井賞展	財団法人 安井曾太郎記念会、毎日新聞社、セゾン美術館
第37回 安井賞展	財団法人 安井曾太郎記念会、毎日新聞社、セゾン美術館
若松光一郎 ー律動する色彩ー	いわき市立美術館
Next Worldー夢みるチカラ タグチ・アートコレクション×いわき市立美術館	中西出版
REVISIT ーコレクション+アーカイブに見る美術館のキセキ	いわき市立美術館
ー現代美術入門ー わかりやすい現代美術 戦後・美術の変貌展	いわき市立美術館
「パリ・ブルデル美術館所蔵 巨匠ブルデル展」カタログ	「パリ・ブルデル美術館所蔵 巨匠ブルデル展」カタログ委員会
光へのまなざし ー佐藤時啓+吉田重信ー	いわき市立美術館
いわきの美術Ⅱ 熱いまなざしの軌跡 ー七人の写真ー	いわき市立美術館
いわきの美術Ⅲ 内なる具象展	いわき市立美術館
作家の現在ー吉澤美香 絵画とドローイングのあいだに	いわき市立美術館
いわきの美術Ⅳ 境界を越えて ー立体表現の拓がりー (part 1)	いわき市立美術館
いわきの美術Ⅴ 境界を越えて ー立体表現の拓がりー (part 2)	いわき市立美術館
文部科学省委託事業 ICTを活用した障害のある児童生徒等に対する指導の充実 視覚障害がある児童生徒のための美術鑑賞教育 ーハンズフリーのオーディオガイドを用いた観賞会の実践報告ー 2022-2023	信州大学
平山郁夫の丝路世界 平山郁夫のシルクロード世界	朝華出版社
昆仑之西 平山郁夫藏丝路文物精粹	上海書画出版社
从地中海到中国 平山郁夫藏丝路文物 平山郁夫シルクロード美術館の文物	辽宁美术出版社
令和4年度 広島県立美術館年報	広島県立美術館
広島県立美術館 研究紀要 第26号	広島県立美術館
今成正孝 彫刻作品集	今成正孝 彫刻工房
MIHO MUSEUM 南館図録	MIHO MUSEUM
別冊太陽 日本のこころ 314 川瀬巴水と新版画の作家たち 逝きし風景を求めて	平凡社
東京国立博物館紀要 第五八号	東京国立博物館
ICOM-ICMS 東京大会2023【報告書】	博物館セキュリティ強化・連携推進事業実行委員会
MUSEUM 東京国立博物館研究誌 第700号	東京国立博物館
MUSEUM 東京国立博物館研究誌 第701号	東京国立博物館
MUSEUM 東京国立博物館研究誌 第702号	東京国立博物館
MUSEUM 東京国立博物館研究誌 第703号	東京国立博物館
MUSEUM 東京国立博物館研究誌 第704号	東京国立博物館
MUSEUM 東京国立博物館研究誌 第705号	東京国立博物館
柴川敏之展 41世紀の蒜山美術館 ー高原のミュージアムを後にすると、そこは21世紀だった。	真庭市
扉の向こう 私とあなた、滋賀とアート	ケアしあうミュージアム事業実行委員会
群馬県立女子大学紀要 第45号	群馬県立女子大学
うらわ美術館年報 令和4年度	うらわ美術館
ふくやま美術館・ふくやま書道美術館年報 2021年度➡2022年度	ふくやま美術館
2023年度 東京都現代美術館年報 研究紀要 第26号	東京都現代美術館
令和3年度・令和4年度 大倉集古館年報・紀要	大倉集古館

タ イ ト ル	発 行 元 名 称
群馬県立近代美術館 研究紀要 第11号	群馬県立近代美術館
新潟県立近代美術館研究紀要 第22号	新潟県立近代美術館 新潟県立万代島美術館
実践女子大学 美術美術史学 第38号	実践美学美術史学会 実践女子大学 美学美術史学科研究室
ブラチスラバ世界絵本原画展 2022-23 絵本でひらくアジアの扉	青幻舎
望郷の画家 橋本龍美展 ― 神も、庶民も、バケモノも	新潟県立近代美術館
浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念 特別展 聖地 南山城 ― 奈良と京都を結ぶ祈りの至宝―	奈良国立博物館、日本経済新聞社、 テレビ大阪
第75回 正倉院展	奈良国立博物館
開館40周年記念 源氏物語 THE TALE OF GENJI ―「源氏物語」の拡がり 絵画、工芸から現代アートまで―	東京富士美術館
大倉組商会150周年 偉人たちの邂逅 ― 近現代の書と言葉―	大倉集古館
創作において自由なる競創	創絵社
沖縄陶芸展	那覇市（那覇文化芸術劇場なは 一と・那覇市立壺屋焼物博物館）
―窓辺の郷愁 遊心の物語― 小杉小二郎展 図録	高島屋
今、絵画について考える	水声社
国立新美術館研究紀要 第9号	国立新美術館
NACT YOUTH PROJECT 2022 新美塾! 記録集	国立新美術館
テート美術館展 光 ターナー、印象派から現代へ	日本経済新聞社
ルーブル美術館展 愛を描く	日本テレビ放送網、国立新美術館
イヴ・サンローラン展 時を超えるスタイル	国立新美術館
大巻伸嗣 真空のゆらぎ	求龍堂
遠距離現在 Universal / Remote	国立新美術館
李禹煥：ドキュメンツ 2022-23	国立新美術館、兵庫県立美術館
生誕90年 岩野勇三彫刻展 ―人間へのまなざし―	小林古径記念美術館
生誕140年 小林古径の世界	小林古径記念美術館
生誕110年 齋藤三郎展 雪国に生まれた めくもりのやきもの	小林古径記念美術館
芸能科の記憶 学び舎から飛び立った作家たち	小林古径記念美術館
生誕100年 斎藤真一展 瞽女と郷愁、さすらい	小林古径記念美術館
生誕100年記念 富岡惣一郎 所蔵作品集	小林古径記念美術館
上越市市制施行50周年記念 小林古径記念美術館開館1周年記念 永青文庫所蔵 近代日本画名品展	小林古径記念美術館
文谷有佳里・松村かおり 二人展 線からかじまるふたつの世界	真庭市
山部泰司展 光る風景、動く山水……真庭編	真庭市
崇城大学芸術学部研究紀要 第17号 2023年	崇城大学芸術学部
さいたま国際芸術祭2023 愛称《Art Saitama 2023》	さいたま国際芸術祭実行委員会
今森光彦 里山 水の匂いのするところ	クレヴィス
滋賀県立美術館 リニューアルオープン記念展 Soft Territory かかわりのあわい	滋賀県立美術館
ボイスオーバー 回って遊ぶ声	滋賀県立美術館
石と植物	滋賀県立美術館
川内倫子：M / E 球体の上 無限の連なり	朝日新聞社
小倉遊亀と日本美術院の画家たち展 横山大観、菱田春草、安田靉彦、 前田青邨、速水御舟ほか	滋賀県立美術館
東京国立博物館百五十年史	東京国立博物館

タ イ ト ル	発 行 元 名 称
東京国立博物館百五十年史 資料編	東京国立博物館
マティス展	朝日新聞社、NHK、NHKプロモーション
うえののそこから「はじまり、はじまり」荒木珠奈展	東京都美術館
永遠の都 ローマ展	毎日新聞社、NHK、NHKプロモーション
上野アーティストプロジェクト2023 いのちをうつすー菌類、植物、動物、人間	東京都美術館
印象派 モネからアメリカへ ウスター美術館所蔵	日本テレビ放送網
都美セクション グループ展 2023 記録集	東京都美術館
東京都美術館紀要 No.30	東京都美術館
Creative Ageing ずっとび 2021.4→2023.3 活動報告書	東京都美術館
MOTコレクション 歩く、赴く、移動する 1923→2020 特集展示 横尾忠則ー水のように 生誕100年 サム・フランシス	東京都現代美術館
MOTコレクション 被膜虚実 特集展示 横尾忠則ー水のように 生誕100年 サム・フランシス	東京都現代美術館
MOTコレクション 被膜虚実 めぐる呼吸	東京都現代美術館
「あ、共感とかじゃなくて。」	東京都現代美術館
MOTアニュアル2023 シナジー、創造と生成のあいだ	東京都現代美術館
デイヴィッド・ホックニー展	読売新聞東京本社、東京都現代美術館
新たな時代のエトランゼーパリへ渡った日本人画家たち 1950-70sー	小杉放菴記念日光美術館
Shizubi Project 8 世界は生きている 松藤孝一	静岡市美術館
西宮市文教住宅都市宣言60周年記念 生誕100年 秦森康屯展 館蔵品の作家とともに巡るその時代	西宮市大谷記念美術館
画人たちの仏教絵画 一如春斎再び！ー	西宮市大谷記念美術館
AINU ARTーモレウのうた	公益財団法人アイヌ民族文化財団
令和4(2022)年度 静岡市美術館 年報No.13	静岡市美術館
伊能忠敬記念館年報 第25号 令和4年度	伊能忠敬記念館
静岡市美術館 高畑勲監督講演会 記録集	静岡市美術館
新たな時代のエトランゼーパリへ渡った日本人画家たち 1950-70sー 出品作家によるクロストーク 記録集	小杉放菴記念日光美術館
京都府埋蔵文化財情報 第146号	京都府埋蔵文化財調査研究センター
文化庁委託事業「令和5年度 障害者等による文化芸術活動推進事業」インクルーシブアートコーディネーター養成講座開設に向けたプロジェクト	国立大学法人 群馬大学 共同教育学部美術教育講座
一宮市三岸節子記念美術館 令和5年度特別展 アイヌ工芸品展 AINU ARTーモレウのうた 展示記録集2023	一宮市三岸節子記念美術館
太宰府の文化財 第144集 太宰府の絵師調査報告3 吉嗣家資料【書画編】	太宰府教育委員会
VOCA展2024 現代美術の展望ー新しい平面の作家たち	「VOCA展」実行委員会 上野の森美術館
国立西洋美術館リニューアルオープン記念 自然と人のダイアローグ フリードリヒ、モネ、ゴッホからリヒターまで	国立西洋美術館、読売新聞社、NHK、NHKプロモーション
憧憬の地 ブルターニューモネ、ゴーガン、黒田清輝らが見た異郷	TBSテレビ
パリ ポンピドゥーセンター キュビズム展ー美の革命 ピカソ、ブラックからドローネー、シャガールへ	日本経済新聞社
国立西洋美術館研究紀要 No.25	国立西洋美術館
国立西洋美術館研究紀要 No.26	国立西洋美術館
国立西洋美術館研究紀要 No.27	国立西洋美術館
国立西洋美術館報 No.54	国立西洋美術館

タ イ ト ル	発 行 元 名 称
国立西洋美術館報 No.55	国立西洋美術館
国立西洋美術館報 No.56	国立西洋美術館
嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学紀要 第49号	嵯峨美術大学、嵯峨美術短期大学
国立西洋美術館 教育活動の記録 2013-2019	国立西洋美術館
第19回 富嶽ビエンナーレ展	静岡新聞社
北陸の美術・工芸作家選集 戸潤幸夫作品集	能登印刷出版部
福島県立美術館年報 令和4年度 2022	福島県立美術館
芥川龍之介と美の世界 二人の先達－夏目漱石、菅虎雄	久留米市美術館、 神奈川県立近代美術館
100年前の未来 移動するモダニズム 1920-1930	神奈川県立近代美術館
挑発関係=中平卓馬×森山大道	月曜社
東京都江戸東京博物館紀要 第14号	東京都江戸東京博物館
令和4年度岐阜県美術館年報No.39・研究紀要No.7	岐阜県美術館
イメージと記号 1960年代の美術を読みなおす	神奈川県立近代美術館
越山若水が育んだ美－福井県立美術館・若狭歴史博物館名品展－	岐阜県美術館
吉村弘 風景の音 音の風景	神奈川県立近代美術館
小金沢健人×佐野繁次郎 ドローイング/シネマ	神奈川県立近代美術館
間島秀徳展 天地無常－そこに新たな風景が	茨城県天心記念五浦美術館
澄川喜一 寄贈作品集	島根県立石見美術館
豊場惺也展－うつわを愉しむ	岐阜県現代陶芸美術館
やきものにうたう：ハンガリー現代陶芸展	岐阜県現代陶芸美術館
企画展 没後150年 山本栞谷と津和野藩の絵師たち	島根県立石見美術館
岐阜県現代陶芸美術館 研究紀要 第8号	岐阜県現代陶芸美術館
島根県立石見美術館 研究紀要 第17号	島根県立石見美術館
富士山学 第4号	雄山閣
三井家伝世の至宝に関する文化的考察	三井記念美術館
坂本直行展 ～直行さんの足あと～	北海道立帯広美術館
そのとき、岩手では ー展覧会でたどる、いわて美術の歴史ー	岩手県立美術館、公益財団法人 岩手県文化振興事業団
須藤康花 ー光と闇の記憶ー	松本市美術館
四谷シモンと金子國義ーあどけない誘惑	下瀬美術館
オチ・オサム展	福岡市美術館
シンガポール・スタイル1850-1950 プラナカン・ファッション100年の旅 リー・コレクションとクスマ・コレクションより	福岡市美術館
田中千智展 地平線と道	福岡市美術館
装飾の庭 朝香宮邸のアール・デコと庭園芸術	東京都庭園美術館
フィンランド・グラスアート：輝きと彩りのモダンデザイン	国書刊行会
開館40周年記念 旧朝香宮邸を読み解くA to Z	東京都庭園美術館
2021(令和3)年－2022(令和4)年度 北海道立帯広美術館	北海道立帯広美術館
2022年度 町田市立博物館 年報／紀要	町田市立博物館
公益財団法人 日本習字教育財団 観峰館紀要 第18号	公益財団法人 日本習字教育財団 観峰館
大田区立郷土博物館紀要 第25号 令和5年(2023)度	大田区立郷土博物館
美術史論集 第二十四号	神戸大学美術史研究会
福岡市美術館研究紀要 第12号	福岡市美術館
大阪市立美術館紀要 第二十四号	大阪市立美術館

タ イ ト ル	発 行 元 名 称
なめらかでないしぐさ 現代美術 in 西尾	国際芸術祭地域展開事業実行委員会、西尾市
ヘテロジニアスな世界 光瑤×牛人	高岡市美術館
高岡市美術館年報 2021年(令和3年度)	高岡市美術館
実践女子大学香雪記念資料館館報 第21号(2023年度)	実践女子大学香雪記念資料館
足立美術館所蔵 近代日本画と北大路魯山人展—和の美、再発見。	札幌テレビ放送
AINU ART—モレウのうた[図録 ライヴ版]	公益財団法人アイヌ民族文化財団
揺さぶる絵 変貌する日本画のイメージ	中西出版
トリック×イリュージョン!	北海道新聞社
川崎市市民ミュージアム 紀要 第36集	川崎市市民ミュージアム
北海道立美術館・芸術館紀要 第33号	北海道立近代美術館、北海道立旭川美術館、北海道立函館美術館、北海道立帯広美術館、北海道立釧路美術館、北海道立三好好太郎美術館
碧館図譜 —稲垣三郎 作品集—	稲垣三郎家族一同
AINU ART—モレウのうた(改訂版)	公益財団法人アイヌ民族文化財団
スーラージュと森田子龍	兵庫県立美術館
Perfume COSTUME MUSEUM	兵庫県立美術館
出会いと、旅と、人生と。 ある画家の肖像 日本近代洋画の巨匠 金山平三と同時代の画家たち	兵庫県立美術館
シン・ジャパニーズ・ペインティング 革新の日本画 横山大観、杉山寧から現代の作家まで	求龍堂
モダン・タイムス・イン・パリ 1925 機械時代のアートとデザイン	青幻舎
部屋のみる夢—ポナールからティルマンス、現代の作家まで	求龍堂
浪漫の光芒—永見徳太郎と長崎の近代	長崎文献社
永田玄の眼 タイ古陶の美	長崎県美術館
兵庫県立美術館研究紀要 第18号	兵庫県立美術館
滋賀県立琵琶湖文化館 研究紀要 第四十号	滋賀県立琵琶湖文化館
令和4年度 兵庫県立美術館 年報	兵庫県立美術館
生誕130年 児島善三郎展	福岡県立美術館
第22回やまなし県民文化祭記録集	やまなし県民文化祭実行委員会
山梨県の図書館 2023 —山梨県図書館白書—	山梨県立図書館、山梨県公共図書館協会
文化庁「令和5年度 大学における文化芸術推進事業」『つくり手』『つなぎ手』『つかい手』のクロスオーバーによる複合的なアートマネジメント人材の育成事業 富山大学芸術文化学部「ハッカーズから学ぶ芸術経営学」	富山大学芸術文化学部
令和4年度 長崎県美術館年報 No.17	長崎県美術館
栗本百合子の絵画と空間—はじまりのまえのはじまり—	名古屋造形大学
2022(令和4)年度版 愛知県美術館年報 2022.4-2023.3	愛知県美術館
愛知県美術館 研究紀要 第30号 木村定三コレクション編	愛知芸術文化センター 愛知県美術館
愛知県美術館 研究紀要 第30号	愛知芸術文化センター 愛知県美術館
顕神の夢—幻視の表現者	顕神の夢展実行委員会
幻の愛知県博物館	幻の愛知県博物館展実行委員会
安井仲治作品集	河出書房新社

＜購入図書＞

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

タ イ ト ル	発 行 元 名 称
こどものとも劇場 ぐりとぐら	福音館書店
山梨県農業試験研究百年史	山梨県
THE MATERNAL IN CREATIVE WORK	Routledge Taylor & Francis Group
Inappropriate Bodies Art,Design,and Maternity	DEMETER
MOTHER AND CHILD IN MODERN ART	HASSELL STREET PRESS
DESIGNING MOTHERHOOD	THE MIT PRESS
MOTHER! Origin of Life	LOUISIANA MUSEUM OF MODERN ART
地球がまわる音を聴く：パンデミック以降のウェルビーイング	森美術館
Home Truths:Photography and Motherhood	ART/BOOKS
KIMONO: KYOTO TO CATWALK	V&A Publishing
ALEXANDER McQUEEN: SAVAGE BEAUTY	The Metropolitan Museum of Art
僕はずっと裸だった 前衛ダンサーの身体論	工作舎
ユリイカ 2022年2月号	青土社
現代思想 2011年11月号 ポスト3・11のエコロジー	青土社
LAST MOVEMENT ー終身の身振りへ向けてーII	博進堂
田中泯 海やまのあひだ	工作舎
Munakata Shiko Japanese Master of the Mordern Print	棟方版画美術館
試展一白州模写 「アートキャンプ白州」とは何だったのか	市原市 市原湖畔美術館
Paris 1900 City of entertainment	PARIS museums
ジョルジョ・ヴァザーリ 美術家列伝 第4巻	中央公論美術出版
ジョルジョ・ヴァザーリ 美術家列伝 第5巻	中央公論美術出版
ジョルジョ・ヴァザーリ 美術家列伝 第6巻	中央公論美術出版
ウィリアム・モリス 近代デザインの原点	鹿島出版会
素朴で平等な社会のために ーウィリアム・モリスが語る労働・芸術・社会・自然ー	せせらぎ出版
アート・ビギナーズ・コレクション もっと知りたいウィリアム・モリス とアーツ&クラフツ	東京美術
博物館とコレクション管理 ーポスト・コロナ時代の資料の保管と活用ー＜増補改訂版＞	雄山閣
ユートピアだより	岩波書店
図説 ウィリアム・モリス ヴィクトリア朝を越えた巨人	河出書房新社
博物館ドキュメンテーション入門	勁草書房
フードクリエイション 感覚であじわう 感情のテイスト	青幻舎
The BELLE EPOQUE A Cultural History,Paris and Beyond	COLUMBIA UNIVERSITY PRESS
Loie Fuller GODDESS OF LIGHT	NORTHEASTERN UNIVERSITY PRESS
THE GREATEST SHOWS ON EARTH A HISTORY OF THE CIRCUS	Reakiton Books Ltd
Electoric Salome Loie Fuller's Performance of Modernism	Princeton University Press
COLLECTION WEISMAN & MICHEL FIN DE SIECLE-BELLE EPOQUE (1880-1916)	MUSEE DE MONTMARTRE JARDINS RENOIR
ジョルジュ・ルオー サーカス 道化師	青幻舎
フランスのポスター 京都工芸繊維大学美術工芸資料館デザインコレクション2	青幻舎
わたしが描くーコレクションでたどる女性画家たち	早稲田大学 曾津八一記念博物館

タ イ ト ル	発 行 元 名 称
How Not to Exclude Artist Mothers (and other parents)	Lund Humphries Pub Ltd
Reconciling Art and Mothering	Ashgate Publishing
FROM THE CENTER feminist essays on women's art	Fitzhenry & Whiteside
風景画の光 ランドスケープ・ヨーロッパ・美の掠奪	講談社
フランスの詩と歌の愉しみ 近代詩と音楽	東京藝術大学出版会
Sandwich	Sandwich Inc.
Pleasures of the Belle Epoque ENTERTAINMENT & FESTIVITY IN TURN OF THE CENTURY FRANCE	Yale University Press / New Haven&London
MONTMARTRE AND THE MAKING OF MASS CULTURE	Rutgers University Press
The Cabaret	Yale University Press / New Haven&London
Le Cafe-Concert	ATELIER HACHETTE / MASSIN
ZOO AND AQUARIUM HISTORY Ancient Animal Collections to Conservation Centers SECOND EDITION	CRC Press
Radiant: The Dancer,the Scientist,and a Friendship Forged in Light	GRAND CENTRAL PUBLISHING
Body Stages:The Metamorphosis of Loie Fuller	SKIRA
Notes on 'Camp'	PENGUIN BOOKS
反解釈	筑摩書房
絵画の解放 カラーフィールド絵画と20世紀アメリカ文化	東京大学出版会
大正史講義【文化編】	筑摩書房
大正史講義	筑摩書房
昭和史講義【戦後文化編】(上)	筑摩書房
昭和史講義【戦後文化編】(下)	筑摩書房
昭和史講義【戦前文化人編】	筑摩書房
昭和史講義【戦後編】(上)	筑摩書房
昭和史講義【戦後編】(下)	筑摩書房
女性画家たちと戦争	平凡社
The M Word Real Mothers in Contemporary Art	Demeter Press
The Baby on the Fire Escape:Creativity,Motherhood,and the Mind-Baby Problem	W.W. Norton & Company
Infertilities,A Curation	Wayne State University Press
Zoo:A History of Zoological Gardens in the West	Reaktion Books
生きものと私が出会うとき	美術出版社
CAMP: Notes on Fashion	The Metropolitan Museum of Art

定期購読雑誌

(令和5年度)

雑誌名
芸術新潮
月刊文化財
國華
美術手帖
美育文化ポケット
美術フォーラム
版画芸術
須田記念 視覚の現場
The Art Bulletin
Art Journal
The Burlington Magazine
Metropolitan Museum Journal
October
Journal of the Warburg and Courtauld Institutes ※

※令和5年度は送付なし

新収蔵映像資料

<寄贈>

(令和6年3月31日現在)

	タイトル	時間	制作	媒体
1	令和三年度 アイヌ文化伝承活動アーカイブズ「技」vol.6	60分	アイヌ民族文化財団／札幌映像プロダクション	DVD
2	令和三年度 アイヌ文化伝承活動アーカイブズ「技」vol.7	60分	アイヌ民族文化財団／札幌映像プロダクション	DVD

<購入>

	タイトル	時間	制作	媒体
1	クリムト エゴン・シーレとウィーン黄金時代	94分	ミシェル・マリー (監督)	DVD
2	落穂拾い	82分	アニエス・ヴァルダ (監督・脚本)	BD
3	キューブリックに愛された男	82分	アレックス・インファセッリ (監督)	DVD
4	テノール! 人生はハーモニー	101分	クロード・ジディ・ジュニア (監督)	DVD
5	ランブル 音楽界を揺るがしたインディアンたち	102分	キャサリン・ベインブリッジ (監督)	DVD
6	ココ・シャネル 時代と戦った女	55分	ジャン・ロリターノ (監督・脚本)	DVD
7	映画はアリスから始まった	103分	パメラ・B・グリーン (監督)	DVD

修 復 記 録

2023 (R5) 年度 修復記録

作品データ	修復前状態	修復事項	修復者
米倉壽仁 《イロハ唄》 1966年 油彩・麻布 修復前寸法 天地：1167mm 左右：909mm 厚み：20mm 修復後寸法 天地：1167mm 左右：909mm 厚み：20mm	ワニス層：ワニスは無い。 絵具層：白地に絵具で描かれており、塗料を垂らしたような表現や絵具層が剥落した上から描いている箇所もある。そのような損傷箇所も表現として利用している側面もある。一方、新しい剥落や浮き上がりもあり、鑑賞の妨げとなっている。表面に汚れが薄く付着している。 支持体：角に変形が生じている。木枠、額縁には問題はない。	1. 調査 2. 浮き上がり接着 3. 画面洗浄 4. 支持体変形修正 5. 張りの修正 6. 充填整形 7. 補彩 8. 報告書作成	修復研究所21
水出陽平 《或る日のゲーム》 1975年 油彩・麻布 修復前寸法 天地：1308mm 左右：1624mm 厚み：25mm 修復後寸法 天地：1308mm 左右：1624mm 厚み：25mm	ワニス層：旧ワニス層が全体に塗布されている。光沢が不均一である。 絵具層：背景に浮き上がり剥落が散在している。上辺、下辺、右辺にシミが確認できる。左上角にカビ跡が見られる。 支持体：特に問題はない。	1. 修復前写真撮影 2. 状態調査 3. 浮き上がり接着 4. 画面洗浄 5. 裏面清掃・殺菌 6. 充填整形 7. 補彩 8. ワニス塗布 9. 修復後写真撮影	修復研究所21
若菜寿夫 《耐》 1957年 油彩・麻布 修復前寸法 天地：910mm 左右：1165mm 厚み：25mm 修復後寸法 天地：910mm 左右：1165mm 厚み：25mm	ワニス層：旧ワニス層が厚く塗布されている。旧ワニスの黄化により、作品は全体に黄色味を帯びた色調となっている。旧ワニスが格子状に垂れ、溜まりとなっている部分がある。 絵具層：下層には別の絵が存在すると思われる。全体に亀裂が生じている。浮き上がりが数カ所に見られる。細かな剥落（層間）が散在している。 支持体：画布は2枚で継がれており、継ぎ目が凹凸となって画面側でも確認できる。木枠と画布の隙間にゴミや異物が混入しているため、右辺に支持体の凹凸が生じている。作品は斜めに傾斜した状態である。描画の様子から、木枠が斜めのまま画布が張り込まれ、その状態で製作されたと考えられる。	1. 修復前写真撮影 2. 状態調査 3. 浮き上がり接着 4. 画面洗浄 5. 裏面清掃・殺菌 6. 耳補強 7. 支持体変形修正 8. 充填整形 9. 補彩 10. ワニス塗布 11. 修復後写真撮影	修復研究所21

刊 行 物 記 録

刊行物名	規格（縦×横） ページ数 作品図版点数	発行年月	内 容
山梨県立美術館コレクション REMI X記録集	B5版 16ページ	令和5年9月	編集：下東佳那（山梨県立美術館） 印刷：島田プロセス 発行：山梨県立美術館
ミレーと4人の現代作家たち展 図録	B5版 124ページ	令和5年12月	印刷：アベイズム株式会社 発行：山梨県立美術館
テルマエ展図録	B5版変形 192ページ 162点	令和5年9月	印刷：山田写真製版所 編集・発行：青幻舎
テルマエ展図録別冊 山梨県の温泉	A4版 8ページ	令和5年9月	印刷：島田プロセス 発行：山梨県立美術館
アーツ・アンド・クラフツと デザイン展図録	B5版変形 168ページ 168点	令和5年4月	編集：ブレントラスト 制作：印象社 発行：「アーツ・アンド・クラフツとデザイン ウィリアム・モリスからフランク・ロイド・ ライトまで」カタログ制作委員会
みんなでつくる美術館 2023年記録集	B5版 14ページ	令和6年3月	編集：みんなでつくる美術館実行委員会事務局 発行：みんなでつくる美術館実行委員会
令和4年度 山梨県立美術館年報	A4版 166ページ	令和5年9月	編集・発行：山梨県立美術館
山梨県立美術館 研究紀要 第36号	A4版 35ページ	令和6年3月	編集・発行：山梨県立美術館

美術資料貸出記録

「展覧会名」	作家名	作品名	展示期間	展示会場	借用申請者
「スペインのイメージ： 版画を通じて写し伝 わるすがた」	カルロス・ド・ ヘース	見張り台(エルチェ) (『腐食銅版画家協 会：近代の腐食銅 版画』誌)	R5.4.8-6.11 R5.7.4-9.3	長崎県立美術館 国立西洋美術館	長崎県立美術館 国立西洋美術館
	アンリ・シャルル・ ランドラン	サラゴサの眺め (『腐食銅版画家協 会：近代の腐食銅 版画』誌)			
	ジャン・アント ワヌ・ダヴィッ ド・エドゥアル・ デルプラット	a.トレド(1864年) (『腐食銅版画家協 会：近代の腐食銅 版画』誌)			
	エドゥアル・ マネ	異国の花 (詩歌集「ソネット とエッチング」)	R5.4.8-6.11	長崎県立美術館	長崎県立美術館 国立西洋美術館
	ドロテオ・アル ナイス	あざみ			
	エンリク・コル メンザーナ	無題Ⅱ	R5.7.4-9.3	国立西洋美術館	
「近代日本の視覚開化 明治 呼応し合う西洋 と日本のイメージ」	中丸精十郎	異国風景	R5.4.14-5.31	愛知県美術館	愛知県美術館 名古屋テレビ放送 株式会社
		ナイル河畔			
		夕陽			
「土とともに美術に みる〈農〉の世界 ーミレー、ゴッホ、 浅井忠から現代の アーティストまでー」	ジャン=フラン ソワ・ミレー	落ち穂拾い(初版)	R5.7.8-9.3	茨城県近代美術館	茨城県近代美術館
	ジュール・ブルトン	朝			
	ケーテ・ コルヴィッツ	鋤をひく人 (『農民戦争』第1葉)			
		凌辱 (『農民戦争』第2葉)			
		鎌を磨ぐ (『農民戦争』第3葉)			
		アーチの下での武装 (『農民戦争』第4葉)			
		突撃 (『農民戦争』第5葉)			
		戦場 (『農民戦争』第6葉)			
		囚われた人々 (『農民戦争』第7葉)			
		自画像			

「展覧会名」	作家名	作品名	展示期間	展示会場	借用申請者
「土とともに美術に みる〈農〉の世界 ーミレー、ゴッホ、 浅井忠から現代の アーティストまでー」		クローン文化財 ジャン＝フランソワ・ ミレー 《種をまく人》	R5.7.8-9.3	茨城県近代美術館	茨城県近代美術館
「あそび、たたかう アーティスト 池田 龍雄」	池田龍雄	出口のない貌	R5.9.6-10.29	佐賀県立美術館	佐賀県立美術館
		地圧 (化物の系譜シリーズ)			
		ぬし (化物の系譜シリーズ)			
		谷間 (化物の系譜シリーズ)			
		化物の系譜Ⅱ [首]			
		魔術師 (百仮面シリーズ)			
		あなたに似た人 (百仮面シリーズ)			
		米			
		環境から空間へ ーU字型の構図 (玩具世界シリーズ)			
		蝉廂の変貌 (玩具世界シリーズ)			
		アンドロイド♂ (玩具世界シリーズ)			
		人間工学 (玩具世界シリーズ)			
		コマのある部屋 (玩具世界シリーズ)			
		頭蓋 (解体類考シリーズ)			
		百仮面 (百仮面シリーズ)			
		耳 (解体類考シリーズ)			
		BRAHMAN 第1章 梵天			
		BRAHMAN 第2章 宇宙卵			
		BRAHMAN 第4章 螺旋粒動			
		BRAHMAN 第5章 点生			

「展覧会名」	作家名	作品名	展示期間	展示会場	借用申請者
「あそび、たたかう アーティスト 池田 龍雄」	池田龍雄	BRAHMAN 第6章 気跡	R5.9.6-10.29	佐賀県立美術館	佐賀県立美術館
		BRAHMAN 第7章 結象			
		BRAHMAN 第8章 晶華			
		BRAHMAN 第9章 褶曲			
		BRAHMAN 第10章 場の相			
「福田美蘭展」	福田美蘭	ミレー 「種をまく人」	R5.9.23-11.19	名古屋市美術館	名古屋市美術館 中日新聞社
「奈良・町家の芸術祭 はならあと2023 SEASON 2」		クローン文化財 ジャン＝フランソワ・ ミレー 《種をまく人》	R5.10.12-11.1	宇陀松山会館	奈良・町家の芸術祭 HANARART 実行 委員会
「ゴッホと静物画 ー伝統から革新へ」	マルク・シャガール	花束	R5.10.17- R6.1.21	SOMPO美術館	SOMPO美術館
「シュルレアリスムと 日本」	米倉壽仁	ヨーロッパの危機	R5.12.16- R6.2.4	京都文化博物館	京都文化博物館 板橋区立美術館 三重県立美術館
			R6.3.2-4.14	板橋区立美術館	
			R6.4.27-6.30	三重県立美術館	

新型コロナウイルス感染症対策

令和5(2023)年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症に対する様々な感染防止対策を行った。対応の概要は以下のとおりである。なお、令和5年5月8日の5類感染症への移行後、感染対策の実施については、入館者の判断を基本として従前の運営体制に戻している（アルコール消毒液、ハンドソープについては継続して設置）。

1) 基本的な感染症対策

【来館者へのお願い】

- ・発熱、風邪症状、味覚障害など体調に不安のある方等は、来館を控えること
- ・入館時の非接触での検温
- ・手洗い、手指消毒の徹底
- ・壁や展示ケースに触れない
- ・来館者と対面に対応する場所へのアクリル板設置

【美術館の主な取り組み】

- ・館内のソファの一部を撤去
- ・鑑賞型展示（接触型展示部分）や体験型展示など、展示内容の一部閉鎖
- ・アルコール消毒液、ハンドソープの設置
- ・ウォーターサーバー（冷水機）等の一部設備の停止
- ・スタッフはマスク着用で対応

2) 展示室の運営

【特別展】

- ・「山梨県立美術館コレクション REMIX」では、オープニング・セレモニーのみ開催し、レセプションを中止した。

3) レストラン、ショップ

- ・レストラン、ショップはアクリル板の設置や席数の減少等の対策を実施した。

■ 関係法規

●山梨県立美術館設置及び管理条例

昭和53年 3 月28日

山梨県条例第 5 号

(設置)

第 1 条 美術に関する県民の知識及び教養の向上を図り、県民文化の発展に寄与するため美術館を設置する。

(名称及び位置)

第 2 条 美術館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 山梨県立美術館

位置 甲府市

(事業)

第 3 条 山梨県立美術館（以下「美術館」という。）は、次に掲げる事業を行う。

- 一 美術品及び美術に関する模写、模型、文献、写真、フィルム等（以下「美術品等」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。
- 二 美術に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- 三 美術に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を開催すること。
- 四 美術品等の利用に関し、必要な助言、指導等を行うこと。
- 五 一般展示室、工房等を一般の使用に供すること。
- 六 前各号に掲げるもののほか、美術館の設置の目的を達成するため必要な事業

(平16条例26・一部改正)

(職員)

第 4 条 美術館に、館長その他の職員を置く。

(指定管理者による管理)

第 5 条 知事は、地方自治法（昭和 2 2 年法律第 6 7 号）第244条の2第3項の規定により、知事が指定する法人その他の団体（以下「指定管理者」という。）に美術館の管理を行わせるものとする。

(平20条例19・追加、令 2 条例 5 ・一部改正)

(指定管理者が行う業務の範囲)

第 6 条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- 一 利用の承認（第 11 条第 1 項の承認を除く。）に関する業務
- 二 施設及び設備器具の維持保全に関する業務
- 三 第 3 条第五号に掲げる事業に関する業務
- 四 前三号に掲げるもののほか、知事が必要と認める業務

(平20条例19・追加)

(指定の手続)

第 7 条 指定管理者の指定を受けようとするものは、規則で定めるところにより、申請書に事業計画書その他の書類を添付して、知事が定める日までに知事に提出しなければならない。

2 知事は、前項の規定による申請書の提出があつたときは、次に掲げる基準により指定管理者の候補者を選定し、議会の議決を経て指定管理者に指定するものとする。

- 一 事業計画の内容が、美術館の効用を発揮することができるものであること。
- 二 事業計画の内容が、美術館の適正かつ効率的な管理を図ることができるものであること。
- 三 事業計画に沿った管理を安定して行うために必要な人的能力及び経理的基礎を有していること。

(平20条例19・追加、令 2 条例 5 ・一部改正)

(休館日)

第 8 条 美術館の休館日は、次に掲げるとおりとする。ただし、第一号又は第二号に掲げる日が 1 月 2 日、同月 3 日又は 4 月30日から 5 月 5 日までの日である場合には、休館日としないものとする。

- 一 月曜日（この日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」

という。)である場合を除く。)

二 休日の翌日(この日が日曜日である場合を除く。)

三 12月29日から翌年の1月1日までの日

四 1月の第2火曜日(この日が1月8日である場合にあつては第3火曜日)から翌週の月曜日までの日

2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、知事の承認を受けて、臨時に休館日に開館し、又は休館日以外の日に休館することができる。

(昭61条例1・平11条例40・平17条例63・一部改正、平20条例19・旧第5条繰下・一部改正、令2条例5・一部改正)

(開館時間)

第9条 美術館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、知事の承認を受けて、開館時間を変更することができる。

(平20条例19・追加、令2条例5・一部改正)

(観覧の承認等)

第10条 美術館に展示されている美術品等(知事が指定するものに限る。次条において同じ。)を観覧しようとする者は、指定管理者の承認を受けなければならない。

2 指定管理者は、前項の規定により観覧の承認を受けようとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、同項の承認をしないものとする。

一 公の秩序又は善良の風俗に反するおそれがあると認められるとき。

二 施設、設備器具又は美術品等を損傷するおそれがあると認められるとき。

三 前二号に掲げる場合のほか、管理上支障があると認められるとき。

3 第1項の承認を受けた者は、別表第1に定める観覧料を納付しなければならない。

4 指定管理者は、第1項の承認を受けた者が第2項各号のいずれかに該当すると認めるときは、当該承認を取り消すものとする。

(平20条例19・旧第6条繰下・一部改正、平29条例4・令2条例5・一部改正)

(特別観覧の承認等)

第11条 美術館に展示されている美術品等又は美術館に保管されている美術品等についての模写、模造等又は撮影(以下単に「特別観覧」という。)をしようとする者は、知事の承認を受けなければならない。

2 前項の承認を受けた者は、別表第2に定める特別観覧料を納付しなければならない。

3 前条第2項の規定は、第1項の承認について準用する。この場合において、同条第2項中「指定管理者」とあるのは、「知事」と読み替えるものとする。

4 知事は、第1項の承認を受けた者が前条第2項各号のいずれかに該当すると認めるときは、当該承認を取り消すものとする。

(平20条例19・旧第7条繰下・一部改正、平29条例4・一部改正)

(一般展示室、工房等の使用の承認等)

第12条 美術館の一般展示室、工房等を使用しようとする者は、指定管理者の承認を受けなければならない。

2 指定管理者は、前項の規定により使用の承認を受けようとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、同項の承認をしないものとする。

一 第10条第2項各号のいずれかに該当すると認められるとき。

二 その使用が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団の利益となると認められるとき。

3 第1項の承認を受けた者は、別表第3に定める使用料を納付しなければならない。

4 指定管理者は、第1項の承認を受けた者が第2項各号のいずれかに該当すると認めるときは、当該承認を取り消すものとする。

(平16条例26・一部改正、平20条例19・旧第8条繰下・一部改正、平24条例26・平29条例4・一部改正)

(観覧料等の還付)

第13条 既に納付した観覧料、特別観覧料又は使用料は、還付しない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(平15条例35・一部改正、平20条例19・旧第9条繰下・一部改正、平29条例4・旧第14条繰上)

(観覧料等の免除)

第14条 知事が特別の理由があると認めるときは、観覧料、特別観覧料又は使用料の全部又は一部を免除することができる。

(平15条例35・一部改正、平20条例19・旧第10条繰下・一部改正、平29条例4・旧第15条繰上)

(事業報告書の作成及び提出)

第15条 指定管理者は、毎年度終了後2月以内に、次に掲げる事項を記載した事業報告書を作成し、知事に提出しなければならない。ただし、年度の途中において指定管理者の指定を取り消された場合にあつては、その取り消された日から2月以内に当該年度の当該日までの事業報告書を提出しなければならない。

- 一 第6条各号に掲げる業務の実施の状況
- 二 美術館の管理の業務に係る収支の状況
- 三 前二号に掲げるもののほか、美術館の管理の状況を把握するために知事が必要と認める事項

(平20条例19・追加、平29条例4・旧第16条繰上、令2条例5・一部改正)

(知事による管理)

第16条 第5条の規定にかかわらず、知事は、指定管理者の指定を受けるものがないとき、指定管理者を指定することができないとき、又は地方自治法第244条の2第11項の規定により指定管理者の指定を取り消し、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じたときは、指定管理者を指定し、又は当該停止の期間が終了するまでの間、臨時に、第6条に規定する美術館の管理の業務の全部又は一部を行うものとする。

2 前項の場合における第8条第2項及び第9条第2項の規定の適用については、これらの規定中「指定管理者は、知事の承認を受けて」とあるのは、「知事は、特に必要があると認めるときは」とする。

3 第1項の場合（業務の一部の停止を命じたことによる場合にあつては、当該停止を命じた業務に第10条第1項の規定による美術品等の観覧の承認が含まれるときに限る。）における同条の規定の適用については、同条第1項、第2項及び第4項中「指定管理者」とあるのは「知事」と、同条第1項中「ならない」とあるのは「ならない。ただし、当該観覧について指定管理者の承認を受けている場合は、この限りでない」とする。

4 第1項の場合（業務の一部の停止を命じたことによる場合にあつては、当該停止を命じた業務に第12条第1項の規定による美術館の一般展示室、工房等の使用の承認が含まれるときに限る。）における同条の規定の適用については、同条第1項、第2項及び第4項中「指定管理者」とあるのは「知事」と、同条第1項中「ならない」とあるのは「ならない。ただし、当該使用について指定管理者の承認を受けている場合は、この限りでない」とする。

5 第1項の規定により知事が管理の業務の全部又は一部を行つた後指定管理者が当該業務を行うこととなつた場合における第10条第1項及び第12条第1項の規定の適用については、第10条第1項中「ならない」とあるのは「ならない。ただし、当該観覧について知事の承認を受けている場合は、この限りでない」と、第12条第1項中「ならない」とあるのは「ならない。ただし、当該使用について知事の承認を受けている場合は、この限りでない」とする。

(平29条例4・追加、令2条例5・一部改正)

(警察本部長への情報提供依頼)

第17条 知事は、次に掲げる場合においては、第12条第1項（前条第4項の規定により読み替えて適用する場合を含む。）の承認（以下この条及び次条において「使用承認」という。）を受けようとする者又は受けた者（当該者が法人である場合には、その役員。次条において同じ。）に関し、山梨県暴力団排除条例（平成22年山梨県条例第35号）第2条第3号に規定する暴力団員等（次条において単に「暴力団員等」という。）であるか否かについて、警察本部長に対し、情報の提供を求めることができる。

- 一 指定管理者又は知事が使用承認をしようとする場合
- 二 指定管理者又は知事が第12条第4項（前条第4項の規定により読み替えて適用する場合を含む。）の規定による使用承認の取消しをしようとする場合

(平24条例26・追加、平29条例4・令2条例5・一部改正)

(知事への情報提供)

第18条 警察本部長は、前条の規定により情報の提供を求められた場合のほか、その保有する情報により使

用承認を受けようとする者又は受けた者が暴力団員等であると認める場合においては、知事に対し、その情報を提供することができる。

(平24条例26・追加、平29条例4・令2条例5・一部改正)

(委任)

第19条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

(平15条例35・旧第12条繰下、平20条例19・旧第13条繰下、平24条例26・旧第17条繰下、令2条例5・一部改正)

附 則

この条例は、昭和53年4月1日から施行する。

附 則 (昭和59年条例第22号) 抄

(施行期日)

1 この条例は、昭和59年4月1日から施行する。

附 則 (昭和61年条例第1号) 抄

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (昭和62年条例第11号)

この条例は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則 (平成元年条例第33号)

この条例は、平成元年4月1日から施行する。

附 則 (平成4年条例第21号) 抄

(施行期日)

1 この条例は、平成4年4月1日から施行する。

附 則 (平成7年条例第19号) 抄

(施行期日)

1 この条例は、平成7年4月1日から施行する。

附 則 (平成9年条例第29号)

この条例は、平成9年4月1日から施行する。

附 則 (平成11年条例第40号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成13年条例第26号)

この条例は、平成13年7月1日から施行する。

附 則 (平成15年条例第35号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成16年条例第26号)

この条例は、平成16年4月1日から施行する。

附 則 (平成17年条例第63号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成18年条例第30号)

この条例は、平成18年4月1日から施行する。

附 則 (平成20年条例第19号) 抄

(施行期日)

1 この条例は、平成21年4月1日から施行する。ただし、次項及び附則第4項の規定は公布の日から、第1条中山梨県立美術館設置及び管理条例別表第3の改正規定(「(第8条関係)」を「(第12条関係)」に改める部分を除く。)及び第2条中山梨県立文学館設置及び管理条例別表第3の改正規定(「(第8条関係)」を「(第12条関係)」に改める部分を除く。)は平成20年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 教育委員会は、この条例の施行の日(次項、附則第4項及び第5項において「施行日」という。)前においても、第1条の規定による改正後の山梨県立美術館設置及び管理条例(次項において「新条例」という。)

第5条及び第7条の規定の例により、山梨県立美術館の管理に関し、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項に規定する指定管理者（附則第4項において「指定管理者」という。）を指定することができる。

- 3 第1条の規定による改正前の山梨県立美術館設置及び管理条例第6条第1項又は第8条第1項の規定によりされた承認であって、当該承認に係る利用の日が施行日以後であるものは、新条例第10条第1項又は第12条第1項の規定によりされた利用の承認とみなす。

（山梨県立美術館等の観覧等の特例に関する条例の一部改正）

- 6 山梨県立美術館等の観覧等の特例に関する条例（平成19年山梨県条例第36号）の一部を次のように改正する。

〔次のよう〕略

附 則（平成24年条例第26号）抄

（施行期日）

- 1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

（山梨県立美術館設置及び管理条例の一部改正に伴う経過措置）

- 10 第9条の規定による改正後の山梨県立美術館設置及び管理条例第12条第2項の規定は、施行日以後に行われる同条第1項の承認の申請について適用し、施行日前に行われた第9条の規定による改正前の山梨県立美術館設置及び管理条例第12条第1項の承認の申請については、なお従前の例による。

附 則（平成26年条例第3号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成26年条例第50号）

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成29年条例第4号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成31年条例第25号）

この条例は、平成31年10月1日から施行する。

附 則（令和2年条例第5号）抄

（施行期日）

- 1 この条例は、令和2年4月1日から施行する。

別表第1（第10条関係）

（平26条例3・全改、平26条例50・平31条例25・一部改正）

1 常設の展示の場合

区 分	観 覧 料	
	個 人	団 体
一般	1 人 520 円	1 人 420 円
大学生及びこれに準ずる者	1 人 220 円	1 人 170 円
小学生、中学生及び高校生並びにこれらに準ずる者	無 料	

備考 団体とは、20 人以上をいう。

2 特別の企画による展示の場合

次の表に定める観覧料の額の範囲内で、それぞれの展示ごとに知事が定める額

区 分	観 覧 料	
	個 人	団 体
一般	1 人 1,100 円	1 人 880 円
大学生及びこれに準ずる者	1 人 550 円	1 人 440 円
小学生、中学生及び高校生並びにこれらに準ずる者	無 料	

備考 団体とは、20 人以上をいう。

3 常設の展示及び特別の企画による展示の定期観覧の場合

区 分	観 覧 料
一般	1 人 3,140 円
大学生及びこれに準ずる者	1 人 1,570 円

備考 1 定期観覧とは、第10条第1項の承認の日から起算して1年間の観覧をいう。

2 小学生、中学生及び高校生並びにこれらに準ずる者は、定期観覧の対象としない。

別表第2（第11条関係）

（昭62条例11・平元条例33・平4条例21・平7条例19・平9条例29・平20条例19・平26条例50・平31条例25・一部改正）

区 分			特 別 観 覧 料	
模 写 ・ 模 造 等			1 点 1 日につき	820 円
撮 影	モノクローム	学術研究を 目的とする場合	1 点 1 回につき	220 円
		出版等の収入を 伴う場合	1 点 1 回につき	3,520 円
	カラー	学術研究を 目的とする場合	1 点 1 回につき	490 円
		出版等の収入を 伴う場合	1 点 1 回につき	7,090 円

- 備考 1 びょうぶは、1 双を 1 点とする。
2 1 そろいをなす卷子は、1 巻を 1 点とする。
3 対幅は、1 幅を 1 点とする。
4 その他の美術品等は、各個を 1 点とする。

別表第3（第12条関係）

（昭62条例11・平元条例33・平4条例21・平7条例19・平9条例29・平16条例26・平18条例30・平20条例19・平26条例50・平31条例25・一部改正）

区 分	入場料金を徴収しない場合			入場料金を徴収する場合
	午前 9 時から正午まで	午後 1 時から午後 5 時まで	午前 9 時から午後 5 時まで	
一 般 展 示 室 A (県民ギャラリー A)			6,160 円	上記使用料金に 2 割の割増率を乗じ て得た額を当該使 用料金に加算した 額
一 般 展 示 室 B (県民ギャラリー B)			5,230 円	
制 作 展 示 室 (ワークショップ室)	1,320 円	1,490 円	2,810 円	
工 房 A	2,560 円	2,870 円	5,430 円	
工 房 B	1,330 円	1,490 円	2,820 円	
総 合 実 習 室 (講 堂)	2,770 円	3,100 円	5,870 円	
講 堂 (県民ギャラリー C)	3,160 円	3,540 円	6,700 円	

備考 使用料金に10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てる。

●山梨県立美術館設置及び管理条例施行規則

令和2年3月31日
山梨県規則第24号

(趣旨)

第1条 この規則は、山梨県立美術館設置及び管理条例（昭和53年山梨県条例第5号。以下「条例」という。）の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(指定管理者の指定の申請)

第2条 条例第7条第1項の規定による山梨県立美術館の指定管理者の指定の申請は、指定管理者指定申請書（第1号様式）に、次に掲げる書類を添付して提出することにより行わなければならない。

- 一 事業計画書
- 二 収支計画書
- 三 実施体制を記載した書類
- 四 団体の概要を記載した書類
- 五 定款、寄附行為又はこれらに準ずるもの
- 六 法人の登記事項証明書（法人の場合に限る。）
- 七 知事が指定する事業年度の貸借対照表及び損益計算書又はこれらに準ずるもの
- 八 前各号に掲げるもののほか、条例第7条第2項各号に掲げる基準による指定管理者の選定のため知事が必要と認める書類

(特別観覧の承認)

第3条 条例第11条第1項の規定による特別観覧の承認を受けようとする者は、特別観覧申請書（第2号様式）を館長に提出しなければならない。

2 館長は、特別観覧を承認したときは、当該申請者に対し、特別観覧承認書（第3号様式）を交付するものとする。

(観覧料等の還付)

第4条 条例第13条ただし書の特別の理由は、次の各号に掲げる場合のいずれかに該当することとし、同条ただし書の規定により還付する額は、当該各号に掲げる場合の区分に応じ当該各号に定める額とする。

- 一 観覧、特別観覧又は使用の承認を受けた者の責めに帰することのできない理由により観覧、特別観覧又は使用することができなくなったとき 全額
- 二 特別観覧又は使用をしようとする日の3日前までに特別観覧又は使用の取消しを届け出たとき 2分の1に相当する額

2 条例第13条ただし書の規定による観覧料、特別観覧料又は使用料の還付を受けようとする者は、観覧料等還付申請書（第4号様式）を館長に提出しなければならない。

(観覧料等の免除)

第5条 条例第14条の特別の理由は、次の各号に掲げる場合のいずれかに該当することとし、同条の規定により免除する額は、当該各号に掲げる場合の区分に応じ当該各号に定める額とする。

- 一 県内の小学生、中学生及び高校生並びにこれらに準ずる者の引率者が、教育課程に基づく教育活動として観覧するとき 条例別表第1に定める額の全額
- 二 65歳以上の者が観覧（県内に住所を有しない者にあつては、常設の展示の場合に限る。）するとき 条例別表第1に定める額の全額
- 三 障害者基本法（昭和45年法律第84号）第2条に規定する障害者及びその介護を行う者が観覧するとき 条例別表第1に定める額の全額
- 四 同一の日において、常設の展示及び特別の企画による展示を観覧しようとする者（団体により観覧する者を除く。）が、常設展・特別展共通観覧券の交付を受けて観覧するとき 条例別表第1第1号に定める個人の観覧料と団体の観覧料との差額及び同表第2号においてそれぞれの展示ごとに知事が定める個

人の観覧料と団体の観覧料との差額

五 同一の日において、美術館及び山梨県立文学館の常設の展示を観覧しようとする者（団体により観覧する者を除く。）が、美術館・文学館常設展共通観覧券の交付を受けて観覧するとき 条例別表第1第1号に定める個人の観覧料と団体の観覧料との差額

六 特別の企画による展示を観覧しようとする者（団体により観覧する者を除く。）が、当該展示に係る開催期間の初日の前日までに前売り観覧券の交付を受けて観覧するとき 条例別表第1第2号においてそれぞれの展示ごとに知事が定める個人の観覧料と団体の観覧料との差額

七 同一の日において、常設の展示及び特別の企画による展示を観覧しようとする者（団体により観覧する者を除く。）が、当該特別の企画による展示に係る開催期間の初日の前日までに常設展・特別展共通前売り観覧券の交付を受けて観覧するとき 条例別表第1第1号に定める個人の観覧料と団体の観覧料との差額及び同表第2号においてそれぞれの展示ごとに知事が定める個人の観覧料と団体の観覧料との差額

八 山梨県内に所在する宿泊施設に宿泊する者（団体により観覧する者を除く。）が、当該宿泊施設に宿泊した日又はその翌日に観覧するとき 条例別表第1第1号に定める個人の観覧料と団体の観覧料との差額又は同表第2号においてそれぞれの展示ごとに知事が定める個人の観覧料と団体の観覧料との差額

九 山梨県内に所在する美術館、博物館等で相互に個人の観覧料の免除を実施することとしたものに係る定期利用券（一定期間の利用の許可、承認等を受けたものをいう。）を有する者が観覧するとき 条例別表第1第1号に定める個人の観覧料と団体の観覧料との差額又は同表第2号においてそれぞれの展示ごとに知事が定める個人の観覧料と団体の観覧料との差額

十 前各号に掲げるもののほか、館長が特別の理由があると認めるとき 観覧料、特別観覧料又は使用料のうち館長が相当と認める額

2 前項第1号又は第10号に該当する場合において、観覧料、特別観覧料又は使用料の免除（次項において「免除」という。）を受けようとする者は、あらかじめ観覧料等免除申請書（第5号様式）を館長に提出し、その承認を受けなければならない。

3 館長は、前項の規定により免除を承認したときは、当該申請者に対し、観覧料等免除承認書（第6号様式）を交付するものとする。

4 第1項第2号、第3号、第8号又は第9号の規定に該当する場合において、観覧料の免除を受けようとする者は、これらの規定のいずれかに該当することを証する書類を館長に提示するものとする。

（館長への委任）

第6条 知事は、この規則に定めるもののほか、館長に次の事項を委任する。

- 一 条例第8条第2項の規定による休館日の変更の承認に関すること。
- 二 条例第9条第2項の規定による開館時間の変更の承認に関すること。
- 三 条例第11条第1項の規定による特別観覧の承認に関すること。

附 則

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

●山梨県立美術館等の観覧等の特例に関する条例

平成19年7月9日
山梨県条例第36号

(趣旨)

第1条 この条例は、山梨県立美術館その他の県立の施設における観覧の承認及び観覧料の特例に関し必要な事項を定めるものとする。

(承認及び観覧料)

第2条 次に掲げる行為を別表に定める期間にわたり行おうとする者(小学生、中学生及び高校生並びにこれらに準ずる者を除く。)は、山梨県立美術館設置及び管理条例(昭和53年山梨県条例第5号)第10条第1項及び山梨県立文学館設置及び管理条例(平成元年山梨県条例第10号)第10条第1項の規定にかかわらず、これらの行為について一括して知事の承認を受けることができる。

一 山梨県立美術館設置及び管理条例第10条第1項の規定による観覧

二 山梨県立考古博物館設置及び管理条例(昭和57年山梨県条例第5号)第6条第1項の規定による観覧

三 山梨県立文学館設置及び管理条例第10条第1項の規定による観覧

四 山梨県立博物館設置及び管理条例(平成17年山梨県条例第8号)第6条第1項の規定による観覧

2 前項の承認を受けた者は、山梨県立考古博物館設置及び管理条例第6条第2項及び山梨県立博物館設置及び管理条例第6条第2項の規定にかかわらず、別表に定める観覧料を納付しなければならない。

(平20条例19・平26条例3・令2条例5・一部改正)

(観覧料の還付)

第3条 既に納付した観覧料は、還付しない。ただし、知事は、特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(観覧料の免除)

第4条 知事は、特別の理由があると認めるときは、観覧料の全部又は一部を免除することができる。

(委任)

第5条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成20年条例第19号)抄

(施行期日)

1 この条例は、平成21年4月1日から施行する。

附 則(平成26年条例第3号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成26年条例第50号)

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附 則(平成31年条例第25号)

この条例は、平成31年10月1日から施行する。

附 則(令和2年条例第5号)抄

(施行期日)

1 この条例は、令和2年4月1日から施行する。

別表(第2条関係)(平26条例3・平26条例50・平31条例25・一部改正)

区 分	期 間	観 覧 料
一般	1 年	1 人につき 5,240 円
大学生及びこれに準ずる者	1 年	1 人につき 2,620 円

備考 期間については、第2条第1項の承認の日から起算する。

●山梨県立美術館等の観覧等の特例に関する条例施行規則

令和2年3月31日

山梨県規則第32号

(趣旨)

第1条 この規則は、山梨県立美術館等の観覧等の特例に関する条例（平成19年山梨県条例第36号。以下「条例」という。）の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(観覧の承認)

第2条 条例第2条第1項の規定による知事の承認は、共通定期観覧券（第1号様式）の交付があったときに行われたものとする。

(観覧料の納入)

第3条 観覧料の納入は、共通定期観覧券の交付の際現金をもって行うものとする。ただし、特別の理由があると認めるときは、共通定期観覧券を交付した日以後、当該共通定期観覧券を交付した館長（山梨県立美術館長、山梨県立考古博物館長、山梨県立文学館長及び山梨県立博物館長をいう。以下同じ。）の指定した日までに納付させることができる。

(観覧料の還付)

第4条 条例第3条ただし書の特別の理由は観覧の承認を受けた者の責めに帰することのできない理由により観覧をすることができなくなった場合に該当することとし、還付する額は観覧料のうち共通定期観覧券を交付した館長が相当と認める額とする。

2 条例第3条ただし書の規定による観覧料の還付を受けようとする者は、観覧料還付申請書（第2号様式）を共通定期観覧券を交付した館長に提出しなければならない。

(観覧料の免除)

第5条 条例第4条の特別の理由は次の各号のいずれかに掲げる場合に該当することとし、免除の額は当該各号に定めるとおりとする。

- 一 山梨県立美術館設置及び管理条例（昭和53年山梨県条例第5号）第10条第1項の規定による承認（定期観覧に係るものに限る。）、山梨県立考古博物館設置及び管理条例（昭和57年山梨県条例第5号）第6条第1項の規定による承認（定期観覧に係るものに限る。）、山梨県立文学館設置及び管理条例（平成元年山梨県条例第10号）第10条第1項の規定による承認（定期観覧に係るものに限る。）又は山梨県立博物館設置及び管理条例（平成17年山梨県条例第8号）第6条第1項の規定による承認（定期観覧に係るものに限る。）を受けた者が、これらの承認のあった日から起算して11月以内に条例第2条第1項の承認を受けたとき 観覧料のうち館長が相当と認める額

- 二 前号に掲げるもののほか館長が特に必要と認めたとき 観覧料のうち館長が相当と認める額

- 2 第1項第1号に該当する場合において、条例第4条の規定による観覧料の免除を受けようとする者は、観覧の承認の申請の際、観覧料免除申請書（第3号様式）を館長に提出しなければならない。
- 3 館長は、前項の場合において、観覧料の免除の決定をしたときは、当該免除に係る申請をした者に対し、免除後の観覧料の額を記載した共通定期観覧券を交付するものとする。
- 4 第1項第2号に該当する場合において、条例第4条の規定による観覧料の免除を受けようとする者は、観覧の承認の申請の際、観覧料免除申請書（第4号様式）を館長に提出しなければならない。
- 5 館長は、前項の場合において、観覧料の免除の決定をしたときは、当該免除に係る申請をした者に対し、観覧料免除決定通知書（第5号様式）を交付するものとする。

（平20教委規則14・一部改正）

(委任)

第6条 知事は、館長に次の事項を委任する。

- 一 条例第2条の規定による観覧の承認に関すること。
- 二 条例第3条ただし書の規定による観覧料の還付に関すること。
- 三 条例第4条の規定による観覧料の免除に関すること。

(補則)

第7条 この規則に定めるもののほか、この規則の実施に関し必要な事項は、知事の承認を得て館長が定める。

附 則

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

●山梨県美術資料取得基金条例

昭和51年3月27日
山梨県条例第4号

(設置)

第1条 美術作品及び美術に関する資料の取得を円滑かつ、効率的に行うため、山梨県美術資料取得基金（以下「基金」という。）を設置する。

(基金の額)

第2条 基金の額は、1億5千万円とする。

2 必要があるときは、予算の定めるところにより基金に追加して積立てをすることができる。

3 前項の規定により積立てが行われたときは、基金の額は積立額相当額増加するものとする。

(昭52条例8・昭53条例2・一部改正)

(運用)

第3条 知事は、基金の設置の目的に応じ、基金の確実かつ効率的な運用に努めなければならない。

(管理)

第4条 基金に属する現金は、金融機関への預金その他最も確実かつ有利な方法により保管しなければならない。

(繰替運用)

第5条 知事は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法、期間及び利率を定めて、基金に属する現金を歳入歳出現金に繰り替えて運用することができる。

(運用益金の処理)

第6条 基金の運用から生ずる収益は、一般会計歳入歳出予算に計上して基金に編入するものとする。

(委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、基金の管理に関し必要な事項は、知事が定める。

附 則

この条例は、昭和51年4月1日から施行する。

附 則（昭和52年条例第8号）

この条例は、昭和52年4月1日から施行する。

附 則（昭和53年条例第2号）

この条例は、公布の日から施行する。

●山梨県附属機関の設置に関する条例

昭和60年 3月29日

山梨県条例第3号

(趣旨)

第1条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

(附属機関の設置及び担当事務)

第2条 執行機関の附属機関として、別表第1に掲げる機関を設置し、その担任する事務は、同表の担当事務欄に掲げるとおりとする。

2 執行機関は、必要があると認めるときは、その附属機関として、別表第2に掲げる機関を設置することができる。この場合において、その機関の担任する事務は、同表の担当事務欄に掲げるとおりとする。

3 前2項に定めるもののほか、執行機関は、その設置期間が1年未満である附属機関を設置することができる。

4 前項の規定により附属機関を設置するときは、執行機関は、あらかじめ、その機関の名称、担任する事務その他必要な事項を告示しなければならない。

第3条～第3条の2 (略)

(組織)

第4条 附属機関は、別表第1、別表第2、別表第3及び別表第4の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

2 委員は、別表第1、別表第2、別表第3及び別表第4の委員の要件欄に掲げる者のうちから、執行機関が任命し、又は委嘱する。

3 委員の任期は、別表第1、別表第2、別表第3及び別表第4の委員の任期欄に掲げるとおりとする。

4 附属機関に、執行機関の規則で定めるところにより、特別委員、専門委員又は臨時委員（以下「特別委員」と総称する。）を置くことができる。

5 特別委員は、執行機関の規則で定めるところにより、知事が任命し、又は委嘱する。

(会長等)

第5条 附属機関に、執行機関の規則で定めるところにより、会長又は委員長（以下「会長」と総称する。）及び副会長又は副委員長（以下「副会長」と総称する。）を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 副会長が置かれていない附属機関にあつては、会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

(会議)

第6条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、執行機関の規則で定める場合を除くほか、委員の2分の1以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(部会等)

第7条 附属機関に、執行機関の規則で定めるところにより、部会又は小委員会を置くことができる。

(第2条第3項の規定により設置された附属機関に係る関係規定の適用の特例)

第8条 第2条第3項の規定により設置された附属機関に係る次の表の上欄に掲げる規定の適用については、これらの規定中同表の中欄に掲げる字句は、それぞれ同表の下欄に掲げる字句とする。

第4条第1項	別表第1、別表第2、別表第3及び別表第4の委員の定数欄に掲げる	執行機関が別に定める
第4条第2項	別表第1、別表第2、別表第3及び別表第4の委員の要件欄に掲げる	執行機関が別に定める
第4条第3項	別表第1、別表第2、別表第3及び別表第4の委員の任期欄に掲げるとおりとする	執行機関が別に定める
第4条第4項、 第4条第5項、 第5条第1項、 第6条第2項 及び第7条	執行機関の規則で	執行機関が別に

第9条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担当事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、執行機関の規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、昭和60年4月1日から施行する。

(略)

附 則

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

別表第1（第2条、第4条関係）

1 知事の附属機関

附属機関	担当事務	委員の定数	委員の要件	委員の任期
(略)				
山梨県立美術館協議会	博物館法（昭和26年法律第285号）第23条第2項の規定による山梨県立美術館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務	15人以内	1 学校教育の関係者 2 社会教育の関係者 3 家庭教育の向上に資する活動を行う者 4 学識経験のある者	2年
山梨県立美術館 専門委員会	山梨県立美術館における資料の収集、保存及び展示並びにその実施する事業に関する調査審議に関する事務	7人以内	1 学識経験のある者 2 優れた識見を有する者	2年
(略)				

2 教育委員会の附属機関（略）

別表第2（略）

別表第3（略）

別表第4（略）

●山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則

昭和60年 3 月29日

山梨県規則第 8 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例(昭和 6 0 年山梨県条例第 3 号。以下「条例」という。)の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(補欠の委員の任期)

第 2 条 委員に欠員を生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

第 3 条 (略)

(会長等)

第 4 条 条例第 5 条第 1 項の規定により、附属機関（次に掲げる附属機関を除く。）に会長を、次に掲げる附属機関に委員長を置く。

(略) ※該当なし

2 条例第 5 条第 1 項の規定により副会長を置く附属機関及び当該附属機関に置かれる副会長の定数は、次の表のとおりとする。

(略) ※該当なし

3 副会長を 2 人以上置く附属機関にあつては、あらかじめ会長が指名する副会長が、会長の職務を代理する。

(定足数の特例)

第 5 条 条例第 6 条第 2 項の規則で定める場合は、次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議について、同表の定足数欄に掲げる数の委員が出席しなければ開くことができない場合とする。

附 属 機 関	定足数
(略)	
山梨県立美術館協議会	過半数
(略)	

(部会等)

第 6 条 条例第 7 条の規定により、部会又は小委員会を置く附属機関及び当該附属機関に置かれる部会又は小委員会は、次の表のとおりとする。

附 属 機 関	部会又は小委員会
(略)	
山梨県立美術館専門委員会	部会
(略)	

2 部会又は小委員会に属すべき委員及び特別委員は、会長が指名する。

(幹事)

第 7 条 附属機関に、その定めるところにより、幹事を置くことができる。

(資料の提出等の要求)

第 8 条 附属機関は、その担任する事務を遂行するため必要があると認めるときは、関係行政機関の長に対して、資料の提出、意見の開陳、説明その他の必要な協力を求めることができる。

(意見の陳述)

第 9 条 関係行政機関の職員は、会長の許可を得て、附属機関の会議に出席し、審議事項に関して意見を述べることができる。

第10条～第11条（略）

（庶務）

第12条 附属機関の庶務は、別に定めるところにより、処理する。

（委任）

第13条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮つて定める。

附 則

（施行期日）

1 この規則は、昭和60年4月1日から施行する。

（略）

附 則

この規則は、令和4年4月1日から施行する。

●山梨県立美術館協力員設置要綱

(設置)

第1条 山梨県立美術館（以下「美術館」という。）にボランティア活動をとおり、美術館の利用者の便宜を図るとともに円滑な美術館運営を促進し、もって県民のための美術館として地域文化の向上に資することを目的として、美術館協力員（以下「協力員」という。）を設置する。

(活動)

第2条 協力員は、美術館の利用者に対し必要に応じて、次の活動を行う。

- ① 鑑賞のための助言及び相談
- ② 鑑賞者の誘導、案内及び館内の秩序の維持
- ③ その他、利用者の便宜や美術館の発展に寄与する活動

(委嘱等)

第3条 協力員は、美術館が募集し、次の条件を満たす応募者の中から、概ね150名を館長が委嘱する。

- ① 美術文化等について専門知識を有する者
- ② 美術文化等について理解と関心を有する者
- ③ 前2号のいずれかに該当する者で、美術館ボランティアとして必要な所定の研修を受け、月に1回（1日8時間）以上のボランティア活動が可能な者。

2 協力員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

(協力会等)

第4条 協力員は、相互に協力し、第2条の活動を円滑に行うため、山梨県立美術館協力会（以下「協力会」という。）を組織する。

- 2 協力会に必要な役員、事務局等を置く。
- 3 協力会は活動に必要な規定を整備する。

(美術館の関与)

第5条 館長は、協力会の活動に関して、助言または指導する。

- 2 美術館の職員は、協力会の活動に協力するものとする。
- 3 協力会の自主的な活動に支障がなく、また、必要最低限の範囲で美術館の職員が協力会の事務局員等に就くことができる。
- 4 前項の場合、当該職員は職務に専念する義務を免除する。

(その他)

第6条 館長は、協力会の活動に必要な範囲で、観覧料等を免除することができる。

附 則

昭和59年 4月 1日一部改正

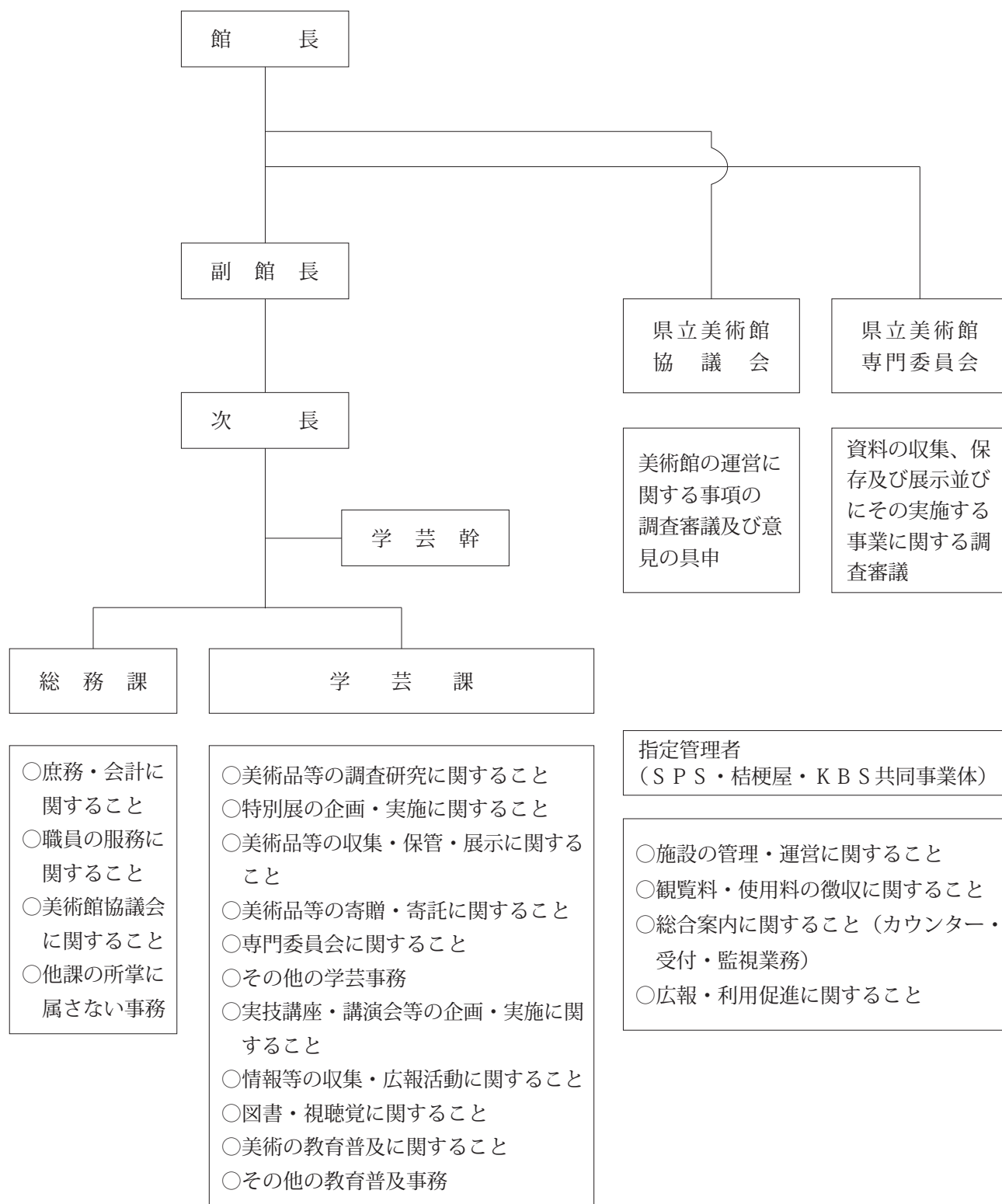
平成 6年12月 2日一部改正

平成26年12月12日一部改正

附 則

この要綱は、令和5年4月1日から適用する。

■ 組 織 図



■ 関係委員等名簿

順不同、敬称略
(令和6年3月31日)

●山梨県立美術館協議会委員

小林 正人	山梨県市町村教育委員会連合会代表(副会長)
大木 貴之	一般社団法人ワインツーリズム代表理事
向山富士雄	南アルプス市立美術館長
奥山幾代子	山梨県芸術文化協会理事
斉木 邦彦	元山梨県教育長
保坂 博司	山梨美術協会代表
高野孫左エ門	株式会社吉字屋本店代表取締役社長
野口 英一	報道関係(山梨放送・山梨日日新聞社社長)
原田由起彦	// (テレビ山梨代表取締役社長)
藤原 和昭	// (NHK甲府放送局局長)
仲田 道弘	公益社団法人やまなし観光推進機構理事長
神宮司洋子	家庭教育関係者
川口 祐子	山梨県公立小中学校長会代表
廣瀬 志保	山梨県高等学校長協会代表

●山梨県立美術館専門委員会委員

秋元 雄史	現代美術
佐藤 道信	日本美術史 東京藝術大学教授
島田 紀夫	西洋絵画史 美術史家
白石 和己	日本美術史 美術史家
林 洋子	日本美術史 兵庫県立美術館館長
馬淵 明子	西洋絵画史 美術史家
三浦 篤	西洋絵画史 大原美術館館長

●美術館職員

館 長	青柳 正規	
副 館 長	小林 司	
次 長 (兼)	今村 公彦	
学 芸 幹	井澤英理子	
総 務 課 課長 (事務取扱)	今村 公彦	
副 主 査	北村 圭	
主 任	笠井 愛	
会計年度任用職員	小尾 祐子	
学 芸 課 課 長	平林 彰	近世近代美術 (日本)
学芸担当 学 芸 員	高野早代子	県関係作家 (近現代)、保存
学 芸 員	森川もなみ	近現代美術 (西洋・日本)
学芸員 (兼)	小坂井 玲	近代美術 (西洋・ミレー)
学 芸 員	下東 佳那	現代美術 (西洋・日本)
会計年度任用職員	雨宮 千鶴	学芸補助
会計年度任用職員	沖田 春奈	学芸補助
会計年度任用職員	井上智恵子	学芸補助
会計年度任用職員	土屋 尚美	学芸補助
普及担当 学 芸 員	太田 智子	近現代美術 (西洋・日本)
副 主 幹	田所 良通	学校教育との連携、美術の教育普及
副 主 査	加藤 祥子	学校教育との連携、美術の教育普及
会計年度任用職員	小西 秀樹	ボランティアの育成・指導

●指定管理者 (SPS・桔梗屋・KBS共同事業体)

支配人	山口 博
副支配人	河合 志帆
管理運営責任者	名取 司保
貸館・営業責任者	五味 勇二
広報責任者	輿石 梨絵
施設管理責任者	熊王 芳久
レストラン運営責任者	上篠 瑠璃
経理・総務担当	塩澤 知見
スタッフ管理担当	小松 由美
貸館運営担当	須藤 美奈、佐竹 和宏
事業担当	神原 文江、依田 智徳
広報担当	河野 泰乃

●第23期山梨県立美術館協力員

協 力 員 138名（令和5年4月1日）

期 間 令和5年4月1日～令和7年3月31日

- 活動内容
- (1) 案内担当（入館者の総合案内、情報提供、P R活動）
 - (2) 解説担当（展示作品の解説）
 - (3) 図書担当（図書資料の整理）
 - (4) 情報担当（ポスター張り替え、DVD等による映画会の開催補助）
 - (5) 実技担当（実習、講座等の補助）
 - (6) ワークショップ担当（ワークショップ等の補助）
 - (7) バラ園担当（芸術の森内のバラ園の管理補助）
 - (8) 対話型推進担当（対話型鑑賞会のファシリテーター）

担 当		協力員数（人）
案 内 担 当	火 曜 日	8
	水 曜 日	10
	木 曜 日	8
	金 曜 日	9
	土 曜 日	10
	日 曜 日	9
解 説 担 当		25
図 書 担 当		13
情 報 担 当		9
実 技 担 当		17
ワークショップ担当		16
バ ラ 園 担 当		21
対 話 型 推 進 担 当		18
計		173

年 齢	協力員数（人）
2 0 歳 代	0
3 0 歳 代	6
4 0 歳 代	7
5 0 歳 代	14
6 0 歳 代	49
7 0 歳 代	59
8 0 歳 代	3
合 計	138

（重複35人）

●山梨県立美術館協力会

会 長 古屋 知子
 副 会 長 中島 敏夫・日比野理津子
 顧 問 青柳 正規（館長）
 参 与 小林 司（副館長）・今村 公彦（次長）
 常 任 理 事 小西 秀樹
 事 務 局 長 井澤英理子（学芸幹）
 事務局次長 北村 圭（総務課副主査）
 事 務 局 員 小杉 佳子（事務）・矢崎 理江（事務）

入館者の状況

令和5年4月1日～令和6年3月31日現在

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	常設展	令和5年度 新収蔵品展	特別展 開館45周年記念 山梨県立美術館 コレクション展	ミレーと4人の 現代作家たち展	デジタル展 と鑑賞できる 古代ローマと日本	アートアンド・ クラフツと デザイン展	計
開館日数		26	27	26	26	28	26	26	26	21	26	25	21	304	0	45	51	50	50	196
個 人	一 般	1,991	3,239	1,966	117	302	3,311	3,489	3,102	1,516	2,231	1,968	2,076	25,308	0	3,399	10,294	8,435	6,375	28,503
	大 学 生	119	191	125	8	54	388	150	160	117	157	270	290	2,029	0	148	733	422	322	1,625
	計	2,110	3,430	2,091	125	356	3,699	3,639	3,262	1,633	2,388	2,238	2,366	27,337	0	3,547	11,027	8,857	6,697	30,128
団 体	一 般	3	60	28	0	36	26	367	47	116	79	72	0	834	0	0	306	91	30	427
	大 学 生	0	0	0	0	0	0	0	31	0	0	0	0	31	0	0	0	0	1	1
	計	3	60	28	0	36	26	367	78	116	79	72	0	865	0	0	306	91	31	428
特別展「ミレーと4人の現代作家たち」展 チケットでのコレクション展観覧者					7,239	10,747								17,986						
無 料 券		2,511	4,355	3,124	256	353	3,320	4,801	6,093	1,751	2,387	1,754	2,155	32,860	0	4,699	6,758	7,483	7,144	26,084
合 計		4,624	7,845	5,243	7,620	11,492	7,045	8,807	9,433	3,500	4,854	4,064	4,521	79,048	0	8,246	18,091	16,431	13,872	56,640
一日平均観覧者		178	291	202	293	410	271	339	363	167	187	163	215	260	0	183	355	329	277	289

【上記入館者内訳】 ＊特別展「ミレーと4人の現代作家たち」期間中（7/1～8/27）はパスポート販売休止、特別展チケットでコレクション展も観覧できるものとした。

個人	個人	一 般	776	758	618	32	152	776	650	712	274	455	722	729	6,654	0	520	5,546	2,957	2,650	11,673
		大 学 生	64	46	37	4	17	72	23	39	13	17	87	118	537	0	9	453	114	89	665
		計	840	804	655	36	169	848	673	751	287	472	809	847	7,191	0	529	5,999	3,071	2,739	12,338
		パスポート券	一 般	372	1,377	341	0	0	1,551	1,958	1,190	809	1,150	0	0	8,748	0	2,090	0	3,988	2,670
	大 学 生	26	85	18	0	0	151	100	76	88	103	0	0	647	0	129	0	294	224	647	
	計	398	1,462	359	0	0	1,702	2,058	1,266	897	1,253	0	0	9,395	0	2,219	0	4,282	2,894	9,395	
	文学館 共通券	一 般	0	299	333	14	27	137	123	349	59	112	510	525	2,488	*****	*****	*****	*****	*****	0
		大 学 生	0	32	42	2	26	64	5	17	6	9	99	80	382	*****	*****	*****	*****	*****	0
		計	0	331	375	16	53	201	128	366	65	121	609	605	2,870	*****	*****	*****	*****	*****	0
	定期観覧券	一 般	15	44	30	27	3	40	23	36	21	38	24	21	322	0	111	114	146	170	541
		大 学 生	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	2	3	7
		計	15	45	30	27	3	40	23	36	21	38	24	21	323	0	112	115	148	173	548
	4館共通券	一 般	36	39	23	24	2	31	39	39	16	57	34	21	361	0	146	168	243	221	778
		大 学 生	0	3	1	0	0	1	0	0	0	2	0	2	9	0	7	3	4	1	15
		計	36	42	24	24	2	32	39	39	16	59	34	23	370	0	153	171	247	222	793
	宿泊割引券	一 般	792	722	621	20	118	776	696	776	337	419	678	780	6,735	0	532	4,465	1,100	664	6,761
		大 学 生	29	24	27	2	11	100	22	28	10	26	84	90	453	0	2	276	8	5	291
		計	821	746	648	22	129	876	718	804	347	445	762	870	7,188	0	534	4,741	1,108	669	7,052
	相互割引券	一 般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
		大 学 生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
	前売り券 (特別展)	一 般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		大 学 生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	前売り券 (パスポート)	一 般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	*****	*****	*****	*****	0
		大 学 生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	*****	*****	*****	*****	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	*****	*****	*****	*****	0
団体	団体	一 般	3	60	28	0	36	26	367	47	116	79	72	0	834	0	0	306	91	30	427
		大 学 生	0	0	0	0	0	0	0	31	0	0	0	0	31	0	0	0	0	1	1
		計	3	60	28	0	36	26	367	78	116	79	72	0	865	0	0	306	91	31	428
特別展「ミレーと4人の現代作家たち」展 チケットでのコレクション展観覧者					7,239	10,747								17,986							
無料券	高 齢 者	1,613	2,250	2,047	95	269	2,168	3,193	2,963	1,106	1,419	1,120	1,245	19,488	0	1,515	1,821	2,625	2,401	8,362	
	身 障 者	279	423	256	7	36	580	554	507	212	325	210	271	3,660	0	656	1,008	1,535	834	4,033	
	小中・高校生	248	456	117	18	35	280	317	311	221	258	195	383	2,839	0	339	1,805	926	619	3,689	
	招 待 者	77	92	86	32	0	84	97	1,815	76	138	43	69	2,609	0	655	1,342	1,242	2,619	5,858	
	業務視察者	103	118	174	62	9	114	136	90	64	36	38	33	977	0	336	394	359	264	1,353	
	教育課程	161	953	412	24	0	9	440	350	41	120	84	92	2,686	*****	1,127	128	570	227	2,052	
	観覧券未払者観覧時	*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****	0	
	幼 児	30	63	32	18	4	85	64	57	31	91	64	62	601	*****	71	260	226	180	737	
	計	2,511	4,355	3,124	256	353	3,320	4,801	6,093	1,751	2,387	1,754	2,155	32,860	0	4,699	6,758	7,483	7,144	26,084	
	区 分	貸し出し展示室		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総 計					
一 般 展 示 室 A 室		2,734	3,752	3,810	3,608	2,992	3,238	3,242	3,483	2,818	12,821	10,136	3,051	55,685							
一 般 展 示 室 B 室		2,939	3,734	3,621	3,668	2,903	3,502	3,288	3,483	2,818	12,423	5,300	3,061	50,740							
一 般 展 示 室 C 室		2,882	3,472	2,714	1,485	1,397	2,731	2,836	3,153	2,456	7,657	5,059	2,676	38,518							
総 合 実 習 室		83	675	497	115	180	419	313	362	418	302	274	215	3,853							
工 房 A		87	83	180	162	134	74	283	151	124	92	104	101	1,575							
工 房 B		82	76	167	160	132	71	274	141	115	89	96	92	1,495							
制 作 展 示 室		99	160	248	283	124	91	534	470	227	146	144	280	2,806							
図 書 室		148	76	123	188	194	152	175	142	95	186	166	260	1,905							
日 数		26	27	26	26	28	26	26	26	21	26	25	21	304							
人 数		9,054	12,028	11,360	9,669	8,056	10,278	10,945	11,385	9,071	33,716	21,279	9,736	156,577							
平 均		348	445	437	372	288	395	421	438	432	1,297	851	464	515							

備 考

- *定期観覧券及び共通観覧券（美・文）は平成13年4月1日より実施
- *総計は常設展・特別展・貸出展示室・図書室の各室合計に平成18年4月1日よりロビー等を加えた。その人数を美術館入館者数とした。
- *宿泊割引（常設・特別展）、前売券（特別展）を平成18年10月19日より実施、常設展・特別展共通前売観覧券を平成19年3月15日より実施
- *4館共通観覧券を平成19年7月9日より実施
- *平成20年4月1日より相互割引実施
- *平成21年1月より山交券発売
- *平成26年3月12日より小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の児童・生徒の観覧料無料
- *入館者内訳欄 団体については省略（上段と同様）

■ 利用案内

開館時間 9：00～17：00（ただし入館は16：30まで）

休館日 月曜日（祝日の場合はその翌日）、祝日の翌日（日曜日の場合は開館）、
年未年始［その他臨時開館、休館あり］

観覧料

区 分	常設展示の場合		特別の企画による展示の場合	
	個 人	団体（20人以上）	個 人	団体（20人以上）
一 般	520 円	420 円	1,000 円	840 円
大学生及び これに準ずる者	220 円	170 円	500 円	420 円
小学生、中学生 及び高校生並びに これらに準ずる者	無 料			

常設展示及び特別の企画による展示の定期観覧の場合

区 分	観 覧 料
一 般	3,140 円
大学生及びこれに準ずる者	1,570 円

観覧料等の免除等については、山梨県立美術館設置及び管理条例施行規則第5条（p.150～151）を参照。

■ 交通案内

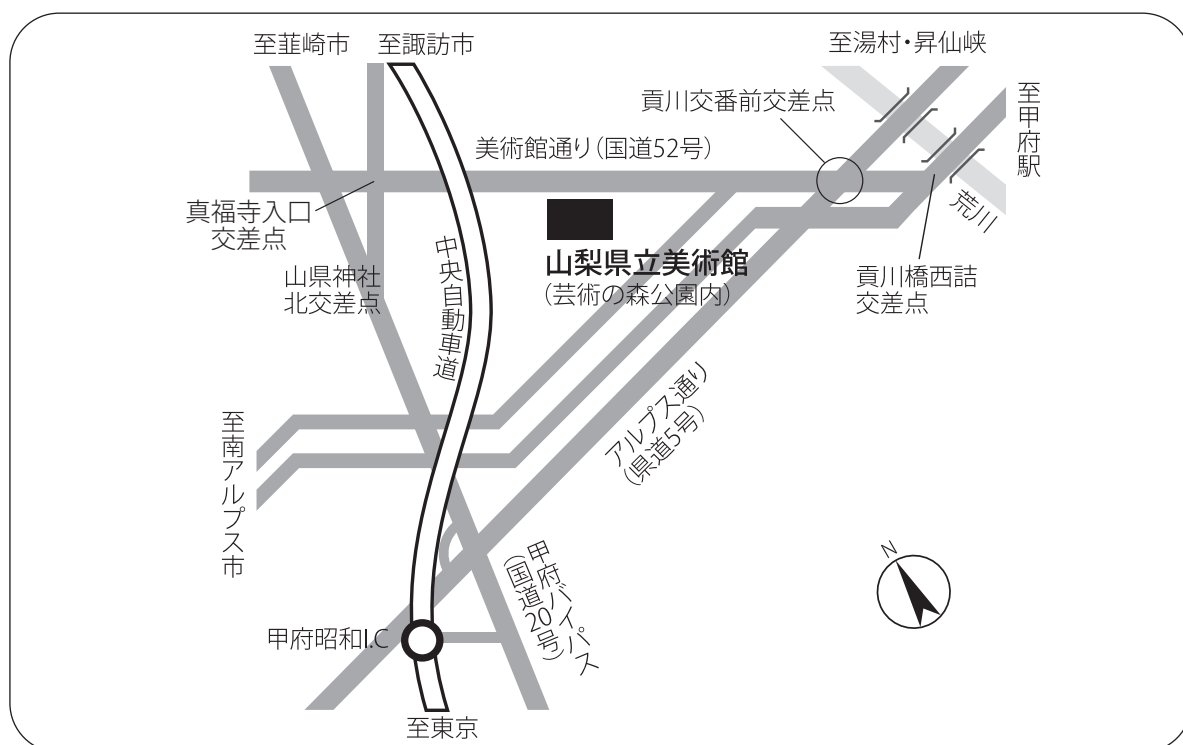
J R 中央本線甲府駅より

・JR甲府駅バスターミナル（南口）1番乗り場より、39系統 御^み勅^{だい}使、03・04系統 竜王駅經由敷島営業所、35系統 大草經由韮崎駅、30系統 貢^く川^{がわ}団地各行きのバスで約15分、「山梨県立美術館」下車。

※山梨県立美術館ホームページからも、バスの時刻表をご覧ください。

・タクシーの場合 約15分

案 内 図



令和5年度 山梨県立美術館年報

発 行 令和6年9月27日
編 集 山梨県立美術館
甲府市貢川一丁目4番27号
〒400-0065
TEL 055 (228) 3322
印 刷 (株)島田プロセス

ANNUAL REPORT OF
YAMANASHI PREFECTURAL MUSEUM OF ART 2023

